Vol.74 通巻856号　平成5年7月25日発行　毎月1回25日発行　昭和24年3月19日第3種郵便物認可　ISSN0912-8182

建築と社会

ARCHITECTURE AND SOCIETY

1993
7

特集
けいはんなプラザ・住友ホール
映画の中のインテリア



日本建築協会

1級建築施工管理技士になるための
平成5年度1級建築施工管理技術検定試験
（実　地　試　験）
受験準備講習会

昼間講座

受講料12,000円（税込）＋購入指定図書代
（講義は9：30～16：30まで行います。）

開催地 / 講習日（1日）

札　幌	10/20(水)	東京②	10/29(金)	大　阪	10/22(金)	福　岡	10/23(土)
仙　台	10/22(金)	横　浜	10/18(月)	岡　山	10/22(金)	熊　本	10/21(木)
大　宮	10/20(水)	新　潟	10/21(木)	広　島	10/21(木)	那　覇	10/21(木)
東京①	10/23(土)	名古屋	10/22(金)	松　山	10/20(水)		

夜間講座

受講料12,000円（税込）＋購入指定図書代
（講義は各日18：00～20：50まで行います。）

開催地 / 講習日（延2日間）

東京　10/19(火)・26(火)

〔購入指定図書〕

1級建築施工管理技術検定
実地試験受験用テキスト〔改訂第5版〕　3,200円 送料500円
※上記図書は、一般販売もいたします。

主催
建設省・国土庁所管（財）地域開発研究所
建築施工管理技術研究会

〒162　東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3―4　（生泉市ヶ谷ビル）
TEL　03-3268-8751　　FAX　03-3267-2552

❖詳しくは、案内書を上記主催団体まで電話またはハガキにてご請求下さい❖

試験について

1. 試験実施機関　財団法人建設業振興基金試験研修本部
〒105 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目森ビル2号館
TEL 03-5473-1581

2. 受験申込受付期間　平成5年7月23日(金)～8月6日(金)
①1級（学科試験）免除者および②平成5年度1級（学科試験）合格者とも、この期間に各自で必ず受験申込をして下さい。
（詳しくは、受験申込用紙に同封の「手引き」をご覧下さい。）

3. 試験日　平成5年11月7日(日)

4. 試験地　札幌・仙台・東京・新潟・名古屋
大阪・広島・高松・福岡・那覇

5. 受験申込用紙販売機関
㈶北海道開発協会・㈳東北建設協会・㈳営繕協会
㈳関東建設弘済会・㈳北陸建設弘済会・㈳中部建設協会
㈳近畿建設協会・㈳中国建設弘済会・㈳四国建設弘済会
㈳九州建設弘済会・㈳沖縄建設弘済会
※上記団体以外に、各都道府県建設業協会の中で販売している協会もあります。詳しくは、地元建設業協会にお問い合せ下さい。

6. その他
■受験申込用紙は、6月下旬より販売される予定です。
但し、1級（学科試験）免除者のうち、平成4年度1級（学科試験）合格者は、（財）建設業振興基金より送付される書類で受験申込を行って下さい。
また平成5年度1級（学科試験）合格者は、合格通知書に同封してある郵便振替払込用紙で8月6日(金)までに受験料を払込んで下さい。

出版委員会企画
「プロのノウハウ」講座
シリーズ(第9回)

—建築デザインのための構造計画—

「プロのノウハウ」講座シリーズ(第9回)では、須賀好富氏をお招きし、—建築デザインのための構造計画—と題し、建築家と構造技術者の共通知識についてお話を伺います。多数の参加をお待ちいたします。

講　師　須賀　好富氏
　　(近畿大学理工学部建築学科
　　教授・工学博士)
司　会　青柳英之氏
　　㈲青柳構造設計代表取締役
会　場　大阪府建築健保会館・多目的
　　ホール
　　大阪市中央区和泉町2-1-11
　　TEL.06-942-3621
定　員　100名
受講料　会員 3,000円
　　一般 4,000円
　　※消費税を含む
　　※当日受付にていただきます。

デザイン→構造
構造→デザイン
いずれの立場からも「物言いたいこと」山ほどある。お互いに相入れないことも多い。しかし、よい設計は(デザイン+構造)で定まる。両者がマッチングしなければならない。

建築家は構造の手法、材料、工法などの知識があればそのデザインの発想も豊かになるだろう。このことは極めて重要であるが、「構造」は「構造屋」にまかせれば……と思っている人が多いようである。これでは良い建物はできない。

構造技術者は建築家の意図を理解し、ふさわしい工法と材料(その結果として適正な躯体コスト)を選定しなければならない。コンピュータにのせやすい形、材料だけを考えてはいないだろうか。

＊

さて、ここに両者の共通の知識がある。本講習会ではその内容についてのべる。両者をリンクする構造の基本的工法、材料、構造計画について講義し、合理的な設計を可能にする一助にしたい。

須賀　好富

—建築デザインのための構造計画—

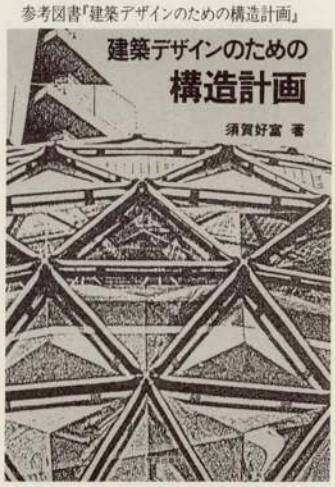
日時　平成5年9月2日㈭　開場14:30　開会15:00→閉会17:00

参考図書　建築技術選書<特装版>「建築デザインのための構造計画」
　　※当日1部特価2,600円〔消費税含む〕にて頒布。
申　込　8月25日㈬までに、ハガキ、FAX、電話でお申込みください。
　　1)催し名(建築デザインのための構造計画)、2)氏名、3)会員・一般の別、4)勤務先、5)参加証送付先、6)電話番号、をお知らせ願います。
　　※申込多数の場合は、抽選にて決定の上、参加証を8月26日㈭にお送りいたします。
申込先　㈳日本建築協会事業課
　　FAX.06-348-0634
　　TEL.06-348-0633
　　〒530　大阪市北区梅田1-1
　　大阪駅前第3ビル21階



須賀好富(すが　よしとみ)
1961年　京都大学大学院修了
●現　在　近畿大学教授・工学博士
　　日本建築協会理事　出版委員長
　　日本建築構造技術者協会理事
　　日本建築積算協会理事　関西支部長
　　関西建築構造設計事務所協会幹事
●著書
『構造計画とやさしい学力Ⅰ・Ⅱ』
『躯体工事監理のチェックポイント100』
『早わかりポケコンによる構造計算』
『構造コストと経済設計』
『建築デザインのための構造計画』
『建築構造力学図説・演習Ⅰ・Ⅱ』共著
『現代建築学—建築材料・施工』共著

参考図書『建築デザインのための構造計画』



平成5年度
建築工事実務講習会

主催　㈳日本建築協会

■趣旨と内容

●官公庁・設計事務所・建設業をはじめ、設備・営繕など幅広い分野の有能な技術者を養成する目的をもって、講習会を開催します。

●とくに取りつきにくい施工計画と仮設見積、現場実務の基礎である積算業務に重点をおき講義します。

●また、都市環境の変化に伴う法令・規準の改正なども加え、技術の進歩に即応した最新の知識の修得をはかります。

●「積算業務」では建築数量積算規準にのっとり、また「仮設見積」ではS造・地下1階・地上13階建事務所ビルをとり上げ、わかりやすく解説します。

■申込要領

下記受講申込書の受講希望科目を線で囲み(両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい)、必要事項をご記入の上、会費を添えて本会事業課までお送り下さい。(会費は銀行振込・郵便振替でも可。但し、その場合お払込みいただく前に、必ず受講申込書を郵便かFAXでお送りください。)引換えに受講券をお送りいたします。

■申込締切日

〔施工計画〕：9月1日(水)

〔積算・仮設見積〕：9月14日(火)

※但し、定員に達し次第締切ります。

■申込先

㈳日本建築協会

〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100
(大阪駅前第3ビル21階)

TEL.(06)348-0633　FAX.(06)348-0634

・受付時間　毎日、午前9時半～午後5時半　但し土・日・祝日を除く。

・詳細は、事務局事業課へお問い合わせください。

施工計画

●施工計画Ⅰ　服部　勝興氏
㈱鴻池組建築本部技術部副部長

●施工計画Ⅱ　森　　啓亮氏
㈱淺沼組大阪本店建築部技術担当副部長

施工計画はその良否が、いかに能率よく、品質を確保し、安全で、経済的に本体工事を施工するかの鍵をにぎっています。仮設から仕上げ、設備にいたる工事全般について、適切な施工計画をいかに立案するか、その要点をわかりやすく説明します。

と　き　平成5年**9**月**8**日(水)
午前9時～午後5時

ところ　建設交流館・グリーンホール
(大阪市西区立売堀2丁目1番2号　TEL.06-543-2551)

定　員　200名

会　費　10,000円(テキスト代、消費税を含む)

積算・仮設見積

●積算業務　吉田　　豊氏
㈱竹中工務店大阪本店見積部見積課長

●仮設見積　藤井　孝晏氏
㈱大林組本店建築工務部副部長

見積業務のなかで、基本となるのは数量積算です。この積算の手順、基準を主体にコスト管理等を合理的に行えるように解説します。

また、仮設工事費は、全体工事費に対して大きな比率を占めているにもかかわらず、単に床面積当たりとか請負金比率といった概算で見積されている場合も多いのが現状です。施工計画に基づいた合理的で迅速な見積方法を解説します。

と　き　平成5年**9**月**21**日(火)
午前9時～午後5時

ところ　建設交流館・グリーンホール
(大阪市西区立売堀2丁目1番2号　TEL.06-543-2551)

定　員　200名

会　費　10,000円(テキスト代、消費税を含む)

■会費振込口座番号

●取引銀行
住友銀行高麗橋支店(普通No860034)
三和銀行瓦町支店　(　〃　No210054)
大和銀行北浜支店　(　〃　No272234)

●郵便振替
大阪1-39975

建設交流館付近見取図



キ リ ト リ 線

平成5年度建築工事実務講習会　受講申込書

No.

社団法人　日本建築協会　御中

平成5年　　月　　日

郵便番号	受講者氏名	年齢	受講希望科目 ※両科目とも受講される場合は、両方を線で囲んで下さい。	
住所			施工計画	積算・仮設見積
事業所名(または氏名)			施工計画	積算・仮設見積
担当責任者			施工計画	積算・仮設見積
電話番号			施工計画	積算・仮設見積
会費支払方法　・事務局へ持参　・現金送金　・銀行振込　・郵便振替　いずれかに○印を付して下さい				

※受講申込書が足りない場合は、複写して下さい。

日本建築協会・海外視察旅行

ポスト・ホンコンバンク
―香港の最新建築を訪ねる―

N・フォスター設計の香港上海銀行本店が建築界を賑わせてから、早8年が過ぎようとしています。中国への返還が決定してからも、多くの新しい建築が香港のスカイラインを変えてきました。今回の視察旅行では、香港上海銀行及びその後の新しい建築物を見学いたします。

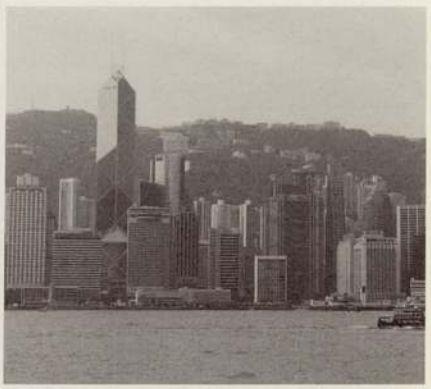
また、香港建築士学会のご協力を得て案内・解説は現地の建築家にお願いする予定です。

●見学予定

香港上海銀行(1985)、エクスチェンジ・スクエアー(1985)、ルットンジー・センター(1987)、ハルコート・センター(1987)、ボンド・センター(1988)、メイ・ラム室内レクリエーション・センター(1988)、中国銀行(1989)、香港コンベンション・センター(1990)、香港科学博物館(1990)、パシフィック・プレイス(1991)、香港文化センター(1991)、セントラル・プラザ(1992)等

企　画　㈳日本建築協会 事業委員会
　　杉本真一、内仲毅、廻はるよ
旅行社　JTB㈱日本交通公社
　　団体旅行難波支店


セントラル・プラザ


中国銀行　香港上海銀行

実施日　1993年10月7日㈭―10日㈰
　　＜3泊4日＞
　　＊午前大阪発―夕刻大阪着
ホテル　マリオット（予定）
　　＊1988年オープンのスーパー・デラックス・ホテル
定　員　25人（申込先着順）
　　＊最少催行人数10人
参加費　会員 130,000円
　　一般 140,000円
　　＊見学・交通・宿泊費等含む
　　詳細は申込者に郵送します
　　＊団体会員扱いは一社一名

申込先　㈳日本建築協会 事業課
　　大阪市北区梅田1-1
　　大阪駅第3ビル21F 〒530
　　TEL 06-348-0633
　　FAX 06-348-0634
申込方法　ハガキ、FAX、電話で
　　1)催し名(香港視察旅行)
　　2)氏名、年齢
　　3)会員・一般の別
　　4)勤務先、所属、電話番号
　　5)自宅の住所・電話番号
　　を添えてお申込み下さい。
締　切　8月20日㈮

通常総会決議報告

平成5年6月23日開催の通常総会において、右記議案がそれぞれ原案のとおり承認されたので、ここに会告します。

記

(1)平成4年度事業報告並びに決算報告承認の件(本号掲載)

(2)平成5年度事業計画並びに収支予算承認の件(4月号会告済)

定時評議員会決議報告

平成5年6月23日開催の定時評議員会において、右記のとおり決定されたので、ここに会告します。

記

(1)平成4年度事業報告並びに決算報告承認の件(本号掲載)

(2)理事補選の件(敬称略)

新任理事　西東茂之(フジタ)

新任理事　立成良三(大阪府建築部)
退任理事　辰己興一(フジタ)
退任理事　城戸義雄(大阪府建築部)
退任理事　中島　一(愛知工業大学)

寄付の受領

このたび、松田至弘・前専務理事兼事務局長より、日本建築協会役員等有志の方々から同氏あてに寄せられた記念品料の全額を、協会にご寄付いただきました。

ここに誌して、厚く御礼申し上げます。

なお、同氏より、ご拠出下さいました皆さまに〝丁重に謝意をお伝え下さいますように〟とのことでした。

日本建築協会後援「第7回アイデアコンペ」

未来の御堂筋アイデアコンペ

大阪府建築士会が毎年実施している「アイデアコンペ」の、今年の課題は「御堂筋2100年」です。

約100年後の2100年、今ある建物、これから建てられるであろう建物も寿命が尽きてしまっている御堂筋はどうあるべきか、その理想像を広く求めます。

■「御堂筋の街並イメージデザイン」

●A2判用紙に、22世紀の御堂筋の街並の表情を、その理想像をスケッチ、イラスト、絵画などで自由に表現する。

●最優秀作品1点30万円、優秀作品2点各10万円、佳作数点記念品

■「御堂筋の計画ビジョン」

●図面、パース・模型写真等、800字以内の提案主旨をA1判用紙1枚内に自由にレイアウトする。表現は自由。

●最優秀作品1点50万、優秀作品2点各10万円、佳作数点記念品

審査員　東孝光／片倉健雄／加藤源／黒川紀章／藤田邦昭／八束はじめ／吉村元男

登　録　応募者はB5用紙に氏名等所要事項と応募部門を明記して、10月1日までに下記事務局に登録する。登録料は無料。

作品受付　10月1日㈮～10月20日㈬まで。

送付先　㈳大阪府建築士会「アイデアコンペ係」(〒540 大阪市中央区常盤町1-2-17 TEL.947-1961)

平成4年度事業報告書　平成4年4月1日―平成5年3月31日

1．総　　会

（イ）通常総会

6月25日　5時半～5時50分　於本会会議室

出席者　佐野・金多正副会長ほか17名

議事　(1)平成3年度事業報告並びに決算報告承認の件
(2)平成4年度事業計画並びに収支予算承認の件

（ロ）通常総会

2月24日　5時～5時20分　於本会会議室

出席者　佐野・市川・薬袋・三品正副会長ほか10名

議事　(1)監事1名選挙の件
(2)本部所属評議員21名選挙の件
(3)監事並びに評議員重任承認の件
(4)名誉正会員推挙の件

2．評　議　員　会

（イ）定時評議員会

6月25日　5時～5時20分　於本会会議室

出席者　鶴田副議長ほか46名（委任状共）

議事　(1)平成3年度事業報告並びに決算報告承認の件
(2)理事3名補選の件

（ロ）評議員会にかえて書面表決

9月1日付をもって、日本建築協会細則の一部改正、並びに副会長1名選任についてお諮りした。

回答53名、賛成53名。

（ハ）評議員会にかえて書面表決

11月16日付をもって、平成5年度評議員選出数（54名）決定についてお諮りした。

回答51名、賛成51名。

（ニ）定時評議員会

3月24日　5時～5時半　於本会会議室

出席者　高橋議長ほか47名（委任状共）

議事　(1)評議員会議長、副議長互選の件
(2)副会長2名、理事24名選任の件
(3)平成5年度事業計画承認の件
(4)平成5年度収支予算承認の件
(5)日本建築協会細則一部改正の件

3．理　　事　　会

定例理事会　7回　　**常任理事会**　4回

4．委　　員　　会

	委員会	幹事会・小委員会 分科会・打合会等
(1)編集委員会	12回 座談会8回	99回
(2)事業委員会	7回	62回
(3)建材委員会	10回	見学会1回
(4)教育委員会	2回	14回
(5)出版委員会	10回	

5．新　建　材　検　討　会

5月13日　複合システム天井
6月17日　簡易型自動消火装置
7月8日　ダブルアール
9月9日　ゲルフィットロープ(ペントナイト系止水材)
10月14日　アクソナイト&エルコ(超耐久性高分子エマルション)
11月11日　カラートップSR(ウレタン樹脂系防水・耐久床材)
12月9日　セラパルト(偏光タイル)
1月13日　HEX型立体駐車場

6．講　　演　　会

妹島和世氏講演会

7月31日　6時半～8時半　於イトーキ大阪クリスタルホール

参加者　147名

タワープラザアベニュー講演会

11月26日　2時～4時半

講　演　増田　仁氏（大林組建築設計部課長）

参加者　57名

構造設計者が語る「P&G日本本社ビル」

1月28日　6時半～8時15分　於本会サロン

講　演　丸岡義臣氏（竹中工務店設計部次長）

参加者　39名

7．建築工事実務講習会

〔大阪開催・施工計画〕

9月2日　9時～5時　於建設交流館

科目・講師

●施工計画Ⅰ
中川　徹氏（清水建設建築技術部部長）

●施工計画Ⅱ
高橋憲昭氏（松村組建築部次長）

受講者数　148名

〔大阪開催・積算仮設見積〕

9月16日　9時～5時　於建設交流館

科目・講師

●積算業務
橋目福司氏（竹中工務店見積部見積課長）

●仮設見積
藤井孝晏氏（大林組建築工務部副部長）

受講者数　132名

〔東海支部開催〕

10月14日　9時半～5時　於昭和ビル

科目・講師

●施工計画
岩田正弘氏（清水建設名古屋支店生産システム部部長）

●仮設見積
佐藤達雄氏（大林組名古屋支店建築工務部工務課長代理）

●積算業務
尾関友四郎氏（竹中工務店名古屋支店見積部部長）

受講者数123名

8．話　題　建　築　を　聞　く

ホテル川久―永田裕三氏に聞く

10月19日　6時～8時半　参加者　47名

風の万華鏡―新宮　晋氏に聞く

10月26日　2時～4時　於大阪建設会館　参加者　42名

9．見　　学　　会

千里ライフサイエンスセンター見学会

6月25日　2時～4時半

参加者　73名

●建築概要
所在地　豊中市新千里東町1-4-2
設　計　東畑建築事務所
施　工　大林・清水・錢高JV

音楽と建築Vol．2森のホール・バロックコンサート

7月25日　2時～8時

見学会　布引ハーブ園内「森のホール」「展望レストラン」等

●布引ハーブ園建築概要
設　計　神戸市住宅局営繕部、浦辺設計
施　工　青木建設

演奏会　バロックコンサート
演奏：ムジカ・アンティカ・バジリエンシス

参加者　207名

梅田スカイビル建設工事見学会

8月27日　1時半～4時

参加者　68名

●建築概要
所在地　大阪市北区大淀中1-1-20
設　計　原広司＋アトリエ・ファイ建築研究所
施　工　竹中・大林・鹿島・青木JV

神戸ハーバーランド見学会

9月1日　1時～5時　参加者　163名

●オーガスタプラザ
設計監理　安井建築設計事務所
施　工　竹中工務店・大林組・鴻池組JV

●ダイヤニッセイビル、モザイク
設計施工　竹中工務店

P&G日本本社建設工事見学会

9月10日　2時～4時半　参加者　83名

●建築概要
所在地　神戸市東灘区向洋町中1
設計施工　竹中工務店

都ホテル東新館見学会

9月22日　2時～4時半　参加者　57名

●建築概要
所在地　京都市東山区粟田口華頂町1
設　計　意匠・構造　村野、森建築事務所
設備　大林組一級建築士事務所
施　工　建築　大林組・藤木工務店・大日本土木共同企業体

阪急茶屋町ビルディング見学会

10月8日　10時～12時半　参加者　49名

●建築概要
所在地　大阪市北区茶屋町19-1
設　計　竹中工務店、シアターデザイン、イントラ・デザイン
施　工　竹中工務店

兵庫県公館見学会

10月27日　2時半～4時半　参加者　30名

●建築概要
所在地　神戸市中央区下山手通4-4-1
設　計　兵庫県都市住宅部営繕課
施　工　竹中工務店・熊田工務店JV

ホテル川久見学会

11月13日　11時～3時半・参加者　23名
11月17日　11時～3時半・参加者　20名

関西国際空港建設現場見学会

11月24日　1時15分～3時・参加者　27名

桜宮リバーシティ　ウォータータワープラザ
タワープラザアベニュー見学会

11月26日　2時～4時半

●ウォータータワープラザ建築概要
所在地　大阪市都島区中野町5-13-3.4
建築主　MKOグループ（松下興産、近鉄不動産、大林組）
設計施工　大林組

宝塚大劇場（Ⅱ期）見学会

12月3日　2時～4時半　参加者　116名

●建築概要
設計監修　阪急電鉄
設　計　竹中工務店、シアターデザイン
施　工　竹中工務店

ORC200（弁天町駅前開発）見学会

2月18日　1時半～5時15分　参加者　111名

●建築概要
所在地　大阪市港区弁天1-2
事業主　土地信託受託者（大和銀行、住友信託銀行、三菱信託銀行、三井信託銀行）
設計監理　設計監理業務共同設計体（安井建築設計事務所、アール・アイ・エー、昭和設計）
施　工　清水、長谷工・鴻池建設共同企業

大阪市立大学医学部附属病院見学会

3月25日　1時～4時　参加者　81名

●建築概要
所在地　大阪市阿倍野区旭町
設計監理　大阪市都市設備局・日建設計
建築施工　竹中・東急・奥村建設工事共同企業体

10.展　　覧　　会

くまもとアートポリス大阪展
15日～20日　10時～７時　於日本建築協会サロン
21作品写真パネル展示＋ビデオ映写
参加者　273名

11．ビ デ オ 映 写 会

現代建築家ビデオシリーズ
●フランク・ロイド・ライト
11月25日　７時～８時15分　於本会会議室
参加者　５名
●フィリップ・ジョンソン
12月２日　７時～８時　於本会会議室
参加者　３名

12.コ　ン　ク　ー　ル

第38回工高生デザインコンクール
設計課題　郊外に建つショールーム
応 募 数　24校136点
審 査 員　10月24日
表 彰 式　11月14日
審査委員長　西村征一郎（京都工芸繊維大学）
入　選　作　10点（内最優秀１点、優秀２点）

13．表　彰　状　授　与

□全国の工業高等専門学校、高等学校、専修学校建築科の優秀卒業生に対し本会会長の表彰状を授与しており本年４月卒業生のうち209校235名を表彰した。
□大阪府公共建築設計コンクールにおいて、佳作１点に対し、日本建築協会賞を贈った。

14．会誌「建築と社会」（特集号）

４月号　建築家のための設備知識
　―集合高層住宅の設備システム―
５月号　地球環境時代の建築
６月号　街創り、住まい創り
　―住宅・都市整備公団関西支社10周年―
７月号　木構造を使ってみませんか
　―集成材による構造―
８月号　接着―建築分野への限りなき可能性―
９月号　中国地方の街並みと建築家の「語り、夢、作品」
10月号　屋台―仮設の魅力に学ぶ―
　ハウジングのメインストリームを探る
　―戦後ハウジングの回顧と展望―
11月号　いま建築教育に何が期待されているか
12月号　京のかたちと色
　―京都支部創設45周年記念―
１月号　第39回青年技術者
　東畑建築事務所60周年記念作品集
２月号　大阪府営繕
３月号　東海の美術館・博物館

15．会誌「建築と社会」（復刻版）

創立75周年の記念事業として「建築と社会」（創刊号から昭和30年まで）の完全復刻版の刊行に着手し、第２回～第５回配本（大正８年４月号から大正15年８月号まで）を行った。

16．出　　版

□**建築技術選書＜特装版＞**
「建築と緑」瀧光夫著

17．プロのノウハウ講座

自然環境を見つめた「木づくりの常識非常識」
６月24日　６時半～８時半　於本会会議室
講　師　上村武氏（㈶日本住宅・木材技術センター顧問）
参加者　25名
―建築と緑―シャープ労働組合研修レクリエーションセンター「アイ・アイ・ランド」見学と講演
10月13日　４時～７時　於アイ・アイ・ランド
講　師　瀧　光夫氏（瀧光夫建築・都市設計事務所主宰）
参加者　118名

18．午餐会・懇談会等

在阪建築11団体会長午餐会
11月10日　11時半～２時　於大阪ガスビル８階
出席者　各会正副会長、支部長、事務局　計30名
建築関係団体合同忘年懇親会
12月14日　６時～７時半　於太閤園
出席者　350名
建築関係11団体合同新年交礼会
１月４日　２時半～３時半　於大阪コクサイホテル
出席者　730名

19．会　　計　　監　　査

５月６・７日
太田昭和監査法人による平成３年度の会計調査実施。
６月18日
監事による平成３年度の会計監査実施。

20．委 託 業 務 の 受 託

●高層住宅の計画に関する調査研究
（委託者　竹中工務店）
●公社集合分譲住宅住まい方調査研究
（委託者　大阪府住宅供給公社）
●国際文化公園都市住宅・住環境形成計画調査
（委託者　大阪府、住宅・都市整備公団、国際文化公園都市建設協議会）
●今後の都市居住ニーズの動向に関する調査
（委託者　大阪市住宅整備公社）

21．本会が入会している団体

大阪商工会議所
大阪市街地再開発促進協議会
建築行政協会大阪市支部
建築国際連絡協議会　５団体　事務局：学会
建築関係団体連絡会　80団体　事務局：建築センター
四会連合工事請負契約約款連合委員会
大阪住宅振興協議会　24団体　事務局：大阪住宅センター
大阪府社会保険協会
大阪市北区納税協会
大阪市防火管理協会

22.本会より役員を送っている団体

大阪商工会議所	２号議員
大阪市街地再開発促進協議会	理　事
日本建築総合試験所	理　事
日本建築センター	評議員
大阪建築防災センター	理　事
大阪住宅センター	理　事

23．建　築　ク　ラ　ブ

会員有志の組織する建築クラブでは、毎月大阪グランドホテルにおいて講師を招き朝食会を行うほか、１月は新年宴会（晩餐）を開催して相互の親睦をはかっている。

24．ゴ　ル　フ　同　好　会

会員のゴルフ同好者をもって組織し、年間５回の定例競技会を開催して、ゴルフを通じて会員相互の親睦、研鑽を図っている。

25．後援または協賛した会

□RM構造施工管理マニュアル講習会
主催　アールエム建築推進協議会
４月19日　於大阪市建設交流館
□第１回トリエンナーレ奈良
主催　㈶世界建築博覧会協会
５月16日～６月14日　於奈良県立美術館
□ギャラリー・間建築講演会
主催　INAXギャラリー
５月21日　於朝日生命ホール
□ニュービルディング関西'92
主催　㈳日本能率協会
５月21日～23日　於マイドームおおさか
□第12回'93総合建築材料・設備展
主催　㈳日本建築材料協会・日本工業新聞社
５月26日～29日　於インテックス大阪１号館
□「1992 KOBE インターナショナルホームフェア」
主催　「KOBEインターホーム'92」組織委員会
６月４日～７日　於神戸ポートアイランド
□「木目から見た日本の近代建築」
主催　㈱日建設計
６月24日　於日建設計大阪　地下会議室
□環境クリエーションフェア
主催　環境クリエーションフェア実行委員会
６月24日～26日　於日比谷公園
□「蓄熱空調フェア」
主催　関西電力㈱
８月26日～28日　於大阪国際見本市会場
□建築新技術展/国際セミナー
―A/E/C SYSTEMS JAPAN '92
主催　A/E/C SYSTEMS JAPAN組織委員会
９月９日～11日　於池袋サンシャインシティ
□第３回大阪施設緑化賞「みどりの景観賞」
主催　大阪府建築部
９月14日
□見学・討論会「建築と街づくりを考える―PART４―」
主催　日本建築学会近畿支部
同支部「建築と街づくりを考える」企画打合せ会同支部計画系研究部会
９月24日　於神戸ファッションマート９階　大会議室
□第２回建築セミナー「村野藤吾に学ぶ」
主催　㈱同朋舎出版
10月15日　於綿業会館
□第14回'92住宅設備展/ホームアメニティ
主催　㈳日本能率協会、㈳日本住宅設備システム協会
10月14日～17日　於東京国際見本市会場
□大阪府開発指導行政協議会設立20周年記念講演会
主催　大阪府・大阪府開発指導行政協議会
11月９日　於大阪赤十字会館
□柳々堂創業100年記念シンポジウム
主催　柳々堂
11月17日　於朝日生命ホール
□21世紀の都市像シンポジウム
主催　千里30年まつり実行委員会
11月18日～20日　於千里ライフサイエンスセンター
□第２回AFシンポジウム
主催　建築フォーラム（AF）
11月19日　於大阪YMCホール
□第12回大阪まちなみ賞（大阪都市景観建築賞）
主催　大阪府・大阪市・大阪府建築士会
記念講演・表彰式／11月
□第15回情報・システム・利用・技術シンポジウム
主催　㈳日本建築学会
12月14日～15日　於建築会館ホール・会議室
□第15回材料講習会
共催　日本材料学会、京都リサーチパーク
12月16日～18日　於京都リサーチパーク
□'93オフィス環境展
主催　㈳日本能率協会
２月３日～６日　於日本コンベンションセンター
□講習会「アトリウムを考える」
主催　㈳日本建築学会近畿支部
３月11日　於建築交流館
□「建築情報センター20周年記念講演会及びシンポジウム」
主催　㈳大阪府建築士会建築情報センター
３月12日　於建設交流館
□第２回大阪府公共建築設計コンクール
主催　大阪府建築部
３月24日　於大阪府立労働センター
□第90回材料セミナー
主催　日本材料学会
３月26日　於日本材料学会大会議室
□'93経営セミナー中堅幹部研修会
主催　㈳新日本建築家協会近畿支部
３月27日　於新建保会館
□第２回大阪府公共建築設計コンクール
主催　大阪府
審査会／２月３日　表彰式／３月24日

平成４年度決算報告書

収支決算書

平成４年４月１日から平成５年３月31日まで

（単位：円）

科目	予算額	決算額	差異
Ⅰ 収入の部			
1 会費収入	**68,514,000**	**66,636,030**	**1,877,970**
個人正会員	27,360,000	26,063,550	1,296,450
地方会員	1,938,000	1,871,200	66,800
団体正会員	39,000,000	38,528,480	471,520
準会員	216,000	172,800	43,200
2 事業収入	**94,050,000**	**108,766,736**	**△14,716,736**
会誌収入	62,000,000	67,099,886	△5,099,886
契約約款売上収入	2,500,000	989,070	1,510,930
出版委員会収入	1,700,000	1,778,744	△78,744
事業委員会収入	4,500,000	2,677,780	1,822,220
教育委員会収入	3,000,000	4,114,739	△1,114,739
建材委員会収入	240,000	200,000	40,000
受託事業収入	18,180,000	29,510,000	△11,330,000
雑収入	1,930,000	2,396,517	△466,517
3 寄付金収入	**500,000**	**400,000**	**100,000**
4 雑収入	**3,500,000**	**3,435,154**	**64,846**
5 記念事業積立金取崩収入	**500,000**		**500,000**
6 前受金収入		**2,330,650**	**△2,330,650**
7 仮受金収入		**1,158,802**	**△1,158,802**
8 退職給与引当金取崩収入	**624,000**		**624,000**
当期収入合計（A）	**167,688,000**	**182,727,372**	**△15,039,372**
前期繰越収支差額	**35,589,000**	**30,205,102**	**5,383,898**
収入合計 （B）	**203,277,000**	**212,932,474**	**△9,655,474**
Ⅱ 支出の部			
1 事業費	**89,440,000**	**105,773,638**	**△16,333,638**
会誌発行費	59,000,000	67,071,431	△8,071,431
契約約款費	1,100,000	52,836	1,047,164
出版委員会事業費	400,000	721,259	△321,259
事業委員会事業費	4,500,000	3,623,949	876,051
教育委員会事業費	1,500,000	2,141,446	△641,446
建材委員会事業費	140,000	11,425	128,575
記念事業費	500,000	22,789	477,211
助成費	2,700,000	2,580,338	119,662
受託事業費	17,300,000	27,448,773	△10,148,773
雑費	2,300,000	2,099,392	200,608
2 管理費	**77,954,000**	**78,570,941**	**△616,941**
給与・手当	58,000,000	55,763,938	2,236,062
退職金	624,000	2,696,676	△2,072,676
福利厚生費	6,740,000	6,448,722	291,278
会議費	1,200,000	1,263,285	△63,285
旅費交通費	400,000	98,770	301,230
通信運搬費	1,100,000	942,689	157,311
集金費	1,400,000	1,369,202	30,798
消耗品費	500,000	478,315	21,685
修繕費	50,000	0	50,000
印刷製本費	400,000	397,578	2,422
光熱水費	230,000	214,750	15,250
火災保険料	15,000	14,250	750
租税公課	2,800,000	4,201,810	△1,401,810
清掃費	175,000	246,273	△71,273
建物管理費	3,920,000	3,910,308	9,692
雑費	400,000	524,375	△124,375
3 中国ファンド積立支出		**16,058**	**△16,058**
4 退職給与積立預金積立支出		**303,324**	**△303,324**
5 前払費用支出		**2,137,800**	**△2,137,800**
6 予備費	**294,000**	**0**	**294,000**
7 仮払金支出		**363,008**	**△363,008**
当期支出合計（C）	**167,688,000**	**187,164,769**	**△19,476,769**
当期収支差額（A）-（C）	**0**	**△4,437,397**	**△4,437,397**
次期繰越収支差額（B）-（C）	**35,589,000**	**25,767,705**	**△9,821,295**

正味財産増減計算書

平成４年４月１日から平成５年３月31日まで

（単位：円）

科目	金額
Ⅰ 増加の部	
1．資産増加額	
中国ファンド増加額	16,058
退職給与積立預金増加額	303,324
前払費用増加額	2,137,800
仮払金増加額	363,008
2．負債減少額	0
増加額合計	**2,820,190**
Ⅱ 減少の部	
1．資産減少額	
当期収支差額	4,437,397
什器減少額	94,500
2．負債増加額	
退職給与引当金繰入額	303,324
前受金増加額	2,330,650
仮受金増加額	1,158,802
減少額合計	**8,324,673**

当期正味財産減少額	**5,504,483**
前期繰越正味財産額	**293,639,015**
期末正味財産合計額	**288,134,532**

貸借対照表

平成５年３月31日現在

(単位：円)

科　目	金　額	科　目	金　額
Ⅰ　資産の部		**Ⅱ　負債の部**	
流動資産	**50,087,393**	**流動負債**	**50,594,358**
現　金・預　金	22,300,212	未　払　金	21,174,847
金　銭　信　託	1,171,730	前　受　金	27,931,305
未　収　入　金	23,470,610	仮　受　金	1,488,206
前　払　費　用	2,399,641	**固定負債**	**6,303,324**
仮　払　金	745,200	退職給与引当金	6,303,324
固定資産			
基本財産	**277,223,364**		
土　　地	59,800,000		
建　　物	191,120,000	**Ⅲ　正味財産の部**	
金　銭　信　託	10,586,957	**正　味　財　産**	**288,134,532**
預　　金	15,716,407	(うち基本金)	(277,223,364)
その他の固定資産	**17,721,457**	(うち当期正味財産減少額)	(5,504,483)
什　　器	205,760		
中国ファンド	404,956		
退職給与積立預金	6,303,324		
記念事業積立預金	10,807,417		
資産合計	**345,032,214**	**負債及び正味財産合計**	**345,032,214**

計算書類に対する注記

１．重要な会計方針

(1)有価証券の評価基準及び評価方法について

該当なし。

(2)固定資産の減価償却について

定額法による減価償却を実施している。

(3)引当金の計上基準について

退職給与引当金……期末退職給与の要支給額に対し任意の金額を計上している。

(4)資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、未収入金及び未払金を含めている。

(5)消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

２．基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
土　地	59,800,000	—	—	59,800,000
建　物	191,120,000	—	—	191,120,000
金銭信託	10,586,957	—	—	10,586,957
預　金	15,716,407	—	—	15,716,407
合計(基本金)	277,223,364	—	—	277,223,364

３．次期繰越収支差額の内容は、次の通りである。

科　目	前期末残高	当期末残高
現金預金	25,115,943	22,300,212
金銭信託	650,643	1,171,730
未収入金	21,486,530	23,470,610
合　計	47,253,116	46,942,552
未払金	17,048,014	21,174,847
合　計	17,048,014	21,174,847
次期繰越収支差額	30,205,102	25,767,705

４．固定資産の取得価格、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科　目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
建　物	191,120,000	0	191,120,000
什　器	1,112,560	906,800	205,760
合　計	192,232,560	906,800	191,325,760

５．借入金限度額

借入金限度額は、20,000,000円である。

財産目録

平成５年３月31日

(単位：円)

科　目	金　額
Ⅰ　資産の部	
１．流動資産	
現金・預金	22,300,212
現　金　手許有高	111,225
普通預金　三和銀行　瓦町支店	9,085,257
大和銀行　北浜支店	123,427
住友銀行　高麗橋支店	4,628,736
中央信託銀行梅田支店	2,948,364
定期預金　〃　〃	4,283,593
郵便振替	1,119,610
金銭信託	1,171,730
未収入金	23,470,610
会誌収入	10,778,480
個人正会員会費収入	2,466,850
団体正会員会費収入	243,330
地方会員会費収入	67,150
準会員会費収入	31,800
建材委員会収入	120,000
受託事業収入	9,710,000
雑収入	53,000
前払費用	2,399,641
会誌発行費	1,374,352
助成費	24,521
受託事業費	1,000,618
集金費	150
仮払金	745,200
郵券代	249,416
印刷代	141,910
福利厚生費	107,717
都市住宅学会	193,211
その他	52,946
流動資産合計	**50,087,393**
２．固定資産	
(1)基本財産	
土地　北区梅田1-1-3	59,800,000
建物　大阪駅前第３ビル	191,120,000
金銭信託　中央信託銀行梅田支店	10,586,957
預金　中央信託銀行梅田支店	15,716,407
基本財産合計	**277,223,364**
(2)その他の固定資産	
什器　大阪駅前第３ビル	205,760
中国ファンド　ユニバーサル証券大阪支店	404,956
退職給与積立預金　住友銀行　高麗橋支店	6,303,324
記念事業積立預金　大和銀行　北浜支店	10,000,000
住友銀行　高麗橋支店	807,417
その他の固定資産合計	**17,721,457**
固定資産合計	**294,944,821**
資産合計	**345,032,214**
Ⅱ　負債の部	
１．流動負債	**50,594,358**
未払金	21,174,847
会誌発行費	5,029,449
出版委員会事業費	221,057
受託事業費	14,807,537
集　金　費	96,600
助成金支出	128,004
未払消費税	892,200
前受金	27,931,305
個人正会員会費収入	6,005,935
団体正会員会費収入	14,506,670
地方会員会費収入	715,200
準会員会費収入	21,600
会　誌　収　入	1,646,000
６年度正会員会費収入	5,500
復　刻　版　代	5,030,400
仮受金	1,488,206
３月分給与税金	148,620
３月分204条該当分	132,443
社会保険料	42,750
都市住宅学会	245,000
広告手数料	579,630
建築クラブ会費	36,000
誤入金ほか	303,763
２．固定負債	**6,303,324**
退職給与引当金	6,303,324
Ⅲ　正味財産の部	
正味財産	**288,134,532**
負債及び正味財産合計	**345,032,214**

平成５年度

日本建築協会役員会務分掌(敬称略)

名誉会長	東畑謙三	(東畑建築事務所)	
〃	塚本猛次	(日建設計)	
会長	佐野正一	(安井建築設計事務所)	
副会長	三品哲夫		総務・会計・事務局担当
〃	金多潔	(京都大学)	研修・編集担当
〃	薬袋公明	(日建設計)	研修・編集担当
〃	市川宏	(東畑建築事務所)	会勢・事業担当
〃	鴻池藤一	(鴻池組)	会勢・事業担当

理事(○印常任理事)

(総務) 6名
伊藤良彦(三晃空調)
大林芳郎(大林組)
栗原信英(栗原工業)
中西孝(マンテン)
松村雄吾(松村組)
○村上秀夫(村上総合事務所)

(会計) 5名
奥村俊夫(奥村組)
錢高善雄(錢高組)
菅谷節(ダイダン)
堀亀久治(三機工業)
○前野慶太郎(あめりか屋)

(編集) 10名
井上豊(大阪大学)
金井弘次(阪急電鉄)
○荒井清(東畑建築事務所)
○小島雄(鹿島建設)
○須賀好富(近畿大学)
竹中錬一(竹中工務店)
○深江実(アスワン)
○松村慶三(浦辺設計)
○溝神宏至朗(安井建築設計事務所)
若山繁(きんでん)

(会勢) 11名
淺沼禎夫(淺沼組)
○藤阪利為(大林組)
○岡本行善(昭和設計)
原田孝太郎(原田セメント化工)
○小林四郎(住友電設)
鴻池一季(鴻池組)
○城口庸平(大阪城口研究所)
○西東茂之(フジタ)
○田村真二(竹中工務店)
西川秀信(戸田建設)
森井哲也(清水建設)

(事業) 7名
臼井眞三(熊谷組)
今村祐三郎(大阪建設業協会)
○多井幸男(多井建築研究所)
藤木鐵三(藤木工務店)
伴昭秀(西原衛生工業所)
岡本宏行(大阪市都市整備局)
真鍋正宏(住宅・都市整備公団)

(研修) 6名
○片倉健雄(近畿大学)
立野一郎(ユニオン)
○久徳敏治(日本建築構造技術者協会)
市川正美(大成建設)
立成良三(大阪府建築部)
○和田克朗(日本建築総合試験所)

常務理事 野上淳二

(監事) 尾亀清四郎(三晃空調)・牧田顯治(安井建築設計事務所)

■訂正とおわび
6月号に掲載した日本建築協会役員・委員の名簿のうち、
6月号3Pの名簿に誤りがありました。
おわびして訂正し、再掲いたします。

平成５年度

日本建築協会評議員(敬称略)

議長 高橋保夫(錢高組)
副議長 鶴田昭一(大林組)

本部所属評議員

(技術部門)
荒川治徳(清水建設)
片田俊彦(大阪府住宅供給公社)
下笠晃右(大阪市都市整備局)
下村健治(修成建設専門学校)
玉井龍男(近畿地建)
鶴田昭一(大林組)
名手宏彦(ミサワホーム)
山形政昭(大阪芸術大学)
山尾弘子(インタープラン)

(総合部門)
伊藤俊夫(松村組)
岩出正次(岩出建設)
内村俊一(大日本土木)
大塚日出夫(淺沼組)
上出秀雄(藤木工務店)
楠正世(戸田建設)
柴田邦彦(間組)
白石静二(鴻池組)
杉山慎一(三井建設)
高橋保夫(錢高組)
飛岡宏佳(安藤建設)
中川公善(鉄建建設)
原精一(コーナン建設)
三木敏男(奥村組)
宗澤修郎(西松建設)
森田勇(モリタ建設)
和田眞一(東和組)

(電気部門)
荒巻恭士(きんでん)
今村騰(中央電気工業)
岩橋貞雄(八千代電設工業)
高岸宗吾(近畿工業)

(管工部門)
臼井弘(須賀工業)
川瀬甲子雄(扶桑管工業)
清水義一郎(清水工業所)
田崎至成(日比谷総合設備)
福谷守弘(朝日工業社)

(建材部門)
江藤正昭(万年スレート)
恩庄二郎(大阪化工)
小西信一郎(コニシ)
永原義夫(王建工業)

支部所属評議員

(東海支部)
林金之(愛知工業大学)
盛田輝勇(丸善深見建装)
小宮三辰(安井建築設計事務所)
松本壮一郎(愛知工業大学)

(京都支部)
秋山明孝(清水建設)
神谷治(神治屋)
山口明(伏見工業高校)
山田昌次(花豊造園)

(和歌山支部)
井村真哉(井村建築設計事務所)
宮本一宏(栄建工業)

(中国支部)
井上弘美(アオケン)
福永敏男(福永建設)
稲葉登(大之木建設)
清田剛一(清田工務店)

日本建築協会支部長(敬称略)

東海 森口雅文(伊藤建築設計事務所)
京都 井出正己(清和建築設計事務所)
和歌山 北山俊(日新建設工業)
中国 平本俊秋(日興)

平成５年度

日本建築協会特別委員会委員(敬称略)

■企画委員会

協会の今後の運営を検討、審議する。

委員長 片倉健雄(近畿大学)
委員 小林四郎(住友電設)
松村慶三(浦辺設計)
三木敏男(奥村組)
村上秀夫(村上総合事務所)
山形政昭(大阪芸術大学)
和田克朗(日本建築総合試験所)

建築と社会

1993 7 1917年創刊 第74集／通巻856号

ARCHITECTURE AND SOCIETY

JOURNAL OF THE ARCHITECTURAL ASSOCIATION OF JAPAN

〈今月の表紙〉東出清彦

直径が鉛筆の芯ほどの柄を石に付着させて、蜂の巣がぶら下がっている。昆虫学者奥谷禎一博士によると、キアシナガバチが住宅地の石垣に巣を造るのは珍しいとのこと。雨風、直射光、外敵などを凌ぐ格好の傾斜面に六角形の部屋を38室。企画、建築、施工から産卵、働き蜂の誕生まで全仕事を唯一匹の女王蜂が1月程でやり遂げる。真夏日には、口に水を含んできて、クーラー効果に散水もするそうだ。

■特集予告

8月号／建築の再生
大阪市営繕

9月号／国際パートナーシップの可能性

会長　佐野正一
副会長　金歩　潔・菱袋公明
市川　宏・鴻池藤一
三品哲夫

編集委員会（平成5年度）

■編集理事
◎荒井　清
井上　豊
金井　弘次
小島　雄
須賀　好富
竹中　錬一
深江　實
松村　慶三
溝神宏至朗
若山　繁

■編集顧問
東　孝光

■編集委員
★計画系分科会
☆計画系
伊縫　惠幸
梅村　宏尚
小浦　久子
鈴木　克彦
田中　直人
林　輝行
松川　敏正
山尾　弘子
横関　真紀
※吉村　英祐
☆建築計画系
※石山　道男
礒村千恵子
上杉　秀隆
江副　敏史
菅野　忠司
清本　明宏
笹村　欽也
佐藤不二男
塚本　史朗
刃金　国男
山本　匡
☆インテリア・住宅系
石川　佳子
大橋眞由美
大森　智子
加藤　力
角方　利幸
河合　邦子
北浦かほる
小梶　吉隆
小島　保人
駒田　哲男
中村　孝之
畑　康之
※福田　由利
★構造分科会
和泉　一義
岡本　達雄
亀井　功
黒木　安男
竹野　富夫
築谷　朋也
※二宮　利治
西　邦弘
西村　泰志
馬場　研介
賀輪　幸男

★設備分科会
石沢　重治
遠藤　進
大田　克彦
※梶井　宏修
河津　隆之
伊達　正雄
田ノ畑好幸
村上幸三郎
★施工材料分科会
有光　利治
植田　実
小椎八重猛
※志水　史典
野口　和宏
村上　信直
★法令分科会
※生駒　芳明
乾　康雄
入江田吉仁
樫田　攻
加藤　輝男
廣田　美清
■作品作風小委員会
遠藤　公介
小笠原絵理
尾崎　久純
岡本　隆
川上比奈子
倉澤奈千子
桜井　俊郎
田中　均一
富田　昌義
藤城　義丈
前川　治彦
前田　幸宏
◎松田　善弘
松村　衛
水川　尚彦
宮地雄一郎
■会員企画小委員会
伊藤　郁郎
稲木　裕子
槽谷　浩史
小板橋鉄雄
佐伯由紀子
佐野　洋
坂田　耕一
高田　光雄
○高橋　麗子
塚口　明洋
増渕　昌利
松石　千秋
山嵜　章子
■広告企画小委員会
池渕　俊男
上井　善一
尾崎　英直
○勝　一弘
衣川　徳好
原田　常介
菱田信八郎
藤田　孝吉
山下　修司

◎委員長　○副委員長　※幹事

印刷　平成5年7月20日
発行　平成5年7月25日
発行人　社団法人日本建築協会
発行所　社団法人日本建築協会
大阪市北区梅田1-1-3-2100
電　06－348－0635
振替口座 大阪1-39975
印刷所　青葉印刷株式会社
電　06－351－5428代
サン総合印刷株式会社
電　06－454－1481代
日本電植株式会社
電　06－352－7502
定価　980円（本体価格951円・送料共消費税29円）

CONTENTS

特集● けいはんなプラザ・住友ホール

設計監理——日建設計・大阪
施工——[ラボ棟]大林・前田・奥村・鴻池・淺沼共同企業体
[スーパーラボ棟・交流棟・外構]竹中・熊谷・フジタ・錢高・青木・森本共同企業体
[メインホール・アトリウム・会議・展示棟(住友ホール)]鹿島・住友共同企業体

[グラビア] 写真●東出清彦 —— 33

[本文] 「円」に託した知的交流の場●横川隆一 —— 49
企画●浅野　誠／石川貴之 —— 50
建築●中井　進／二宮　彰／児玉　謙／大和田精一／徳田幸弘／関　伸二／森崎　実／前田　章／堀川　晋 —— 52
情報システム●松下道行 —— 62
モニュメント●箕原　真 —— 64
ランドスケープ●森山　明 —— 65
施工●前田　亮／大霜邦彦／林　毅 —— 66
一般図・概要 —— 68

特集● 映画の中のインテリア

[対談] 映画の中のインテリア●光藤俊夫・渡辺武信 —— 70

[アンケート] 映画にみる建築、インテリアの印象的シーン—建築家、インテリアデザイナーのお薦め映画作品 —— 80
池上俊郎／歌　一洋／太田隆信／小川晋一／加藤晃規／狩野忠正／貴志雅樹／岸　和郎／北村陸夫／栗生　明／隈　研吾／駒田哲男／近藤康夫／清水泰博／瀬戸本　淳／高松　伸／竹原義二／谷　淳之介／谷山紀子／塚口明洋／中嶋龍彦／難波和彦／本多友常／三橋いく代／三好庸隆／水谷壮市／美濃吉昭／安原盛彦／吉羽逸郎
アンケート分類とお薦め映画作品●インテリア・住宅分科会 —— 91

[随想] 映画美術——その発想について—映画「豪姫」にみる日本の映画美—●西岡善信 —— 96

会告 —— 1
「プロのノウハウ」講座シリーズ(第9回)—建築デザインのための構造計画—
平成5年度建築工事実務講習会
ポスト・ホンコンバンク—香港の最新建築を訪ねる—
通常総会決議報告
定時評議員会決議報告
寄付の受領
日本建築協会後援「第7回アイデアコンペ」未来の御堂筋アイデアコンペ
平成4年度事業報告書・決算報告書

作品作風 —— 10
きのくに志学館
肥後橋ニッタイビル

Gallery —— Dub Version 大山—H別荘●中井清志 —— 14

報告 —— 17
第3回日本建築協会賞・特別賞
「コモンシティ星田」における全地中配電方式の技術開発及び適用
耐火鋼による無被覆鉄骨造建物の実用化
INAXギャラリーの活動とブックレットの刊行
まちづくり会社「黒壁」の事業展開とその成果
大型美術陶板等の開発と施工法の技術確立
制振構造の研究とダイナミックインテリジェントビルの開発

BOOK STATION —— 短評4冊●稲木裕子・毛谷村英治 —— 24

GBRCニュース —— 高速道路高架下建物の防振対策—動吸振器による実建物の制振 —— 26

追悼 —— 小林　清君の逝去を悼む●前野慶太郎 —— 28

法令コーナー —— 大阪府建築基準法施行細則の改正●浅田行則 —— 29

新建材紹介コーナー —— 天然極薄石材●元木貞次 —— 31

建築の眼 —— 32
高度技術教育の歴史はデザイン放逐の歴史●藤本尚久
集住の多様化を阻むもの●川村眞次
見舞の帰り道●楠本照男
林立する円柱が空間をつくる●三谷幸司

設備の頁 —— 室内に設備される垂直搬送装置●村田信行 —— 100

構造の頁 —— 超高強度プレキャスト鋼管コンクリート柱(RUC柱)を使用した高層ビル●岡本達雄 —— 103

施工材料の頁 —— ネジスリーブ工法●小曽根茂雄 —— 104

information —— 105
人と自然の博物館公開セミナー／石川県能登島ガラス美術館特別展
「デザイン・名古屋'93」デザイン・コンペティション／第5回タキロン・国際デザインコンペティション'93
アルド・ロッシ設計の大型店舗が岐阜にオープン／アーキテクチュア・フェアKOBEで建築パース展
国際デザイン・アオード受賞者／検定試験のための講習会
病院建築に関する研修会／病院建築賞(第3回)募集

出版委員会REPORT —— "Cost Controlの重要性"—生島道春著「入門・建築積算」から—●須賀好富 —— 106

月報 —— 平成5年5月分 —— 107


きのくに
図書館 文化情報セ



作品風作

設計■
安井建築設計事務所

監理■
和歌山県土木部営繕課・安井建築設計事務所

施工■
大林組・錢高組・浅川組JV

きのくに志学館

きのくに志学館は、県立図書館を核に文化情報センターと文書館を併設した広義の図書館である。
県立図書館を計画する上での大きな課題は、県下の図書館サービス網の要(かなめ)である中央館としての本来の役割と、建設地周辺住民が期待する市民図書館的サービスとの兼ね合いにある。
市町村図書館等の整備状況と立地によって館の機能が異なり、建築計画も違ったものになる。本館の場合は、中央館としての調査研究機能を大切にした開架室と作業室に隣接した書庫配置、将来の資料増加を見込んだ施設容量の確保、市民図書館機能である児童室を将来の転用も考え開架室のコーナーに計画したことが特徴である。また、図書館は日常的立ち寄り施設であり、アクセスが容易で分かり易いことが大切である。メインフロアを1階に設定し、一目で資料全体が見渡せる約2,000㎡1フロアの大きな開架室を設けたことも他に類を見ないことである。　　(八木俊樹／安井建築設計事務所)

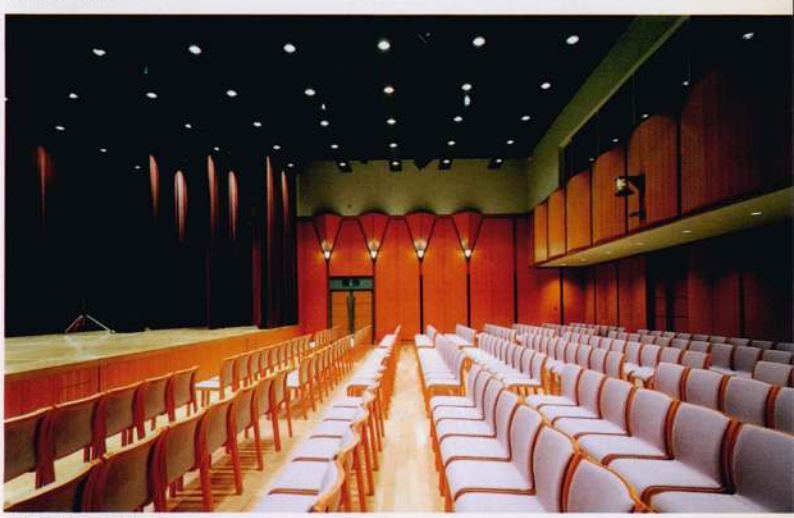


配置・1階平面図　1:2000

所在地 ——— 和歌山市西高松1-7-38
敷地面積 ——— 10,000㎡
建築面積 ——— 5,528.04㎡
延床面積 ——— 12,361.66㎡
構造規模 ——— SRC、B1F、3F
工　　期 ——— 平成3年7月～平成5年3月
最寄駅 ——— JR阪和線 和歌山駅
撮　　影 ——— 稲住泰広


1階エントランスホール


1階開架閲覧室


メディアアートホール


2階AVラウンジ



作品風作

設計監理 ■
類設計室

施工 ■
鹿島・清水建設共同企業体

肥後橋ニッタイビル

肥後橋ニッタイビルは、御堂筋と並び称される四ツ橋筋の目抜き通りに面する好立地に計画された。「合理的でありながら尚且つ独自の存在感と深みを感じさせる」ことを目的とし、基本的なデザインはカットグラスの美しさをカーテンウォールで表現する技法を用いた。直方体のエッジを斜めにそぎ落としたエメラルドグリーンのミラーガラスのファサードは周辺の新しいビル景観や空の表情を、移ろいゆく季節の変化とともに美しく映し出していく。斜めのエッジのラインはそのまま柱脚に収斂し、緊張感をはらんだバランスを秘めており、見る人には未来的な感覚と工芸的な作品のもつ優美さを予感させる。瀟洒な外観に包まれた室内空間に足を踏み入れると、御影石貼りのエントランスから、円筒形の幻想的なホールに導かれる。ここにはヘアラインのブラックマスク・エレベーターなど、抽象芸術の表現を意識した色彩・ディテールが待ち受ける。最上階のレセプションルームはオーナーの趣味をいかして、天空からの自然光で浮かび上がる石庭が配置されている。　(土山惣一郎／類設計室)



基準階平面図　1:500

所 在 地 ——— 大阪市西区江戸堀1-10-2
敷地面積 ——— 575.14㎡
建築面積 ——— 450.62㎡
延床面積 ——— 4,328.53㎡
構造規模 ——— SRC、B1F、9F、P2
工　　期 ——— 平成3年7月～平成5年2月
最 寄 駅 ——— 地下鉄四ツ橋線肥後橋駅
撮　　影 ——— 島　修一、相川経雄


外観東面


1階エレベーターホール


レセプションルーム

gallery

Dub Version

大山ー H別荘

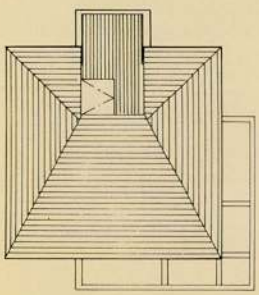
設計

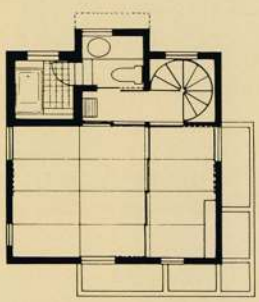
中井清志

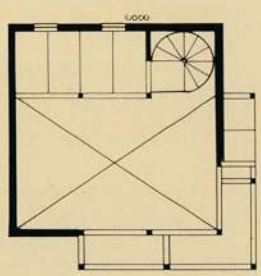
単純な形態から切り取られた空隙に、テラス機能を担った木製フレームが嵌め込まれる。
小さな別荘(魂)の中の大きな居間（空間)、更に大きな雑木林（環境)。
虚実織り混ぜの透明感を誘う4.5ｍ角のCUBEが、自然との間に、内外相互の緊張関係を作る装置として、デザインされる。
そして、 Dub Versionとして……

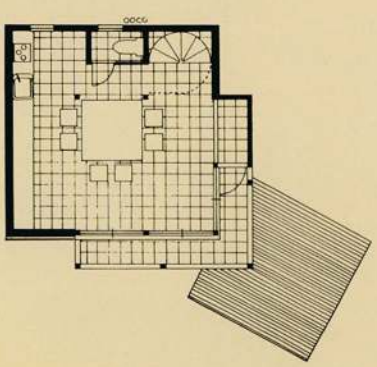
中井清志（なかいきよし）
1955　滋賀県生まれ
1978　京都工芸繊維大学・住環境学科卒業
1983　石井修・美建設計事務所
1990　中井清志建築設計事務所開設
　　芦屋芸術情報専門学校非常勤講師

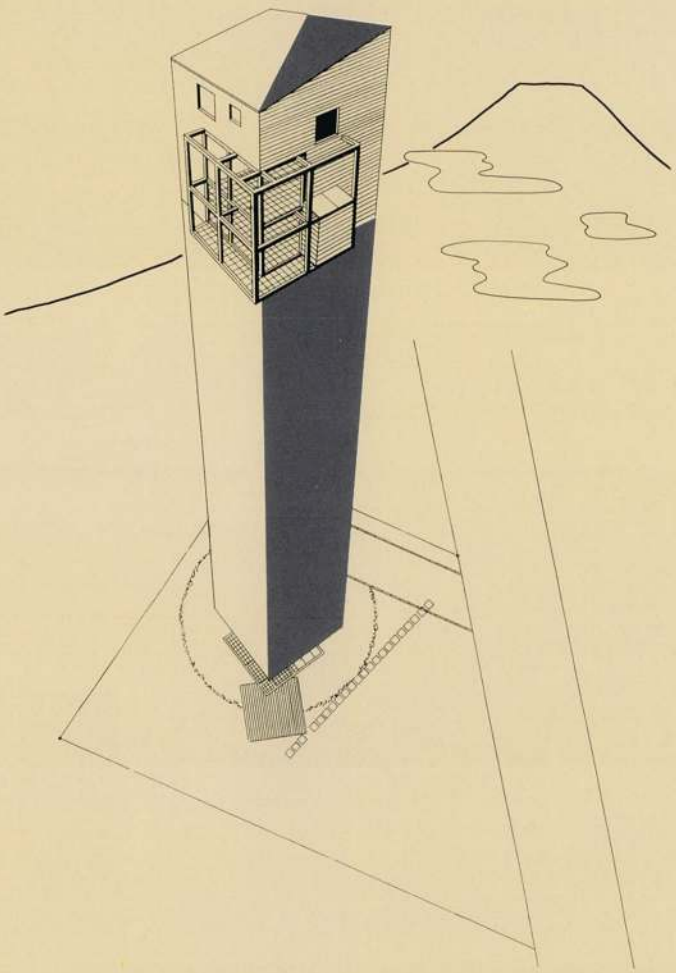
企画編集—尾崎久純(作品作風小委員会)

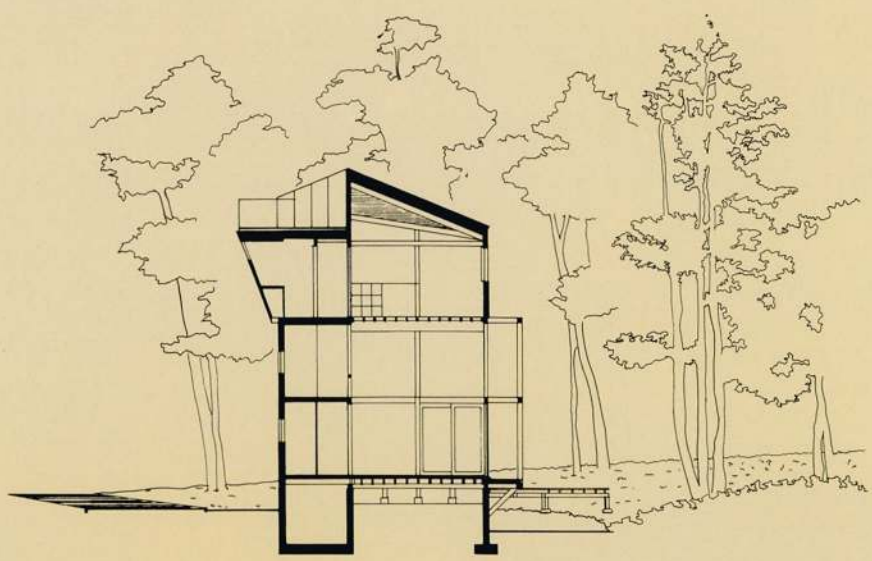


















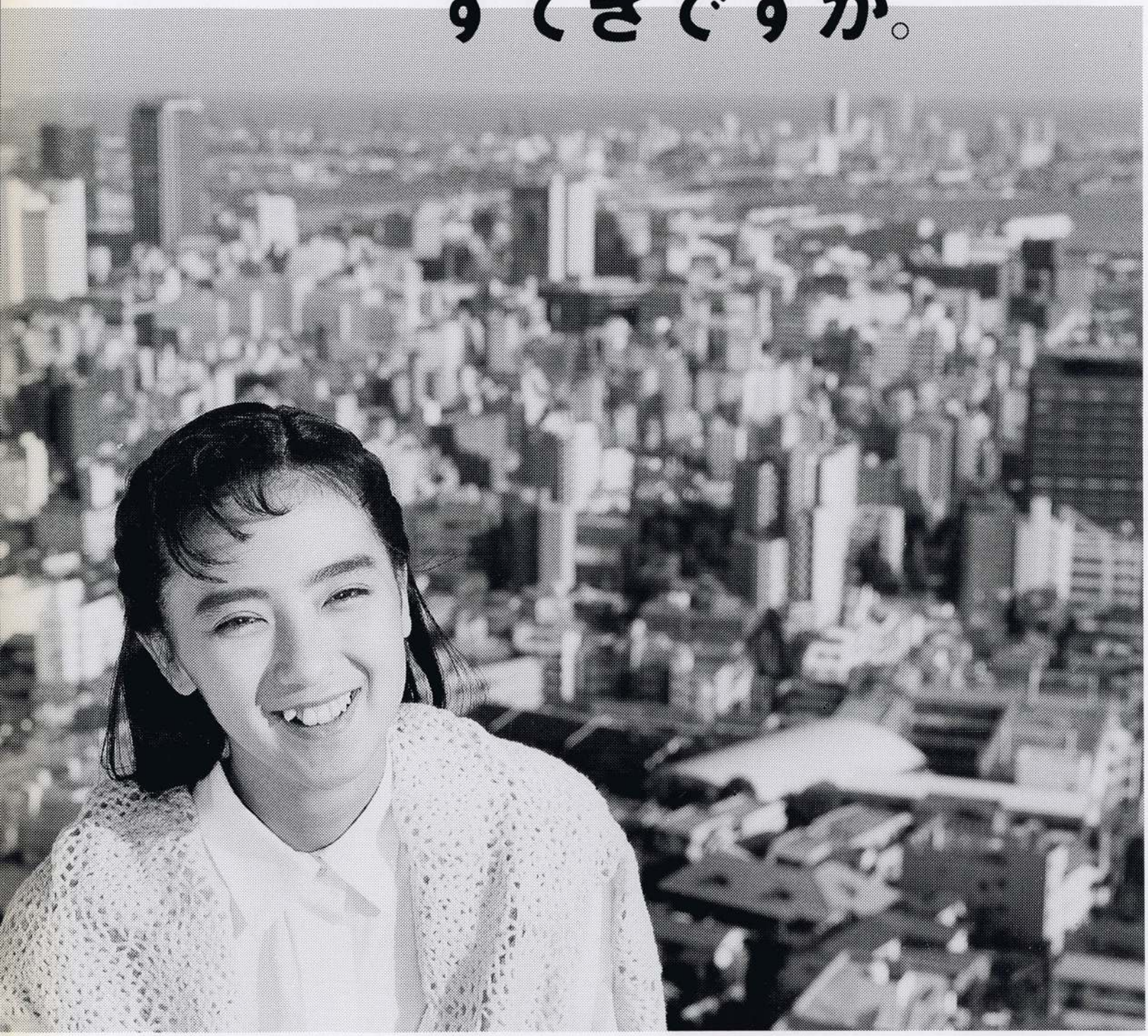






Kinden
CORPORATION

みらいは、今日より、すてきですか。



大切な約束がある前の日の期待感……。
そんなドキドキをいつも感じていられる街がいいね。
エネルギー・情報・環境をとおして夢をふつうの未来だけで終わらせたくない。
新しい都市のアメニティやオフィス環境が、もっとすてきであるために。
総合設備エンジニアリングのきんでんです。

幸福を語れる、技術でありたい——きんでん。

株式会社 きんでん
本店/〒531 大阪市北区本庄東2丁目3番41号 TEL.06(375)6000 東京本社/〒141 東京都品川区東五反田5丁目25番12号 TEL.03(3447)3151

第３回
日本建築協会賞

日本建築協会の創立70周年(昭和62年)を契機として、建築界における総合団体としての性格にもとづき、建設に関わるあらゆる分野において社会に貢献した団体または個人に対して、その業績を讃えるとともに、わが国文化の向上、公共の福祉に寄与することを目的として創設いたしました日本建築協会賞の第３回をこのたび実施いたしました。(作品は表彰対象から外す)

各界に広く応募を呼びかけましたところ、締切日（平成５年３月31日）までに、15件の応募がありました。これが選考については、第３回日本建築協会賞選考委員会(委員長：薬袋公明、同委員10名)で、慎重に審議を重ねました。

その結果、日本建築協会賞５件、日本建築協会賞特別賞１件を選定し、それぞれに賞状並びに賞碑、副賞を贈呈いたしました。

尚、表彰式は、平成５年６月23日、社団法人日本建築協会会議室で挙行いたしました。

日本建築協会賞

「コモンシティ星田」における全地中配電方式の技術開発及び適用

関西電力株式会社 代表取締役社長　秋山喜久

●

耐火鋼による無被覆鉄骨造建物の実用化

新日本製鉄株式会社 代表取締役社長　齋藤　裕

●

INAXギャラリーの活動とブックレットの刊行

株式会社INAX 代表取締役社長　伊奈輝三

●

まちづくり会社「黒壁」の事業展開とその成果

株式会社黒壁 代表取締役社長　長谷定雄

●

大型美術陶板等の開発と施工法の技術確立

大塚オーミ陶業株式会社 代表取締役社長　大塚正士

日本建築協会賞特別賞

制震構造の研究とダイナミックインテリジェントビルの開発

京都大学名誉教授　小堀鐸二



A-URD方式を適用した無電柱のゆとりある街並み



街並みに融和した地上置機器

「コモンシティ星田」における全地中配電方式の技術開発及び適用

関西電力株式会社 取締役社長　秋 山 喜 久

コモンシティ星田は、大阪府主催の「デザインコンペ」により、大阪府住宅供給公社等が主体となって開発・推進した21世紀を目指す新しい街づくりである。

従来、戸建住宅地での全地中配電方式によるインフラ整備は、事故時の復旧に長時間を要する、建設コストが高い、他の地域との公平性を損なう等問題が多く、公益事業者側の賛同が得難かったが、近年、アメニティ志向が高まり、「ゆとりと豊かさ」を求めた未来志向の街づくりが計画されるようになり、公益事業者の街づくりへの積極的参画が必要となってきている。

こうした背景から、同社は、その開発理念に呼応して関連企業13社から成るプロジェクトチームを結成し、電気による安全で快適な生活を求めてその供給設備を含め最高の居住環境品質を創出するためにシステム開発と建設コストの低減等種々の問題解決に当たり、周囲環境・地域特性に適合し、都市部地中配電方式とは抜本的に異なる住宅地専用地中配電方式（A-URD方式）を全国に先がけ開発・適用した。

完成した街並みに対しては、居住者はもとより各界の数多くの見学者からも非常に高い評価が寄せられており、将来の街づくりに対する貴重な１ページを刻んだものと言っても過言ではない。

耐火鋼による
無被覆鉄骨造建物の実用化

新日本製鉄株式会社 代表取締役社長　齋藤　裕

鉄骨は高温となると強度が低下することから耐火被覆が必要となるが、耐火被覆はその作業性や美観から鉄骨造の工法やデザインを束縛しており、RC造に対する競争力を低下させる要因のひとつとなっていた。

同社は、このような鉄骨造の弱点を改善すべく、鋼材そのものの高温強度（600℃での降伏点を常温規格値の⅔以上保証）を向上させた建築用耐火鋼（FR鋼）を世界に先駆けて1988年７月に開発した。また、関連材料として接合材料（溶接材料、高力ボルト）および耐火被覆材料を開発するとともに、部材実験や解析技術に基づいた「FR鋼の新しい耐火設計技術」も合わせて開発した。

このような鉄骨造の耐火に関する一連の技術開発（材料、ソフト、利用法）により、同社は、⑴外部鉄骨建物（鉄骨を外部に意匠的に露出した建物）、⑵自走式多層駐車場、⑶線路上空建物（駅ビル）、⑷スポーツ施設・アトリウムなどの建物で建設大臣の特別認定を取得、無耐火被覆鉄骨造建物を実用化している。

本開発は、耐火被覆を無くすことによる建設費用の低減・工期短縮などにとどまらず、耐火設計技術により鉄骨デザインそのものに大きな変革を与えるものであり、従来の材料開発の域を超えた画期的な技術である。すでに、FR鋼は約50件の建物（約45千トン）に採用され、無耐火被覆の新しい鉄骨造建物が実現している。なお、同社は、これらの成果により毎日工業技術賞（90年）および日本建築学会賞（92年）を受賞している。



P&G日本本社・テクニカルセンター（神戸市）-外部鉄骨建物-



センシティパークプラザ（千葉市）-自走式多層駐車場-





多彩なテーマで続けられる建築展覧会(写真上・下)



廉価でも瀟洒なブックレットの数々

INAXギャラリーの活動とブックレットの刊行

株式会社INAX 代表取締役社長　伊奈輝三

同社が過去12年にわたり続けてきたINAXギャラリーの建築をテーマにした展覧会と、それに伴って発行してきた「ブックレット」の数々は、建築という領域の本来的意義、つまり「人間と最も親しい存在」としての建築の魅力を、あらためて認識させてくれる。

失われつつある優れた様式、伝統的日本建築の意匠、部位や素材の再発見、学校や病院建築への問題提起など、テーマは多岐にわたっているが、いつも共通してあるのはその対象への細やかな考察と、作り手への暖かな眼差しである。

建築と関連の深い同社ではあるが、社業に拘わらず、そのラインナップは一般の人々にとっても建築を身近に感じさせる普遍性をもっている。

また、建築の展覧会は「図面と写真と模型」というパターンを毎回うまく克服しているのも見事だが、最も評価すべきは欠かさずに出版しつづけてきた「INAXブックレット」の存在である。

建築の書籍は少部数で写真や図版の多用から高価になってしまうのが常であるが、すでに40数冊を数えるそれらは、廉価でしかも建築の魅力ある視点がきちんと盛込まれている。

まちづくり会社「黒壁」の事業展開とその成果

株式会社黒壁 代表取締役　長 谷 定 雄

同社は滋賀県長浜市にあり、古い建物の保存、活用と街づくりを目的として、最初、市と市民有志８名で設立した第３セクターの会社で、歴史、文化芸術、国際交流をテーマに事業を進め、目覚ましい成果を収めている。

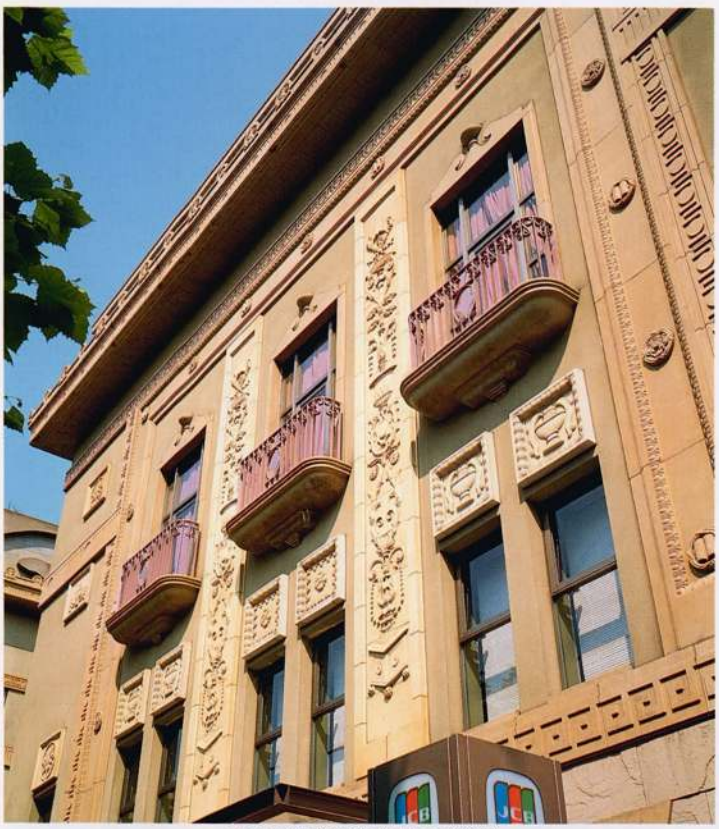
不動産業者に売却、取壊し計画のあった旧百三十銀行の建物の保存、活用から始まり、平成元年７月の「黒壁ガラス　スクウェア」開館など、この３年間で第１期事業として１～４号館、第２期に５～９号館、そして第３期に10～14号館を開業した。どの館もガラスに関わるもので、各館それぞれに美術館、レストラン等の特色をもたせ、北国街道をユニークなガラス街道へ一新させ、周辺商店を巻き込み、地域活発化の原動力となっている。

最近では年間来館者は50万人を数え、第３セクター、いわゆる街づくり会社としての社会性と、企業としての採算性、経営基盤の安定を見事に両立させた事例であり、「まちづくり功労建設大臣賞」始め数々の賞を受けている。





クロカベスクエアの各館（写真上・下）



テラコッタ（お茶の水スクエアA館）

大型美術陶板等の開発と施工法の技術確立

大塚オーミ陶業株式会社 代表取締役社長　大塚正士

同社が20年間をかけて開発した「薄くて歪みのない軽量大型陶板」は、900×3,000×20(m/m)という世界最大サイズで、今までの「焼き物」の概念を打ち破る新しい表現方法を確立した。

これは1万色に及ぶ釉薬による複雑な色彩表現と褪色しない特徴をもち、名画の複写、写真の焼き付けなど大型陶板への自在な絵画表現を可能にしたものである。そして多くの美術家から認められ、新しい芸術ジャンルの作品が各地のホール等の壁面空間を飾ることになった。

その他、湿式成型法による大型内外装及び床材、600×600×10(m/m)の製造、特殊ステンレス金物を使った乾式工法の開発、さらに国内初のテラコッタ専用工場を設け、国会議事堂、大同生命ビル等のテラコッタ使用部分の復元、今までにない大きさの900×1,600×60(m/m)のR壁面を製造するなど、建築美術の分野へ数々の貢献をし、美術界からの受賞は多い。



美術陶板「日月四季」（成田国際空港第2ターミナルビル）

制震構造の研究と ダイナミック インテリジェントビルの開発

京大名誉教授　小堀鐸二

博士は、建築構造物の非線形振動に関する研究から、構造物の復元力特性の非線形化に伴うエネルギー吸収と固有周期の時間的変化が地震応答の抑制に寄与するという原理的な発見を行い、それに基づいて着想した「制震構造」は、建物に一定の制震装置又は機構を設けることにより、具体的に予測することが困難な地震動に対し、建物それ自体が、時々刻々自らの剛性等を変化させ、建物と地震動の共振を避ける（可変剛性型）か、地震によって生ずる建物の変形を抑制する力を働かせる（制震力型）ことによって、建物の揺れをアクティブに制御しようとするものである。この実現は、建築物の安全性のみならず、居住性の向上や建物内の情報処理機能の健全性を保証するものであり、博士はこれをダイナミックインテリジェントビルと呼んでいる。開発、実用化された具体的なシステムは以下の通りである。

●制震力型（AMD）システム

地震や強風による建物の揺れを捕えたセンサー信号をコンピュータが分析して、建物頂部に置かれた建物重量の１％弱の重りをリアルタイムに動かして揺れを抑えるシステムで、平成元年８月には世界で初めてこのシステムを設置したビルが東京京橋に完成した。

●可変剛性型（AVS）システム

これはAMDシステムより進んだ原理に基づくもので、平成２年11月に東京調布市の研究所にある建物に初めて設置された。僅か20ワットの電力で瞬時に作動できる高性能の可変剛性装置により地震と建物との非共振化を図るもので、大地震時の大規模構造物への適用をも容易とする究極のシステムとも言える。



制振力型（AMD）システム実施例（東京・京橋成和ビル）



可変剛性型（AVS）システム実施例（東京調布・鹿島技術研究所）

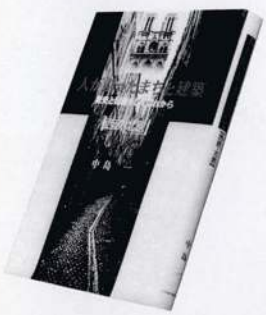
BOOK STATION
ブック・ステーション

人が創ったまちと建築 西欧・北欧
——歴史と伝統そしてこれから——

中島　一著

•

中部経済新聞社
1992.8.18刊
A5判　266頁　2,500円



66回に亘って中部経済新聞に連載されたヨーロッパ諸都市についてのエッセイと著者自身の手による写真を綴った印象記である。建築家が自ら訪れた街や建物の印象を何等かの修飾語を建物や街の名前に被せることによって自分の受けた印象を端的に伝えようとした語り口をうまく文章化した1冊であろう。我々が旅行をしてきた印象を身の回りの者に伝えるとき、その全てを語りつくすことはできない。何か自分にとって印象深かった光や香、感触、音といったものを取り上げることで感動を共有しようとする。著者はこの手法をエッセイの中に取り入れ、家族や親友に語りかけるように綴っている。客観的な説明に始終する建築案内ではなく、建築家が建築を通して何を見たかを綴って西欧の街を紹介する柔らかな啓蒙書である。願わくば著者の語りでスライド会などがあれば素敵なのだが。

(E.K)

歴史の散歩道

大阪市建設局編集
大阪市土木技術協会編集協力

•

大阪市建設局
1993.4.4版刊
タテ257×ヨコ130ミリ　12〜24頁



大阪市内のちょっとした裏道に入ると、煉瓦を正方形に組んだパターンが延々と道路に刻まれて続いている。これぞ、知る人ぞ知る「歴史の散歩道」を示す、道標なのである。中之島・鶴見コースなどの5コースからなるこの5つの小冊子は、大阪市内の由緒ある歴史や史跡を、写真と解説と地図で示してあり、この小冊子片手に散策ができるガイドブックとなっている。オフィスの身近な所に思わぬ歴史を発見したり、ゆったり歩いて大阪の街を新たな視点から感じられるのも魅力。大阪市建設局で、無料で入手できるのももう一つ嬉しい。

(Y.I)

私の建築手法
東西アスファルト事業協同組合講演記録集

高松　伸
隈　研吾
板垣元彬
北川原 温

•

東西アスファルト事業協同組合
田島ルーフィング
1993.6刊
A5判　116頁　〔非売〕



本書は、東西アスファルト事業協同組合が主催した、高松伸・隈研吾・板垣元彬・北川原温各氏の、講演記録集である。毎度のことながら、建築家の講演会には強烈な個性をもっての(思い込みにも近い？)主義主張に溢れていて、受け手としては必死になって聞いていないとさっぱり解らなかったとも成りかねない。その場では、耳を擦り抜けてしまった言葉やスライドも、この様に講演記録集としてリピートされて、反芻することができるとありがたい。しかし、もう一度リピートさせても、疑問に感じたり、難解だったりするのは、各氏が個性的な建築家の強烈な建築手法だからなのでしょう。　(Y.I)

※上記の講演会は毎年定期的に開催されており、本書は7冊目の記録集となる。

大道芸イキイキ空間
にぎわいづくりの全ノウハウ

高田佳子著

•

学芸出版社
1992.12.25刊
四六判　256頁　2,060円



"大道芸人のいる空間は必ず魅力的な空間である。"信念にも近いこの思いから多くの優れた大道芸人を海外から招聘してきた著者による初めての大道芸導入のための手引書である。しかし、手引書とはいえ、本書を優れた都市計画論にまで高めているものがあるとすれば、都市の〈にぎわい〉を大道芸（ストリートパフォーマンス）という実にユニークな視点からとらえられているという点にあるといえる。都市の〈にぎわい〉は建築やデザインではなく、〈人間〉が決定するというだ。当然、ここに紹介される大道芸は、いわゆる〈チンドン屋〉に代表されるセールスプロモーションの手段としてのパフォーマンスとは全く質の異なるものである。大道芸とは〈芸〉そのものがすでに〈商品〉であり、生活レベルで文化を伝えようという行為そのものであるという。街角パフォーマンスがいつでも自然に見ることが出来るようになれば、この国の都市も少しはイキイキとした魅力を持ち得るのではないだろうか。これは著者ひとりの思いだけではないはずである。

担当：会員企画小委員会／稲木裕子・毛谷村英治

生活リゾートの創造

地方圏と大都市圏の新たな架け橋

若井康彦著

綜合ユニコム
1991.11.10刊
A5判　312頁　2,800円



失敗を防ぐ100のアドバイス

正しい住まいの取得術

工藤忠正著

学芸出版社
1992.5.25刊
四六判　320頁　2,060円



地域術

38の町と村づくり

陸井眞一・池田志朗編

晶文社
1992.6.5刊
B5判　328頁　3,600円



建築技術増刊

勾配屋根の構法と納まり

フォルムからディテールまで

建築技術編集部編

建築技術
1993.5 No.515
A4判　208頁　4,000円



入門・建築積算

生島道春著

学芸出版社
1993.5.10刊
B5判　200頁　3,502円



実務から見た鉄骨構造設計

上野嘉久著

学芸出版社
1993.5.25刊
B5判　432頁　9,991円



コンクリートのはなし　I・II

藤原忠司・長谷川寿夫・
宮川豊章・河井徹　編著

技報堂出版
1993.6.10刊
B6判　222頁　1,854円(I・II共)

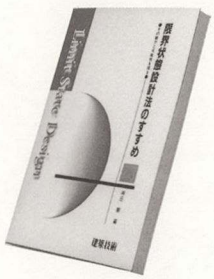


限界状態設計法のすすめ

その魅力と可能性を探る

神田　順編

建築技術
1993.6.20刊
B6判　208頁　2,800円



GBRC ニュース
GENERAL BUILDING RESEARCH CORPORATION OF JAPAN

高速道路高架下建物の防振対策——動吸振器による実建物の制振

1．はじめに

これまで鉄道交通や道路交通によって発生する環境振動は、車両が凹凸のある路面を通過することにより発生する振動が主で、比較的高い振動数で鉛直方向が問題とされてきた。しかし、交通量の増加や高速化に伴い交通網の立体化が図られるとともに高架橋が増加し、その沿道では高架橋の振動に伴う建物の振動が新たな問題となっている。つまり、高架橋の固有振動数は数Hzと比較的低い振動数にあり地盤の卓越振動数に比較的近いところにあることから、建物に対し大きな振動源となり、建物の固有振動数が一致した場合、振動苦情につながっている（主に水平方向の振動が問題となる）。本報では、振動が明らかに感じられる実際の建物に対して動吸振器を用いて制振させる機会を得たのでその結果を示す。なお、動吸振器の実験室レベルの制振効果については、本誌1991年10月号に既にご紹介した。

2．対象建物の概要

対象建物は、阪神高速道路環状線信濃橋出口付近の本線高架橋直下に建つ鉄骨造２階建(高さ7.6m、総重量188ton)の建物である(写真１、図１)。この建物は１階がピロティ形式のため、上層が重く、減衰の少ない、揺れ易い構造特性を有している。

3．建物の振動特性

建物の振動特性を把握するために常時微動測定（対象は加速度波形）を地盤および建物で同時に実施した。測定は、図１に示すように、北端中央において建物と地盤の南北（橋軸）方向および東西（橋軸直角）方向の振動加速度を測定し、その測定データ（40秒×30回平均)から求めた伝達関数の加速度応答倍率から固有振動数と$1/\sqrt{2}$法による減衰を求めた。振動加速度の時刻歴波形を図２に、建物の固有振動数と減衰を表１に、加速度応答倍率を図３にそれぞれ示す。測定結果により当該建物は立体振動を生じており、特に階段室側を回転中心としたねじれ１次が卓越していることが分かった。

4．動吸振器の調整

制振対象はねじれ１次とし、動吸振器（以下TMDと記す）の設置場所を図２に示す位置とし、作動方向は橋軸直角方向とした。TMDの重量は建物総重量の１%程度（1.01t×２台）とした。この建物を１質点系とみなした場合、重量比は１%となり、この時のTMDの最適設計値は、建物の減衰が２%程度の場合に固有振動数比0.983、減衰７%程度となる。しかし、ねじれ１次に対する等価質量が分からないこと、またTMDの設置位置に対するモーメント効果が分からないため、TMDの固有振動数および減衰の広範囲な調整が可能なように設計した。調整方法はTMDを作動状態にして地盤に対する建物２階の加速度応答倍率を測定し(40秒間のデータを30回平均)、倍率が最小になるように２台のTMDを調整した。なお、２台のTMDの固有振動数は微妙に異なり、結果として２台並列型の調整方法になった。TMDの調整結果を表２に、また加速度応答倍率を図３に示す。

5．TMDの効果

地盤振動は振動レベルやスペクトル特性が日時によって変動していることから、対象建物のTMDによる制振効果を確認するためTMDの設置前と設置後でそれぞれ約１週間の振動測定を実施し、その結果を比較検討することとした。

5-1　振動レベルの経時変化と制振効果

１時間につき120秒間の加速度を測定し、その最大加速度相当値Ｐ５（加速度値の上位５番目の値；異常値を除くため）の経時変化を図４に示す。なお、加速度のサンプリング速度は125Hzである。また地盤に対する２階の最大加速度相当の比率を縦軸地盤の最大加速度相当をとって描いたものを図５に示す。

制振対象の橋軸直角方向では最大加速度相当の日最大値はTMDの設置前で4.4cm/s²～8.6cm/s²であったが、TMD作動時には2.2cm/s²～3.0cm/s²と半分以下に収まった。なお、ねじれ振動のための橋軸方向の振動レベルも若干低下していた。一方、２階と地盤の最大加速度相当の比率は4～19程度であったのが、2～10程度に低下した。

5-2. 振動環境評価

鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説（日本建築学会）の付11床スラブの振動評価曲線を図４に併記する。同図より、TMDの設置前には環境係数８（作業所相当）の評価値を大きく超えていたものが、TMDの作動時には環境係数４（事務所相当）の評価値に概ね収まっている。

6．あとがき

当該建物の場合、TMDを設置し、現地で加速度応答倍率を見ながら正確な調整を行うことにより最大加速度相当値で最大値を65%程度低減できることが分かった。しかしながら、測定により建物の固有振動数が分かったとしても、TMDの設計に必要な建物の等価質量は簡単には求められず、特にねじれ振動が顕著な場合にはTMDの制振効果を予測するのは難しいように思われる。今後の課題としては、TMD設計条件に必要な建物の振動特性諸元を精度良く把握できる振動調査方法を確立することにあろう。

なお、本実験は阪神高速道路公団の委託により当試験所が実施したものである。

〔参考文献〕金治、馬場、井上、宍山：高架橋からの交通振動を受ける実験物のTMDによる制振、土木学会第48回年次学術講演会、1993年９月（投稿中）

（構造物試験室／井上隆二：記）

財団法人 **日本建築総合試験所**
〒565 吹田市藤白台5-8-1
TEL.06-872-0391　FAX.06-872-0784
業務時間 9:00～17:15(土曜休業)

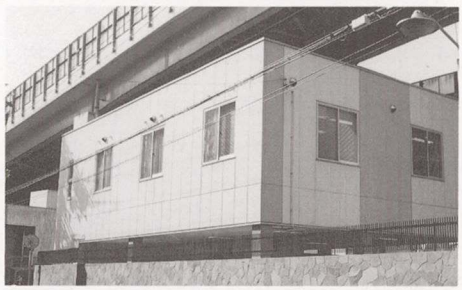


写真１　対象建物の外観

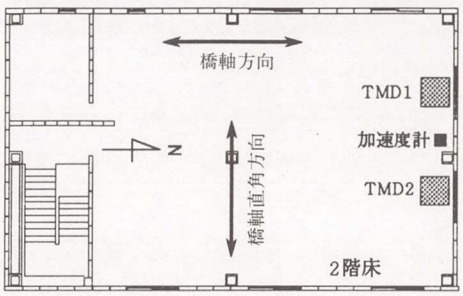


図１　2階平面図

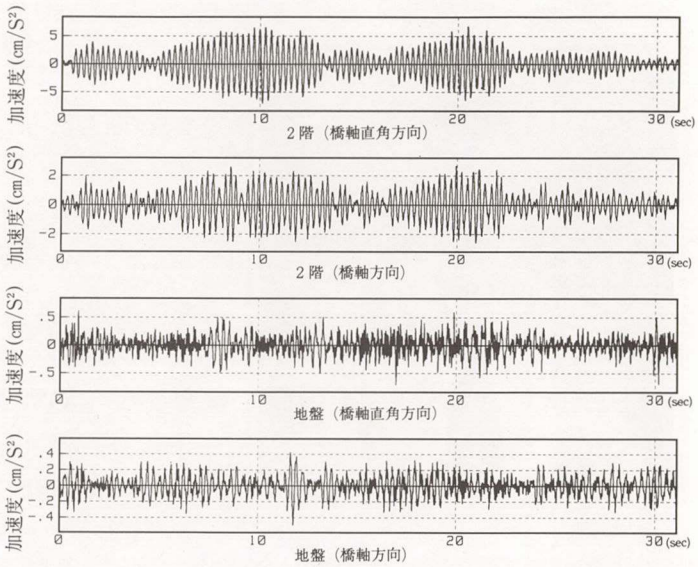


図２　振動加速度波形

表１　建物の振動特性

振動モード	固有振動数	減衰定数	備　考
ねじれ１次	3.54Hz	2.0～2.3%	主に橋軸直角方向の揺れ
ねじれ２次	4.43Hz	1.6～1.8%	主に橋軸方向の揺れ

表２　TMDの諸元

	可動部重量	固有振動数	減衰定数
TMD1	1010kg	3.475Hz	6.38%
TMD2	1010kg	3.576Hz	6.60%

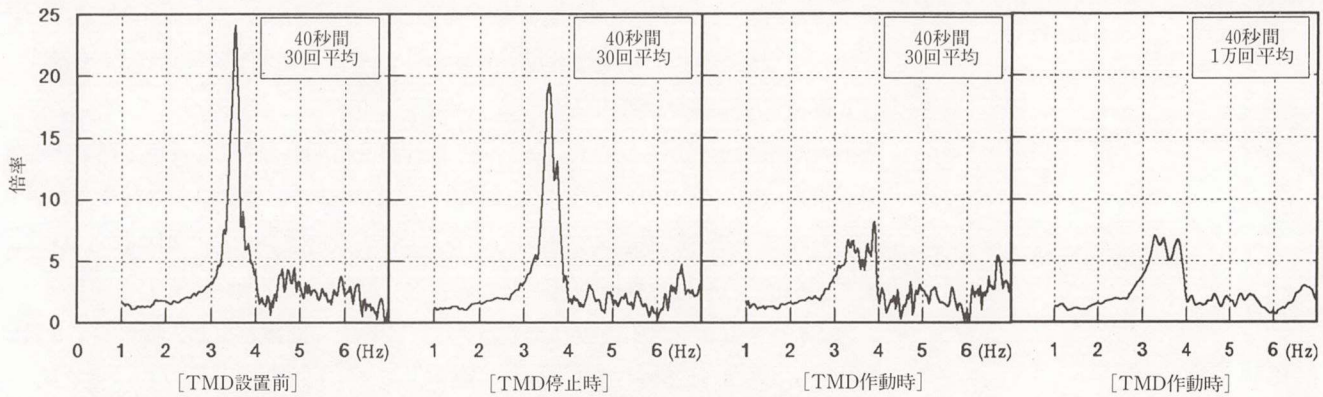


図３　加速度応答倍率の変化

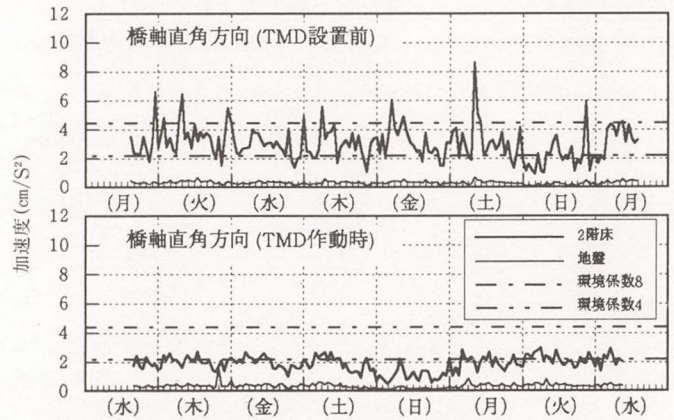


図４　最大加速度相当の経時変化

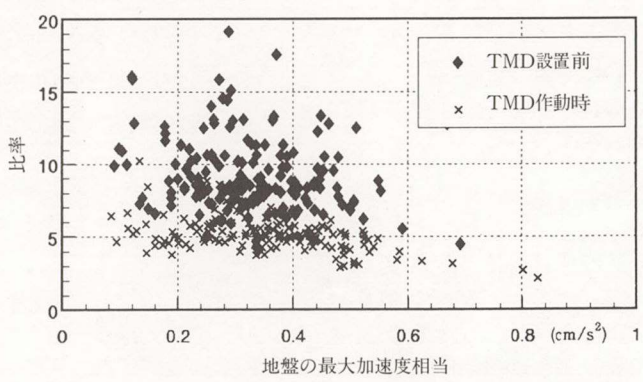
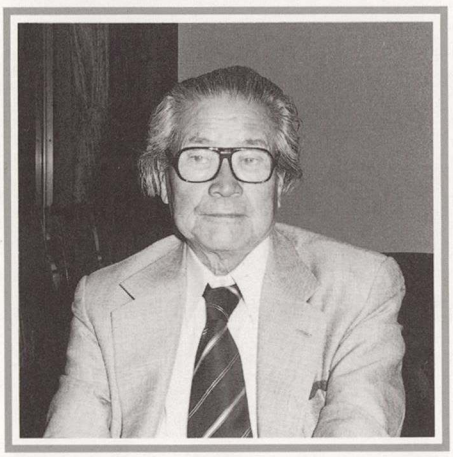


図５　地盤に対する2階の最大加速度相当の比率

小林　清君の逝去を悼む



㈱あめりか屋 取締役会長　前野慶太郎

突然の訃報に接して驚いております。小林君と私とはあめりか屋と住宅専門誌「住宅」及び「新住宅」の戦前戦後の歴史を通じて長い付き合いでありました。

以前あめりか屋東京本社の「住宅改良会」で発行しておりました、月刊誌「住宅」を昭和6年4月から大阪店で発行する事になり、スケッチの巧者であった本間乙彦氏が編集に当たりましたが、多忙のため思うにまかせず、当時京都あめりか屋で新進の社員であった小林清君が編集を助ける事になりました。彼は京都での勤務の傍ら、夜間大阪あめりか屋に通勤して編集に力を尽くしたのであります。

彼は三重県多気郡の出身で、高津中学を経て昭和4年東京高等工業付設教員養成所を卒業し、初め浅野セメント北海道支店に勤務し、昭和5年幹部候補生として軍務に服したのでありますが同11月除隊、京都あめりか屋の社員となりました。

さて彼の大阪での夜間勤務も2年余りとなり、次第に編集にも習熟した頃、編集者の本間氏が都島工業建築科の教師になって編集にも手が回らぬ事にあいなり、小林君が単独で後を引き継ぐ事になりました。そこで昭和8年9月京都あめりか屋を退職し、その後順調に同誌の編集発行を続けました。昭和16年12月日米戦争が勃発し、次第に資材も不自由になり昭和18年12月についに廃刊の止むなきに至り、彼は陸軍少尉として応召したのであります。

戦争終結に伴い、昭和21年7月除隊した彼は軍服のまま今後の仕事の相談のため私共を訪れました。そこで私共は社屋と資本の一部を彼に提供し、月刊誌「新住宅」と改題して再発刊する運びになりました。

その後昭和40年代から50年代にかけて、発行部数は順調に伸び、住宅専門誌としての評価を得るに至ったのであります。この間、昭和47年に日本建築協会の社交団体として発足した建築クラブの発起人となったのを初め、大阪府建築士会の理事にも就任し、機関紙「ひろば」の編集委員長を永年勤めるなど、対外的奉仕活動にも力を注ぎました。その後、新住宅誌は、次第に競合誌も増えて、経営上の問題が生じ、昭和63年9月に編集発行を大阪瓦斯に委譲しました。その頃中之島4丁目にマンションの一室を購入し、北畠3丁目にある自宅との間を往復して、悠々自適の日々を楽しんでおりました。今年3月初めに長男を失い、以来除々に気力も衰え、終に去る5月29日心不全のためマンションの一室で他界されました。享年85才でした。

戦前戦後を通じて50年余りの交友を想うとき、誠に感慨無量であります。謹んで冥福を祈ります。

略歴

1908年　三重県に生まれる
1929年　東京高等工業学校（現東京工業大学）建築科卒業
1929年　アサノセメント株式会社勤務
1930年　京都あめりか屋勤務
1946年　新住宅社創設　代表取締役
〃　月刊「新住宅」刊行
1988年　関西建築事務所　代表取締役

●

1937年
〃　元大谷女子短期大学講師
1968年
1993年5月29日　逝去　享年85歳

協会歴

1931年　入会
1950～51年
1971～84年　理事
1987年　名誉正会員

受賞

日本建築学会表彰
建設大臣表彰
大阪府知事表彰
黄綬褒章受賞

「小林 清さんを偲ぶ会」のお知らせ

日時　平成5年8月30日(月)　午後4時～7時（随時）
場所　日本建築協会 会議室　　会費 3000円（予定）

小林　清さんが5月29日、お亡くなりになり、ご葬儀は近親者だけで営まれました。
そこで、左記の催しを計画いたしました。
多数のご参加をお待ちいたします。

平成5年7月

世話人代表　前野慶太郎
尾亀清四郎

編集委員会法令分科会

法令コーナー

281 大阪府建築基準法施行細則の改正

大阪府では、平成５年３月31日に大阪府建築基準法施行細則の一部を改正した。

▌電動ダムウェーターを定期検査報告の対象に

建築基準法第12条第２項の規定に基づき、従来、エレベーターやエスカレーターを定期検査報告の対象として指定していたが、最近の電動ダムウェーターに関する若干の事故例の報告に鑑み、その安全性を確保し、事故等を未然に防ぐため、新たに、建築物に設ける電動ダムウェーターで出し入れ口の下端が床面より50cm未満のものを定期検査報告の対象として指定し、平成５年10月１日から所有者等に義務づけることになった。

また、従来は建築基準法第６条第１項の規定による建築主事の確認を受ける場合で、電動ダムウェーターを設置するときは、確認の申請書にその設計図書の添付を義務づけ、建築確認を受けた建築物で工事完了前までに設置するときは、大阪府建築基準法施行細則第９条の届出書を建築主事に提出する必要があったが、今回の改正で、平成５年10月１日以降、定期検査報告の対象となる電動ダムウェーターは、エレベーター等と同様に建築確認申請が必要となる。

なお、定期検査報告の対象とならない電動ダムウェーターの手続きは、従来どおりである。

▌昇降機等の廃止、休止、復活届書の提出

平成５年４月１日より建築基準法第12条第２項の規定による定期検査報告が必要な昇降機等を廃止、休止、復活する場合には、大阪府知事あてその旨を届け出ることを義務づけた。

▌各種申請書をB５判からA４判に変更

改正建築基準法施行規則が平成５年２月15日に施行され、確認申請のOA化に対応すべく申請の内容が大幅に変更されるとともに、用紙のサイズが従来のＢ５判からＡ４判に変更された。

これに併せて、大阪府建築基準法施行細則に定める許可申請書等の用紙についても、同様にサイズの変更を行うとともに、申請内容の一部を変更し、平成５年４月１日から施行している。

浅田行則　大阪府建築部建築指導課調整係長

■大阪府建築基準法施行細則新旧対照表

改正後	改正前	改正後	改正前
(略)	(略)	一　令第百四十六条第一項第一号に規定するエレベーター（労働安全衛生法（昭和四十七年法律第五十七号）第四十一条第二項に規定する性能検査を受けなければならないものを除く。）及びエスカレーター	一　令第百四十六条第一項第一号に規定するエレベーター（労働安全衛生法（昭和四十七年法律第五十七号）第四十一条第二項に規定する性能検査を受けなければならないものを除く。）及びエスカレーター
（確認の申請書と同時に提出する図書） 第六条　法第六条第一項（法第八十八条第一項又は第二項において準用する場合を含む。）に規定する建築主事の確認（以下「確認」という。）を受けようとする者は、確認の申請書に次の各号に定める図書を添付しなければならない。	（確認の申請書と同時に提出する図書） 第六条　法第六条第一項（法第八十八条第一項又は第二項において準用する場合を含む。）に規定する建築主事の確認（以下「確認」という。）を受けようとする者は、確認の申請書に次の各号に定める図書を添付しなければならない。	**二　建築物に設ける電動ダムウェーター（出し入れ口の下端が床面より五十センチメートル以上上がった位置にあるものを除く。）**	二　令第百三十八条第二項第一号に規定する観光のための乗用エレベーター及びエスカレーター
(略)	(略)	三　令第百三十八条第二項第一号に規定する観光のための乗用エレベーター及びエスカレーター	三　令第百三十八条第二項第二号及び第三号に規定する遊戯施設
六　電動ダムウェーター**（第十二条第一項第二号に掲げるものを除く。）**、換気、排煙若しくは避雷の設備又は非常用照明装置がある場合は、その設計図書	六　電動ダムウェーター、換気、排煙若しくは避雷の設備又は非常用照明装置がある場合は、その設計図書	四　令第百三十八条第二項第二号及び第三号に規定する遊戯施設	
(略)	(略)	(略)	
（敷地及び建築設備の変更等） 第九条　確認を受けた建築物又は工作物の建築主が、当該確認に係る工事の完了前において、次の各号の一に該当する場合は、様式第六号による届書を建築主事に提出しなければならない。	（敷地及び建築設備の変更等） 第九条　確認を受けた建築物又は工作物の建築主が、当該確認に係る工事の完了前において、次の各号の一に該当する場合は、様式第六号による届書を建築主事に提出しなければならない。	**（昇降機等の廃止、休止又は復活）** **第十三条　前条第一項各号に掲げる昇降機又は工作物を廃止し、休止し、又は復活したときは、様式第九号の二による届書を知事に提出しなければならない。**	第十三条　**削除**
(略)	(略)	(略)	
二　**し尿浄化槽**、電動ダムウェーター**（第十二条第一項第二号に掲げるものを除く。）**又は避雷の設備を新築し、増設し、又はその構造若しくは機能を変更しようとするとき。	二　**屎尿浄化槽**、電動ダムウェーター又は避雷の設備を新築し、増設し、又はその構造若しくは機能を変更しようとするとき。	（**し尿浄化槽**を設ける区域） 第三十条　令第三十二条第一項の表の特定行政庁が、衛生上特に支障があると認めて規則で指定する区域は、建築主事を置く市の区域及び知事が告示で定める区域を除く大阪府の区域とする。	（**屎尿浄化槽**を設ける区域） 第三十条　令第三十二条第一項の表の特定行政庁が、衛生上特に支障があると認めて規則で指定する区域は、建築主事を置く市の区域及び知事が告示で定める区域を除く大阪府の区域とする。
(略)	(略)		
（建築設備等の定期検査報告） 第十二条　法第十二条第二項の規定により知事が指定する昇降機及び法第八十八条第一項において準用する法第十二条第二項の規定により知事が指定する工作物は、次に掲げるものとし、これらに係る報告の時期は、毎年度の四月一日から翌年の三月三十一日までとする。	（建築設備等の定期検査報告） 第十二条　法第十二条第二項の規定により知事が指定する昇降機及び法第八十八条第一項において準用する法第十二条第二項の規定により知事が指定する工作物は、次に掲げるものとし、これらに係る報告の時期は、毎年度の四月一日から翌年の三月三十一日までとする。	附則 この規則は、平成五年四月一日から施行する。ただし、第六条第一項第六号の改正規定、第九条第一項第二号の改正規定（「屎尿浄化槽」を「し尿浄化槽」に改める部分を除く。）及び第十二条第一項の改正規定は、平成五年十月一日から施行する。	

うすく。かるく。美しく。



大阪駅内「ギャレ ザ・グレイト・アウトドアーズ大阪」

有効スペースをそのままに、リフォームすることができます。

天然極薄石材コスモストン

COSMOSTON

TOYOBO 東洋紡インテリア株式会社 ° 本社 〒541 大阪市中央区久太郎町2丁目4番27号 TEL.(06)262-2561 FAX.(06)262-6009

新建材紹介コーナー
205

日本建築協会建材委員会

天然極薄石材

コスモストン

東洋紡インテリア株式会社
大阪市中央区久太郎町2-4-27 〒541
☎(06)-262-2561 FAX(06)262-6009

❶—はじめに

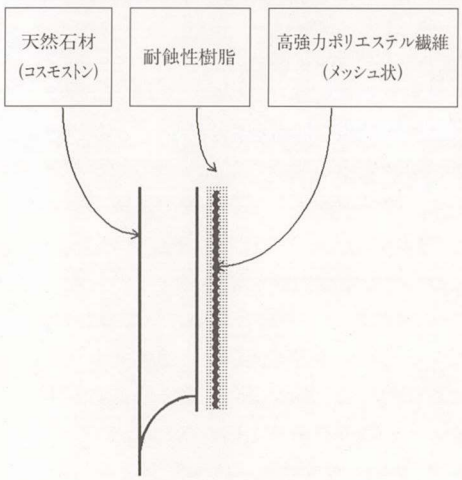
コスモストンは、天然極薄石材でしかも裏打ち補強した画期的な天然石材です。

一般石材に比べ、薄く、軽いため下地も従来に比べ簡単で、しかも有効スペースをそのままに利用することができ、リフォームなどには工期も短縮でき最適である。

又、色々なデザインに対応することも可能であり、薄いため加工が容易にでき、裏打ち補強により破損しにくく、しかも、軽量であるために高層階での使用が可能となり、注目すべき内装石材と言うことができる。

❷—特徴

(1)天然石の裏面に独自の高強力繊維と超耐蝕性樹脂で補強して強度を大幅に向上させている。

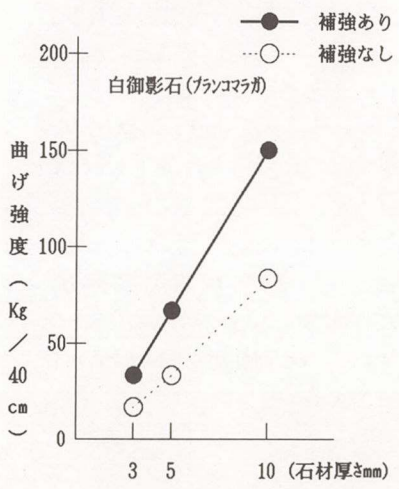


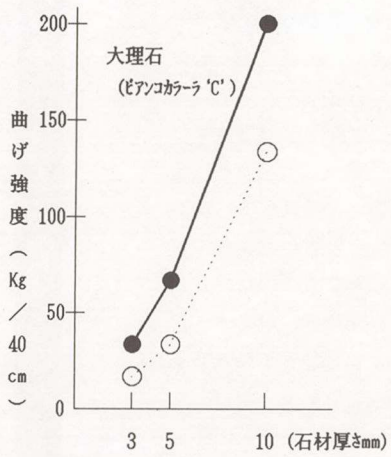
①厚さ、寸法、直角の精度に優れている。

②裏打ち補強の効果

○曲げ強力(曲げ破壊荷重)の評価
(JIS A1408)
<建築用ボード類の曲げ試験方法>

●各種石材の曲げ強度





●耐衝撃試験結果

石材種類：グレー御影石(スペイン産)
石材厚さ：6㎜(裏打ち補強なし)



石材種類：グレー御影石(スペイン産)
石材厚さ：10㎜(裏打ち補強なし)



石材種類：グレー御影石(スペイン産)
石材厚さ：8㎜(裏打ち補強あり)



○耐衝撃の評価 (JIS A1421)
<建築用ボード類の衝撃試験方法>

●耐衝撃性評価表

石材：グレー御影石(スペイン産)

石材厚さ	未処理石材	コスモストン
6 ㎜	×	△
8 ㎜	×	○
10㎜	×	○

(評価：○変化無し、△ひびが入る、×破損)

樹脂補強層による衝撃力の吸収により優れた耐衝撃性があり、また、割れても破片が飛散しません。

○防水性

樹脂層により防水性に優れ、下地よりの汚染を防止します。

③薄くて軽い特徴を残し補強している。

○石厚　8㎜ (大理石・花崗岩)

○規格

サイズ	重量	使用用途
600× 600㎜	7.8kg	主に床用
900× 900㎜	17.5kg	床・壁兼用
1200×1200㎜	31.1kg	主に壁用

(注)石種によって一部出来ない物も有ります。

○補強層厚　約1㎜

○表面仕上

本磨を基本としますが、特注によるサンドブラスト仕上げも可能です。尚、ジェットバーナー仕上は薄石(8㎜)のため対応不可。

④用途

<内装用>

○玄関・浴室・台所・洗面所・ロビー・クロークなどの壁や床。

○テーブル・マントルピース・カウンタートップ・ドア・間仕切りなど

○外装用については、別途ご相談に応じます。

❸—おわりに

建築における内装の高級化・多様化に伴い、天然石材が注目を浴びる中で、軽量化・施工の簡略化の需要が高まりつつあり、薄切天然石材『コスモストン』が誕生いたしました。

(元木貞次/建材委員)

建築の眼

高度技術教育の歴史はデザイン放逐の歴史

ホトトギスが鶯の巣に卵を産み入れ、早く孵化するその雛が鶯の卵を外に落とすことで、餌をひとりじめして育つと聞いた。建築学隆盛の歴史で構造技術が稀代の水準に達した陰に、建築デザイン教育がすっかり荒廃した経過がこれに似ている。

論文数や学位は工学系一般のものさしだが、これになじみやすい技術部門がいち早くいい子になり、デザインや計画部門を悪者にしてみせたため、オモヤである建築学全体の包括的な価値が他に理解されるチャンスを失った。結果、近年、建築教員全般が論文数や学位でポストに着き、設計従事の経験やセンスを磨く機会のないかれらは、ただでさえ技術系科目の肥大で削られる設計系科目の中で、学生に活き活きした刺激を与えられる存在ではなくなっている。また、今、話題の魅力的な建築の設計者が正統建築学をルーツにしていないという例もそのあかしといえよう。

危機感のある大学の中には、現役の建築家の教授への任用も出てはきた。だが、残念ながら、今の大学の状況では、建築家のパワーダウンは必至であり、長期的には双方の期待外れになってしまう。最近TVのクイズで、欧州で全ゆるデザイン分野志望の必修は何か、〝建築学〟であるというのがあった、悲喜半ばする思いで見た。

藤本尚久　西日本工業大学教授

集住の多様化を阻むもの

近年、集住に対するニーズの多様化に応えようと、いろんな努力がなされてきました。オーダーメイドのコーポラティブ集住や将来を指向するようなレディーメイドの先進的・個性的な集住の供給、外国人建築家の起用等々。価格面での疑問を感じさせましたが、設計的にみれば豊かな時代にふさわしい内容で、集住の新しい時代を彷彿させるものがありました。

ところがバブルの崩壊により、これらの兆に危機が訪れているようです。経済情勢の影響の受けやすいこのような集住は、事業サイドの一部から見れば攻撃の的。「お金を掛け過ぎ」、「プランが一般的でない、変形している、南面していない」しまいには「メゾネットがいけない」など、価格設定や時代的背景を無視した短絡した意見がまかり通り、今後の設計に大きな影響を与えているとの事。

具体的には平均的な売れ筋が善で、少数派の集住を悪とする考え方らしいのですが、この考え方は「無理が通れば道理が引っ込む」の諺通り、わが国の集住の進歩を阻むものであると思われます。景気が悪くても、事業の企画が難しくても「集住は社会的・文化的資産」。その企画・設計に際してはその責務を鑑み、すべからく、幅広い目、挑戦的な心を持って当たってほしい。何故なら魅力的で多彩で面白いと思えるような集住や芸術的・文化的な集住がより明るい未来を築くよりどころであると信じるから。

川村眞次　関西都市整備センター設計部長

見舞の帰り道

骨折した友人を見舞った折、入院中と健康だった時との感覚の差について話が弾み、数年前の自分と同じ事を感じている事に感激すると共に、自らの骨折時の入院、通院の中で得た苦しい体験が昨日の様に想い起こされた。それは次の様な内容であった。

「駅のプラットフォームの床タイル目地にもつまづく事」「目線が1.0m低くなることによって世の中の見え方がまるで異なる事」(それ迄、意識を持たなかった案内サインの位置、捨てられたガムの汚れが異常に目についた事。)「手摺の設置されていない階段の不安と、登り下りの困難な事」「握り易い手摺の太さ」等々であり、何れも健康体の時には、まるで気がつかなかった事がらばかりである。

福祉のまちづくり条例が制定され、高齢者や障害者に配慮された施設の整備が、地域ぐるみで実現されようとしている昨今、まちづくりに直接参加出来る我々は、条例の内容を実現するだけでなく、人に優しい配慮を常々持ち続ける必要を改めて痛感し、自らの貴重な体験を設計に!監理に!生かさねばと反省すると共に、ガムの後始末等々、利用者のマナーの向上を願う見舞の帰り道でした。

楠本照男　昭和設計取締役

林立する円柱が空間をつくる

私がコルドバを訪れたのは、20年も前のことである。周辺の街の様子や、モスクの外観は記憶にない。

地中海気候の強く明るい日射しに包まれた中庭から、一歩礼拝堂に足を踏み入れた。その瞬間に体験した無数(約600本)の円柱と、白と赤の派手な柱の上のアーチの重なりが創り出す空間の壮観さを忘れることができない。まさに円柱とアーチのつくり出す幻想の森である。明るい中庭を背に見る礼拝堂は暗く、目が闇になれるにつれてその空間が少しづつ拡がる。天井の高さは10mにも満たないが限界を感じさせない。重なり合う円柱は奥まるにつれてしだいに光を失い、果ては暗がりの中にとけこんでしまう。まさに無限を感じる空間、万華鏡の様な幻想を感じる空間である。

単純な要素を無限にくり返すことにより創り出す異空間の魅力。白の世界から、黒の世界にむけて、連続的に変わる空間のシェーディング効果。理屈をぬきにして、私は円柱を林立させる、そんな空間をつくる機会を得たい。

三谷幸司　大林組本店建築設計第三部 部長



KEIHANNA PLAZA
けいはんなプラザ・住友ホール
THE SUMITOMO HALL

設計・監理——日建設計・大阪

施工——大林・前田・奥村・鴻池・浅沼共同企業体
竹中・熊谷・フジタ・銭高・青木・森本共同企業体
鹿島建設・住友建設共同企業体

写真　東出清彦









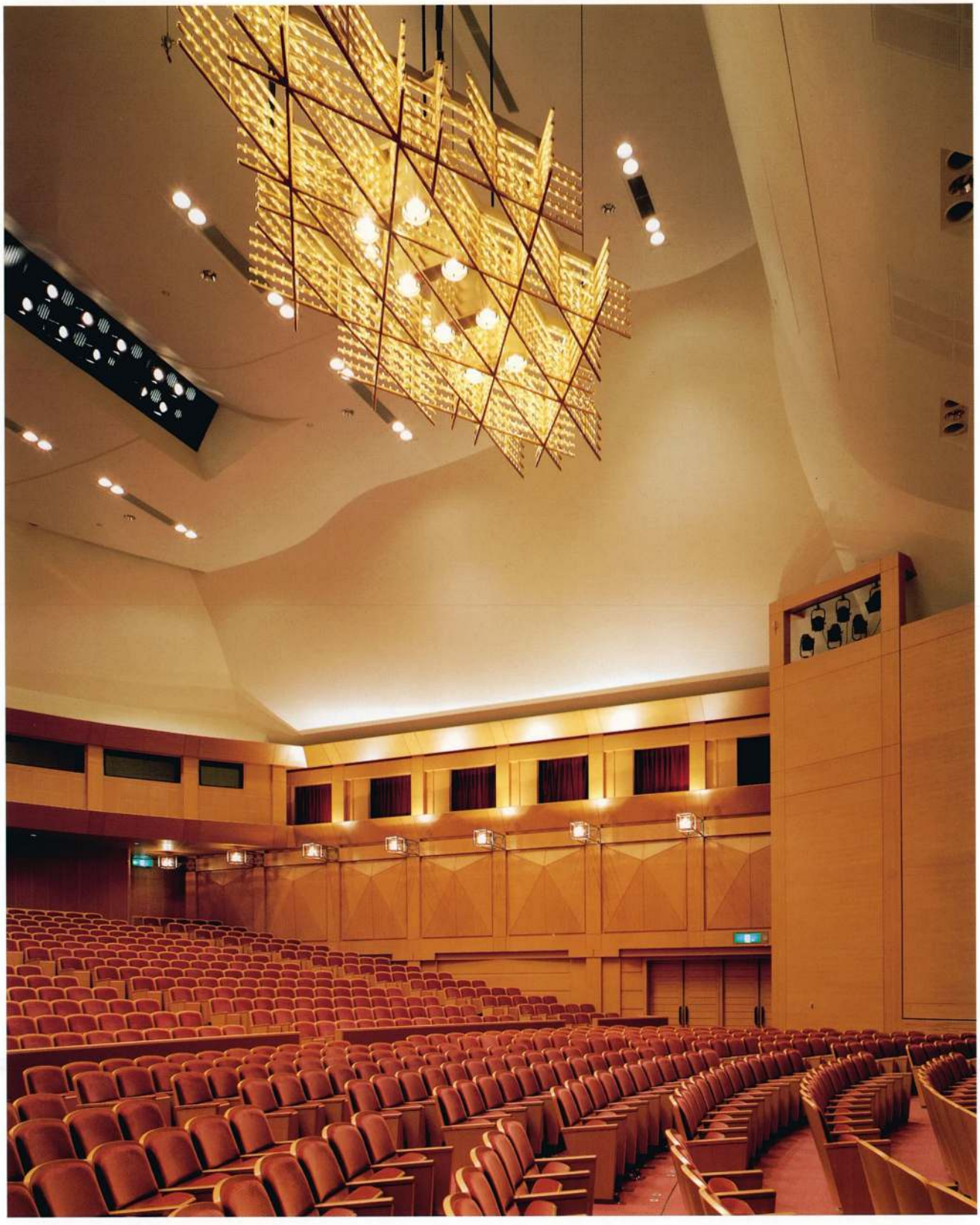




















「円」に託した知的交流の場

横川隆一

自然環境に恵まれた京阪奈丘陵に文化・学術・研究の新たな拠点、関西文化学術研究都市《けいはんな都市》の開発が進められている。『けいはんなプラザ』はこの都市の中核施設である。当初は中核施設としての機能を段階整備して行く方針であったが、住友グループ20社が別子銅山開坑300年記念事業のひとつとしてコンベンション施設「住友ホール」を寄贈することになり、持つべき機能を網羅してこのたび完成を見た。

この都市の特徴は、豊かな自然環境を保全しながら周辺市街地との調和を図るため、12の地区を分散配置してそれぞれで小都市群を形成させるクラスター型の開発が行われていることで、けいはんなプラザの立地する精華・西木津地区は京都府の南端に位置している。ここは、近くに住み奈良から京都への近道としてよく車を走らせた、木洩れ陽の射す起伏に富んだ場所であった。

地図の上では確かにクラスターに想えたが、上空から見た均質な平坦地が繰返される風景は、クラスターとは言い難いスケールであった。既にある環境を分析することに発想の手掛りを求めて来た私にとって、ここはその手掛りを喪失した場所となっていたのである。幾何学的な形態を意図的に使って都市全体の中枢であることを示す動機はこうして生まれた。

「円」を交流の輪に例えて中核施設としての象徴性を表現する。——大小のリングを重ね合わせたアトリウムロビーを挟んで柱列で囲った円型広場と円筒状のメインホールを対置させ、キュービックな形態で繁いで知的交流の場を比喩的に表現した。円型広場を対象とした国際コンペでは巨大な日時計が選ばれ、都市全体の中心と位置づけたこの広場にぴったりのモニュメントとなった。

内外の素材には、この場所の記憶を手掛かりに、かつてあった自然を映し出すもの——土・木・空気・光などを連想させるものから選んだ。土の臭いを感じさせるタイル・打放しコンクリート・生地の木・透明なガラス、そして光を乱反射させるガラスブロックなどである。これらの素材に適切なディテールを持たせてオーソドックスに空間を構成し、単純さの中に品格といったものが表現できればと思った。身近な設計作法で素直に空間を構成するまたとない機会であったと思う。

国土庁から構想が発表されて10年余、こうしてけいはんな都市に中核ができ、都市の整備にも拍車がかかることだろう。今だ並行して造成が進められる中、切り拓かれた丘陵地が新たな環境として蘇り、一日も早く成熟した都市となることを期待したい。

（よこがわ りゅういち／日建設計・大阪 設計部長）

企画

浅野　誠／石川貴之

関西文化学術研究都市

関西文化学術研究都市の建設は、近畿圏において培われてきた文化・学術・研究の蓄積を活かし、21世紀に向けた創造的かつ、国際的、学術的、業際的な文化・学術・研究の新たな展開の拠点づくりを目指し、新しい近畿の創生に貢献することはもとより、我が国及び世界の文化・学術・研究の発展並びに国民経済の発展に寄与するというものである。

その位置は、大阪・京都の都心より、20～30km圏、奈良の都心とは隣接する木津川左岸の歴史・文化・自然環境に恵まれた京阪奈丘陵であり、都市の区域は京都府、奈良県の３府県５市３町にまたがり、面積は概ね15,000ha、そのうちの約3,300haが「文化学術研究地域」である。

本都市の開発の特徴は、多核心連携型開発（クラスター型開発）と呼ばれ、地域の歴史・文化・自然条件等に配慮し、既成市街地と有機的な連携を保ちつつ、12に分散した地区を道路・情報等によりネットワークするものである。

けいはんなプラザの立地する精華・西木津地区は、本都市の中心地区に位置づけられ、面積約506haの中で、学術・研究中枢機能、文化情報機能、国際的な交流機能及び広域的都市サービス機能を一体的に集約し、さらにアメニティの高い住環境を併せ持った複合機能都市の建設を目指した地区である。

地区の土地利用は、概ね中央部がセンター及び文化学術研究ゾーンであり、そま西側と東側が住宅地ゾーンという構成になっており、けいはんなプラザはセンターゾーンに位置している。

このセンターゾーンは〝新文化首都の中核にふさわしいシンボル都市軸の創造〟をテーマに、業務・商業・サービス・研究支援・情報・交流機能を配置するゾーンしされており、地区内を東西方向に通る本都市のメインロードである幅員50mの精華大通りに面し、東側には学研記念公園、西側には文化学術研究ゾーン（研究所ゾーン）が配置されている。

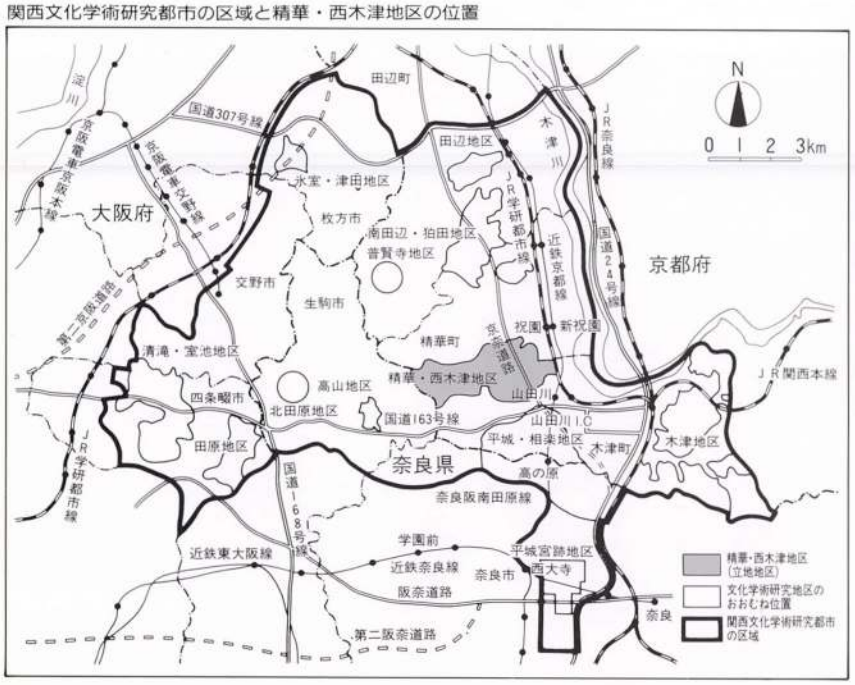
既に、文化学術研究ゾーンには、民間企業数社の研究所も立地し始め、さらには国際高等研究所、地球環境産業研究機構など本都市の中核的な施設も建設中であることに加え、国立国会図書館関西館（仮称）の立地についても調査中の状況にある。

文化学術研究交流施設

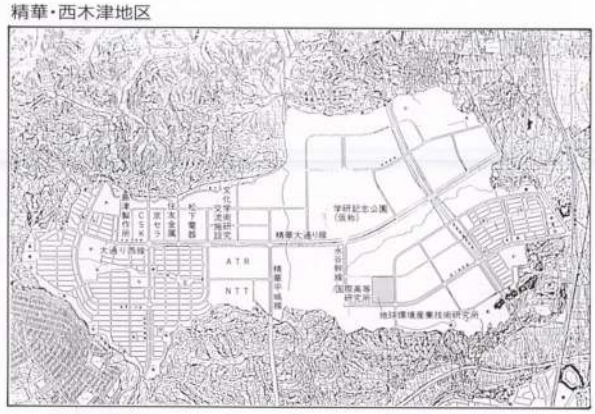
昭和62年６月に制定された「関西文化学術研究都市建設促進法」において既定された「文化学術研究交流施設」は、内閣総理大臣の指定した株式会社によって運営される本都市の中核施設であり、産学官の連携を図り、領域・分野の壁を超えた研究交流を積極的に支援する本都市の発展にとって極めて重大な役割を果たすと同時に、都市の展開の上でも、中枢性を担うものであり、知的交流の場・都市生活上の出会いと憩いの場としての役割が求められていた。

本都市の建設を産・学・官の協力のもとに一体的に推進するために設立された㈶関西文化学術研究都市推進機構の委託により、昭和63年度に本施設の基本計画を策定する機会を得て、学識経験者、関係行政機関、経済界、立地予定研究所等の参賀を得て「文化学術研究交流施設基本計画委員会」が設置され、事業化及び情報化の各分科会を含め、活発な討議の基本的な構成及び事業のフレームを取り

関西文化学術研究都市の区域と精華・西木津地区の位置



精華・西木津地区



まとめた。

基本計画を取りまとめるにあたっては、中核施設として持つべき機能の明確化、健全な運営を支える事業採算の確保等様々な整備課題をどのような形で満足すべきかの試行錯誤の繰り返しであった。

会議等の開催によるコンベンション的な機能、研究スペース及び研究情報の提供等により研究活動を支援する機能、都市の中核施設としての各種のサービスを提供する機能など、様々な形態の交流活動を促進する機能を複合化することにより相乗効果を発揮するという本施設の基本的な構成を組み立て、都市の中核施設として果たすべき役割を明確にしていった。

一方、こうした施設構成を事業採算の側から検討すると、施設ニーズといった運営を支える需要を常に創造していかねばならない成長途上にある都市における宿命は、初期の段階から求められる全ての機能を完全な形で内包することが、容易ではないことを痛切に感じさせるものであった。

しかしながら、本施設の都市における重要性に対する認識と期待には強いものがあり、全体計画約９万２千㎡のうち、第１期施設はレンタルラボを中心とした約３万㎡の施設構成として施設運営の安定を図りつつ、都市の成長とともに施設を拡張し、会議場等の第２期施設を建設するという段階計画により、初期段階では、機能的に若干片肺飛行的に施設構成ながらも事業をスタートさせることとなった。

けいはんなプラザ

基本計画を策定した次年度の平成元年８月に、施設の事業主体となる株式会社けいはんなが誕生した。

㈱けいはんなは、本都市内に唯一設置される「文化学術研究交流施設」の建設・運営を行う株式会社として「関西文化学術研究都市建設促進法」にその設置が定められ、官民共同出資により設立され、内閣総理大臣の指定を受けた第３セクター方式の会社である。

前年度に策定された基本計画を事業実施に向けて、その見直しを行っていた時と前後して、住友グループ20社は、別子銅山開坑300周年記念事業の一環として、コンベンションセンター住友ホールを㈶関西文化学術研究都市推進機構に寄贈することを決定、交流施設「けいはんなプラザ」の一部として建設を行い、㈱けいはんなが一体的に運営にあたることとなった。

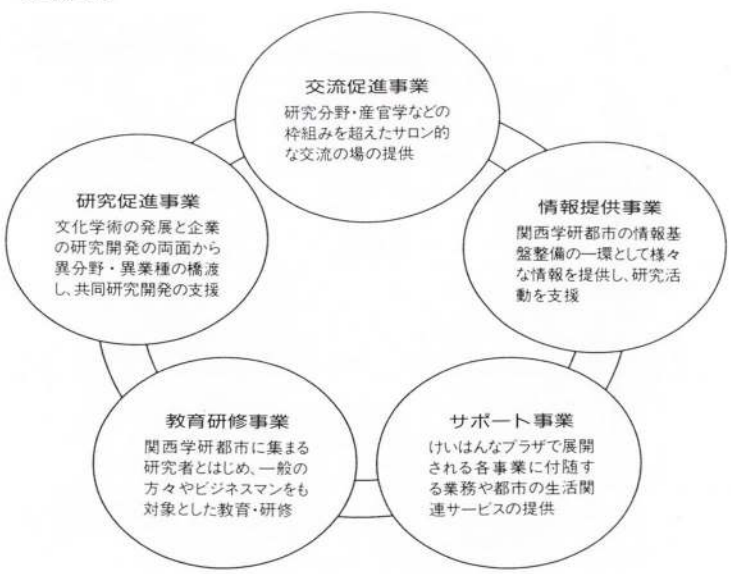
けいはんなプラザとの一体的な設計により、当初の第１期計画に比べ、より充実した施設構成となって、今日のけいはんなプラザ第１期施設が誕生した。

一体的な設計により、中核施設として要求される機能は、基本的にはフル装備の状態となり、今後の都市の発展に中核施設・先導施設として、大きな影響を与える結果になったと思われる。

基本計画を策定して約４年の歳月がたち、けいはんなプラザ第１期施設が緑豊かな京阪奈丘陵にその姿を現したわけであるが、このプロジェクトは、今まさに端緒についたところであり、これから本格的に歩みはじめ、今後、第２期施設の具体的な検討・建設も都市の発展にあわせて進められ、ソフト及びハードともに充実した施設に成長していくことであろう。

（あさの まこと／日建設計・計画 副所長　いしかわ たかゆき／日建設計・計画）

けいはんなプラザの
５つの事業



けいはんなのあゆみ

	1978	関西文化学術研究都市調査懇談会（座長：奥田東　京都大学名誉教授）が「新都市構想」を提案 関西文化学術研究都市構想の調査を進める旨の内容を盛り込んだ「近畿圏基本整備計画」を内閣総理大臣が決定
「関西学術研究都市基本構想」（パイロットプラン）発表（国土庁）	1982	
「関西文化学術研究都市建設推進協議会」発足	1983	
「㈶関西文化学術研究都市推進機構」設立	1986	
	1987	「関西文化学術研究都市建設促進法」公布・施行 「関西文化学術研究都市建設基本方針」を内閣総理大臣が決定
「文化学術研究交流施設基本計画」策定 「㈱けいはんな」設立（設立時資本金27億円） 「㈱けいはんな」内閣総理大臣の指定を受ける	1989	
	1990	ワークショップ活動を開始 創立記念フォーラム「21世紀への手紙」開催 広報誌「けいはんな発」創刊号発行 自動プログラミングに関する研究会開発
パソコンネットワーク「けいはんなネット」運用開始 けいはんな科学技術フォーラム開催 セミナー「子供とつきあう」開催 けいはんなプラザ建設工事起工式	1991	「けいはんなプラザ」前庭国際設計競技開催 セミナー「けいはんなの都と女たち」開催 「視覚と空間認知の総合的アプローチ委員会」発足
セミナー「ビジネスマンのための科学技術講座」開催 「情報社会の生態学委員会」発足 「ワトソン博士特別講演会」開催	1992	マラソンセミナー「人間・生物・時間」スタート 「㈱けいはんなインフォザール」設立 「㈱けいはんな都ホテル」設立
「けいはんなプラザ」竣工式（事業本格開始） 「'93（けいはんな世界音楽学校フェスティバル」開催	1993	

建築

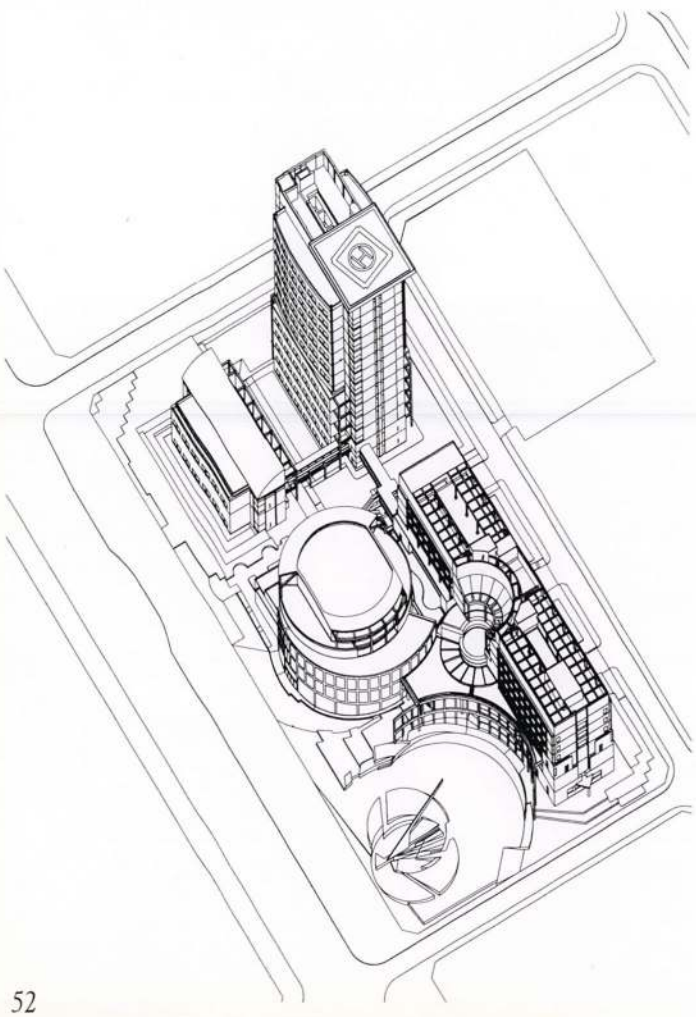
中井　進／二宮　彰／児玉　謙／大和田精一／徳田幸弘／関　伸二／森崎　実／前田　章／堀川　晋

全体計画

施設構成

交流施設は「文化学術研究活動を支える知的交流(Interaction)の核」を理念として、交流促進機能、研究促進機能、教育研修機能、情報提供機能、サポート機能の５つの機能を備えた総合的複合施設である。全体計画は、約９万２千㎡で計画された。交流促進機能としては会議場・会議室・レストラン・ラウンジ・バー・展示場・ギャラリー、研究促進機能としては研究支援センター・レンタルラボ・研究関連オフィス、教育研修機能としてはセミナー室・セミナー宿泊室、情報提供機能としてはインフォメーションプラザ・研究情報センター、サポート機能としてはホテル・医療施設・スポーツ施設・商業施設・その他の構成とされた。

当初の段階計画では１期約３万㎡であり、会議場・会議室・展示場・ギャラリーなどは２期とされており、１期計画は研究センター的な色彩の強いものであった。'90年４月施設構成の見直しを進めていた時期に、住友グループ20社は＜住友ホール＞を建設・寄贈することを決定した。この結果、アトリウム・1,000人収容の国際会議場・大中小会議場・展示場・ギャラリーなど約１万㎡の＜住友ホール＞部分を加えて、１期約４万㎡となり、センター施設として一挙に充実した内容のものになった。



設計上のポイントとしては次の項目を設定した。

●学研都市の先導的中核施設としてのシンボル性

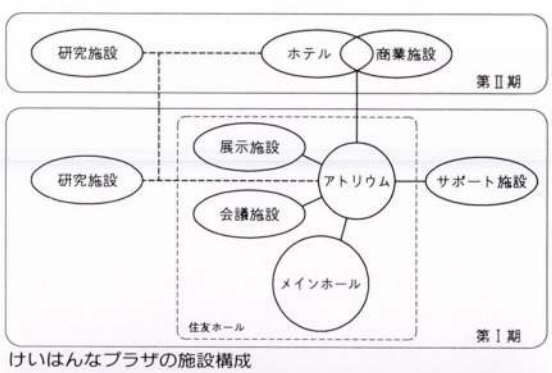
●世界に通ずる研究と交流の場としての複合による活性化・一体的な〝にぎわい〟の構成

●巾広い交流活動に対応し、フレキシブルで機能的な施設

これらの点をふまえ、シンボリックで一体感のある活気に満ちた研究・交流の場をデザインテーマとした。

配置計画

敷地は南前面に精華大通りの20m歩道に接し、東はセンターゾーン、西は研究所ゾーンへとつながる地域である。学研都市のセンターとして東側に〝にぎわい〟を演出する施設を中低層とし、広場をその中心に配し、西側は研究所ゾーンに連続するラボゾーンとし、特に西南部は近接する住宅地を考慮して低層ラボとした。また、１期計画は主として精華大通りに面した南敷地にまとめ、２期は北敷地へ研究施設・ホテル・商業施設などを拡張することとした。全体としては高・中・低層や広場・緑地をバランスよく配し、センターゾーン構想にもある〝複合による活性化と調和〟のテーマをふまえた。広場側を歩行者メインアプローチとし、また敷地中央東西道路より車動線をとり、その車寄と広場につながるアトリウムを全ての施設の中心として、にぎわいのある交流プラザとした。パブリックな性格をもつ施設は全てこのアトリウム・広場を中心に配して交流棟ゾーンとした。またセミパブリックな施設として計画されたレン



けいはんなプラザの施設構成



タル用のラボ・オフィスは交流棟とは別棟とし、西側の研究所ゾーンとの連続で位置づけ敷地西側にまとめ、機能別に２棟とした。歩行者動線は２階レベルで各棟をブリッジでつなぎ、２期北側敷地へも連続できるものとし、正面広場側アトリウムは１階と２階の中間レベルに設定し、アプローチしやすいものとした。車動線はセンターゾーン精華大通り整備構想をベースにサブ道路である東西道路より全てとるものとし明確な歩車分離をはかった。また、広場はこのような位置付けのもとに国際公開コンペによってそのデザインを求めることとなり、26ヶ国より応募された305件の中から箕原真氏の〝日時計モニュメントの広場〟が１等となり実現することとなった。

精華大通り側の20m歩道に接する緑地・空地は隣接する各研究所ゾーンと調整のうえ、一体感のある遊歩道をもった緑地として計画した。

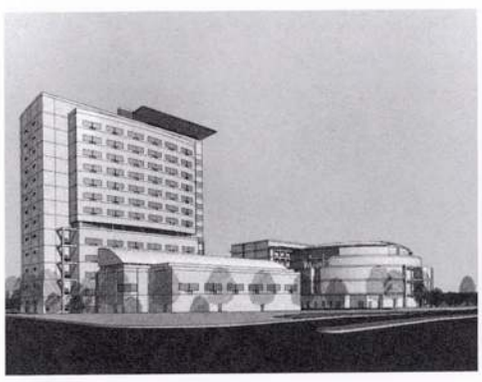
建築計画

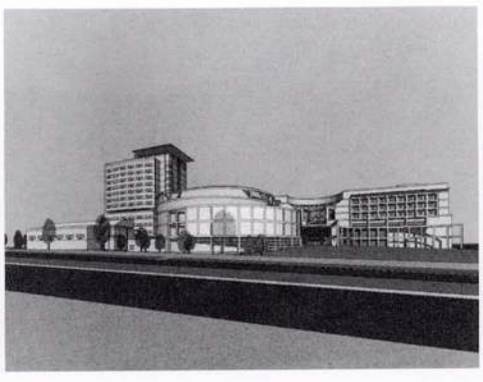
学研都市の中核施設にふさわしい施設のシンボル性を表現するものとして、〝円〟という最も普通的で中心性の高い形をモチーフとした。更に、縦横の格子状の形と組合せ対比させることで、全体の調和をはかり、また重層感を与えるデザインとした。円の中心はアトリウムロビーとメインホールにおき、更には広場側にも設定し、〝交流〟の中心を自然と想定できるものとしている。アトリウムロビーを中心としてパブリックな施設の全てが吹抜とかかわり、また動線的にも全てがアトリウムを通過することで、施設のテーマである〝交流〟が自然な形で行われることをめざした。

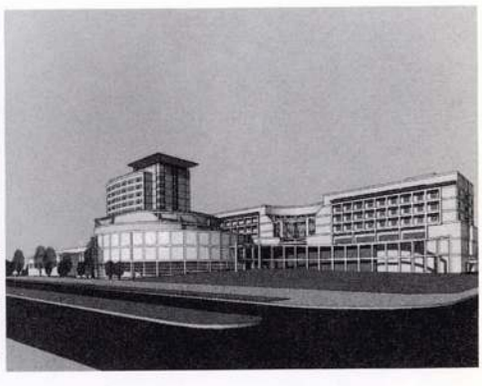
交流促進機能のレストラン・バー・ラウンジと教育研修機能のセミナー宿泊室がホテルとしてまとめられ、㈱けいはんな都ホテルが運営する施設となった。研究支援センターと研究情報センターがインフォザール・情報図書館として㈱けいはんなインフォザールが運営にあたるものとなっている。また、交流促進機能の会議場・会議室・展示場・ギャラリーが住友ホール部分としてまとめられた。研究促進機能のレンタルラボ・研究関連オフィスは３段階の機能を設定し、高層のラボ棟と低層のスーパーラボ棟にまとめ、高層ラボ棟の上部には学研都市で最初のヘリポートが設けられた。

内外装にはできるだけナチュラルな素材を使用することとし、無釉陶器タイル、コンクリート打放し、花崗石を外部の主たる仕上げとし、内部においてもパブリック部分はコンクリート打放し、タイル、木など本格的で自然な材料とした。

また、設計の過程では、㈱けいはんなのデザインコミッティの先生方（川崎清京都大学教授・中村一京都大学教授・山口重之京都工芸繊維大学教授）から多くの貴重な助言を頂くことができた。







交流施設

住友ホール

住友ホールは、けいはんなプラザの交流促進機能を担い、学研都市内外の学術研究機能の集積を最大限に生かしながら、文化・学術研究の幅広い交流活動の舞台としてまたけいはんな都市のシンボルとして期待されるコンベンション施設である。

立地条件から見ても、当面は他施設と連動することなく単独で各種の文化活動や交流イベントを展開する必要があるため、バランスよい施設構成が求められた。1,000席収容のメインホールを主会場と設定し、大会議室にその約50%の収容力を持たせ、他に中会議室を2室、小会議室を4室設けることにより、各分科会等に対応できるものとなっている。また近年のコンベンションには、展示場が不可欠なものとされており、イベントホールとして他の用途にも幅広く対応するものとして設けられている。

これらの諸施設と、ホテルをはじめとするサポート施設を含めてその動線のかなめとなるアトリウムロビーは、シンボリックな吹抜け空間としてデザインされている。



アトリウムロビー

メインホール

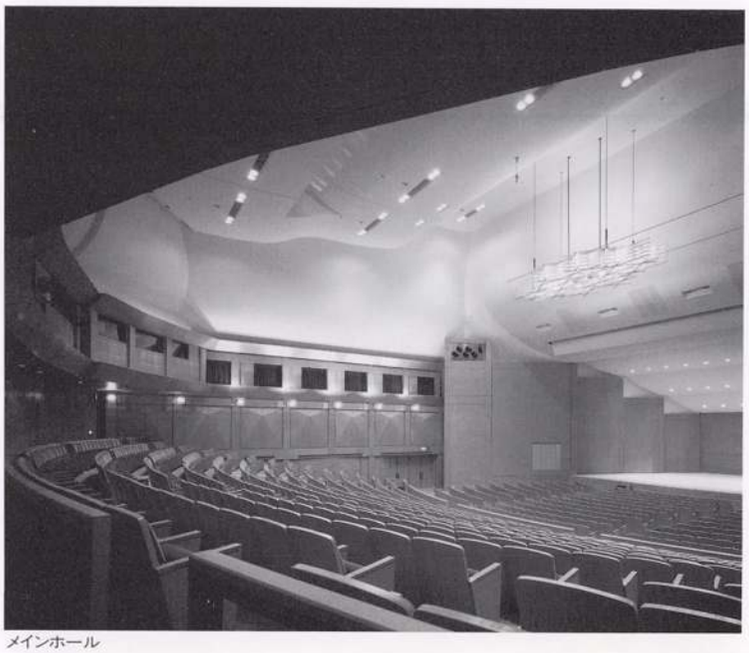
メインホールは、各種会議を主目的とした多目的ホールと位置づけられる。最大1,000席という収容力は、学研都市で今後期待される理工系を中心とした学会やシンポジウム・国際会議・コンベンションの動向を調査した結果、その90%以上を招致できるメイン会場として設定され、同時通訳設備などが装備されている。

また、会議開催時の様々なアトラクションのほか、コンサートや演劇といったけいはんな都市における文化活動の拠点となる様に様々な利用形態を想定して舞台装置や客席の計画・音響計画が配慮された。

ホールの形式は、プロセニアムスタイルとし、幅16m高さ8mのプロセニアム開口と奥行12mの主舞台に音響反射板、スクリーン、各種のバトン、小迫り等の舞台機構を備え、プロセニアムの客席側にオーケストラピットを持つ。このピットは逆に主舞台レベルまで上げて前舞台として使用することも出来る様になっている。プロセニアムには、緞帳の他にプロセニアムパネルと呼ばれる木質系パネルを備えており前舞台の使用とともにホールのスケールを少し小さくして使用することが出来る。このパネルは前舞台使用時の後壁反射板として機能する他、講演会等に備えてスライド用スクリーンが組込まれている。

プロセニアムの客席側壁は大型可動壁となっており、これらの開閉により、花道とフロントサイドの投光スペースを設けることが出来る。また、客席の前方約半数は地下の椅子ピットへ収納出来る様になっており、会議用の円卓と椅子も合わせてデザインされた。

音響設計は、NHKエンジニアリングサービスの協力を得た。まず、メインホールについては、NC-20を目標として建築工事、設備



メインホール

工事ともに入念に施工がなされている。また、主舞台と前舞台の使い分けにより２ヶ所の音源位置が想定されることを考慮してホールの形状が決定されている。多様な利用形態に合わせて反射板の設置、可動壁の開閉、側壁上部のカーテンの開閉により残響時間のコントロールもなされており、音響測定の結果、会議・講演会・演劇等の設定で残響約1.4秒に押さえながらクラシックコンサートの設定で約1.9秒までのばすことが出来ることが確認された。

客席中央シャンデリアは昇降式となっており、会議卓使用時の照度確保のほか、コンサートや演劇の際の開演時の演出などができる様になっている。また、過去に竹林の多かったこの地の風土と未来をたたえた緞帳は、〝京阪奈・頌（しょう）〟と題されたものである。

電気音響・映像設備についても多目的ホールとしての多様な展開に配慮がなされたが、ことにビデオプロジェクターについてはより高い解像度を得るためハイビジョン対応となっている。と同時にこのホールの様子を施設内の他の会議室や宿泊室へ送信することが可能であり、ホールのイベントの様子をホテルの客室で見るという様なことが出来るようになっている。

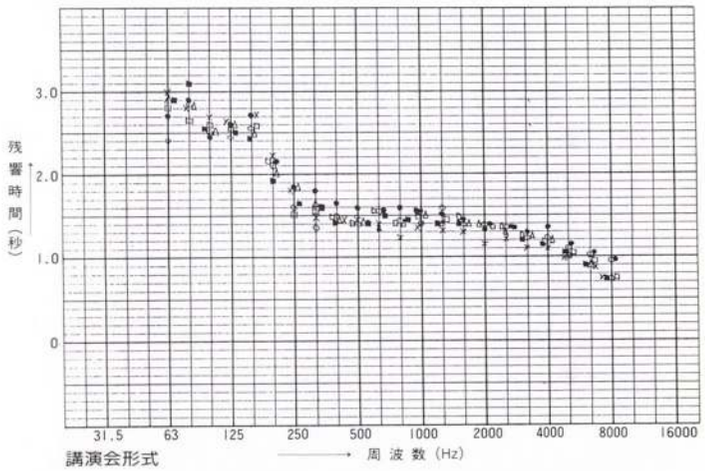
また、光ケーブルを使用して行われる広帯域ISDN（B-ISDN）実験がこのホールで企画段階にあり、多数のテレビカメラ甲空配管を設備した。例えば、関西新空港をはじめとする他施設に対して複数の動画情報などの多量のデータの送受信が行えるようになっている。近未来の情報受発信・交流活動のかたちを模策するものである。


講演会・演劇形式

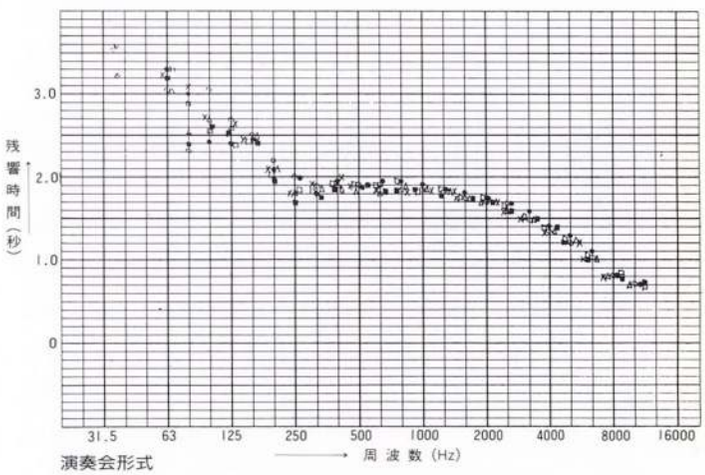

演奏会形式


会議形式

メインホールの利用パターン



講演会形式



演奏会形式

メインホール残響時間周波数特性

会議室

交流棟３Ｆの大会議室、５Ｆの中小会議室にも部屋の広さに合わせた十分な天井高さと同通設備、天井バトン、ライトバトン、可動間仕切や、AV設備がバランスよく備えられた。NC値も30と設定されている。会議の他、レセプションパーティーといった利用形態にも対応すべく、各階にパントリーを設けた。

また小会議室４室のうち１室は、パソコンを多数使用するセミナーなどにも対応可能となっている。各会議室には、ナイル、黄河などの世界の河川の名前が付けられた。

イベントホール

イベントホールは、学会やコンベンションの際に不可欠となる各種の展示を主目的としている。１フロア一体使用すれば最大40小間の展示ブースを組むことができ、各ブースに床下から水、ガス電源及び電話回線を取り出して使用できる様になっている。この他、各種のイベントやパーティーに対応して可動間仕切による２分割が可能であり、天井バトン、スクリーンに加え格天井の一部を昇降式としてあり、表情を変えることが出来る様になっている。



大会議室

インフォザール

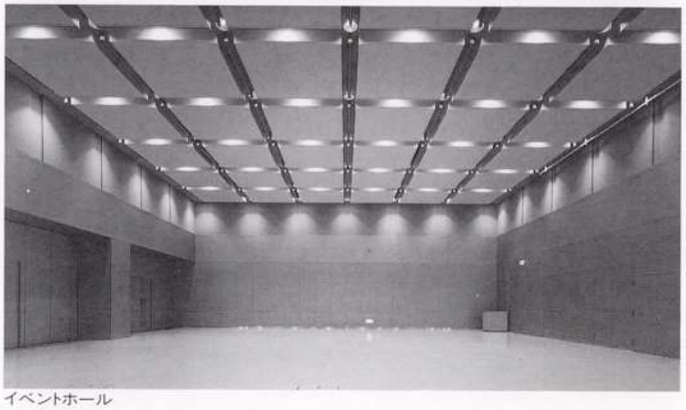
けいはんなプラザの持つ諸機能のひとつの柱である情報交流をサポートする部門として、㈱けいはんなインフォザールが設立された。その活動の拠点として展開された我国初のマルチメディア情報センターがインフォザールである。インフォは情報、ザールは広場を意味する。そのサービスは内容については情報システムの項に詳述するが、アトリウムに広く開かれた受付ロビー、ブラウジングスペースと端末スペースをやわらかな曲面で構成し、奥にはヘルプデスクとよばれるサービスカウンターを設けている。



インフォザール



中会議室



イベントホール

ホテル・レストラン

レンタルラボ・インフォザールによる研究促進機能、住友ホールによる交流促進機能に加えこれらをサポートする施設が交流棟を中心にいずれも第II期工事への拡張をにらんで展開されている。

サポート施設の中核をなす研究交流サロン、レストラン、喫茶、ラウンジ、バーとセミナー宿泊室は、㈱けいはんなと都ホテル大阪のサポートにより㈱けいはんな都ホテルとして運営されることとなった。

宿泊室の需要としては、けいはんなプラザの教育研修機能としてのセミナーやコンベンションへの参加者の宿泊や、研究者の中長期宿泊などが想定された。宿泊室の規模と構成は、シティホテルのインターナショナルスタンダードサイズである30～36m²(ツインルーム)と22～24m²(シングルルーム)を目安とし、第Ⅰ期では、ツインタイプ20室、シングルタイプ36室、レジデンシャルタイプ11室、スイート1室、計68室としている。レジデンシャルタイプは、ツインルームのシングル利用という設定でインテリアにゆとりをもたせ、この内3室にはミニキッチンを設けて中長期の宿泊需要に応えている。各タイプとも学研都市の宿泊施設にふさわしく、広々とした窓際に大型のライティングデスクを備え、パソコンやファクシミリの持込みも可能な設備を用意した。また、利用者が多様なことと、客室の稼働率や在室率にばらつきが予想されたため、空調は全室にスルーザウォールエアコンを採用し、ライティングテーブルと一体のデザインとして窓台に組み込んだ。これにより各室の手許で自由に発停、冷暖房の切り換え、温度調節が可能となっている。また、これらの空調照明等の電源はカードキースイッチにより、省エネルギー回路が組まれている。

研究交流サロンは、2Fをレストラン、1Fを喫茶・軽食、ラウンジ、バーという構成で、いずれも日時計モニュメントの広場とアトリウムロビーに面して明るく開放的な交流の場を提供し、レストラン内には個室を設け、小規模な会合にも備えている。また、けいはんな都ホテルは、住友ホール会議室への料飲サービスも行っている。

その他のサポート施設

第Ⅰ期としては、交流棟に銀行、ツーリスト、シティストア、和風居酒屋が入居しており、ラボ棟1階に開局した郵便局とともにプラザ内の研究者をはじめ、周辺に立地している研究所の活動をサポートしている。

今後、クリニックの誘致のほか、次期の北敷地の計画においては、ホテルの拡張をはじめ、より充実した商業施設やスポーツ施設の建設の計画がある。


ラウンジ


レストラン



フロント


レストラン個室


カフェテリア


客室

研究施設

3系統のレンタルラボ

ラボ棟、スーパーラボ棟のレンタル研究所スペースは、けいはんなプラザにおける研究促進機能を担うものとして位置づけられている。

第1期工事として今回建設されたレンタルラボは多種多様な研究テナントの入居を想定して、仕様の異なる3つの系統が用意され、オフィス・エレクトロニクス系、理化学実験系、特殊実験系と呼ばれている。

ラボ棟

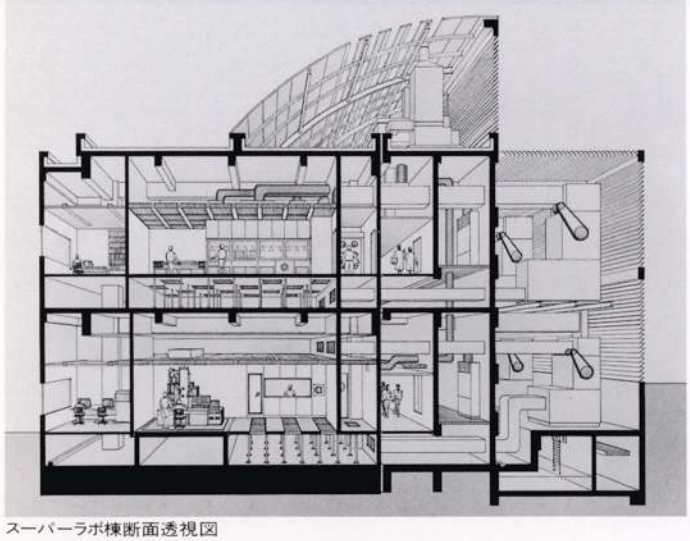
レンタル研究室の計画においては、まず各研究室が他の研究室になるべく影響を与えずにリノベーションが可能であること、各供給処理施設が簡単に設置・変更できること、またこれらが建物の外観に影響を与えないことが重要である。ここでは建物中央にテクニカルスリットと呼ばれる外部の吹抜けを設けて、室外機の設置や配管スペースに供するとともに、1Fピロティから屋上へ上昇する空気の流れを作ることにより各研究室からの排気をも可能にして、この建物の断面を特徴づけている。

全13フロアのうち高層部6～13Fの8フロアをエレクトロニクス系、低層部2～5Fの3フロアを理化学実験系として、外観にもその構成が表現されている。エレクトロニクス系フロアは、通信、情報系の研究や、重仕様のインテリジェントオフィスを想定しているのに対し、理化学実験系研究室は、動力用電源の他に各ユニットに水、ガスの供給を受け、床下フリーアクセス内から自由に取り出すことが出来ることが大きな違いである。ひとつの研究室ユニットは約80m²とし、各フロアにテクニカルスリットをはさんで南北に6ユニットずつ、計12ユニットレイアウトされている。床荷重も1m²あたり500kgを設定して、レイアウトのフレキシビリティーを高め、通常のオフィスビルに比べ剛性の高いものとした。

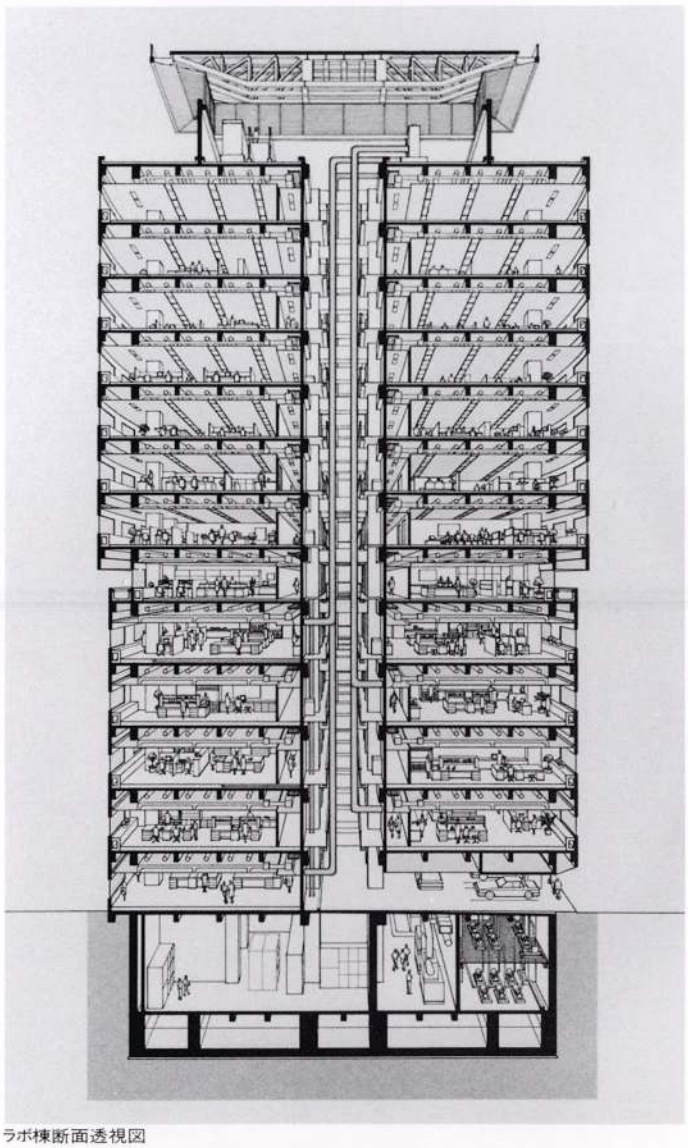
各テナントユニットごとに実験環境や就業時間帯にもずれが生じることが考えられるため、インテリアゾーンの各階空調機、単一ダクトVAV方式に加え、ペリメーターにスルーザウォールエアコンを採用することにより冷暖房の切り換えや温度設定、発停が手軽に室内で出来るようになっている。

スーパーラボ棟

スーパーラボ棟は、更に特殊な実験に対応するスペースとして計画されている。給水、給湯、ガスの供給、中和処理施設の設置のほか研究室の床荷重条件を1m²当たり1tまでと設定し、クラス100レベルまでの垂直層流方式のクリーンルームに対応できる十分な階高を確保するとともに、電子顕微鏡をはじめとする精密測定器の設置に耐えるだけの微振動対策に細心の注意が払われている。



スーパーラボ棟断面透視図



ラボ棟断面透視図

微振動を嫌う精密測定器は、1階に設置する想定であったが、交通振動による影響を考慮し、配置計画の段階で建設予定地の微動測定を行った。これより、前面の精華大通りの車道から、約40mセットバックすればその影響はなく、満足できる微動レベルであることが確認された。また振動測定は、垂直方向にも行い、この結果をふまえてスーパーラボについては建屋周囲をサンクンガーデンとして、地盤面より約3m沈めて配置することとした。振動測定は、躯体工事の完了時にも行い、周辺道路の舗装工事の終了ともあいまって更に良好な結果を得た。

研究室は、ラボ棟よりやや広い1ユニット100㎡とし、1フロア6ユニット、計12ユニット設けられた。十分な階高を持つことにより、想定天井高を3mとしても床下と天井内に1.5mずつのふところを持っておりテナントが自由に実験機器や、クリーンルームをレイアウトできる。

標準空調機、野外機スペースも、各ユニットに1対1対応して配置されている。空調機械室、屋外機スペース、昇降機など建物内にある振動源についても、エキスパンションジョイントにより構造的に独立別建屋を設けて配置し、研究室部分と絶縁している。これについても全ての設備工事、仕上げ工事が完了後、再度振動測定を行って確認された。最終的には設備機器の稼動状態で振動加速度0.04gal、振動変位0.10μmに押さえられ、周辺に大型車両を走らせても0.27gal、0.88μmであった。これは国内では最高クラスの電子顕微鏡JEM-4000FX、質量分析器MASS-HX110、核磁気共鳴装置NMR-EXレベルの精密測定機器のクライテリアをクリアするものとなっている。


テクニカルスリット

リフレッシュコーナー

ラボ棟、スーパーラボ棟ともに、各階に大型コーナーウィンドウを持つリフレッシュコーナーを設け、緑豊かな外部環境とともに、研究者の談話と休憩の場としているほか、ラボ棟2Fには小規模ながらフィットネスジムも用意されている。

(なかい　すすむ／日建設計・大阪　設計部長
にのみや　あきら／日建設計・大阪　設計主管
こだま　けん／日建設計・大阪　設計部
おおわだ　せいいち／日建設計・大阪　構造設計主管
とくだ　ゆきひろ／日建設計・大阪　構造部
せき　しんじ／日建設計・大阪　技術長
もりさき　みのる／日建設計・大阪　設備設計主管
まえだ　あきら／日建設計・大阪　設備部
ほりかわ　すすむ／日建設計・大阪　設備部)


ラボ棟リフレッシュコーナー


スーパーラボ棟リフレッシュコーナー

自然環境とのコミュニケーション

関西文化学術研究都市は、21世紀に向けての文化・学術・研究の新たな拠点となり、自然環境や既成市街地との調和に配慮しながら整備されていく理念をもっている。けいはんなプラザも自然エネルギーを有効に利用しながら、エネルギー価値を考慮したシステムを採用することで、21世紀にむけた、地球にやさしく自然環境と調和する建物のきっかけとなるべく計画を行った。

自然エネルギーの利用

自然エネルギーを利用するうえで、最初に考慮しなければならないのは、その土地の気候である。関西文化学術研究都市は、その区域内に12のブロックを設置するクラスター方式を採用しているため、各ブロックの面積は比較的小さく周囲は既存の緑で覆われている。そのため、夜になっても気温が下がらないといったヒートアイランド現象とは無縁の良好な気候が維持されることが予測され、夜間輻射、安定した地中温度などの自然の恵みが多いに利用できるはずである。

また、自然のエネルギーは常にゆらいでおり、それを安定して利用するためには、熱をたくわえておく必要がある。幸い、けいはんなプラザにはメインホールなどの熱的に大容量な空間があり、躯体蓄熱としての利用が簡単にできる。

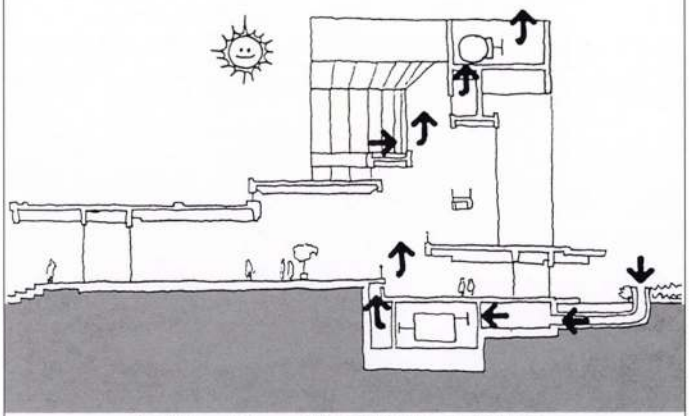
以下に自然エネルギーを利用したシステムをいくつか紹介する。



COOL TUBE

各施設の中心となるアトリウムは5層吹抜けとなっており、自然光が多く導入されている。このような大空間はエネルギー多消費形と思われがちであるが、その空間構成を逆に利用して、自然光の導入による照明エネルギーの削減、自然エネルギーの利用による熱負荷の処理を行えば、省エネルギー形の空間にすることも可能である。そこでけいはんなプラザのアトリウムでは外気を取り入れる時にクールチューブと呼ばれる地中パイプを通して、年間の温度変化が少ない地中熱を利用し、夏は取り入れる外気を冷やし、冬は温めている。またアトリウム頂部のトップライトで暖められる空気を取入れることも可能である。

また、人のいる部分に限定して空調を行うことでエネルギー消費量をおさえている。

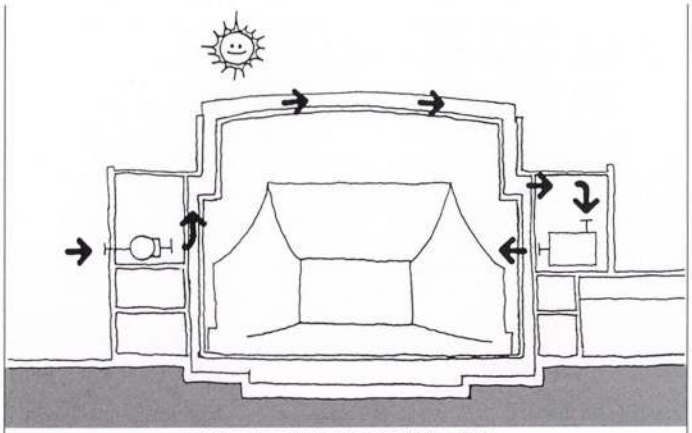


冷房時クールチューブ外気取り入れ、頂部熱排気

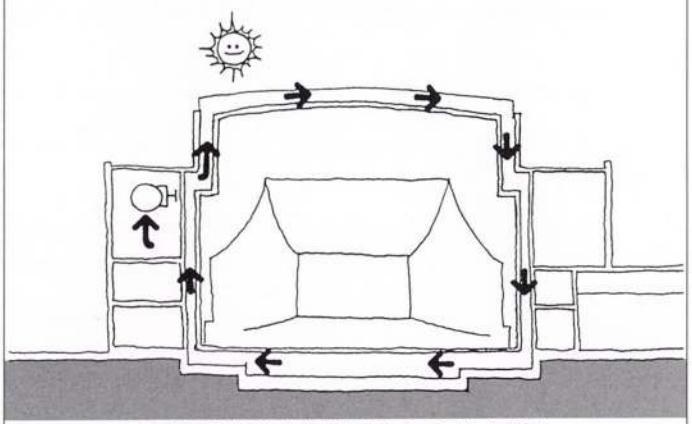
SOL AIR ROOF

冷房・暖房とも、大きな熱負荷の原因となるメインホールの大屋根の一部を金属板とコンクリート躯体による2重構造とし、その内部に風を通すことで、冬は日射によって取り入れる外気を暖める集熱板として、夏は空調時の余剰排気によるエアーフロールーフとして熱を遮断し、更には夜間輻射による放熱板として利用する。ここで集められた熱はタイミングよく、すぐに利用することも可能であるが、客席床下のコンクリートリターンチャンバーに一度貯めた後で安定して利用することも可能である。

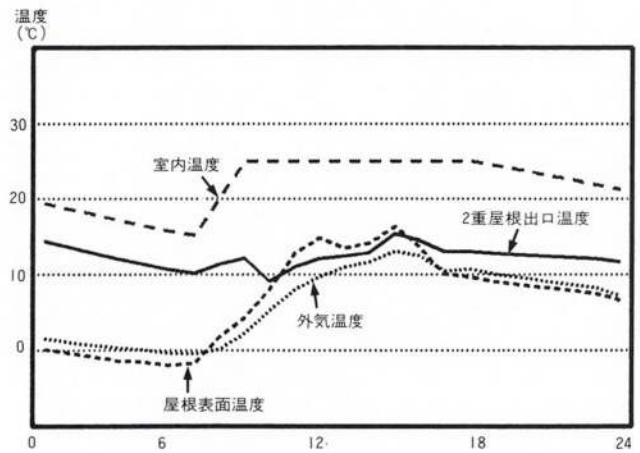
また、この熱はメインホールだけでなく隣接するイベントホールでも必要に応じて取り出すことができる。



取り入れる外気を日射で暖めて利用



日射で暖められた空気を床下チャンバーに蓄熱



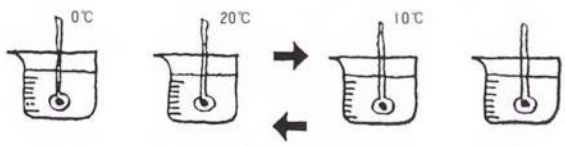
SOL AIR ROOFの効果

——暖房時外気予熱シュミレーション——
外気温度に比べて2重屋根出口温度が
2～3℃高くなっていることがわかる

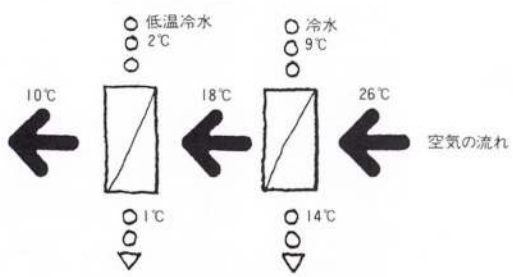
エクセルギーを考慮した蓄熱

けいはんなプラザでは、深夜電力を利用して水と氷を熱媒体とした蓄熱システムを採用している。このシステムをより効率的に利用するため、エクセルギーの考え方を導入し、エネルギー価値の高い氷蓄熱槽から得られた低温冷水で室内温度の空気をいきなり冷やしたり、水蓄熱槽の冷水とまぜてしまったりするのではなく、水蓄熱の比較的な高温な冷水で予冷を行い、氷蓄熱の低温冷水では仕上げの冷却を行うように制御している。

また、空気側も低温送風が可能になり、大温度差空調を採用することで、エネルギー価値の高い電力による搬送動力を低減している。このエクセルギーの考え方は、このシステムだけでなく、たとえばアトリウムにおいて、エネルギー価値の高い照明電力の消費を減らす代わりに増える熱負荷を価値の低い地中温度などで処理するといった際にも重要になる。



——エクセルギーとは——
0℃と20℃の水をまぜるだけで10℃
の水は得られるが、その逆は不可能



低温冷水で仕上げの冷却だけ行う

水の循環・浸透

これだけ大規模の施設になると、給水・排水が都市環境にあたえる影響も無視できない。そこでけいはんなプラザでは、中水処理施設を設置して、建物内での水の循環を行い都市に与える影響を小さくしている。また、植栽、浸透舗装を積極的に利用し、雨水に対する、土地の保水性を高め、地面からの蒸発冷却による屋外環境緩和も図っている。

(ほりかわ すすむ／日建設計・大阪 設備部　こだま けん／日建設計・大阪 設計部)

情報システム

松下道行

基本的な考え方

「けいはんなプラザ」の情報システムは、「文化学術研究交流の機会と場を提供する」という施設の目的を実現するために、次の２点を基本コンセプトとした。

１．交流施設のインテリジェント化

テナントビルとしての基本機能の整備、カードによるキャッシュレスシステムの構築、安全性を高めるセキュリティシステム、快適な環境を演出する音響、映像システム

２．文化、学術、研究に係わる情報交流拠点の形成

内外情報拠点及び研究者相互のネットワーク、研究情報データベースの構築、高度な情報加工機能

交流施設のインテリジェント化

１．ビル運営管理システム

研究施設の入居するテナントビルとして、通信費、エネルギー費（電力、浄水、温水、ガス、空調）を計算するため、PBX及び設備機器監視システムから必要なデータを受け取り、料金請求につなぐ。㈱JCBと提供し、入退室用キーも兼ねた「けいはんなカード」を発行し、館内でのキャッシュレスを実施する。

テナントの空調予約を多機能電話からも可能とし、会議室予約情報とあわせ、蓄熱槽運転用の負荷予測を行う。

Infosaalのセキュリティ管理及び管理及び課金処理を行う。

２．通信システム

●高度情報化社会に対応するため、FDDI準拠のLAN（基幹400M、支線100M）を設置した。

●テナント用に、PXB系、LAN系共通配線方式を採用し、レイアウト変更に柔軟に対処可能とした。

●ホストコンピュータと親和性をもつPBXを採用しねテナントへの通信サービスを向上。また、拡張性を確保した。

３．セキュリティシステム

●研究施設としての機密保護と交流施設としての開放性を兼ね備えたセキュリティシステムを目指した。

●カードによる入退室管理、各種センター、ITVによる守衛室での集中監視及び巡回による警備を行い、防災監視とも十分連携している。

４．ホテルシステム

●ホテル用パッケージを採用

キャッシュレスシステム実現のため、ホストコンピュータとのインタフェースを行っている。

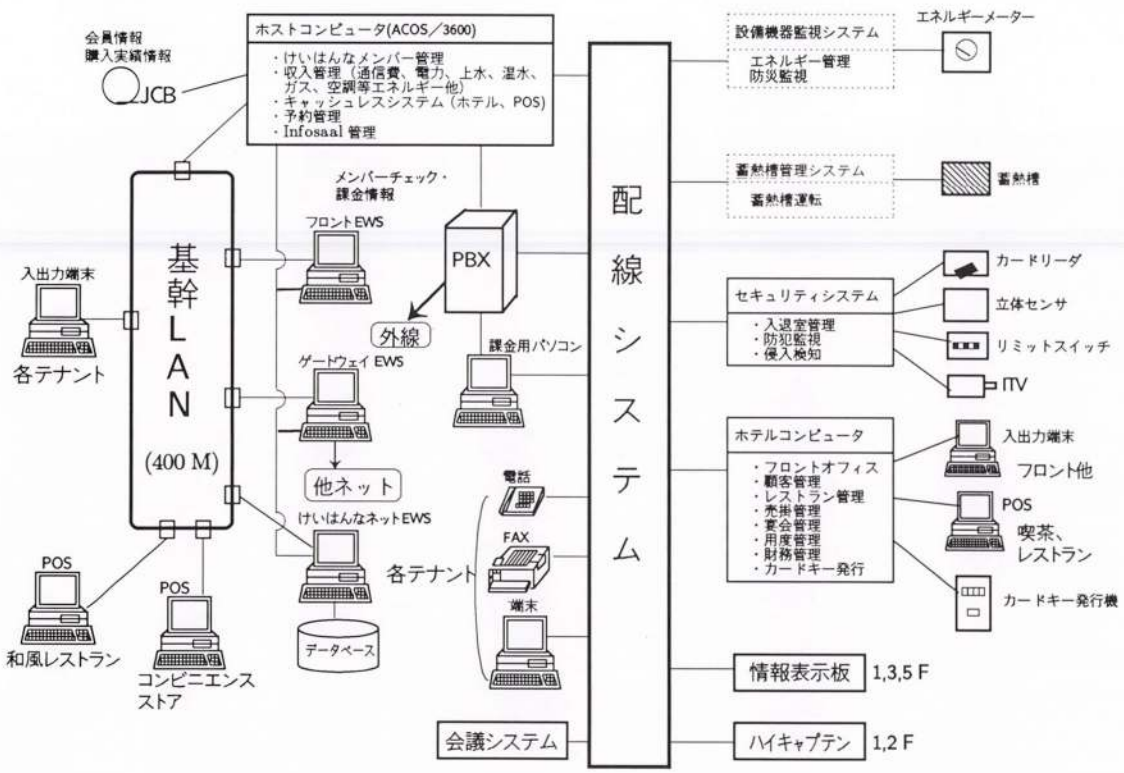
●カードキーを採用し、カード発行機と連動した。

５．会議システム他

●大、中会議室及び小会議室の一室にAV会議システムを設置した。

●催物案内等に活用できる情報表示板を設置した。

●施設案内、交通機関案内のためのハイキャプテンを設置した。



文化、学術、研究に係わる情報交流拠点の形成

情報の受発信基地を実現するものとして、Infosaalを設立した。(Infoは情報、saalは広場を意味する)

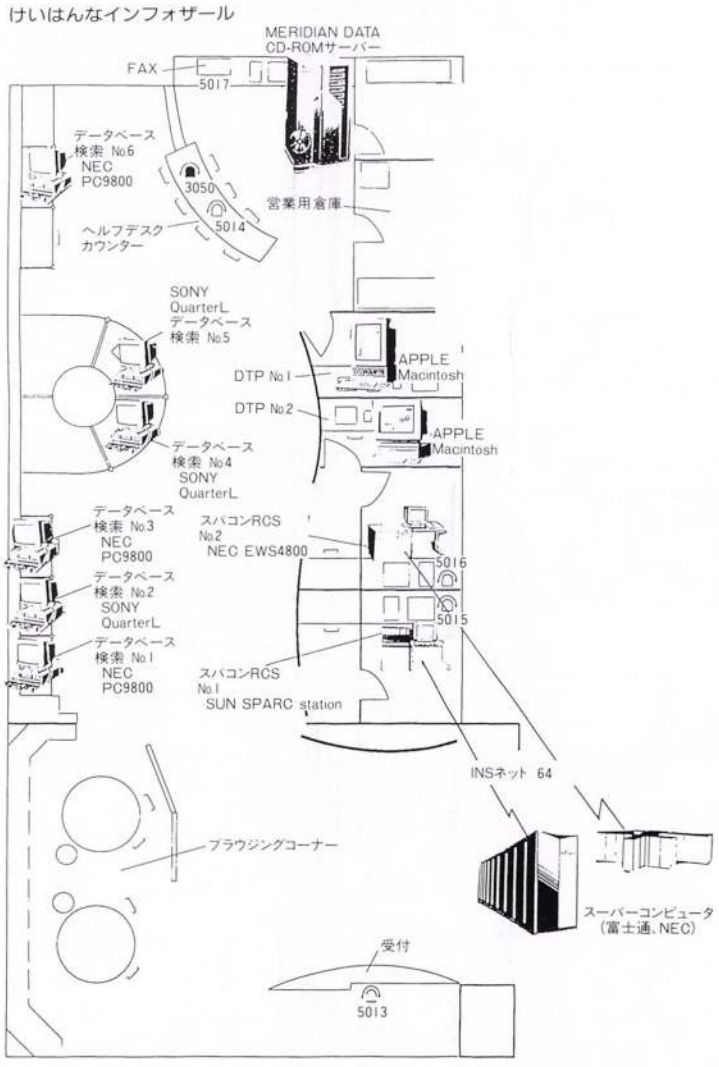
1．Infosaalの3つのサービス

(1)電子情報サービス

内外のデータベース700種類以上(JOIS、LEGISLATE、LEXIS、DIALOG、LEXPAT、日経テレコムBiz、QUESTEL他)に対して、アクセスできる。Infosaalスタッフによる代行検索、情報分析・評価等のコンサルティングサービス、InfosaalブースでのCD−ROMをはじめとする各機器の利用も提供している。

(2)情報ネットワークサービス

Infosaalネットで会員相互の交流を可能とし、ゲートウェイを通じて、国内及び海外のネットワークサービス、データーベースのアクセスができる。



(3)情報加工サービス

最新鋭のスーパーコンピュータにInfosaal施設内または会員の端末から直接アクセスできる。機械翻訳、電子出版、コンピュータグラフィックスなどのメディア加工サービスの提供も行っている。

2．VAN／DBシステムの構成

内外のデータベース検索、ネットワークを実現し、システムの信頼性拡張性を確保するために、次の構成とした。

(1)ホストコンピュータ

メンバー管理、セキュリティ管理、課金管理を分担する。

(2)フロントEWS

1EWS当り10回線を分担し、端末数により追加していく。メッセージ分析、選別、返信及び通信実績のホストコンピュータへの通知を行う。

(3)ゲートウェイEWS

接続先データベース毎に、メッセージ加工を行ってアクセスする。相手先の増加に伴い、EWSの増設が可能であるとともに、傷害発生時は局所化できる。

(4)けいはんなネットEWS

従来より資産であるけいはんなネットを継承する。1つのゲートウェイEWSであるとともに、国内地域ネットとの接続、独自データベースの構築を行っている。

3．システムの特色

(1)ネットワーク化

各サービス毎に最適なネットワークを採用し、有機的に結合することによって、利用者はネットワークを意識せずにアクセスを可能とした。

(2)オープン化

●パソコン〜スパコンまで、各サービスに最適なハードウェアをネットワークでリンクし、コストパフォーマンス、利用者利便性を最大化した。

●LANソフトの整備により、あらゆる機種のパソコン、ワークステーションの共存を可能とした。

(3)ダウンサイジング

●システムの中核は、UNIXワークステーション群によるダウンサイジングを実施した。

●セキュリティは、ハッカーに強い汎用コンピュータで分担した。

(4)マルチメディア化

マルチメディア化に力点を置いて、将来にわたるニーズを先取りしている。

(まつした　みちゆき／住友金属工業)

モニュメント

箕原　真

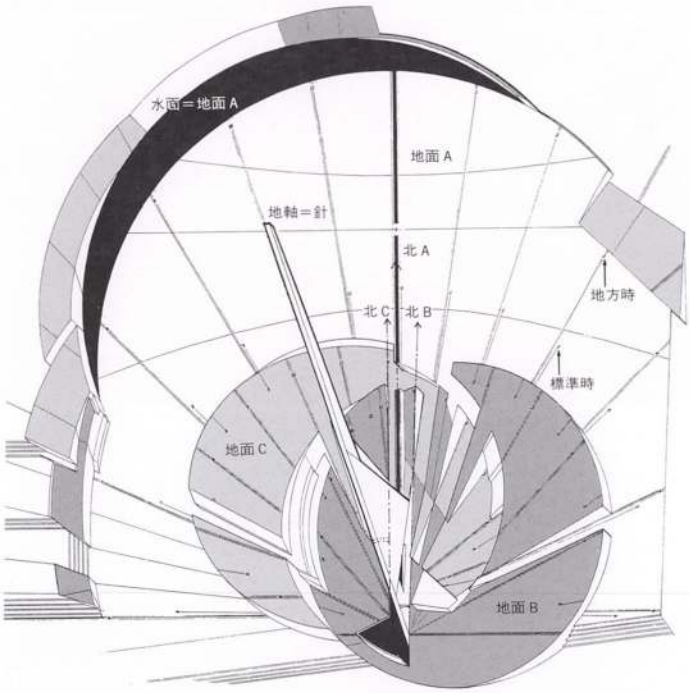
この地球上で人々は、同一平面に立っているわけではなく、球面上の夫々の地上に立っている。そのため、同じ太陽を夫々違った角度から見ているので、日の出から南中・日没を見ている時間の違いや、日射量の違いなど、様々な差異が生じる。

この広場は、異なる3地点（Aけいはんな・B佐世保・C宮古）の地面を、そのままの角度で重ね合わせた日時計になっていて、各地面の夫々の真太陽時（地方時）と共通の日本標準時を刻み込んである。各地面と太陽のなす角度は夫々の現地と同じであり、また、水は「けいはんな」の水平面（地面）でもある。

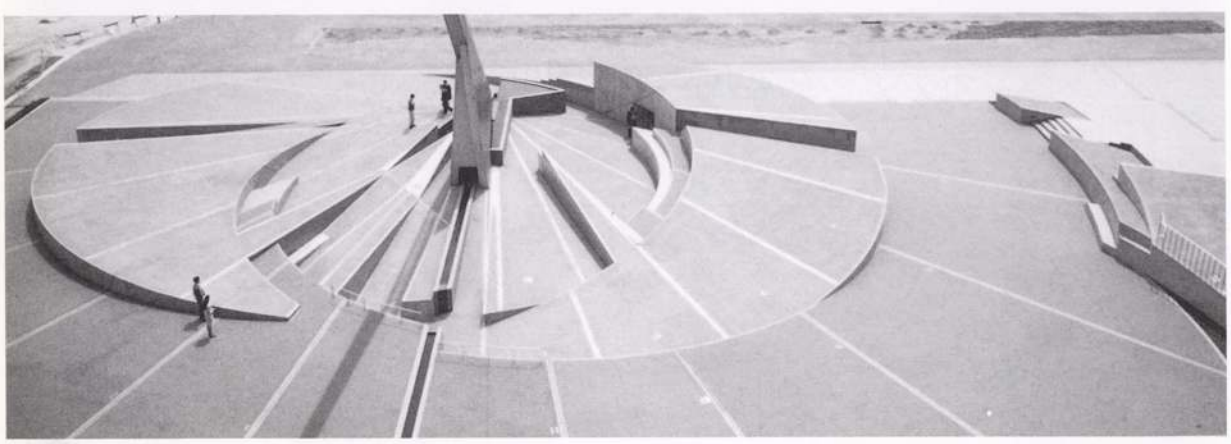
日時計の針は地軸に等しく、太陽がこれを中心に回っている様に見えるが、この地軸は、地面が違っても同じ一つのもので、各地面からみた角度が違うだけである。夜は、針（＝地軸）沿いに北極星に向けてレーザー光線が発射され、それを中心に星空が回転する。

各々の地面に立ってみると、この3地点だけでも意外に差異があることが分かるが、地球に対して、空間的な実体験として、感じ取ってもらえたらと思う。

（みのはら　しん／箕原　正デザイン研究所）







ランドスケープ

森山　明

「出会いと交流の場づくり」これがけいはんなプラザの主題である。ランドスケープ計画はこの主題をうけて、以下の５項目のサブテーマを設定した。

①開放性の高いアクセス・ルート
②シンボル性の高いモニュメント広場
③一体性のあるフロントヤード
④多様性のあるエントランス
⑤地域の文化景観の反映された緑地

これらのサブテーマをもとに展開したランドスケープ計画は、変化に富む外部空間を生みだすこととなった。

アクセス・ルートは東西南北からあわせて６本。精華大通りからの主要アクセス・ルートは２本あり、１本はスーパーラボ棟、ラボ棟へ、他の１本は日時計広場からホール玄関及びホテル・フロントを含むアトリウムへ導入する。西側からはラボ棟及びスーパーラボ棟へ。北側からは、交流棟のメインアクセス及び駐車場への連絡通路の２本がとられている。また、東側には交流棟への直接入口がとられるなど四方への開放性に大きな注意を払っている。出会いと交流の場づくりにいかにアクセス・ルートの設定が重要かという設計者の認識が示され、ランドスケープ・デザインはこれをうけて、軸線を設定しビスタを通すことによってアクセス・ルートの開放性を実現した。また、十字に交わるビスタの交点には、アイストップにケヤキ株立の高木を置き、敷地の奥行感と緑量感を生みだすよう計画した。

精華大通りに面したフロントヤードは、新しい提案による大胆な試みが実現した。住宅都市整備公団学研局が別途整備することになっていた公道部分の歩道形状を境界の仕切なしで相互乗り入れし、本敷地との一体化をはかることとした点である。大きなうねりを表現したフロントヤードは歩道部分へ一部突きだし、逆に歩道部分を本敷地内に一部引き入れるなどして、あたかも官民境界のないランドケープ景観が生みだされた。これは住都公団及び京都府関係当局の英断によるものと高く評価される。今後、緑地維持管理協定によって一体的管理が行われる予定である。

エントランスの多様性は敷地の高低差を活用し歩行者専用と歩車併用と各々の形状に変化をもたせ、植栽樹木によって個性をもたせて表現した。精華大通りからは、サンクンしてラボ棟、スーパーラボ棟へ到るルートと、昇りながら交流棟へ到るルートにわかれクスノキとヤマザクラ株立を配した。交流棟は、秋篠宮夫妻の手による記念植樹のオガタマノキとカラタネオガタマが加わる幸運も重なりきわめて特徴のあるエントランスとなった。西側エントランスにはヤマボウシの株立を、北側には２本のケヤキの大木でお迎えのゲートを、さらに東側にはヤマモモを配した。こうした多様なエントランスは、床面に共通して用いた石貼りによつて統一感と連続感を与えられ景観の変化と統一のバランスが保たれている。

地域の文化景観の反映は、周辺地域に現在するアカマツ、コナラアラカシ等の既存樹林の林層構成に近似した植栽によって表現した。けいはんな丘陵の伝統的な風景にとけ込むような緑地景観には、主としてアラカシ、ウラジロガシ、ヤマザクラ、ヤマモミジ等を用いた。また、新たな地域の文化景観を生みだすものとして、アメリカヤマボウシ、ヤマボウシ、コブシ、などの花木、ミヤギノ、ハギ、ボケ、レンギョウ、ヤマブキなどの花かん木、ヒペリカム・カリシナム、フイリヤブラン、アガパンサス（ムラサキクンシラン）などのグランドカバー植物を多く用いフレッシュではなやかな季節の景観演出を行うことをめざしている。

（もりやま　あきら／日建設計 技術センター 技術長）


南側フロントヤード

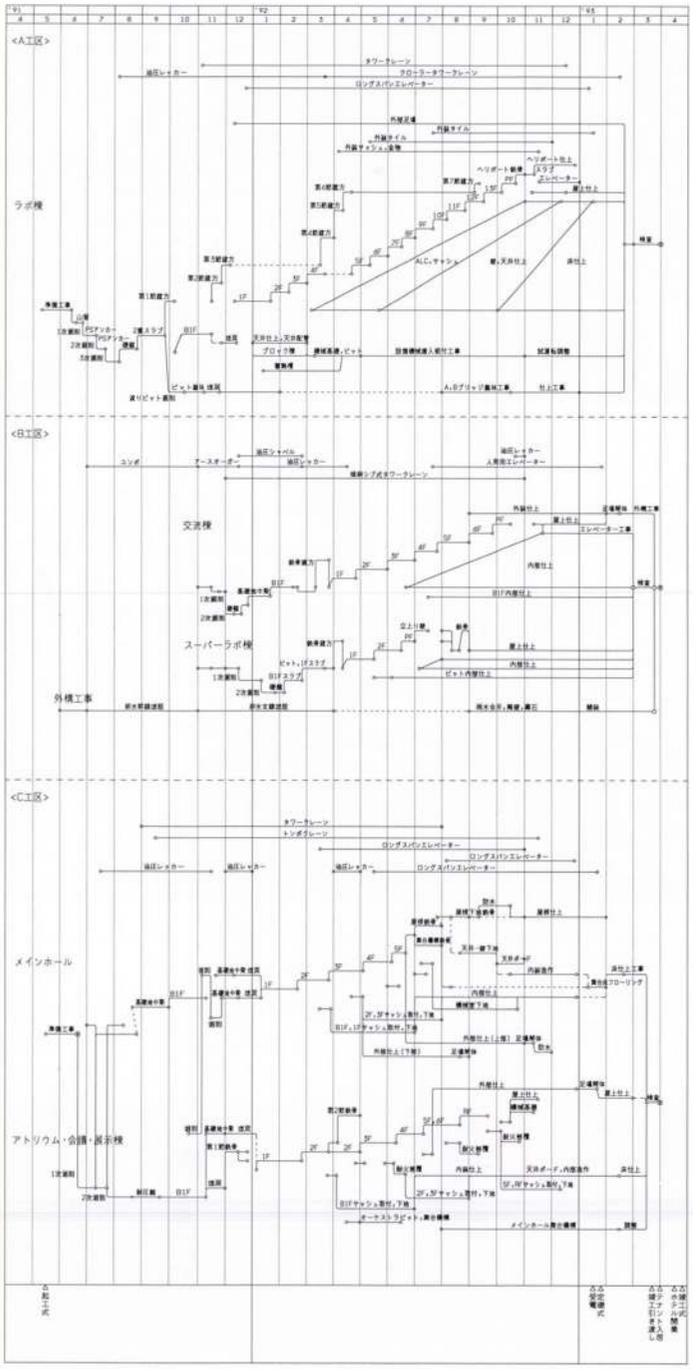

スーパーラボ棟昇り庭


西側アプローチ


南側アプローチ

施工

前田　亮／大霜邦彦／林　毅



総合工程表

A工区(ラボ棟)

けいはんなプラザは、関西文化学術研究都市の中核施設として位置づけられ、高度な研究施設から、多機能のホール、ホテルまでをも備えた一大複合施設である。第Ⅰ期工事は３つの工区に分けて発注され、各々企業体を組んでこれに臨むこととなったが、相互に足並をそろえ、このたび無事完成を見た。A工区の施工建物はラボ棟と呼ばれる大型のレンタル研究所であり、施設内では最高層の地上13階建、頂部には更にヘリポートを備える。地下には施設全体の熱源と特高電気室を持ち、B、C工区との綿密な調整を必要とした。

●品質管理

まず施工図の早期作成を進め、全工区の共通事項も考え合わせて細部の入念な打合せを行い、供試本の製作とともに各部の施工法を検討することにより徹底した管理を行った。また、工事の後半には入居の決定した各テナントの研究内容や、特殊実験設備に対応して、慎重に調整を取りながら設備工事、内装工事を行った。

●工程管理

地下工事、躯体コンクリート工事、鉄骨建方工事等での工程短縮を考え、地下及びコンクリート工事は横割２分割に工程を修正、鉄骨建方も１節と２、３節、４～６節と３段階に分ける修正を行い、工程上遊びのない方針で実施した。屋上ヘリポート鉄骨についても仮設足場と建方時期の見直しを行った。

●安全管理

京都府下においては最高層の大型工事となり、各関係先からも注目される工事で、全工期無災害を目標として徹底した安全管理を行った。各工区に統括安全衛生責任者と安全委員会を配置し、その規約に基づいて毎週打合せを行うほか、工区間の連絡や調整を密に行うことにより、完成まで無災害記録を達成することができた。

（まえだ りょう／大林・前田・奥村・鴻池・浅沼共同企業体 所長）



B工区(スーパーラボ棟、交流棟、外構、モニュメント)

●工程管理

施工の建物は、ホテル、テナントを持つ交流棟と工事期間中に振動測定し、計画通りの機能を実証したスーパーラボ棟の２棟であったが、交流棟は先行されたアトリウム棟の取合、調整と仮設計画で、スーパーラボ棟は、２階建てではあるが階高が７ｍと高く、半地下状になっているため、仮設計画で苦労した。また、外構工事は、他工区の建物周囲が全て、工事範囲に入り、竣工までの全工区の仮設通路を確保するという。課題があり、標準工期より、短縮検討を図る必要があった。そのために、地道に創意工夫を凝らした次の工法を採用し、調整を行った。

1)地下山止め杭は自立およびバックアンカーとし、構台を設けず、作業性を優先させ効率をあげた。

2)タワークレーンをほぼ建物全域に届くように計画し、油圧クレーン等配置による通行止めおよび作業スペース、材料ストックヤードを無くすることが無い様常に留意した。

3)躯体工事の鉄骨は積層工法を採用し、SRC部の鉄筋は半先組み工法を採用した。

4)外構の排水幹線の位置を足場外へ変更し、躯体工事期間中の施工を可能とした。

5)テナントが多く、内外装の仕上げや複雑な形状の建物であったため、施工図の工程管理には、特に注意を払った。

●安全管理

「安全を先取りし、全工期無災害の達成」を目標とし、安全活動を積極的に推進した。

特に形状の複雑さと、階高の高いことから、墜落と他工区への第３者災害の防止に重点を置いた。そのために、KY活動の充実、パトロールの強化、不安全行動、不安全施設の即是正等、現地建物の安全活動に徹し、災害発生要因の除去に努めた。長期にわたる安全活動の結果、延労働時間数400,000時間無災害を記録した。

（おおしも　くにひこ／竹中・熊谷・フジタ・銭高・青木・森本共同企業体 所長）

C工区(アトリウム棟、会議・展示棟、メインホール)

●メインホールの品質向上・工程短縮

●基礎工事

ホール建物特有の摺り鉢状基礎躯体（支持杭なし）で基礎底レベルが15種類もあり掘削時支持層を痛めないように掘削する事は工程上も品質確保も困難である為、掘削計画を十分に行い、機能的に向上し施工もスムーズにできる様、基礎形状のシンプル化も含め検討し、設計担当者のご理解を得て、９種類のレベルに変更できた事により、うまくすすめられた。

●型枠

コンクリート打放し部はほとんど曲面だったので、工場にてパネル化して、型枠精度の向上、現場での組み立て日数の短縮をはかった。

●本体鉄骨

屋根トラス、金属屋根地鉄骨は球体形状なので、可能な限り工場にてブロック化した。

●舞台機構鉄骨

ホール天井内のスノコ、キャットウォーク、シーリングスポット室等の鉄骨もブロック化し屋根コンクリート打設前に上から先行揚重を行いステージ上にて仮組を行った。

●天井内客席機能

本体鉄骨及び機構鉄骨本締め後、屋根コンクリート打設前にスノコ上に機構駆動装置、滑車等を先行揚重した。

●木工事

ホール内壁仕上げは化粧木仕上げで形状の複雑なグレードの高いものなので、側壁、舞台反射板等を、工場にて大型パネルに製品化することにより品質を確保でき、現場作業が短縮できた。

●内装及び天井内設備工事の施工

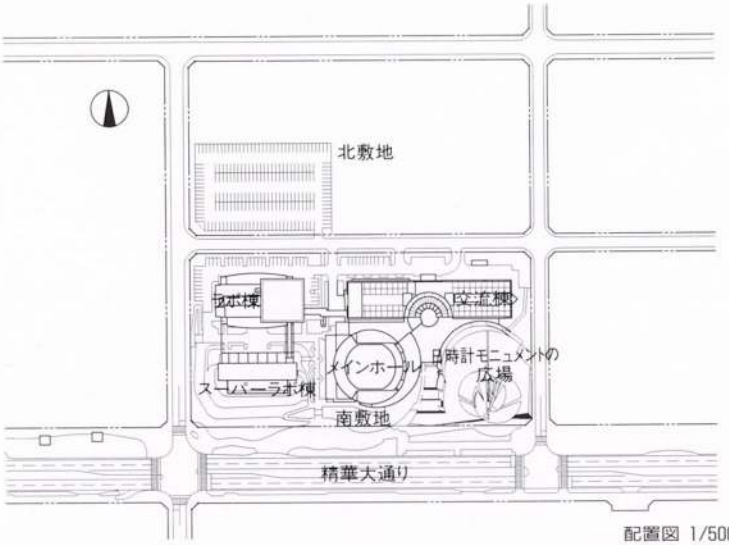
従来、天井内設備工事を完了し、内部足場を天井まで下げたのち、天井仕上げにかかっていたが、今回スノコの高さにて作業床を設けられたので、ラップ作業が可能になり、内装が早期着手、早期完了できホールの重要工事である舞台機構、音響、調光、映像工事の試運転、調整時間を十分に確保できた。

（はやし　たけし／鹿島建設・住友建設共同企業体 所長）

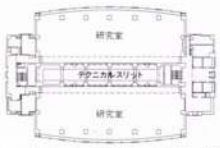




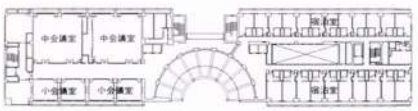




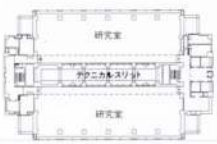
配置図 1/5000



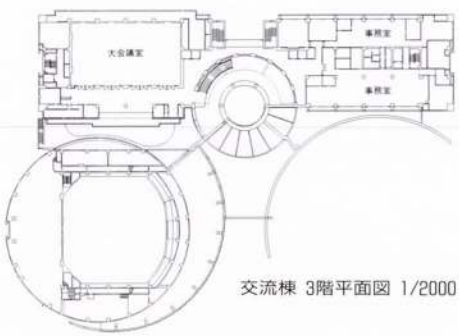
ラボ棟 6〜13階平面図 1/2000



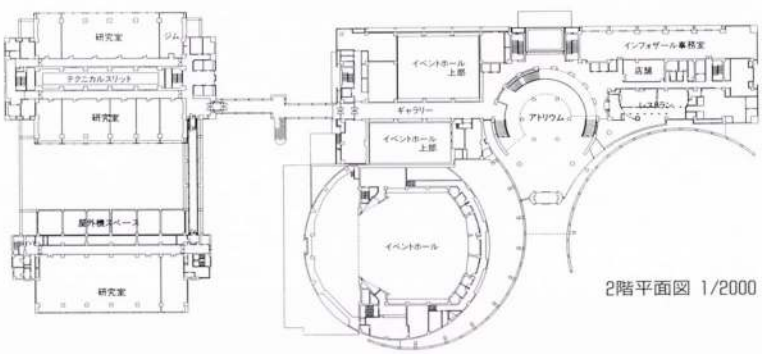
交流棟 5階平面図 1/2000



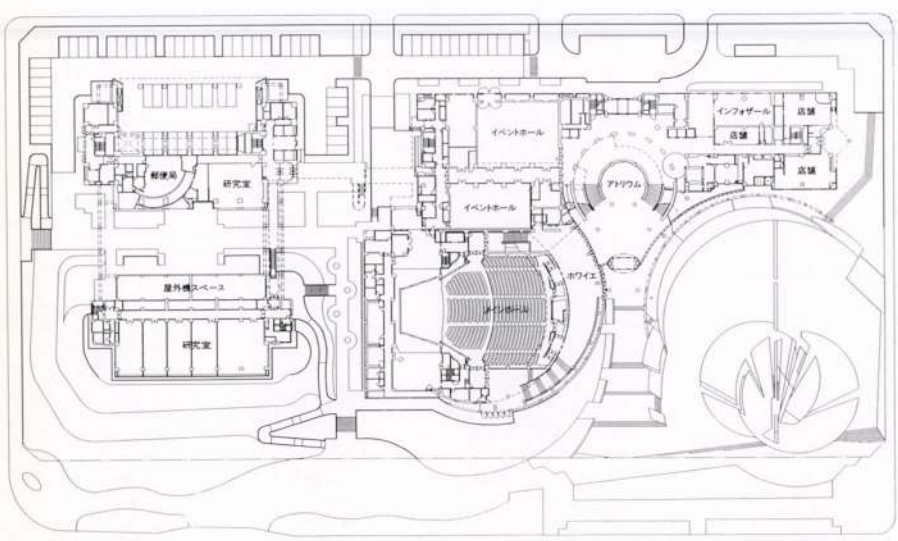
ラボ棟 3〜5階平面図 1/2000



交流棟 3階平面図 1/2000



2階平面図 1/2000

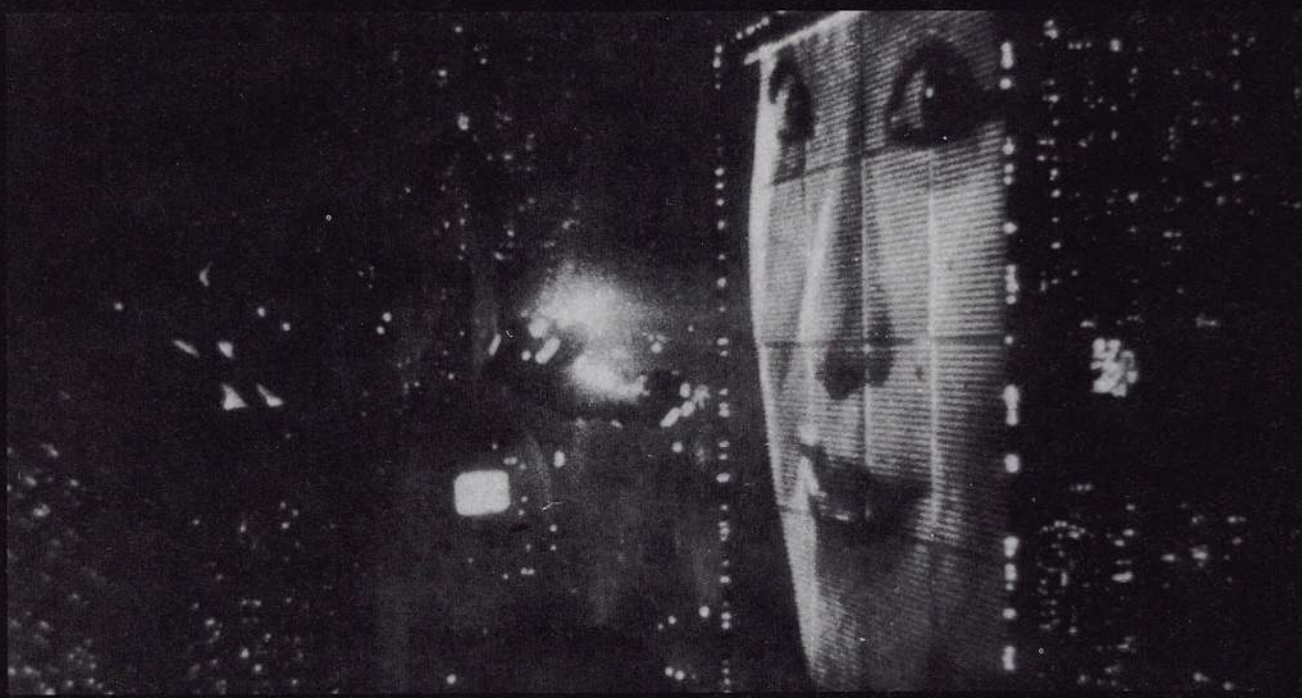


1階平面図 1/2000

建築概要

●建築名		けいはんなプラザ・住友ホール 関西文化学術研究都市「文化学術研究交流施設」 KEIHANNA PLAZA・THE SUMITOMO HALL
●建築主		㈱けいはんな 住友グループ20社
●所在地		京都府相楽郡精華町光台1－7
●主要用途		多目的ホール、会議場、展示場、ホテル、レンタル・ラボ
●設計・監理		日建設計・大阪
	総括担当	横川隆一
	建築	中井 進、二宮 彰、児玉 謙、森澤和夫、川野博義
	構造	大和田精一、徳田幸弘
	空調・衛生	関 伸二、堀川 晋
	電気	森崎 実、前田 章
	インテリア	柴田嘉夫、森島左武郎、高橋文吾、水口満博
	外構・造園	森山 明
	監理	秋枝 稔、高橋 徹、児玉 謙、堀川 晋
	計画	浅野 誠、石川貴之
	土木	村山芳久
	情報承設備	住友金属工業㈱ 担当：松下道行
	音響技術協力	㈱NHKエンジニアリングサービス 担当：古川宣一
	"日時計" モニュメントの広場	箕原正デザイン研究所担当：箕原真
●施工	ラボ棟	大林・前田・奥村・鴻池・浅沼共同企業体 担当：前田 亮
	スーパーラボ棟、交流棟、外構（"モニュメント広場"を含む）	竹中・熊谷・フジタ・銭高・青木・森本共同企業体 担当：大霜邦彦
	メインホール・アトリウム・会議・展示棟（住友ホール）	鹿島建設・住友建設共同企業体 担当：林 毅
●地域・地区		商業地域、防火地域 都市計画事業特定地区画整理事業区域内
●面積	敷地面積	25,720.00㎡（南敷地）
	建築面積	9,336.69㎡
	延床面積	40,576.22㎡
	各棟面積	ラボ棟 20,744.00㎡ スーパーラボ棟 1,886.32㎡ 交流棟 6,826.88㎡ メインホール・アトリウム・会議・展示棟 11,119.02㎡
●階数・寸法	ラボ棟	地上13階、地下1階、塔屋1階 最高高：64,070㎜／軒高：54,900㎜
	スーパーラボ棟	地上2階、塔屋1階 最高高：18,500㎜／軒高：12,700㎜
	交流棟	地上6階、地下1階、塔屋1階 最高高：29,200㎜／軒高：24,570㎜
	アトリウム・会議・展示棟	地上5階、地下1階、塔屋1階 最高高：29,200㎜／軒高：23,020㎜
	メインホール	地上4階、地下1階 最高高：23,400㎜／軒高：22,200㎜
●構造	主要構造	SRC造及びRC造一部S造
	杭・基礎	直接基礎（べた基礎及び独立基礎）
●外部仕上	屋根	アスファルト断熱防水コンクリート押えアスファルト断熱露出防水砂利敷フッ素樹脂塗装鋼板
	外壁	磁器タイル コンクリート化粧打放しフッ素樹脂塗装
	開口部	アルミサッシュウレタン樹脂焼付塗装 透明ガラス、指向性ガラスブロック
●空調設備	空調方式	単一ダクト＋ファンコイルユニット方式（研究室・ホテル客室はウォールスルーエアコン方式）
	熱源	ガス冷温水発生機・空冷ヒートポンプチラー・水冷チラー 氷蓄熱用直膨チラー （水および氷蓄熱槽利用）
●衛生設備	給水	上水・中水の2系統、重力方式
	給湯	中央方式
	排水	分流式、雑排水を中水に再利用（UF膜ろ過方式）
●電気設備	受電方式	特高22,000V、3回線スポットネットワーク方式
	設備容量	2,500KVA×3台 契約電力3,000KW
	予備電源	ディーゼル発電機2,000KVA×1台
●防災設備	消火	スプリンクラー（閉鎖式・開放式）・屋内消火栓・連結送水管・泡（駐車場・ヘリポート）・CO_2・ハロン消火設備
	排煙	機械排煙、一部自然排煙
	その他	自動火災報知器、非常放送
●昇降機		乗用12台、人荷用3台、合計15台
●特殊設備	メインホール	舞台機構・舞台照明・舞台音響設備 4ヶ国語対応同時通訳設備、残響可変装置
●工程	設計期間	1989年10月〜1991年1月
	施工期間	1991年4月〜1993年3月

本文記事中写真撮影：東出清彦、稲住康広、箕原　真、森山　明



「ブレードランナー」

特集

映画の中のインテリア

対談	映画の中のインテリア
	光藤 俊夫／渡辺 武信
アンケート	映画にみる建築・インテリアの印象的シーン
愛の嵐	本多 友常
インテリア	駒田 哲男
ウォール街	美濃 吉昭
オルフェ	清水 泰博
回転木馬	瀬戸本 淳
風と共に去りぬ	谷 淳之介
激突！	池上 俊郎
コックと泥棒、その妻と愛人	高松　伸
ジェルブールの雨傘	三橋いく代
七人の侍	塚口 明洋
ターミネーター2	安原 盛彦
旅芸人の記録	竹原 義二
2001年宇宙の旅	貴志 雅樹
ニュー・シネマ・パラダイス	谷山 紀子
巴里の屋根の下	太田 隆信
フェリーニのアマルコルド	栗生　明
フェリーニのローマ	岸　和郎
ブレードランナー	隈　研吾
	難波 和彦
望郷	吉羽 逸郎
ボンヌフの恋人	水谷 壮市
小さな旅人	狩野 忠正
未来世紀ブラジル	北村 陸夫
用心棒	中嶋 龍彦
ライムライト	三好 庸隆
利休	近藤 康夫
ローマの休日	歌　一洋
	小川 晋一
	加藤 晃規
アンケート分類とお推め映画作品	インテリア・住宅分科会
随想	映画美術―その発想について
	西岡 善信

インテリア・住宅分科会

石川 佳子、大橋 真由美、大森 智子、加藤 力、角方 利幸、河合 邦子、北浦 かほる、小梶 吉隆、小島 保人、駒田 哲男、中村 孝之、畑 康之

対談

映画の中のインテリア

光藤俊夫（建築家・昭和女子大学教授）
渡辺武信（建築家・映画評論家）

空間のイメージを「映画のシーン」を例にとって語る時、それは有効なコミニュケーションの手段であるばかりでなく、映画を媒介にして共有する時代、年代などの背景を通して、話し手により親しみを感じさせることも多々ある。あわせて、設計者の空間づくりの発想に「映画のシーン」が何らかの影響を及ぼすものか、映画通で知られる光藤俊夫氏と、建築家で著名な映画評論家でもある渡辺武信氏に語っていただいた……。（編集部）

映画にのめりこむきっかけ

光藤　僕が映画を好きになったきっかけは、生まれが大阪の下町の玉造という所で、そこの日の出通りというその辺ではにぎやかな通りで芝居小屋や映画館がやたらあったんです。当時おやじが商売をしてまして、映画館のすぐ隣みたいな所に店があって、おやじがどの程度興味を持ってたか知らないし、うちは旅館じゃないんだけども、２階を開放して旅役者の宿舎に提供したりしていました。それで、当時の役者さん達なんかに接触があって、隣の芝居小屋や映画館は木戸御免なんで、毎日のように通ってたわけです。それで、映画とか芝居がだんだん好きになった。一つの物語がどんなふうなカタチになって出てくるか。結構小さい時分からそんなことに興味を持ちだして、それから何となく映画とか演劇という手合いのものから離れられなくなった。だから若い時分は映画館通いというか、年に100本や200本は見ていたんだろうと思うほどなんですが、ある時期から映画館に行く時間がなかなか取れないほど、仕事に追われて忙しくなっちゃった。それで、その間に見落とした名画が随分あるわけですよ。

渡辺　就職すると時間がなくて映画を見られなくなるって人は多い。昔は映画しかなかったのに、今はいろんな遊びがあって、映画が娯楽の中心ではなくなって、ゴルフとかスキーやディスコとかがあって、映画はそのうちの一つの選択肢になったから、光藤さんが映画好きだったけど、ある時から見られなくなったというのは割とよくあることですね。でも、光藤さんはビデオで、さかんにご覧になっているとうかがいました。普通は僕と同じ歳くらいの人に、映画が好きですというと、今の映画は知らないけどといいながら、昔の映画のことだと非常にいきいきと話しますね。僕は建築家以外の職業の方と接する時にゴルフの話も車の話もできないんで、お酒の席で不器用なんですが、昔の映画の話になると乗れて、それで座が持つということはありますね。僕は小学校のころはそう見なかったですね。自分で言うのも何だけど、僕の家は山の手のプチブルで、映画ってものは子供には見せてはいけないものという考えがありましたので、小学校のころは１人では行けなくて、親と一緒の時だけ。中学になると親に何を見に行くと申告すれば自由になって、それからものすごく量が増えました。中学時代には、毎週土曜日には２本見てますね。年に100本は見てた。僕の唯一の誇りは大学受験に落っこって浪人していた年にさえ、受験勉強しながら45本見たことで、これを言うと、皆がだいたい驚くんですよ。(笑)



渡辺武信氏

■わたなべ　たけのぶ　プロフィール

1938年　横浜生まれ
東京大学建築学科卒業、同大学院、修士、博士課程修了
1970年　大学院在籍中にアトリエ事務所を開き、のち法人組織として現在に至る。
1990年より　東京大学建築学科、日本女子大学住居学科の非常勤講師として住居設計を担当。

公職
㈳新日本建築家協会理事、㈳日本建築学会理事

著書
「住まい方の思想」「住まい方の演出」（共に中公新書）、映画関連として「日活アクションの華麗な世界」（未来社）その他多数。

■みつふじ　としお　プロフィール

1930年　大阪生まれ
1950年　大阪工業専門学院建築学科卒業
1953年　京都市立美術大学（現芸大）美術学部卒業
同年　竹中工務店入社・設計部配属
1982年　昭和女子大学非常勤講師（兼）
1985年　竹中工務店東京本店設計部部長にて依願退職
光藤建築研究室開設
1986年　昭和女子大学教授就任
1990年　日本大学農獣医学部非常勤講師（兼）

著書
「インテリア演出論」「明治大正建築覚え書」「椅子劇場」他



光藤俊夫氏

原点はミュージカル映画

光藤　あなたが映画をおもしろいと思われて、そういうふうにずっと凝っていくきっかけになった映画は、何ですか。

渡辺　「この世の中にこんないいものがあったのか」と思って映画を見たのは、たぶん小学校上級生だと思うけど、『イースター・パレード』（チャールズ・ウォルターズ監督）というフレッド・アステアが出たアメリカのミュージカル映画です。これは僕の見た最初のカラー映画なんですよ。日本で最初に上映されたカラー映画はロシアの『石の花』らしいんですが、たまたま僕が初めて見たカラー映画で、しかも、初めて見たミュージカルだった。僕は一言で言うと茫然としましたね。歌と踊りのミュージカルでタップ・ダンスがあって、自分が知らないこんな華やかなこんな素敵な世界があったのかと。だから、僕の映画熱の原点は、非日常性というかアメリカのハリウッドのミュージカルです。その後も、『踊る大紐育（ニューヨーク）』とか『雨に唄えば』とかがあって、それから単に映画ということじゃなくて、音楽やダンスも含めてすごい贅沢なものを見た感動が、10歳前後の少年を茫然とさせたわけです。その当時の日本が貧しかったせいもあって、豪華で華麗な楽しさが忘れられない。映画にはミュージカル以外にも別のおもしろさがあるんだけども、今のご質問に答えるとすれば、『イースター・パレード』ですね。

光藤　今までの長いつき合いで、そういう核心に触れるような話を聞いたことないね。『イースター・パレード』というのは分かるけど、ミュージカルという題材で入っていったと。

渡辺　僕は、『イースター・パレード』のラストシーンのテーマソングを聞くと今でも涙が出るという感じです。

光藤さんが感銘を受けた映画は、何ですか。

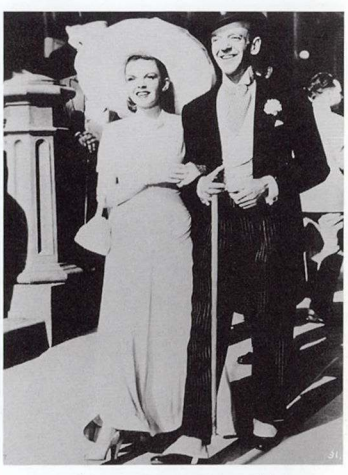
光藤　『プラーグの大学生』という映画が非常に印象に残ってる。自分の魂を悪魔に売るという話でした。それから、アメリカと戦争が始まって、最後に入ってきたアメリカ映画『エジソン伝』、スペンサー・トレーシーがエジソンになって出てくる。想像してもトレーシーはエジソンになり得る顔じゃない？戦前の話ですが、あとはディアナ・ダービンの『オーケストラの少女』。シャーリー・テンプルとか。戦後はあんまりなかったと思うんだけど、スタン・ローレルとオリバー・ハーディの〝天国〟もの。コンビを組んでの喜劇は、その後もいろいろ出たけれど、あの２人組が一番印象に残ってる。それとキートン。チャップリンはどうも入っていけない。

渡辺　コメディの古典には四大喜劇王（キートン、チャップリン、ハロルド・ロイド、ハリー・ラングドン）がいるんですが、ローレル・ハーディは意外にもそこに入ってないんですね。だけど、ローレル・ハーディの傑作はおもしろい。実はビデオをたくさん持ってますが、気も狂わんばかりにおもしろい。短編が多かったでしょ。戦後長編をいくつか作ったんですけど、これは駄目なんです。一番すごいのは『世紀の決戦』という、街中がパイ投げ合戦になるやつ。つまりパイを投げると顔に当たるというのはサイレント・コメディの定石ギャグだったんだけど、それを街中を巻きこむスケールに拡大したわけですね。いろんな映画がたくさんパイ投げやったんだけど、パイ投げだけで映画を作ろうと考えたことがすごい。誰かがけんかしてパイ投げを始めると町中が巻き込まれて、町中カスタード・パイだらけで、グチャグチャになっちゃう。これをローレル・ハーディがやっています。

ところで大学生ぐらいでは何が印象に残ってますか、僕と同時進行形で見た共通の映画ということで。

光藤　戦後、最初に見てるんですが『我らの生涯の最良の年』（ウィリアム・ワイラー監督）、『愛と哀しみのボレロ』（クロード・ルルーシュ監督）的な、最近で言うとベトナム戦争が終わって…というような『ディア・ハンター』（マイケル・チミノ監督）みたいな物語がいっぱい映画化されてるじゃないですか。ああいうものの第二次世界大戦版、そういう映画でしたね。

渡辺　反論するようですが、ベトナム戦争と第二次大戦は映画の描き方が全然違うので、第二次大戦の終った時は、当時のアメリカの庶民の生活は非常に豊かだし、自分がアメリカ的民主主義はいいものだという教育を受けたせいもあるから、映画も非常に明るく感じました。ベトナム戦争の終わった後のアメリカ映画は、あの戦争は無駄だったという映画ですね。第二次大戦からの復員兵を描いた『我らの生涯の最良の年』に出てくる４人のうちの１人に義手の人



「イースター・パレード」

がいるんです。あれは、本当の復員軍人なんです。その彼にも手はなくなったけども、自分はよく戦ったという明るさみたいなものを感じました。

日本と欧米の住居観の違い

光藤　しかし、あわせて戦争のむなしさみたいな雰囲気を漂わせていたと思います。話は変わりますが、僕は美術学校に行ってるころだと思うけど、建築やインテリアに関連させて映画を見てるということは少なくて、後で思えばみたいなことが多いんだけど、あの当時古いお城の中のインテリアは大変おもしろく見れたという記憶がある。

渡辺　映画と建築、あるいは映画とインテリアというのテーマの場合、若い建築家は画面の中に建築意匠の珍しいものを見るというビジュアルな発想があるわけです。一方、僕自身はもっと無邪気な映画ファンだから仕事に関係なく見てるんですが、住宅設計者という立場で映画を見ざるを得ないような部分もあるんです。そうすると、インテリアがデザインとして優れてるかどうかというよりも、人間の生活行為の中で、主として住宅の中でどういうことが起こるか、とくに欧米映画の中で、椅子、テーブル、ベッドの歴史の長い向こうの人間がどういうふうに考えてるかということが気になることが多い。そういうことについて、クライアントだけではないけど、建築以外の方と会う時に映画の場合を例にして話すと通じる場合が多い。例えば、『我らの生涯の最良の年』にしても、これはもちろん僕が建築家になって見てから考えたことですが、お金持ちの家の旦那が復員してきた次の朝、ベッドに寝てると、奥さんが朝飯をベッドまで持って来てくれて「ロイヤル・サービスよ」というわけですね。ベッドの中で朝御飯を食べさせることは、普段はやってないんです。これは住まい方に深く関係するエピソードです。日本人の亭主はパジャマでも朝飯を食べられるわけですよ。ところが欧米の中流以上の家庭では食堂やリビングに下りて行く時はちゃんと着替えてくる。つまり生活空間というものが、たぶん靴のまま家の中に入るということがあるけど、ステテコやパジャマで居てはいけないわけですよ。少なくとも中流以上の階級ではしちゃいけないことになってる。日本人は生活様式が椅子、テーブルになっても玄関で靴を脱ぐから、平均的なサラリーマンのお父さんは、帰って来ると、夏なんか「暑い暑い」と歩きながら上着脱いで、その辺に脱ぎ散らかしてステテコになって、テレビの前に坐ってビールを飲むというのが我が家の幸せでしょ。要するに、玄関の上がりかまちを上がれば、家の中は何してもいいというか、どういう格好でもいいというのが日本人の住居観と思うんです。だけど、欧米人はそうじゃなくて、居間や食堂に行く時は一応ちゃんとした格好をしている。したがって、ダラッと飯食いたいと思うとベッドまで持って来てもらうのが一番いいわけです。だから、『我らの生涯の最良の年』で「きょうは特別よ」と言って奥さんがベッドルームまで朝飯をホテルみたいに持って来るというのが、すごく印象的ですね。これは住宅の設計にもかなり関係することです。

光藤　ロイヤル・サービスと言ってるわけだから、日ごろやってるわけじゃない。

自由空間と半公共空間

渡辺　もうひとつ例をあげると『花嫁の父』（ビンセント・ミネリ監督）という映画は結婚披露宴が終わったシーンから始まって娘に相手が現われる前の回想になるんだけど、スペンサー・トレーシーのお父さんが仕事から帰って来ると、郵便ポストから夕刊を取って玄関に入る。アメリカ人は当然、ここで靴を脱ぎませんね。コートだけ脱いで、上着を着てネクタイを締めたままリビングの自分の定席の暖炉の前の椅子に坐って新聞を読む。脇にスタンドがあって新聞が読めるようになってて、サイドテーブルがあって、そこにパイプが2、3本並んでて灰皿が置いてある。要するにリビングルームというものが日本人みたいにパンツ一丁という感じじゃなくて、ちゃんとしてる。飯まではちゃんとネクタイしたままでいるわけです。自分の坐る場所があって、照明もあってパイプもそばに置いてある。日本人も、昔の茶の間だとお父さんの坐る場所が決まっていて、床の間の前とかたんすの前とかね。今は坐るところがないんで通信販



「我らの生涯の最良の日」

売の、「お父さんの椅子」が売れるんですよ。スペンサー・トレーシーの『花嫁の父』の冒頭シーンというのは、家に帰って来て、くつろげるお父さんという感じがすごくよく出てる。

光藤　家の中で自分の位置をちゃんと守ってると。

渡辺　それもすごく重要ですが、リビングルームのあり方としては、ステテコになってしまうお父さんが必ずしも悪いというわけではないと思います。自分の家では勝手な格好していいというのは、一つの生活様式だから、欧米のほうが優れてるとは言えない。要するに日本の住宅はお父さんがステテコになるということをふまえて設計しなければならないわけで、スペンサー・トレーシーの住むような家はたぶん日本のお父さんには住みにくいでしょうね。僕は日本向けの住宅がいくらヨーロッパ化しても靴を脱ぐことは変わらないと思います。上がりかまちというのは、そこから先は恥かいてもいいみたいな部分があって、それが日本の特徴だと思うんです。アメリカの住宅は玄関ホールに階段があって、寝室に行って着替えて下りてくる。靴を履いたままじゃ、ズボンを脱げませんからね。だから、日本人のお父さんみたいにズボンを脱ぎ散らかして奥さんに片づけさせるということはできないわけですよ。だから、アメリカの中流家庭は、『花嫁の父』の家もそうだし、最近では『普通の人々』（ロバート・レッドフォード監督）の家もそうだし、すべて玄関ホールに階段があってすぐに上がる。お父さんが疲れてたら、まず上がって寝室に行って普段着に着替えて下りてくる。逆に言うと、日本の高級洋風プレハブ住宅が玄関ホールに吹き抜けの階段を作るのは、日本の家には合わないだろうと思うんです。だいたい日本の平均的な２階建ての住宅では子供部屋が２階にありますから、玄関ホールに階段があると、思春期の子供が親に会わないでいきなり階段を上がって自分の部屋に入ってしまうということを助長するプランになるので、僕は絶対に玄関ホールに階段を作りませんね。

光藤　ネクタイを締めたまま食べるという話は、部屋の中で靴を履いているか脱いでいるか、履物の着脱ということと大いに関係しているんじゃないかな。日本での場合、昔は家に帰ると浴衣あるいは着物に着替えた。小津安二郎の場合は、たいがい奥さんがいなくて娘がたたんであった着物を出してくる。そして、「お父さん、お風呂が先？お食事が先？」と、こうなるでしょ。アメリカ映画ではこんなシーンは、ほとんど見ない。やはり靴を脱ぐか脱がないか。履物を脱ぐということが、次にエスカレートしていくんじゃない？

入浴にみる家族の共同性

渡辺　だから住居観というのは、風土に関係あるから、価値観の問題じゃないけども、たぶん欧米人は家の中で靴を脱がないせいで、リビングルームとか食堂とかがホテルのロビーみたいな半公共空間になっているんですよ。そのかわり寝室に入れば何してもいいということだから、欧米の中流以上の家庭では、夫婦の寝室に専用のバスルームがついていて、お金持ちなら子供部屋にもついてる。中流だと子供は何人か共用で夫婦用は別になっている。個室の中にはがっちりとプライバシーがあって、その中では何をしてもいい。リビングルームでは家族でもちゃんとしてなくてはいけなくて、パンツ一丁ではいけない。日本の上がりかまちに当たるものが、寝室のドアです。個室と廊下の間にホテルの部屋にバスルームが右にあって左にワードローブがあるような厚みのある空間が介在していて、そこを通って寝室に入るから、夫婦は子供に気がねせずセックスでキャーキャー言ってもいいというような個室の中が本当のプライベートで、リビングルームというのは誰かお客さんが来ても恥ずかしくないような半パブリックなんですね。これは、入浴という行為についても言えるわけで、たぶん赤ん坊は別として小学生ぐらいになった子供が親と一緒に風呂に入るということは欧米ではないんじゃないんですか。入浴というのは全く個人的な行為で、たまたまバスルームでセックスすることはあるかもしれないけども、子供と風呂に入るということは赤ん坊を除いたらないでしょうね。日本の場合は、入浴というのは共同行為なんですよ。別々に入る場合も誰か１人あがってくると「今いいお風呂だから、すぐ入れば」とか。人が使ったお湯にまた入るわけで、親子でも夫婦でもお湯を通じて共同性がつながっているわけだけども、向こうは１人で浴槽の中で体を洗ってお湯を捨ててしまうので、入浴という観念が個人に属するか共同体に属するかということも全く違うんです。風土的な生活感とか住



「花嫁の父」

宅感の違いの問題だと思うんだけど、日本映画では親子が一緒に風呂に入るというのは監督のおいしいところなんですね。風呂の中で父親と息子が、腹を割って話すみたいなシーンがよくあるじゃないですか。『さびしんぼう』(大林宣彦監督)で、お寺の息子がいて、お父さんが小林稔侍。息子のところに突然不思議な格好をした女の子が、見えない幽霊みたいに現れて、それを富田靖子が演じる。この映画の設定では息子は思春期でマザコンなんだけど、一番最後に「私はさびしんぼうよ」と言って現れる幻の女の子がお母さんの若い頃に似ていて、彼女が去る時にマザコンから脱するというお話。すごくいい映画ですが、その中にお父さんと息子が一緒に風呂入って、「おまえ、女の子を好きになったか」とお父さんが言って「好きになったら、どんなことをしてでもそれを貫け。俺はお母さんが好きだった」ということを恥ずかしそうに告白して、照れ隠しにザブンと顔を洗うというシーンがあるんです。あれは、アメリカ映画では絶対撮れないシーンですね。親子、男同士、女同士が裸で話し合うという状況はたぶん、アメリカ人には分からないと思う。

光藤　息子と腹を割って一緒に風呂に入れるような家庭でなきゃならないと考えると、設計してもお風呂場を大きくするとか、そんなことにつながっていくんじゃない？

渡辺　そうですね。浴槽は小さくても洗い場は広いほうがいいと思うんです。玄関で靴を脱ぐ習慣は変わらないと思うし、いくら椅子、テーブル、ベッドを使われても、時々は一緒にお風呂に入ることが家族の共同性の一つの契機だということは変わらないと思います。省エネルギーとかエコロジーの問題からすると、水量のあまり大きいのはいけないので、僕は浴槽は小さくても、洗い場は広いほうがいいという発想で設計します。日本人の風呂場は共有で、脱衣所と洗面所がワンセットになってるわけだけど、基本的には３畳の２割りで1.5畳ずつできるわけですが駄目ですね。最低２坪必要で、それを風呂の形とか大きさによって脱衣所と浴室の境界を10㌢単位で動かす。４畳の二つ割でないと中学生ぐらいの子供とお父さんが入るということはできないですね。風呂場を狭くしても洗面所を広くしないといけないという場合もありますね。例えば、女の子が２人以上いて朝のラッシュで洗面台がふさがって駄目だという時には、洗面室のほうを広くするということがありますが、とにかくあわせて最低２坪いるんですね。本当は2.5坪の二つ割ぐらいが理想でしょう。もっともこれは住宅全体のバランスの問題で、どういうふうに面積を割り振るかというのは、すごく難しい。

食堂は二つ必要

光藤　どこの国の台所でも映画で映る台所というのは大変立派じゃない？本当に向こうの人たちはそこにえらい力を入れてやってるのかなという気がするぐらい立派なんだけど、渡辺さんが「これは」なんていう台所はありますか。

渡辺　日本は住宅が狭いからしようがないんだけど、日本の男は、だいたいダイニング・キッチンというのは嫌いですね。台所で飯食うような気がする。ところが、食うというシチュエーションはいろいろあるんで、家族でゆっくり食べる場合と、朝の出勤とか子供が学校行く前に急いで食う場合があったり、子供がたまたま居ないで夫婦だけで夕食をする時とか。ダイニング・キッチンだけしかないとフォーマルな食事がしにくいけれど、インフォーマルな食事では調理をする場所と食う場所が一緒にあるスペースは、熱いものがすぐ出せるとか、作ってすぐ食べられて、作る人も作って食べられるというメリットもあると思うんです。例えばそれが奥さんじゃなくて、お父さんが作って家族に食べさせる場合、成長した息子や娘が「きょうは私が作る」と言って簡単なものを作って家族が出来立てを食べることも考えられる。だから、食事というのはフォーマルとインフォーマルがあるわけで、本当は食事の場は二つあるのが理想です。非常に広い台所の中に食卓があって、しかもフォーマルの時には別の食卓があるというのが一番いい。最近ではアメリカの上流階級を描いた『再会の時』(ローレンス・カスダン監督)にそういう住宅が出てきます。アメリカの学生運動(スチューデント・パワー)の時代に一緒に大学を過ごした男女が４、５人、仲間の１人が死んで葬式のために集まった時、そのうちの１人が結婚してスポーツシューズの会社で成功して金持ちになっているので、その家にみんなで泊まるわけ。その家はお金持だが週末だからコックもいない、執



「さびしんぼう」

事もいない。だから夕食をみんなで作るわけです。食堂とは別のでっかい台所があって、その中に10人ぐらい坐れるテーブルがある。主として女が夕食を作るけど、皿洗いは全員で協力してやる。誰かが学生時代の懐かしい60年代のオールディズをかけると、みんなが皿を放ったり受け取って踊りながら皿を洗って片づけちゃうというシーンがある。つまりすごい金持ちの家でも雇いきりの執事がいるイギリスとは違うから、週末はむしろ使用人がいないほうが気楽なわけ。だから調理する場所と食べる場所が一緒の空間にあることの意味がある。広いDKがあって、しかるべき時には、その日だけコックを雇ったりして、食堂で食べるんでしょう。楽しくみんなでガチャガチャ食うというのと、フォーマルに食うのとには、それぞれの楽しみがあると思う。日本も人件費が高くなってますし、僕のクライアントの金持ちにも、給料払うのはいいけど、雇うほうが雇われるほうに気を使わないといけない時代だから、住み込みの雇い人は辛いという人が結構いるんですよ。文化というのは、頭のいい金持ちがある程度引っ張っていくようなものがあるわけで、100坪の家に住める人がどういうふうに考えるのかというのは、住宅文化で大事なわけです。金持ちの家だって週末は家族だけになって、そこに友だちが来て食事は台所で一緒にどうぞということもありうる。だから調理と食うところが同じ空間というのは、広い家ほど必要なんじゃないですかね。昔の台所は作業所という感じで楽屋裏でそれとは別に食堂があってというのが普通にと、今はそれじゃ住めなくなってるから、僕は食卓は二つ要ると思ってます。

空間と生活行為の関係

光藤　ところで、欧米では夫と妻の財産はちゃんと別々になってるんだなということを知った時があったわけ。庶民にしたって、向こうの映画の話の中ではちゃんと分かれてる。ああいう状況というのは随分前に知ったんだけど、一人一人が独立してる、女房と言えども他人ではないかみたいな水臭さに何となく入っていけないところがあったんだけど、最近はそうでもなくなってきてるというのは、アメリカナイズされた戦後の日本の社会、現代の状況から言ってそのほうがいいんだと、あるいはそうでなきゃならないんだというふうなことになったのかもしれないけど、そんなに昔ほどぎこちない感じで見てはいない。けれども、一心同体みたいなことが向こうの人にはないのかなと、映画のいろんなシーンを見ててそう思うことがよくある。例えば『運命の逆転』（バベット・シュローター監督）という映画があった。1980年に実際に起きた事件で、奥さんが植物人間になってしまう。奥さんのほうの財産が100万ﾄﾞﾙとか200万ﾄﾞﾙ多い。それで、その奥さんの財産を狙って、奥さんを植物人間にしてしまったという疑いをかけられて、ジェレミー・アイアンズが弁護士を雇ってやるじゃないですか。あれなんか見てて、お金持ちのそういう形というのがあり得るんだなと思う反面、なんとなくなじめないところがあったりする。

渡辺　結局、映画というのは空間と生活行為が一緒に見られるから、東南アジアの映画だって参考になるかも知れない。日本映画も好きですけど、日本映画の場合はかつて私が知っている昔の生活空間、縁側があるとかそういう住まいの中のふるまいを若い人に説明する材料にはなりますね。でも、僕が生活行為と空間を一緒に見られるという意味で気になるのは主として欧米の映画です。今の若い人は日本の普通の畳の部屋の生活を知らないから、その人たちに日本に生活史を教えるためには小津安二郎の映画かもしれないけど、もっとアクチュアルなのは椅子、テーブルの使い方で、この点、日本はまだ成熟していないからさっきのスペンサー・トレーシーの話じゃないけど椅子、テーブルの歴史が長い欧米の映画を見るほうがおもしろい。そこで大事なのは、椅子、テーブルの文化を真似してもいい場合と、例えば日本人は靴を脱ぐからということを頭に置いて真似してはいけない場合を区別することでしょう。それはそれぞれの判断だけど、照明なんかも日本は昔はあんどんとかあったのに、今はなぜか宮脇檀さんも言ってるけど、蛍光灯だらけになった。ヨーロッパもアメリカも、天井の照明はめったにないですね。スタンドかフロア・スタンドもあるしデスク・スタンドもあるし、壁についているブラケットとか。リビングルームだと照明が5個ぐらいある。それをつけたり消したりすることで微妙な照明をしている。『バウンティフルへの旅』（ピーター・マスターソン監督）という地味な



「運命の逆転」

映画ですが、ジュラルディン・ペイジという女優が母親役で息子夫婦と一緒に住んでいて、バウンティフルというのは自分の故郷です。孤独なもんで少しぼけているのでいつも「バウンティフルに帰りたい」と言っている。夜中にみんなが寝てから起きて1人でスタンドを1個つけて教会の歌というか聖歌のようなものを口ずさんでいると、それを聞いた息子とその嫁さんが起きてきた時に、真っ暗な部屋に一つだけ電気がついている。それで「お母さんどうしたの?」と言うと「話が長くなるから」って電気をつけるわけですよ。息子と嫁さんが代わりばんこにあっちこっちの電気をつけるとリビングがだんだん明るくなってくるんだけど、それでリビングルームに七つか八つ照明があることが分るわけね。スイッチをつけるとパッと明るくなるというんじゃない。さっきのスペンサー・トレイシーが帰ってきて新聞を読む時の暖炉の前のスタンドもそうだけれども、部屋全体が均一に明かりがくるんじゃなくて、明かるさと暗さが混在している。ところが、日本では蛍光灯で天井から全部明るくするというふうになってしまった。これはなぜでしょうね。昔の日本はあんどんとかろうそくとかあって、全体が明るくなるというような照明は少なくとも文学とか芝居を見てもないはずなんだけど。

照明にみる貪しさと豊かさ

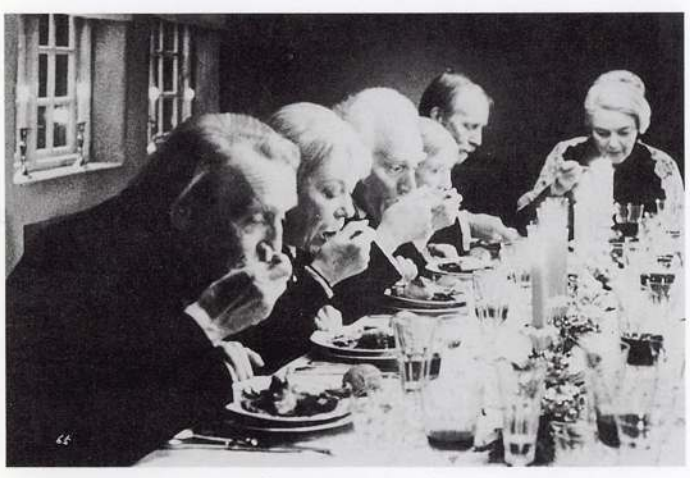
光藤　蛍光灯はほとんど日本が発明したようなもんだから。

渡辺　宮脇さんの名文があって、「住宅地を歩いていると外から見て蛍光灯の直管がついてる家はまずだめだ」と言っている。蛍光灯でも丸いようなのはまだいい。外から見て天井に電灯がない生活がリッチだと言ってるんだけど、これは当たってると思う。要するに天井だけの光だと、人間の顔は上から照すと鼻の下にひげができて一番美しく見えない。写真屋が写真を撮る時には大体斜めから60%の光を当てて、反対からあとの40%の光を当てて斜めの光二つで顔を立体的にするんだから、日本人は天井だけに照明をつけて、しかも明るくして鼻の下にひげをつけて暮らしている。これは吉村順三先生が何かの雑誌で書いた名言なんですが、本当にアメリカ映画の『バウンティフル』もそうだし、『七人の愚連隊』(ゴードン・ダグラス監督)という映画でも、欧米の照明はいい意味で複雑ですね。『七人の愚連隊』はシカゴのギャングの親分が殺されて、娘が1人残ってその娘といい仲になれば縄張りが全部取れるという話。娘のほうも結構気があって自分が支配したいから、シナトラも含めて主な幹部を次々と1人ずつ夕食に呼ぶわけです。これはと思うと、食事が終わると「あっちでコーヒー飲みましょうね」と言って電気を消していくわけです。つまり「寝ちゃおう」ということで虜にしようとしてるんですが、誰も乗らないわけ。シナトラもディーン・マーチンも、サミー・デービス・Jrも乗らないわけ。ところが笑わせ役のピーター・フォークだけは積極的で「食事が終わったらそろそろ寝ようか」と自分で消してるのがおかしい。話を建築に戻せば食堂で「あっちでくつろぎましょうね」と言う時にスイッチをいかにたくさん消さなきゃいけないかということは、逆に照明がいろいろ複雑になって天井一個じゃないということです。消していくシーンで分かる。それが4回出てくる。(笑) シナトラとディーン・マーチンとサミー・デービス・Jrと最後にピーター・フォークが自分で消す。あれは本当に傑作ですね。

光藤　ぼくがあの映画でもう一つ感心したのは、これはセットの話だけど、賭博場が一挙に教会になっちゃう。警察の手入れがあって「それっ」ということでガラガラと、教会に変わっちゃうのが凄いね。

渡辺　空間がスイッチ一つで一転するというおもしろさがありますね。本当にテーブルなんか引っ込んで、粗末な木のテーブルが出てきて。照明もシャンデリアがガーッと引っ込む。まあ凄いなと思った。

光藤　僕は『バベットの晩餐会』(ガブリエル・アクセル監督)、あそこでのシーンに出てくるのはみんなろうそくですよね。もちろんそれを映画に撮るんだから、しかるべきライトをつけて撮ってはいるんだろうけど、ろうそくの明かりの微妙な演出が大変上手にできてたなという感じがする。これならあの辺は見えないだろうと思うところはやはり見えないわけね。こういうもので食べていたら一体どんな料理が出ているんだろうということについて、村の人達は初めて食べる料理だから、まじまじと見なきゃならないところがうま



「バベットの晩餐会」

く演出されている。ろうそくだけでのあの時代のものとしては大変秀逸ですね。

渡辺　『花嫁の父』でも自分の娘の婚約者の両親が来る時に飯を食う時はろうそくですね。夕食でお客が来ている時、電気を消してろうそくにするんですよ。ろうそくというのは極端にしても、頭より低いところに照明があったほうが、特に回りが暗くて自分達がいる所が明るいと、中心に集まるような感じになるわけです。光源は電気でもランプでもいいんだけど、上から部屋全体を照らすより、自分達のいる所が明るくて、回りが暗いということは場所の中心線ができるわけなんで、そういうことを欧米の人はごく自然にやっている。開発途上国が伝統的にそれをやっているし、先進国も食事の時はそこだけ明るくする。日本だけは天井から蛍光灯で全体を明るくしちゃうのは、あれはオフィスが先に明るくなったせいかもね。昔の日本の一流会社のサラリーマンというのは、会社に冷房があって家に冷房がない。家は暗いけど会社は明るいと。だから、オフィスに家を追いつかせようと思ったのかな。今の人は知りませんけど、僕と同じ歳くらいの人達の高度成長、無意識にそういう感覚があったんじゃないか。家は会社に比べると暗いから、会社と同じように冷暖房をきかせよう、会社と同じように蛍光灯で明るくしようと思ったのではないかと。

光藤　そういう話で言うと、『バベットの晩餐会』のシーンから思うと日本の料理なんていうのは上から照らして食べるものじゃなくて、料理の盛りつけの美しさだとか、これはどうやって食べようかと、これはきっとおいしいに違いないと思うことを助長するような雰囲気づくりというのは、あんどんの光からきているんじゃないか。つけ加えれば、日本の女の人の着物だって化粧だって下から来る明かりというか、雪あかりのような地べたの明かり、そういうもので、例えば庭に入った光が障子を通してほんのりと部屋の中に入って来る。ああいう明かりの中で非常に美しく見えるような着物であり、あるいは化粧であると思う。日本固有の美意識は、そうした照かりの上に成立しているものではないだろうか。

映画の中の色づかい

渡辺　映画を見ている限り、平凡な言い方だけど欧米では、技術は進んでも、結構古い物を大事にしている。ところが日本は古い物をすぐ捨てて新しさにとびつくんで、それが照明に現れてるようにオフィスと住宅を一緒にしてしまうみたいな、急いで追いつこうとして何か忘れてきたということは平凡だけど言えます。色について言えば、『唇からナイフ』(ジョセフ・ロージー監督)という映画は特に色彩が当時でいう〝サイケデリック〟でおもしろかったけど、あれはキャバレーの設計ぐらいしか応用できない。見ておもしろいものは興味があるんだけど、それよりも生活行為と空間の関係のほうがやはり興味深いので、色そのものはあんまり参考になることはないというのが正直な意見です。

ウッディ・アレンが監督した『インテリア』というのがありますが、お父さんは実業界で成功した人で、がさついた陽気な男なんだけど、お母さんは非常に神経質で教養があってインテリア・デザイナー、お金持ちだから副業みたいにやってる。この女性をさっきの『バウンティフルへの旅』のジェラルディン・ペイジが、ガラッと変ったイメージでやるのがおもしろい。彼女はインテリアを全部白にするんです。正確に言うと「私はアイスグレーが好きだ」。アイスグレーは南極の氷山の光の当たらない影の部分の色のことで、このおばさんも大体アイスグレーしか着ないし、そこに合うと思って骨董屋で韓国の壺を買ってきたと言って置いてみて、「やっぱり合わないから返すわ」と言う。映画で見てる限りはどうでもいいじゃないかというぐらい微妙な白の違いを気にする。彼女があまり堅苦しいからか、娘が成人した後でお父さんは離婚しちゃうわけです。それでお母さんは自殺して、娘が、「あの人は人生を生き抜くには完璧すぎた」と言う。つまり同じ白と言っても何百種類もあって白ほど難しい色はないんだけど、白の微妙な違いを気にするみたいにインテリア、建築デザインを詰めすぎると、少なくとも住宅としては堅苦しくなるわけで、人生はそんな完璧なものではないということも大切ですね。プラス価値で言うと「ゆとり」、マイナス価値で言うと「いいかげんさ」がないと人間の生活は成立しないんで、それは額縁の



「インテリア」

中に入ってる絵と違うわけですよ。あれはインテリアデザイナーというか建築空間に携わる人は是非見てほしい映画ですね。いろいろ考えさせられる。お父さんが再婚して、その女性が家族に初めて会うシーンがあるんですが、これがおもしろい。新しい奥さんは真っ赤なドレスを着て現われる。アイスグレーを着ていた前夫人と全く対照的です。画面全体も、そこまでは意識的に全部赤系統や暖色を抑えておいて、映画の後半30分は真っ赤なドレス着た女を登場させる。レコードをかけてみんなで踊りましょうとか言って俗っぽいというか、逆に言うとすごく気のいい教養があんまりないアメリカの典型的なおばはん。映画の色を考えて1時間抑えてきて最後の30分で赤のドレスを着た女を出すというテクニックも凄いし、たぶんお父さんは前の奥さんに比べて反対だから、その女が好きになっちゃう心理も分かる。なんでも物事はほどほどがいいので、それは人生についても言えるし、インテリアデザインというか建築デザインについても言えるんで、人間が日常的に暮らす空間というのはどこか抜けてなきゃいけない。

光藤　完璧すぎるとそうなるね。僕は映画の中の色、それが建築のほうに、あるいは自分のやっている仕事にどう影響したかというのはイメージの中で何かあったかも知れないけども、特別意識してとらえたことはない。アランドロンが出る『サムライ』（ジャン・ピエール・メルビル監督）という映画は、全く黒一色でしたね。意識的に僕は当時、美大で図面を描いた時に利用したことがあったような気がしますね。素晴らしい雰囲気を画面に作っていたという記憶がある。最近では『シザーハンズ』（ティム・バートン監督）、ものすごくカラフルなんですね。実際の家に利用するというと大変抵抗があるし、問題ではあるんだろうけど、あのカラフルなセットですかね。実際にはよく分からないんだけど、非常に印象的だった。いろんな色を使いながら先ほどの例の女性ではないけど、変な色じゃなくて、いい色、ちょっとパステルカラーとかをうまくコーディネートして使ったいい家が並んでいる。それにひきかえハサミ男が住んでいる山の中の家がまたこれ黒一色。非常に対比的に扱ってて、「うまいな」というふうな。物語としてはどうってことはないんだけど、そういうシーンが大変楽しめたという記憶がある。僕は、色というのは何か個性的なものであれ、あるいは主張する何かであれ、そこで強く訴求するものの一つであるわけだから、変に使うとこれは暴力に等しいような形でそこに住む人を阻害する役割をも持ってる。アイスグレーが必ずしも基本色だからいいというわけではないけれど、しかしそういうところから進めていくべきだろうと私は思うんですけどね。それをまず決めた上での色でなければいけないだろうと。そういう気がするんです。映画の中でもそういうことをちゃんと見極めた上でのシチュエーションがある、そういうものにはパッと打たれるものがありますね。

渡辺　要するに人工的な空間を造ろうという映画は僕個人にとってはあまり参考にならないわけで、映画というのはあくまで嘘なんだけど、空間的にはリアリズムの映画がおもしろい。さっきの『唇からナイフ』や『サムライ』のキャバレーとかは、非日常的な空間ですから、多分商業建築をやってる人達は「アメリカとかヨーロッパにはこんなところがあるのか」ということはあるけど、人間の感性というか日常的空間はそう変わらないもんで、僕は今むしろ、非常に感じのいい室内があった場合に「そうか、こういうふうになるのか」ということにひかれる。

それともう一つは舞台劇を映画化した映画には同じシーンが何度も出るので、朝の光と昼の光と夜の光の違いと、夜になれば照明がついた時の違いが分かりますね。だからヒチコックの『ダイヤルMを回せ』も、オードリー・ヘップバーンの『暗くなるまで待って』も、ロバート・レッドフォードとジェーン・フォンダの『裸足で散歩』も舞台劇の映画化ですが、この三つは映画としても、インテリアとしてもおもしろい。

インテリアにみる時代状況

光藤　映画の中でのインテリアの扱いが、時代状況を反映してのものであるのは当然です。小津映画というのはどの映画見ても同じ日本の木造の家屋、インテリアが出てましたね。あれはまあ同時代のものを扱っているのでともかく、振り返っての時代に生きてる人の生活、そんなものをも再現してみせるのには、当然のことながら、



「サムライ」

扱ってるテーマの年代に従ってのものを正確に捉えていなければならない。ところが、そんな昔はその再現性にも非常にいいかげんなところが一時期あったという気がするんです。それにしても近頃のように変化が激しいと、今それを克明にセットで再現していく、裏方さんの苦労がだんだん大変になってきてるんじゃないかなという気もします。

そう、それで思い出したんですが、さっきも東南アジアの映画が出ました。香港で仕事があったころに、10年ぐらい行き来したことがある。向こうの映画を見てますと、現代のアパートメントハウスのいいショットが出てくるんですが、ちょっとした金持ちのお宅が出てきても、とにかくガランとした部屋があるだけで家具調度が満足なカタチでないという場面がしきりに繰り返される。僕はそういう画面を見てて、日本のテレビのホームドラマにもそんなのがあるなと。生活臭のないセットで役者さんだけが一生懸命それらしくやっている。そんな時代があったなと思っていたんです。ところが最近になって見ても、なおそうなのね。たまたま、向こうの人のお宅に伺うことがあった。そしたら、ただ広いだけでそれに見合う、しかるべき家具が本当にないのね。それで、だんだん気がついたことは東南アジアの人というか日本人も含めてですが、何か持っているものは蔵の中にしまってしまう。季節によってそれを出したり入れたりするという、こういう生活の中でのアクションがある。何にもないガランとした所で食事をし、団らんをしながら一体何だろうと思う。そんなのを皮肉りながら、忠実に再現しているのかな？などと。

西洋の人というのはアメリカも含めてですが、持っているものはみんな出してしまうでしょ。だから掛ける絵があればやたらと壁に掛けちゃう。これも一つのインテリアデザイン手法だと思うけど。例えば短絡に東洋と西洋というふうに分けると、東洋というのは見せびらかすということに一つの恥ずかしさがある。それを隠そうとする、そういう行為がある。西洋というのは俺はこれだけ持っているんだと威張るわけではないんだけど、ある物を有効に使おうとする姿勢がある。そんなことを映画のシーンなんかでも教わる。どっちがいいとか悪いとかじゃなくて、そんなことを思うことがあるんですよ。しかし、最近はこれがないまぜになってきている、そういうシーンがわりかた多いという意味で、比較的インターナショナルになったんだなという感じがしないでもない。そんなふうなことが映画から吸収できるのかなという気がする。

それが私の場合は設計の仕事や何かにどうなるということではないですが、私の家なんかは、みんな表に出てしまっている。だから子供室なんていうのも、子供なんて表に出てりゃいいじゃないか。そのほうが安全管理も行き届くということで、それらしいものはつくらなかった。うちは上が女性で下は男性だったもんですから、分け分けしなければならなくなったという時もあったわけですが、例えば机とか戸棚とか、机なんか板切れ1枚与えただけでしたし、必要なものはみんな表に出しておけという主義できた。私自身も持っているものはみんなさらけだしているというか、そんな格好できてるもんですから、必ずしも映画の今のような見解が自分の仕事の中に反映させているということではないんですが、あるシーンからいろんなことを勉強させてもらったという感じがありましたね。いってみれば映画というのは嘘ではあるんですが、背景になっているところで嘘でない部分もちゃんとある。そんなふうに見てると、せっかく楽しもうとしている映画が勉強の道具で面白くなくなってしまうから、それはどうでもいいと言えばどうでもいいんですが、映画から教えられるものも馬鹿になりません。また、渡辺さんと映画の話の出来る機会を楽しみにしています。

と　き　1993年5月17日(月) PM1：00～3：30
ところ　ホテル・センチュリーHYATTレストラン「翡翠宮」



対談風景

映画にみる建築、インテリアの印象的シーン

――建築家、インテリアデザイナーのお推め映画作品――

「映画の中のインテリア」特集にともない建築家、インテリアデザイナーの方々に対し「映画の中でのインテリア、建築の印象的なシーン」をあげていただき、あわせて設計活動に影響を受けたかをお聞きしました。以下は設問例と御回答をいただいた29通を掲載します。(50音順掲載)

(設問1)　年間に何本程度、映画を観られますか？(映画館、テレビ、ビデオ等あわせて)

(設問2)　設計者として、どのような観点で映画を観られますか？

(設問3)　映画の中でのインテリア、建築の印象的なシーンをあげていただき、その感銘をうけた理由をお教え下さい。また、それが自分自身の設計活動に関わる空間づくりの発想に影響を与えたことはありますか？

(編集部)

空間は心理的存在

「激突!」

池上俊郎

(設問1)

最近は、年20本前後。

(設問2)

・人の行動と室内の関係を知る。
・未体験の空間と出会えることを期待。
・映像自身の空間的自立、映像的自立を期待する。

(設問3)

「憂国」

土に埋没した鳥居が、人間と同じ大きさの部位をしている。

空中の大きさと現実のスケール差。

「激突!」

人の姿は主人公もうつらず、オンボロの自動車とそれを背後より追いかけるコンボイの姿だけが全篇にあるという心理劇。空間というのは、心理的存在であると知らされた。

映画を反面教師とし、虚構の世界を構築して提供し、数ヶ月すると虚構ではなく実体の空間に転換する空間を作りたいと考えている。

(京都市立芸術大学環境デザイン学科助教授)



「ローマの休日」

スペイン広場での表現の豊かさ

「ローマの休日」

歌一洋

(設問1)

年20本前後。

(設問2)

人間的な観点を重視し、空間、陰影、間、リズムなど表現の手段も考えることもあります。

(設問3)

「ローマの休日」の中におけるスペイン広場での表現の豊かさ。

設計活動に直接、影響を受けることはありません。

(歌一洋建築研究所所長)

ひとりの人間として観る

小川晋一

(設問1)

年15本程度。

（設問２）

ひとりの人間として観ています。

（設問３）

・沢山あって限定できません。

・具体的にはありませんが、無形にあるかもしれません。

（小川晋一アトリエ代表）

建築より古いつきあい

「巴里の尾根の下」

太田隆信

（設問１）

ＴＶのチャンネルを回して映画（洋画のアクションもの）があれば、終るまで観ている。特に意識して、この映画を観ようと思うことは、ほとんどありません。そういう意味では年に一度観るか観ないかという程度です。

（設問２）

私達の世代にとって、少なくとも'55年頃までは、映画は唯一の娯楽であった。建築よりはずっと古いおつきあいなのです。設計者としてどんな観点からなどと、あらたまって問いかけられても困ってしまいます。

（設問３）

私の映画の話は、常に過去形になってしまいますが、国民学校３年生の時、「ハワイ・マレー沖海戦」を観ました。この映画のテーマソングが、ベートーベンの「運命」であることを知ったのは、戦後間もない頃、それなりにショックであった。'45年の初夏、台湾は汐止の疎開先で「春のいざない」というタイトルのイタリア映画を観た。「オーソレミオ」が全篇にあふれるオペレッタ調の映画、一瞬の楽しさを味わった。あの時期、あの場所で、どうしてあんなめぐり会いがあったのか、今だに不思議な思い出である。

「野良犬」を観ました。本当は、三木トリローの「冗談音楽」を観に行ったら映画は「野良犬」だったというべきですが、この映画には、「サ・セ・パリ」のメロディが使われていたように思うが、これについては確信がもてない。だけどビデオで確かめようとは思わない。

'50年前後（高校生の頃）は、それなりの映画ファンで、その頃に観た映画の記憶は、今でも鮮明です。

「巴里の屋根の下」以前の朝日会館のフランス名画祭で観ました。トーキー初期の音の使い方が、とても面白かった。例えば、室内でレコードを聞いているシーンを外部から写していて、扉をさっと開けると同時に、あの懐しいテーマソングがスクリーンいっぱいに広がる。そんなプリミティブな演出の積み重ねが、かえって新鮮だった。

「パリ祭」パリの下町のアングルがとてもよかった。パリ祭の歌そのままの風景だった。

「誰が為に鐘は鳴る」小説で私なりに描いていた橋の景色と、映画のシーンとが、まったく異なっていて驚いた。

「ヒットパレード」原題は「The song was born」。バージニア・メイヨとダニー・ケイの喜劇仕立のジャズ史、それぞれの時代のジャズを求めて、演奏を聞きまわるシーン、街のスナップがそのままアメリカだった。「ヒットパレード」という安易な邦題に腹をたてた。

大学生になって、当時は幻の名画であった「戦艦ポチョムキン」を観た。有名なオデッサの階段シーンなど、話に聞きすぎていて、あまり感動しなかった。

私の場合、映画はつねに音楽とリンクしていたと思う。設計活動の中で、特に意識したことはないけれど、きっと、何か影響を受けていると思う。

（坂倉建築研究所取締役大阪事務所長）

セットや背景にひかれる

加藤晃規

（設問１）

B.S.にて年50本程度。

（設問２）

エンターティメントとして、一般人と同じ態度で楽しむが、時折、セットや背景の画白さに興味をひかれることがある。



「巴里の屋根の下」

(設問3)

空中より鳥瞰撮影したシーンやピクチャレスクなインテリア空間に印象が深い。(作品名不詳)

そのパースペクティブな効果に感銘。

(大阪大学工学部助教授)

風景を創造する重要性
「小さな旅人」
狩野忠正

(設問1)

年に60本程度。

(設問2)

凝縮された映像と精度の高い情報量。

(設問3)

最近、見た映画で印象に残った作品は、イタリア映画「小さな旅人」である。

二人の姉弟が家庭の事情と本人達の非行により、シシリー島にある少年院に入れられていく。ミラノ起点に南下して、シシリー島にたどり着くまで、背景となる個有の風景とごく日常的な建築の中で展開する二人の心境の変化が描かれている。特にラストシーンとなる二人が背を寄せ合う後姿は感動的である。日常性の中に顔をのぞかせる意外性の発見は、人々の心を動かすものとなる。

映画のラストシーンは全体の集積体となることがよくあるようだ。「まあだだよ」と「許されざる者」の夕景のラストシーンは風景を創造することの重要性を訴えている。

(竹中工務店設計部長)

インテリアが宇宙と同義
「2001年宇宙の旅」
貴志雅樹

(設問1)

年に12本。

(設問2)

映像の美しさ、異郷の風景。

(設問3)

「2001年宇宙の旅」

白色の光の中で、インテリアが宇宙と同義である事を感じさせる。

「ブレードランナー」

混沌とした都市風景なのだが、なぜか透明感がある。

(貴志雅樹環境企画室)

感動と皮肉と空虚と残酷
「フェリーニのローマ」
岸和郎

(設問1)

年に24～36本。劇場で見る機会が少なく、ビデオで見るのが残念です。

(設問2)

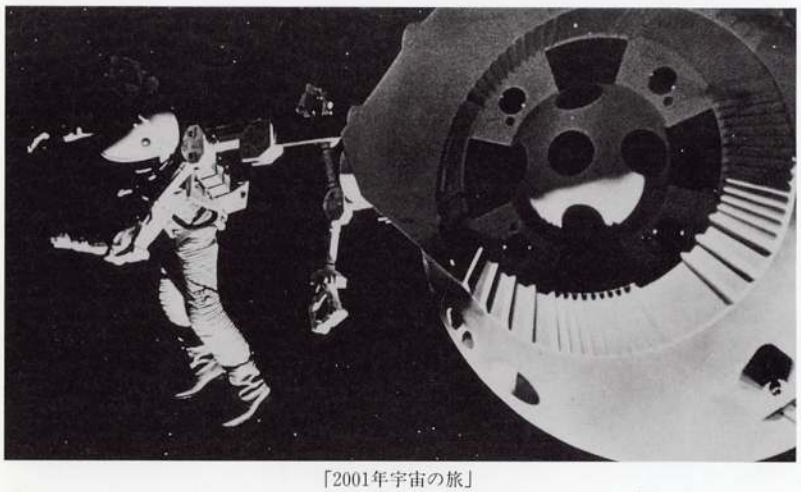
非日常的な空間が体験できるから……というのが優等生的な解答だとは思いますが、実は単純に心楽しい時を過ごせるかどうか、だと思います。

(設問3)

例えば、「フェリーニのローマ」の全てのシーン。具体例を挙げると、ローマの地下鉄工事の現場に突然、出現したローマ時代の壁画。何千年かぶりに人間の眼に触れた、さながら今、描きあがったばかりであるかのように鮮明な壁画が、地上から吹き込む風が巻き起こす砂塵によって見ている間に古びてゆき、そして消え去ってゆく光景。何千年かの時の流れをほんの数分に集約することの感動と皮肉と空虚と残酷さ。

そうした映画的感動が設計の現場に直接影響をおよぼすことは無いだろうし、そんなことはしたくないと考えている。ただ、例えば小津安二郎の映画を観て、カメラのローアングルに日本の空間の視覚的な重心の低さを再認識するといったようなことは勿論あります。

(京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科助教授)



「2001年宇宙の旅」

現代の神殿
「未来世紀ブラジル」
北村陸夫

（設問1）

年に12～24本程度。

（設問2）

ＳＦ、スペクタクルものはストレス解消として、文芸物はその世界に浸りたいため、設計のヒントにというつもりはないが、印象が強く残る場合がある。

（設問3）

「2001年宇宙の旅」

宇宙船のインテリア→無動を視覚化した。ラストシーンの影のない無気味な、しかしクラシックな部屋→非現実感、不安感を表わす。

「未来世紀ブラジル」

原子力発電所の内部のような空間→強いインパクトがあり、現代の神殿ともいえる。

「他人の顔」

磯崎新だと思うが、病院のセット→病院を抽象化し、横スベリしたような印象だった。

（ズーム計画工房代表）

「Ｍ２」にイメージを投影
「ブレードランナー」
隈　研吾

（設問1）

年に12本程度。

（設問2）

映画の製作と建築の設計とは今日の社会の中では、きわめて類似した行為と思うから。

（設問3）

コロンビア大学で客員研究員をしているときは、特に映画をよく観ました。中でも「ブレードランナー」や「未来世紀ブラジル」は、印象的で、伝統的であると同時に、超未来的でもありえる空間の可能性を教えてくれました。

「Ｍ２」のアトリウムには、これらの映画のイメージが投影されています。

（建築家・隈研吾建築都市設計事務所）

現出する非日常の祝祭
「フェリーニのアマルコルド」
栗生　明

（設問1）

年に50本程度。

（設問2）

新しい視点の発見。

（設問3）

「フェリーニのアマルコルド」

イタリア中世都市の広場が身の丈を超える大雪によって埋まる。クレバスになった雪の切通しをオートバイが疾駆し、グラマラスな美女が闊歩する。

都市のインテリアとも呼べる広場に現出する非日常の祝祭。降りしきる雪の中を舞い降り、羽を拡げる孔雀の意外性、幻想性は忘れ難い。空間は、そこでの出来事によって輝きを増大させる。

様々な出来事を誘起させる仕掛けと器としての許容力のある空間装置のあり方に興味はつきない。

（千葉大学工学部建築学科助教授）

映画の風景に自分を置く
「インテリア」
駒田哲男

（設問1）

年に70本程度。

（設問2）

日常、日本の風景の中で、生活しているため、外国映画の風景の



「未来世紀ブラジル」

中に、自分を置いて観る。

(設問3)

印象に残るのは、「卒業」にでてくるアメリカの住宅街の風景。青々とした芝生に囲まれた瀟洒な家。玄関扉をあけると広々としたパーラー（応接間）がある。私自身、こんなリッチなアメリカに憧れて渡米し、あの汚ないニューヨークへ着いた時の現実のアメリカとのイメージの落差の大きさ。誤解による好奇心を映画はひきおこしてくれる。

また、いつ観ても楽しいのは、ウッディ・アレンが監督する映画のインテリアの凝り方。「インテリア」での小物や生け花の色まで完璧にコーディネートされたインテリア、壁の中央を避けて絵を飾るセンスはニューヨーク流。そして、アーチストのアトリエへ絵を買いに来た客に「この絵がインテリアに合うかどうか、デザイナーに相談してから買う」といわしたり、いかにも、健全そうな人に、その美しいインテリアを「なによ、この陰気くさいインテリア」とくさらせたりするところが楽しめる。

さらに「ニキータ」は女性暗殺者のアクションで意外性のあるストーリーが展開するが、主人公がアパートをスケルトンで借り、内装工事の進行の映像がストーリーの時間の経過と愛の深まりを表わして見事。

（AD&A代表取締役）

茶室の一輪の花

「利休」

近藤康夫

(設問1)

年に数十本。

(設問2)

敢えて意識して職業的な視点から映画を観るということはしないが、無意識のうちに、背景や都市の景観が残っていることは多々あります。

(設問3)

・〝小津安二郎のローアングルからとらえた世界〟

特異な日本的な座の世界の視点が深く印象に残っている。

・「未来世紀ブラジル」や「ブレードランナー」にみるSF的世紀末の都市の風景。

・「ツインピークス」14巻に描かれている幻想的な部屋。計算しつくされた非常に儀式的な演出にインパクトを受けた。

・ブルース・リーの映画に出てくるガラスのイリュージョン。

・「2001年宇宙の旅」のモノリス。

・「利休」の中で描かれている茶室のにじりぐちを入って見上げる一輪の花のシーン

直接的に空間づくりの発想源になるということはありませんが、残像となったイメージが記憶のうちに残り、何らかのきっかけでヒントとなることはあると思います。

（近藤康夫デザイン事務所代表取締役）

別世界と結ぶインテリア

「オルフェ」

清水泰博

(設問1)

年に数十本。映画館で見るのが一番だと思いますが、最近はビデオで見るのが多いようです。

(設問2)

その映画の内容を若干知っている昔のものを、自分の興味あるテーマとの関連で、観ることがあります。結果的には、映像という形で印象に残ることもありますが、観る観点とするとテーマに対するその映画での扱われ方です。

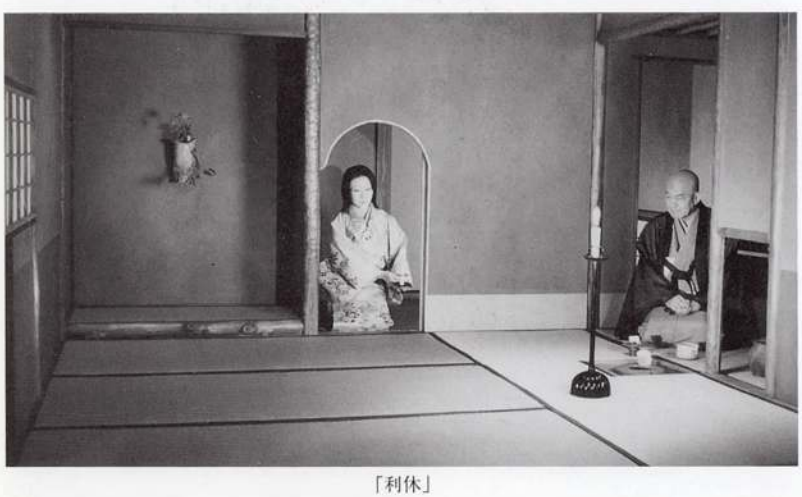
(設問3)

「ノスタルジア」

全体を通しての水の中のイメージも新鮮でしたが、主人公の望郷の風景としてあらわれるロシアの民家の風景、特にラストにあらわれる主人公の心象風景としての建物遺構中庭に置かれた民家の風景は印象に残っています。

「オルフェ」

この世とあの世を結ぶものとして描かれた「鏡」、一つのインテリ



「利休」

アが別の世界とつながっているというイメージと、そこを通り抜けるシーンが印象に残っています。

それぞれの映画が、自分の関心あるテーマについての別の視点を教えてくれますのでそのことによって、自分のテーマに対する関心が深まったり、方向が若干変わったりといった影響を受けているように思います。

(SESTA DESIGN　代表)

コンセプトに影響
「回転木馬」
瀬戸本　淳

(設問1)

年に60本ぐらい。イタリアや小さく輝やいている国の少し屈折した官能的なものに出合うと嬉しくなる。

(設問2)

知らない世界への憧れから、少年時代、映画の中の建築空間を描くのを趣味にしていた。どうしてもプランが完結しない苛立ちから、何回も通ったのを思い出す。

今はむしろ人間本来の営みを、禁断を犯すような必死の思いで嗅いでいる。

(設問3)

少年の頃にスケッチしたのは、「ロミオとジュリエット」、「上流社会」、「風と共に去りぬ」、「裸足の伯爵夫人」などがあるが、小学生の頃、初めて観たミュージカル映画「回転木馬」が、自分の建築のコンセプトに影響を与えていると気付いたのは最近のこと。リチャード・ロジャースの音楽、主演のビリーにゴードン・マックレー、木綿工場で働く娘ジュリーにシャーリー・ジョーンズ（今でもこの女優が一番美しいと思い込んでいる)。

死んだビリーが星を磨いているシーン、一面明るいブルー、星がキラキラ輝いている。番人の勧めで下界に行って、自分の娘を勇気づけるといったストーリーなのだが、愛、死、星の世界が美しく表現されており、今でも忘れられない。自分が輝やいている間は良い建築ができる、と私に叱咤激励してくれている作品である。

最近では、チェコの美しい古都プラハに行った時、「アマデウス」の撮影現場に使ったバロック風の街並みに出会ったのを自慢にしている。

(瀬戸本淳建築研究室代表取締役)

めくるめく絵画性に感動
「コックと泥棒、その妻と愛人」
高松　伸

(設問1)

年に数十本程度。気が向けば1日にたて続けに2～3本観ることがあります。

(設問2)

設計者として映画を観ることはありません。もったいなくて……。にもかかわらず、後になって時にセットや光や映像の作り方が気になるのは、やっぱり設計屋の貧乏根性でしょうね。

(設問3)

絶対のおすすめは、なんといってもピーター・グリナウェイ監督の「コックと泥棒、その妻と愛人」であります。厨房、レストラン、トイレの3つの空間を中心にドラマが展開するのですが、その圧倒的な絵画性にはうんざりするほど感動しました。なによりも色と光（殺された光。物質化された光）が凄い。そのめくるめく絵画的構築物の連鎖の中をゴルチェの衣裳が動きまわります。

(高松伸建築設計事務所)

陰影に歴史の重み
「旅芸人の記録」
竹原義二

(設問1)

年に10本ぐらい。

(設問2)

純粋な気持ちで映画を観ているので、建築家としての眼では映画を観ていない。しかし、その中でも都市の成り立ちやインテリアに



「コックと泥棒、その妻と愛人」

興味を持てるシーンは、再度、観なおしている。

（設問３）

テオ・アンゲロプロス監督のギリシャ映画「旅芸人の記録」

撮影の視点に雨あがりのシーンが多く、目線よりも低く写し出された地面に、白黒の光が表現する陰影が歴史の「時間」と「空間」を感じさせる。

（竹原義二／無有建築工房）

共通の〝イメージ〟言語
「風と共に去りぬ」
谷　淳之介

（設問１）

年に12～24本程度。最近では、「紅の豚」を観ました。ＴＶで「ロビンフッド」「ダンス・ウイズ・ウルブス」など。ＴＶで映画はストレス解消に結構観ています。

（設問２）

設計者としてという意識は特にありません。ただ時代、風俗、街の様子、人々の生活、自然の美しさ、古代のロマンなどに興味があり、そういったものが場面のイメージとして記憶に残ります。

（設問３）

インテリアや建築の具体的なシーンが強い印象として残っているというのは特にありません。これは多分、それらを「場面として凝視する」ことが少ないからでしょう。但し、一種の雰囲気、イメージとしては沢山のものが残っています。古き良き時代のアメリカ南部の街や村はビビアン・リーの印象と共に「風と共に去りぬ」。ローマ時代は、チャールトン・ヘストンと共に「ベン・ハー」。未来の地球のイメージの一つは「風の谷のナウシカ」の中にといった具合です。

ここで面白いと思うのは、記憶に残るこういった様々なシーン、時間と空間を超えた世界中の街、自然、風俗、建物、人々の表情などが、ある種のイメージとして自分以外の人々の記憶の中に、同じように焼きついているらしいということです。逆にいえば〝映画〟や〝映像〟というメディアが人々に共通の世界観を〝イメージ〟として与えつづけてきたということです。そして、こうして形づくられた〝イメージ〟によって、結構、私達の日常の会話（建築の会話も含めて）が進行しているということ。これは面白いと思っています。

（東畑建築事務所名古屋事務所副所長）


「七人の侍」

空間を共有する意識
「ニュー・シネマ・パラダイス」
谷山紀子

（設問１）

年に24本ぐらい。

（設問２）

ストーリーを追いながらも、街並や、建築、インテリアが気になる（変と思う事も含めて）。特にイタリアの中世都市がバックに出てくる映画を観ると、実際に旅して空間を身体で感じたくなる。

（設問３）

「ニュー・シネマ・パラダイス」

唯一の娯楽が映画しかないイタリアのある町でのストーリー。

前身は教会ではなかったのだろうかと思わせるようなイタリアのどこにでもあるような広場をもつ映画館で広場の建物の壁に、画面を大きく映し出すシーン、暗闇の中で、広場の荒々しい壁がスクリーンで、まるでこの広場が大きな映画館であり、そのインテリアとして感じ、主人公の少年の笑顔と共に、とても印象的でした。

ストーリーの中での住意識の違い、我国ではなかなか育たない空間を共有する意識を感じます。

（コンコード建築設計事務所所長）

建築家は〝用心棒〟
「七人の侍」
塚口明洋

（設問１）

年に36～38本程度。

（設問２）

シーンの持っている力強さと、シーンの展開の調子。

最近の映画では、「プロスペローの本」と「そして船は行く」が印象的でした。

（設問３）

映画の中には、人生の生き方に対するテーマをいつも感じています。

「髪結いの亭主」は幸せだなぁとか、「アラビアのロレンス」をつくった監督の心のやさしさが好きだとか、「惑星ソラリス」は、そうか、人間の世界のことをいっているのか。「そして船は行く」の失われていく偉大な世界への愛情に共感を覚えます。

「明日に向かって撃て」のポール・ニューマンとロバート・レッドフォードはカッコいい。ボリビアの駅に降り立ち、そこで銀行強盗を働くシーン。時代の流れに関係なしに生きている人間の馬鹿らしさ、美しさが描かれていて好きだ。（この映画を観て、よし！将来は自分で設計事務所をやろうと思った？）

「シャイニング」は、時間の流れが止まったようなドキドキする演出がすばらしい。「インディ・ジョーンズ」は、その正反対の次から次に展開するシーンのおもしろさが好きだ。「未来世紀ブラジル」は、アイロニーの効いた管理社会批判がスマートで素敵だ。そして、僕は映画監督を尊敬しています。「アラビアのロレンス」のデビッド・リーン、「そして船は行く」のフェデリコ・フェリーニ、「シャイニング」のスタンリー・キューブリック、「プロスペローの本」のピーター・グリナウェイ、「七人の侍」の黒澤明。

「プロスペローの本」。このシナリオのように、また、ピーター・グリナウェイのように、建築が設計できればよいと思う。

「七人の侍」。浪人たちが村を救うという設定は、いつも僕が仕事をしながら頭に描いているイメージです。建築家って、一種の用心棒ではないかと思うことがあります。ヤクザ同士の抗争で、「先生、お願いします。」といわれて、「よし！」と答える。そんな浪人に、僕は憧れています。

（塚口明洋建築研究室代表取締役）

往時の村落の典型
「用心棒」
中嶋龍彦

（設問１）

あまり観る機会が無い。

（設問２）

特に設計者として観ることはなく、ごく一般の観賞者として観ている。

（設問３）

特にインテリアとしてはないが、感銘を受けたものとしては、「用心棒」の冒頭の街道のシーンがある。往時の通りと民家の関係と道行く人と住み手の関係、野盗の横行と住人の関係など、往時の村落の典型として印象にのこっている。

（中島龍彦建築事務所）

エロティックなメカニズム
「ブレードランナー」
難波和彦

（設問１）

劇場とビデオあわせて年に60～70本程度。

（設問２）

監督の立場に立って。

（設問３）

「ブレードランナー」

デッカードのアパート。おそらくフランク・ロイド・ライトが設計した実在の住宅をロケーションに使っていると思われるが不明。知っている人は、教えて下さい。

同じく、J.F.セバスチャンのアパートとなった〝ブラットンベリービル〟のアトリウム。露出エレベーターのエロティックなメカニズム。ブライアン警部の詰所となった〝ユニオン・ステーション〟のホールなど。



「ブレードランナー」

いずれも、ポストモダンな表層的表現——したがって、イメージの中のデザインでしかない。建築的な発想とは無関係です。

（界工作舎）

感動がすべて
「愛の嵐」
本多友常

（設問1）

年に12～24本程度。

（設問2）

感動がすべてです。つぎに、映画全体に流れる雰囲気と、それを生みだしている枠組、監督のねらいなどについて考えることもあります。

数年後に思い出したりするシーンが、映画の核心に触れていることが多いので、それがなにかは気になります。

（設問3）

印象的なシーン

「ストーカー」の振動にふるえる室内——日常化した異常。

「ノスタルジア」大雨に閉ざされた寝室。——水の不安と郷愁。

「パッセンジャー・過ぎ去りし日々」のラストシーン——死といつもどおりの外の風景。

「2001年宇宙の旅」のコンピュータ室——閉ざされた室と機械的な声。

「ソイレントグリーン」の死のための室——死の装置としての映像と音響。

「メトロポリス」の都市の風景——汗まみれの未来像。

「8月の鯨」の田園風景——無風の自然と老い。

「ベニスに死す」のホテル風景——快活な旅行者達。

「愛の嵐」の体育館——踊りとガランドウな空間。

「マルサの女」のカニ——リアルな欲望。

（竹中工務店設計課長）



「ポンヌフの恋人」

精神的異次元の世界
「ポンヌフの恋人」
水谷壮市

（設問1）

年に100本程度。

（設問2）

特に、設計者とかデザイナーとして、といった観点からは観ていません。その映画自体が面白いかどうかということ、また、僕自身にどういった影響を与えるか？ということが楽しみで観ています。

（設問3）

2の設問の答えに補足する様になるかも知れませんが、僕にとって映画はそれを観て、いかに時間旅行ができるか、が中心の様な気がします。

敢えて、建築的見方からいうと少し前の映画ですが、「ポンヌフの恋人」のあの壮大なセットとロケーションの実写とが微妙な異差を生み、精神的異次元の世界へ運んでくれた気がします。また、「ナイトオンザプラネット」なども好きな映画ですが、あまりインテリアとか建築のシーンとして残っていることはないように思います。

ただ、今ひとつ、思い出すに、「未来世紀ブラジル」の地中から巨大なビルが一瞬の内に立ち上がってくるシーンは、東京の建築の成り立ちの様な気がして印象的でした。

具体的な空間のシーンに対する影響というより、その映画全体から受ける感動のほうが、ある意味において影響を受けていると思います。

（水谷壮市デザイン事務所代表）

感動し、意図的にデザイン
「シェルブールの雨傘」
三橋いく代

（設問1）

最近は主にテレビで年に24～36本程度。

（設問２）

内容。テンポ。シーンからシーンの転換。アングル。

（設問３）

題名は忘れましたが、戦争映画でドイツ軍が占領した建物で、出入りする扉の高さが人の背の３倍はあり、その厚く重たそうな扉が軽く開閉したシーン。この後、床から天井までの高い大きな扉を意図的にデザインしたのを覚えています。30年近く前のことです。

やはり20年ほど前、「シェルブールの雨傘」のシーンとシーンの間（パン）の数秒間の真白い画面が目に焼きつき、白いメンバーズクラブを設計したことがあります。

最近は、このような感動を覚えたものは、空間的にはありません。

（スタジオ80）

人間模様の「場と空間」

「ウォール街」

美濃吉昭

（設問１）

年に24～5本程度。

（設問２）

観るにあたって、特に設計者の意識はありません。

結果として、描かれた人間模様の「場と空間」の関係には注目しています。

（設問３）

「アマデウス」

ロケ舞台は、1750年代に完成した純粋バロック様式のチェコのプラハにあるクロメリック宮殿で、ホワイト、スカイブルーに金色（コンジキ）の明るい華麗な空間が印象的。これはセットではない本物の魅力。

「ウォール街」

現代ニューヨークの投資家のオフィスや画廊、それと海岸にある週末の家。さらにライバル関係の投資家のリバーサイドタウンハウスなどのモダンアートのあるインテリアが印象に残っている。いずれも、人物、場とインテリア空間が完璧にフィットしている。

（大成建設大阪支店技師長（設計担当））

シンプルでモダンなインテリア

「ライム・ライト」

三好庸隆

（設問１）

映画館では年に５本ぐらい。他にビデオで鑑賞。

（設問２）

映画はリラックスして観たいものです。〝設計者〟ということを意識したことは、あまりありません。ただ、基本的には、映像がすぐれているもの、イメージを喚起してくれるもの、シュールっぽいものが好きでしょうか。やたら直接的イメージであったり、おどろおどろしいものは、性格にあいません。

（設問３）

学生のころであったと思うので、記憶がやや薄らいでいますが、確かチャールズ・チャップリンの「ライム・ライト」の室内シーンで、その部屋の限りなきシンプルさと、部屋の右上コーナー部にみられるトップライトと、ハイサイドライトの組み合わさったモダンなインテリアに、思わず目を見はったのを思い出します。

最近の作品としては、「ブレードランナー」で有名なリドリー・スコット監督の「ブラック・レイン」において、犯罪組織のドンの屋敷に、フランク・ロイド・ライトの〝エニス・ブラウン邸〟が使用されていたのも、意外性があり、印象に残っています。

上記以外にも映像面で好きな作品としては、「メトロポリス」、「時計じかけのオレンジ」、「パピヨン」、「卑弥呼」、「陽炎座」などが思い浮かびます。

（計画・設計研究所 PPI 所長）

空間のイメージは建築より先行

「ターミネーター２」

安原盛彦

（設問１）

年に映画館で24本ぐらい。ビデオ・ＴＶで150本前後。



「シェルブールの雨傘」

(設問2)

・映像としてイメージを喚起するものがあるか。

・場所をどれだけ意識しているか。

・音楽が映像を害していないかどうか。

(設問3)

・少ないけれども、ある種の映画の中の、これまた、少ないいくつかのシーンの空間のイメージは、建築のそれよりはるかに先行している。それは、むしろ見えない先までといっていい。

・ことさらポピュラーな映画からあげると、

何ともない病院の廊下の風景——床のゴムタイルに変身した「ターミネーター2」。

・あたり一帯の静寂、広い草原。遠くが樹木に縁どられている。その草原を歩いて行く一人の男。静止した草木。一瞬、草原がなびき、いっせいに動きはじめる。草がゆらぎ、ざわざわと音を立てはじめる。

風が吹きはじめた。

——「鏡」(The Mirror)

・建築がいかに映画の中の空間のイメージを追い求めても、それは、亀を追うアキレウスの背理に迷い込むのと同じこと。永遠に追いつくことなど出来はしない。

(安原建築設計事務所)

インテリアとしての都市空間

「望郷」

吉羽逸郎

(設問1)

ビデオ時代になってから、時々観る。

(設問2)

特に、設計者として意識して映画を観ることはない。

(設問3)

「望郷」

カスバのインテリアとしての都市空間。ヒューマンな都市空間である。



「ターミネーター2」

「ブレードランナー」

レプリカントを作る企業の会議室。日の光が差し込むシーン。光の視覚化。

(アイ・エフ建築設計研究所代表取締役)

アンケート分類とお推め映画作品

インテリア・住宅分科会

【1】建築・インテリアを特に意識して表現している映画とその監督

建築物やインテリアは、映像のバックグラウンドとして最もひんぱんに映画の中で映し出される。建築家やデザイナーといったクリエイターは無意識にせよ、これら映像にプロの眼を注ぎ、普通の人ならば見落とすようなディテールを見出し、愉しむことも多い。ましてや、建築やインテリアが特に映画をより効果的なものにするために意識的に用いられている作品は、プロとして見逃せない。

(T. K)

■作品紹介

コックと泥棒、その妻と愛人
(ピーター・グリナウェイ監督)
圧倒的な絵画性、色と光が凄い。めくるめく絵画的構築物の連鎖の中で……。(高松　伸)

オルフェ
(ジャン・コクトー監督)
この世とあの世を結ぶものもして描かれた「鏡」。そこを通り抜けるシーンが印象的。(清水泰博)

ニキータ
(リュック・ベッソン監督)
女性暗殺者がアパートをスケルトンで借り、内装工事の進行の映像がストーリーの時間の経過と愛の深まりを表わして見事。(駒田哲男)

利休
(勅使河原　宏監督)
茶室のにじりぐちに入って見上げる一輪の花のシーンが印象的。(近藤康夫)

■本誌からのお推め作品

ピーター・グリナウェイ監督の作品
ZOO、建築家の腹、英国式庭園殺人事件、プロスペローの本。
シンメトリーな建築、インテリアへのこだわりを感じる。

アルフレッド・ヒッチコック監督の作品
サイコ、裏窓。
建築、インテリアのディテールに、登場人物の精神状態や、或いは人生模様、その場の状況を象徴。



プロスペローの本



ニキータ

【2】映画の中に登場する著名な建築家やインテリア・デザイナーによる建築物とインテリア空間

映画の魅力はその複合的な表現方法にある。ストーリーやキャストだけでなく、建築やインテリアは、そこで暮らし、あるいはそこを利用する登場人物の環境や価値感を、台詞(セリフ)以上に能弁に物語るものである。一つの映画の中で使われた建築やインテリアが、実は著名デザイナーの手によるものである意外性の発見がカルト的であり、また我々建築やインテリアに関わる者にとって、彼等のデザインが『映画』というコンテクストの中で、どのように意味を持つのかを探るのも映画の楽しみ方の一つではないか。

(Y. H)

■作品紹介

ブレードランナー
(リドリー・スコット監督)
デッカードのアパートは、おそらくフランク・ロイド・ライトが設計した実在の住宅をロケーションに使っていると思われるが。(難波和彦)

ブラック・レイン
(リドリー・スコット監督)
犯罪組織のドンの屋敷に、フランク・ロイド・ライトのエニス・ブラウン邸が使用されていた。(三好庸隆)

他人の顔
(勅使河原　宏監督)
病院を抽象化し、横すべりしたような印象の病院のセットは磯崎新だと思うが。(北村陸夫)

■本誌からのお推め作品

ナインハーフ
（エイドリアン・ライン監督）

アンドレ・プットマンのペントハウス住宅やモノトーンの室内・メタリックなバスルームなどが象徴的。

ハイヒール
（ペドロ・アルモドバドル監督）

映像の中のインテリアはメンフィス派。

ムーンリットナイト
（リナ・ウェルトミュラー監督）

ベルサーチによるインテリア・デザインが見もの。

薔薇の名前
（ジャン・ジャック・アノー監督）

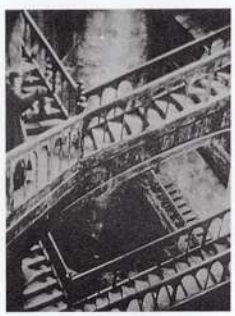
エッシャーの階段のだまし絵のモチーフ。

エイリアン
（リドリー・スコット監督）

ギーガーのデザインによるもの。


ブラック・レイン


ハイヒール


薔薇の名前

【3】映画に登場する歴史的建築物・インテリア（古代・中世編）

映画でストーリーを抜きにしても単純にそのスペクタクルな映像に酔いしれるのが、古代・中世の建築物・インテリアである。
ヒューマンスケールを遥かに越えた巨大スケールの建築物、歴史の重みを感じさせる爛熟した文化を表現するインテリア。それらは圧倒的な存在感をもって、見る者に迫り、人は時の隔たりを越えて、心を踊らし、映像の場に参加し始めているのがこのジャンルではないだろうか。

(Y. F)

■作品紹介

ローマの休日
（ウィリアム・ワイラー監督）

スペイン階段での表現の豊かさ（歌　一洋）

アマデウス
（ミロシュ・フォアマン監督）

撮影現場に使った古都プラハのバロック風の街並に出会ったことを自慢にしている。(瀬戸本　淳)
クロメリック宮殿のホワイト・スカイブルーに金色の明るい華麗な空間が印象的。(美濃吉昭)

フェリーニのアマルコルド
（フェデリコ・フェリーニ監督）

イタリア中世都市の広場が身の丈を越える大雪によって埋まる。非日常の祝祭のようだ。(栗生　明)

フェリーニのローマ
（フェデリコ・フェリーニ監督）

工事現場から突然出現し、何千年の時の流れを越え、人間の目に触れたローマ時代の鮮明な壁画。(岸　和郎)

■本誌からのお推め作品

イントレランス
（D・W・グリフィス監督）

古代建築を模した壮大なセットや、時代毎の建築物の比較も楽しい。

ラストエンペラー
（ベルナルド・ベルトリッチ監督）

中国紫禁城でのロケと、その映像の中での建築物や儀式の重厚さ。

去年マリエンバードで
（アラン・レネ監督）

豪華なバロック様式風のインテリア。

ゴシック
（ケン・ラッセル監督）

爛熟したゴシック様式のインテリアとサスペンスストーリーの意外性。


アマデウス


ラストエンペラー

【4】映画に登場するその時代を象徴する建築物・インテリア（近代、現代編）

映画の中の物語は常に我々の見慣れた情景が舞台となっている。世界中の都市、地域が舞台であり、その物語にとって欠くことのできない存在となっている。映像の中の情景、特に建築やインテリアの表現は、我々の日常生活や価値感とそう遠くない時代や文化を象徴していると言えよう。それゆえこの時代背景の映画は作る側の強烈な個性やメッセージを反映すると同時に、見る者はその世界に魅了され詩情をかきたてられる。そして人々の心の中に溶け込み形を変え社会に刺激を与え続けているのではないだろうか。　（Y．K）

■作品紹介

風と共に去りぬ
（ビクター・フレミング監督）
古き良き時代のアメリカ南部の街や村は女優ビビアン・リーと共に（谷　淳之介）

ライムライト
（チャールズ・チャップリン監督）
部屋の限りなきシンプルさと、コーナー部に見られるトップライトとハイサイドライトの組み合わさったモダンなインテリアに、思わず目を見はったのを思いだします。（三好庸隆）

戦艦ポチョムキン
（セルゲイ・エイゼンシュタイン監督）
有名なオデッサの階段のシーン等は、話に聞きすぎていて……（太田隆信）

望郷
（ジュリアン・デュヴィヴェ監督）
カスバのインテリアとしての都市空間はヒューマンな都市空間である。（吉羽逸郎）

卒業
（マイク・ニコルス監督）
こんなリッチなアメリカにあこがれて、渡米し、あの汚いニューヨークに着いた時のイメージの落差の大きさ。誤解による好奇心を映画はひきおこしてくれる。（駒田哲男）

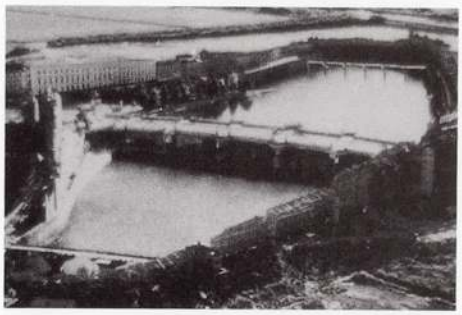
愛の嵐
（リリアーナ・カバーニ監督）
踊りとガランドウな空間としての体育館。（本多友常）

ニュー・シネマ・パラダイス
（ジュゼッペ・トルナトーレ監督）
イタリアのどこにでもあるような広場に面した建物の荒々しい壁をスクリーンにして、映画が上映された時、広場をインテリアとして感じたことが印象的。（谷山紀子）

ポンヌフの恋人
（レオス・カラックス監督）
あの壮大なセットとロケーションの実写とが微妙な差異を生み、精神的異次元の世界へ運んでくれた気がします。（水谷壮市）

ツインピークス
（デビット・リンチ監督）
幻想的な部屋の計算しつくされた非常に儀式的な演出にインパクトを受けた。（近藤康夫）

用心棒
（黒澤　明監督）
映画の冒頭のシーンに、往時の村落の典型として印象に残っている。（中嶋龍彦）


ポンヌフの恋人


ツインピークス

【5】未来の都市・建築・インテリア（ＳＦ）

映画はマルチメッセージを発信する。未来の都市や建築、インテリアは、思いがけないストーリーと、演出家の個性を反映した形で表現される。この、意外性をもちつつ現代への警鐘と未来への予告や提言が含まれる演出が、ＳＦのみどころであると言える。現代建築が引き起こす矛盾と、夢のような構造やメカニズムの２面性。むしろ建築家ではできないような発想も展開され、やはり環境や空間に新しい視点や可能性を求めていく立場にある建築家やデザイナーにとって、最も興味のあるジャンルではないだろうか。　（T．N）

■作品紹介

2001年宇宙の旅
（スタンリー・キューブリック監督）
白色の光の中で、インテリアが宇宙と同様であることを感じられる。（貴志雅樹）無動を視覚化した宇宙船のインテリア。非現実感、不安感を表すラストシーンの影のない不気味な、しかしクラシックな部屋。（北村陸夫）閉ざされたコンピューター室と機械的な声。（本多友常）

ブレードランナー
（リドリー・スコット監督）
露出エレベーターのエロティックなメカニズムなど、ポストモダンな表層的表現で、イメージの中のデザイン。（難波和彦）印象的で伝統的であると同時に、超未来的でありうる空間の可能性を教えてくれた。（隈　研吾）混沌とした都市風景なのだがなぜか透明感がある。（貴志雅樹）会議室に日の光が差し込むシーンは、光の視覚化。（吉羽逸郎）

未来世紀ブラジル
（テリー・ギリアム監督）
原子力発電所の内部のような空間に強いインパクトがあり、現代の神殿と言える。（北村陸夫）地中から、巨大なビルが一瞬のうちに立ち上がってくるシーンは、東京の建築の成り立ちのような気がして印象的。（水谷壮市）ＳＦ的世紀末の都市風景。（近藤康夫）

メトロポリス
（フリッツ・ラング監督）

汗まみれの未来像のような都市の風景。（本多友常）

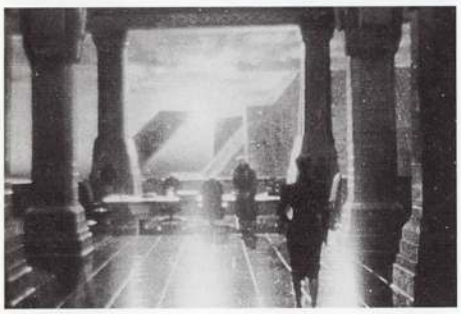
■本誌からのお推め作品

コヤニスカッティ
（ゴッドフリー・レジオ監督）

人間の創造によってバランスの失った世界を描く。空き家になった団地群の虚無感と、その爆破解体の連続映像は、人間が引き起こした矛盾を見せつける。

タワーリング・インフェルノ
（ジョン・ギラーミン監督）

超高層ビルへの一種の警告。



ブレードランナー



未来世紀ブラジル



コヤニスカッティ

【6】職業としての建築家、インテリアデザイナーを表現している作品

映画の中に描かれる建築家、インテリアデザイナー、自己と自分の仕事にアイデンティティーと責任を持つ格好の良い人間であったり、時として自己中心の人間であったり、他人事として気楽に眺めてみるのも面白い。また、外国映画の中での彼らの社会的地位、仕事の仕方の我々との違いを比較するのも見方の一つ。主人公の職業柄、建築や空間が、単なる背景としての役割を超えて、映画そのものの構成の主な要素となっている。

（K. I）

■作品紹介

インテリア
（ウッディ・アレン監督）

小物や生け花の色まで完璧にコーディネートされたインテリア、壁の中央を避けて絵を飾るセンスはニューヨーク流。（駒田哲男）

ウォール街
（オリバー・ストーン監督）

ニューヨークの投資家のオフィスや画廊、海岸にある週末の家。さらに、ライバル関係の投資家のリバーサイドタウンハウスなどのモダンアートのあるインテリア。いずれも、人物・場とインテリア空間が完璧にフィットしている。（美濃吉昭）

■本誌からのお推め作品

建築家の腹
（ピーター・グリナウェイ監督）

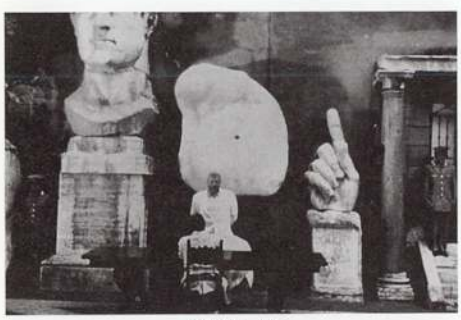
自分自身に関わることのみしか関心を示さない主人公。すべての画面に、建物の内外が脇役以上の役割として存在し、ほとんどの画面の構成がシンメトリー。

タワーリング・インフェルノ
（ジョン・ギラーミン監督）

建築設計士が消防士とともに超高層ビル火災に立ち向う姿が描かれている。

いつかどこかで
（小田和正監督）

主人公がリゾート施設の設計者。競技設計を通して、開発か自然保護かといった描写も。



建築家の腹

【7】アニメ映画に描かれた建築・インテリア

アニメの中では、風景、地形、建造物、家具や小道具まで全て自由に表現することができる。そこで演出家や監督の味わいや個性により、過去の街並から未来都市の建築などに至るまで興味あるインテリアが、表現されていることがある。

したがって、新たな視点で見ることによりアニメの自由な表現のなかに、建築やインテリアがどの様に活かされているか興味のあるところではないだろうか。

（T. K）

■作品紹介

風の谷のナウシカ
（宮崎　駿監督）
未来の地球のイメージの一つ。（谷　淳之介）

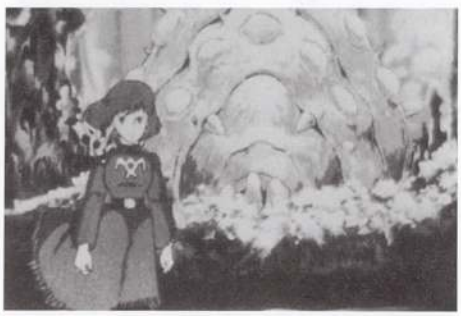
■本誌からのお推め作品

ルパンIII世カリオストロの城
（宮崎　駿監督）
城と、その地下の超未来的な宝庫が対照的。

アキラ
（大友克洋監督）
未来の東京の整然とした部分と、混沌とした部分がリアルに描かれている。

美女と野獣
（ゲイリー・トゥルースディル、
カーク・ワイズ監督）
中世の館の表現がすばらしい。家具や什器が生き物となって踊り出す。

となりのトトロ
（宮崎　駿監督）
日本の田舎の家にある、陰影とほこりっぽさが懐しい。



風の谷のナウシカ

【8】アンケートに挙がった映画作品と監督の中で印象的だった意見など

■作品紹介

シェルブールの雨傘
（ジャック・ドミー監督）
シーンとシーンの間の、真っ白い画面が目に焼きつき、真っ白いメンバーズクラブを設計したことがあります。（三橋いく代）

回転木馬
（ヘンリー・キング監督）
自分の建築のコンセプトに影響を与えていると気づいたのは最近のこと。（瀬戸本　淳）

小さな旅人
（ジャンニ・アメリオ監督）
ミラノ起点に南下してシシリー島にたどり着くまで、背景となる固有の風景とごく日常的な建築の中で展開する二人の心境の変化が描かれている。（狩野忠正）

旅芸人の記録
（テオ・アンゲロプロス監督）
目線より低く写し出された地面に光が表現する陰影が、歴史の「時間」と「空間」を感じさせる。（竹原義二）

激突！
（スティーブン・スピルバーグ監督）
人の姿は写らずに、オンボロの車と追いかけるコンボイの姿だけの心理劇。空間というのは心理的存在であると知らされた。（池上俊郎）

七人の侍
（黒澤　明監督）
建築家って一種の用心棒ではないかと思うことがあります。（塚口明洋）

アンドレイ・タルコフスキー監督の作品
ノスタルジア、ストーカー、惑星ソラリス
全体を通しての水の中のイメージも新鮮でしたが、特にラストに現れる主人公の心象風景としての、建物遺構中庭に置かれた民家の風景は印象に残っています。（清水泰博）大雨に閉ざされた寝室。水の不安と郷愁が印象的。（本多友常）振動に震える室内。日常化した異常を感じる。（本多友常）そうか、人間の世界のことを言っているのか。（塚口明洋）

小津安二郎監督の作品
カメラのローアングルに日本の空間の視覚的な重心の低さを再認識する。（岸　和郎）特異な日本的な座の世界の視点が深く印象に残っている。（近藤康夫）



秋日和

随想

映画美術——その発想について

——映画「豪姫」からみる日本の建築美——

西岡善信

セットデザインは感性と主張を追求

映画美術の担当者を、美術監督・アートデザイナー・映画美術者等、様々な名称で呼ばれているが、無声映画時代は、設計部——設計屋さんとよばれていたらしい。セットデザインの設計が主なる仕事であったからだろう。

一般にいう「建築設計」の場合は、人間が生活して行く上での機能と、それに必要な空間処理、そして、インテリアも同様、実生活を営むうえでの美的感覚の発想に基いて進められて行く。映画美術のデザイン作成の場合は、この点まったく目的が違っている。——生活実感も機能性も考えない。

ただ、そのシーン（場面）が語りかけようとしている感性と主張だけを尊重していく世界であるともいえる。その場合のドラマ内容を如何に把握し、発想を飛躍させるかという点が大切である。

前もって、綿密に打合せ、構築された美粧（髪かたち）・メイク・衣裳・装飾（インテリア）の各パートの芸術家たちの連携プレイを最大限に生かしながら画面を切り取って行く処に映画美術の醍醐味があるといえる。この点、日本映画のクラフト（技術）は世界水準を常に抜いているといわれている。

それなのに何故、現在の日本映画の低迷があるのか、……。これについて述べるのは、多くの頁を要するが、一言でいえば、現代の映画製作者は（我々も含め）物作りの自覚と主張に欠けていると思える。映画製作と興行収入との経済原則に視点を置きすぎて、作品の「心」が見えて来ないのである。

日本映画に関しては、さて置き、アメリカの映画製作も確かにこの「経済観点」は重視している。監督を含めスタッフを編成をする前（約半年から一年）、美術監督を決定し、作品内容を具体的に検討する作業に入るのである、これはこのパートが多額の製作費を消費する関係上、作品のコスト予測を立てる目的である。この時点で作品の中止が決定される場合が多い。この点は日本と類似している。

美術プランの発想

更に、シナリオ着手以前の企画の段階で、デザイン作成を始める場合もある。美術デザインの発想に基づいてシナリオの執筆を進めるという作業である。——最近作「女殺油地獄」はその一例であるといえる。

美術プランを立てる時、大別されるのは、

(1) 象徴的・架空的発想を着想のベースにするもの

(2) 史実・時代考証にこだわって進めて行くもの——（時代劇の場合）——

である。

時代劇の場合は、その作品の映像処理が象徴的な内容のものでも、やはり、ガッチリと考証はおさえて置くべきであると思う。

これは私の進め方であるが、いろんな準備（資料調査・ロケーション・ハンティング等）を済ませ、デザイン作成に入る場合は、トップシーンの一コマからラストカットまで、画面構成が見えて来た時点からである。充分に熟成されたイメージでないにしろ、一貫した発想が決ってないと「デザイン」は描けないものである。数十枚のデザインの中で、やはり鮮明な主張のない不ぞろいな出来のもの



写真１　「女殺油地獄」の１シーン



写真２　「同左」

も多い。劣性のものは、早く抹消する。良質でないデザインが混っているとイメージが曲折して行くからである。

デザインが固まった処で、監督との演出打合せ、キャメラマンとの映像処理計画・ライティングの基本線・装飾（インテリア）の打合せ等を行う。この時点では美術監督は多忙を極める。

撮影中の色々、面白い余談は割愛するとして、映画は撮影終了で終りということはない。フイルム現像の段階で、発色の特殊現像を行う場合がしばしばある。それは、ある色を強調し、その他の色をおさえるという画調をつくる為である。この場合、突如として現像注文を出すわけではない。撮影以前から、それを前提として計画を立てる必要がある。数えきれない各パートの専門家が智恵を絞って、一つの作品にその芸術的感性をぶつけ合って行く……それは楽しくもある総合芸術である。

次に具体的な作品を通じて、その作業の一端を記す。

「豪姫」にみる発想のプロセス

最近作である「豪姫」という映画を題材に「映画美術」のイメージ作りというか感性・発想のプロセスについて述べたいと思う。

「豪姫」は前作「利休」の続篇といえるかも知れない。「利休」ゆかりの人達が、登場して物語は発展していく。前作「利休」がモントリオール映画祭最優秀芸術賞など内外の数々の賞を獲得したことも、続いてこの企画を立てられた理由の一つと言い得る。

時代背景は、安土桃山、日本文化の「ルネッサンス」といわれた頃である。「利休」の場合は、現在著名な建築物がやたらと出て来る。日く、待庵、燕庵、残月亭、傘亭、時雨亭はじめ、飛雲閣など、文化財の復原作業ともいえる映像美術の仕事であった。当然、中村昌生・林屋晴三さん達の考証参加の上での製作である。この場合、現存のものは約200年前のものが多く、物語は400年前であるから時代考証的には現存の建築物と映画の場面とは異っている箇処が随所に出て来る。映画の場面の方がより史実に近いものである。

今回の映画「豪姫」は、発想点を変え美術の空間プランとして、また、この時代の特異性として信長や、秀吉たちの性格上から来ていると思える豪壮・華麗な表現を大事にする意味で、自由奔放なプランに立脚することにした。安土城、聚楽第の発想を映像面でも表現出来たらという願いである。従って、「利休」の時に重視した史実への「こだわり」から離れようと努力したのが〝本音〟である。

まず作業のとっ掛りとして古田織部の家のプランから始めることにした。織部は、勇将として知られる山城の大名であると同時に、利休の高弟でもあった。そして師と違った美の世界を追求して居た。織部の沓茶碗は、前衛芸術そのものといえる。色調といい、デザインといい、その独創性は比類がない。この様な芸術感覚の豊かな織部は、どういう生活環境にいたのであろうか。

「雲脚」をセットに再現

京都・西本願寺門前町の一角に、織部好みの茶室「燕庵」で知られる薮内家がある。この表門や高塀は、黒塗りのどっしりした建築物で古田織部の堀川屋敷から移築されたと伝えられている。再建されたものであっても武家風の格調が感ぜられる。



写真３　「同左」



図1　「都名所図会拾遺の藪内茶亭庭中之図」



図2　織部屋敷表通スケッチ



図3　豪姫屋敷外観スケッチ

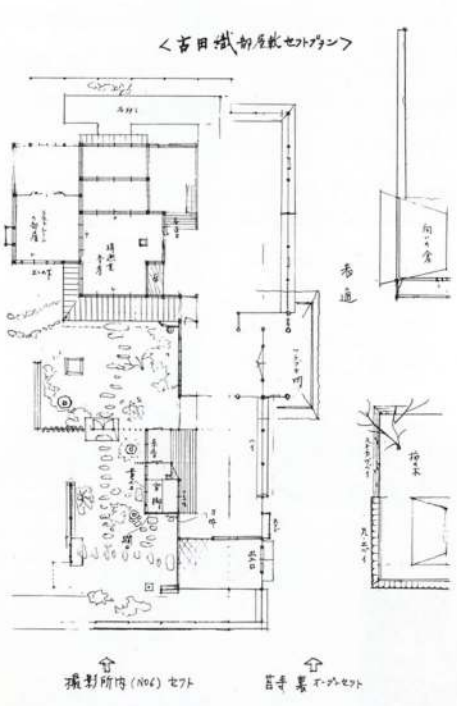


図4　織部屋敷セット平面プラン

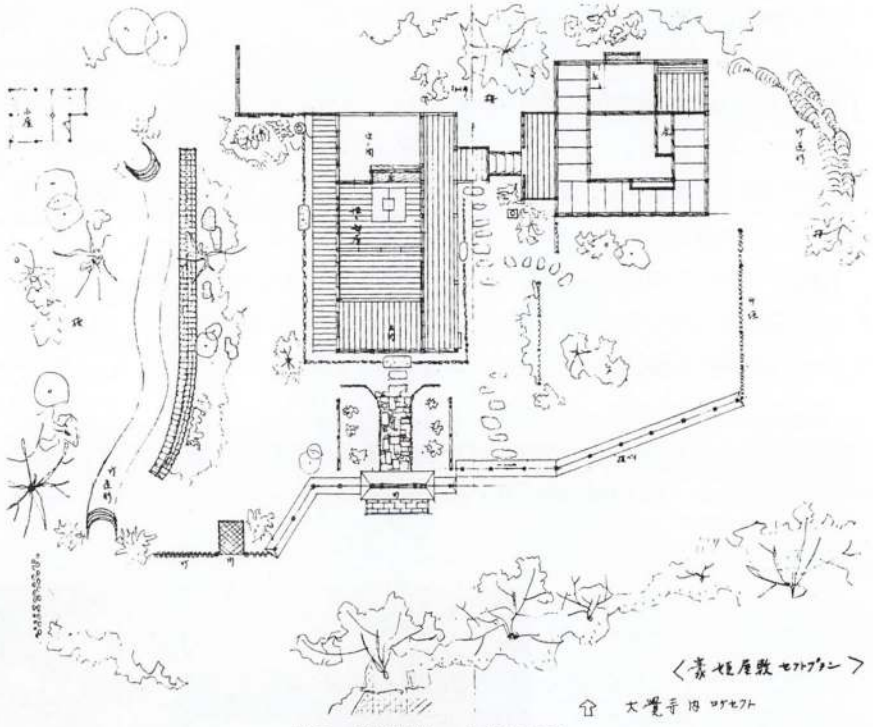


図5　豪姫屋敷セット平面プラン



写真4　織部屋敷表道ロケセット



写真5　豪姫屋敷ロケセット



写真6　映画「豪姫」の1シーン

薮内流が織部と深く繋りをもちながら、現在まで独自の茶風を創り上げて来たことも、織部の独自性から考えると当然のことと思える。監督の勅使河原宏さんと数度、薮内流の家元をお訪ねし、お話をうかがい、織部邸のプランを完成することになる。約三ヶ月を要した。「都名所図会拾遺の薮内茶亭庭中之図」を参考に、現在の「雲脚」・「梅見門」・「緝熙堂」は、ほとんどセットに再現することにした。織部の死を迎える部屋は創作である。現存のものと一つ大きく変っている点は、プラン上の発想として、どうしても表門は「茅葺き」のイメージが強かったので、図の様な佇まいに決めた。時代考証的にどうかは確(サダ)かでない。これは、美術パートの創作である。

「豪姫屋敷」のセットづくりは4ヶ月半

次に、金沢で、前田家あづかりの身となって生涯をおくった、豪姫（実在の人物）の邸についてであるが。これについては根拠となる資料は無い。ただ、金沢には古い建築物が多いし、茶道の発達した街なので、部分的にセットプランの参考になる古建築に恵まれ、ドラマの構成を主にしてデザインを固めることにした。当初は金沢近郊に建てるつもりであったが。桜の開花が重要なテーマなので、これを主なるネライにして、大覚寺・大沢池の畔に建てることにしたが、文化庁の所有地なので手続きに時を要した。華やかな満開の桜の下での決別――織部（仲代達矢）と豪姫（宮沢りえ）――のラストに近いシーンなので、この時期に目標を定めて建築を始めた。セットづくりに約四ヶ月半の時を要した。

通常はセット完成後植木など植えるのであるが、この場合、桜の木を生かしての空間設計であったので借景にポイントを置くのは当然のことである。建物が出来た処で更に造園を加え、勅使河原さんの竹の造形を加えて完成となる。開花は、二、三日は遅れたが、桜の満開の下でドラマは進行した。

（にしおか　よしのぶ／京都映像㈱代表取締役・京都映画㈱常務取締役）

西岡善信氏プロフィール

［経歴］

大正11年7月8日　奈良県生まれ
昭和28年10月　法政大学文学部（学徒出陣）卒
昭和23年4月　大映京都撮影所美術部入社
昭和47年2月　映像京都㈱設立、代表取締役就任
平成元年12月　京都映画㈱常務取締役就任
平成2年4月　KYOTO映画塾、講師及び塾業務担当
後継者育成に努め、現在に至る。

［主な受賞］

日本アカデミー賞最優秀美術賞
昭和58年　「鬼龍院花子の生涯」
昭和59年　「陽暉楼」
昭和60年　「瀬戸内少年野球団」
平成2年　「利休」
平成5年　「豪姫」「女殺油地獄」
毎日コンクール美術賞
昭和38年　「越前竹人形」「雪之丞変化」
昭和62年　「ハチ公物語」「吉原炎上」
日本映画技術賞
昭和57年　「鬼龍院花子の生涯」
昭和62年　「吉原炎上」
平成5年　「女殺油地獄」
文部大臣賞（製作並びに美術担当）昭和50年「金閣寺」
作品賞（美術担当）
カンヌグランプリ　昭和29年「地獄門」
アカデミー賞　昭和30年「同」
エミー賞　昭和41年「源氏物語」
同　昭和55年「将軍」
モントリオール映画祭最優秀芸術賞平成2年「利休」
紫綬褒章　平成4年

［最近作］（☆印はプロデューサー担当作品）

平成2年「利休」☆「陽炎」「大誘拐」
平成3年☆「豪姫」☆「女殺油地獄」
平成4年☆「子連れ狼その小さき手に」☆「RAMPO」



写真7　「同上」

設備の頁　218

室内に設備される垂直搬送装置

村田　信行　むらた　のぶゆき
第一工業株式会社本社搬送システム事業本部部長

土地の有効利用のため、建築物の高層化が進んでいる。オフィスビルは言うに及はず、倉庫、流通センター、工場なども立体的なものが増加する傾向にある。

したがって、これらの建築物に出入りする物品の階層間搬送に、垂直搬送装置が必要不可欠な設備となってきた。

それでは、建築物、特に室内に設備される垂直搬送装置には、どのようなものがあるのだろう。

ここでは、屋外に設備されるものとエレベータについては、この範疇から除くこととする。

室内に設置される垂直搬送装置

現在、室内で垂直搬送装置が使用される業種には、オフィス、郵便局、新聞社、配送センター、生産工場、倉庫、その他がある。

これらの使用場所では、どのような荷物が運ばれるか。

オフィス　書類、伝票、メールなどが主として扱われる。

郵便局　葉書、小包等の到着便を処理場に配布し、配達便の編成に。

新聞社　主として梱包場で包装・結束された新聞梱包を発送場へ搬送するのに利用されている。

配送センター、倉庫　入庫品を上階に収容するときに、段ボール、プラスチックコンテナ、車輪付き籠コンテナを搬送するのに使用される。また、ピッキングされた配送商品を配送仕分け場に降ろすためにも使用される。

生産工場　部品、製品を生産ライン付近のバッファに投入したり、また、工程間の接続に際して通路確保のために、いったん天井部に垂直昇送し、通路を避けて垂直降送することもある。また、部品、製品を収容したプラスチックコンテナを出荷場に降ろす場合、スペースセーブのために垂直搬送装置が使用されている。パレット積みした原料、半製品を各階の生産ラインに供給するために搬送する際にも使用されている。

機種

それでは、垂直搬送装置にはどのようなものがあるか。

■ベルト式垂直搬送装置

この垂直搬送装置には、抱き合わせベルトの間に物品を包み込むようにして搬送するものがある（図1）。代表的なものにベルトリフターがある。

（a）構造

この機種の搬送部は、2枚のエンドレスベルトで構成されている。このうち1枚のベルトはハードベルトと呼ばれ、表面摩擦の多いコンベヤベルトを使用する。他の1枚はソフトベルトと呼ばれ、伸縮性のあるベルトを使用し、ハードベルトとほとんど接触する位置に両耳をチェーンに取り付けて運転される。

2枚のベルトは等速度で走行する。ソフトベルトは、ハードベルトに支えられた物品がズリ落ちたり、転倒することを防止している（図2）。

（b）特徴

このタイプの大きな特徴は、形状、寸法、重量に余り拘泥することなく、ランダムな連続搬送を可能としたことであろう。荷物をソフトベルトで包み込むようにして搬送するので荷傷みがない。

実例として、大は外国郵袋から、小はフィルムケース、カセットテープまで、対応できる機種を選択し得る。

ソフトベルトそのものが伸縮するタイプは、ベ

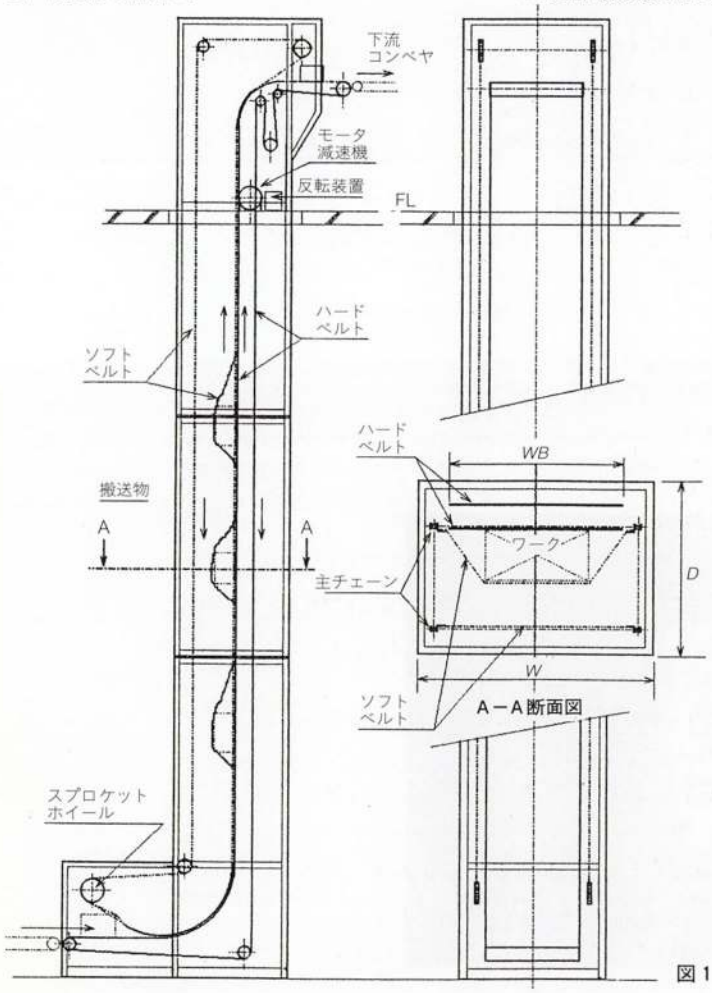
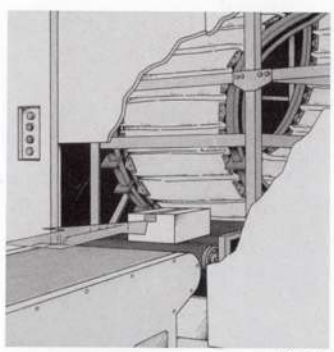


図1　ベルトリフター姿図


導入部

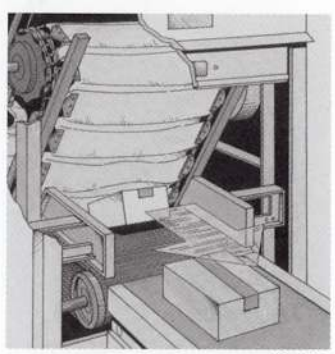
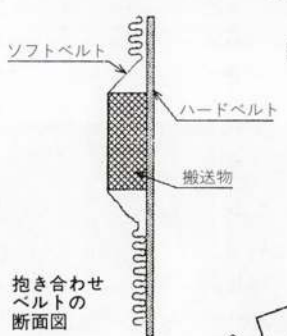
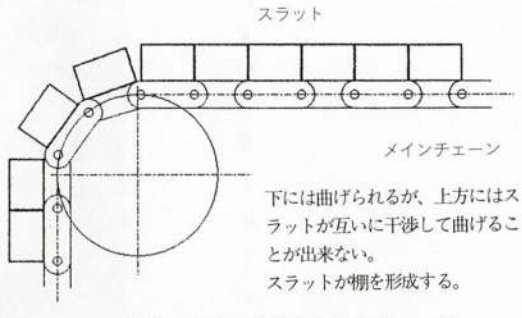

搬出部

図2　ベルト式垂直搬送装置





下には曲げられるが、上方にはスラットが互いに干渉して曲げることが出来ない。
スラットが棚を形成する。

図3　スラットとスラットチェーン

ルトが袋状態で荷を包み込むので、搬送途中で荷が逸脱することがない。このタイプのものは、ランダムに物品の搬送が行えるので、一時的にも待機のために前後のラインをストップすることがなく、ベルトコンベヤと同感覚で使用できる。

しかし、蓋なしのコンテナ等は内容物の脱落が懸念される。

（c）搬送能力

搬送能力は、他の装置に比べてはるかに高い。例えば、搬送速度を30m/min.とした場合、30kgの荷物であれば50個/min.をクリアすることは容易である。

現在までの、最高搬送速度は65m/min.、最高揚程は35m、最大能力は85個/min.である。

■スラット式垂直搬送装置

スラット式垂直搬送装置には、数枚ないし数10枚の棚を循環させる方式のものと、１枚の棚を高速で往復させるものの２種類がある。

前者は、チェーンに取り付けた幅の狭いスラットが昇降時には水平な棚を構成し、ここに物品を積載し、垂直に搬送するものである。

後者は、ベルトコンベヤ、ローラコンベヤ等を持つ１枚の棚をインバータ制御、サーボモータ等によって高速で上昇・下降を行うものである。

（a）構造

循環式の場合、この装置の主チェーンは内外２列に配置されている。

荷物を積載する棚には幅の狭いスラットを並べる。それぞれのスラットはその両サイドをスラットチェーンに取り付けてある。スラットチェーンは、スラットの反対側（図の下方）には曲がるが、スラット側には曲げることができない（**図３**）。このような構造の棚に、水平位置で荷物を積載する。

さらに、棚の前後は、回転軸によって、一方は外側を走る主チェーンに、他方は内側を走行する主チェーンに取り付けられている。

こうして、搬送時は棚が水平を保ち、戻りは棚が垂直となりスペースをセーブしている（**図４**）。

（b）特徴

このタイプのものは、荷物を搬送するときは棚が水平を保ち、蓋なしのコンテナ、傾けられない荷物等を一定の間隔で搬送するのに適している。

その特徴は、荷物の積み込み、取り卸しにある。棚の屈曲を利用し、積み込みの際は下方からスラットが現れるのと同期して荷物を送り込むとスラットが荷物を引き込み、棚の中央に積載できる。また、棚のスラットが先頭から下方に折り返すに連れて取り卸しが自動的に行えるところであろう。

この方式では、棚の長さ＋荷物の高さを加味した棚ピッチを選定しなければならない。したがって、ある限度を超える能力を得ることができない。

往復式は、棚を構成するコンベヤが積み込み・取り卸しの際に運転され、荷物を引き込み・排出する方式を取っている。

いずれの方式も、スラットの動きと物品のタイミングを合わせるために待機装置が必要となり、流れを一時的にストップしなければならない。

（c）搬送能力

搬送能力は、循環式の場合はＺ型で15個/min.程度、Ｃ型ではＺ型の1/2弱が標準である。また往復式では、能力を高めるために昇降速度をケース搬送等の小物の場合200m/min.、パレット等の大物の場合120m/min.まで上げているものがある。

Ｚ型がこの機種の主流であり、効率のよい使い方と言えるであろう。

■ダムウェータ

ダムウェータは最も一般的な垂直搬送装置で、小物（メール、パーツ、段ボール等）の垂直搬送に使用することがある。比較的大量の物品を一度に搬送することができるので、間欠的に搬送するのに適している。

（a）構造

荷物の積み込み位置により、テーブル型と床上型がある。テーブル型は、床上700mm程度の高さに見込み口があるもの、床上型は、比較的大型の荷物を積み込むために床面から積み込み口が開くものである。

通常、外扉は、テーブル型では上下２分割、床上型は１枚押し上げのものを使用することが多い。

■オートリフト

ダムウェータの特殊型として、自動的に荷物の積み卸しを行う機構を備えたものがある。荷物の積み卸しのいずれも自動的に行うものと、積み込みは人手で行い取り卸しを自動としたものの２種類がある。

スペースと経済的な理由で、後者が多く使用されているが、メール等を各階に配布することに、また倉庫から出荷するとき荷物を積み込んだ後、直ちに元の作業に戻れることで重宝がられている。

全自動タイプのものについては、各階に送り込

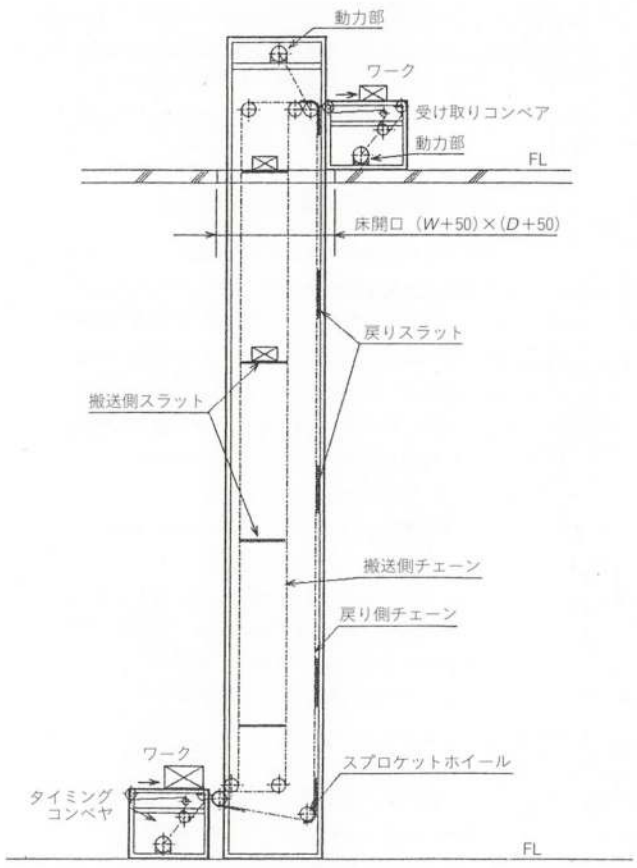


図４　スラット式垂直搬送装置

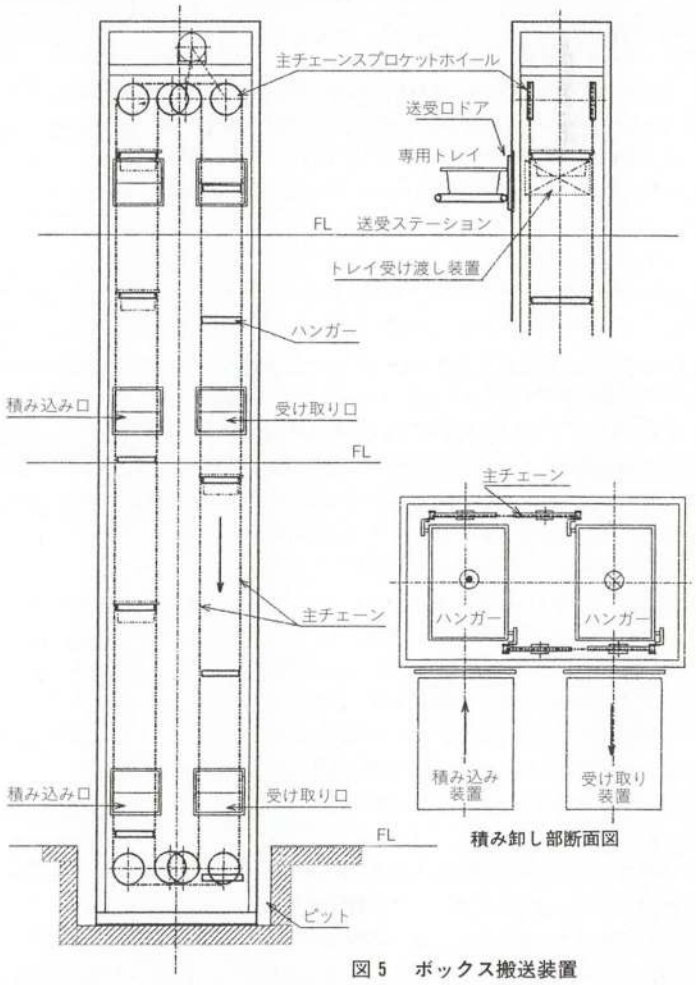


図５　ボックス搬送装置

み装置、待機装置および受取装置を設置し、コンピュータと連動させ、最も運転効率の高い籠の動きを得ることも可能である。

■油圧リフト

昇降装置の駆動に油圧を使用したリフトで、油圧ポンプで油圧シリンダを働かせ、パンタグラフ式のアームを押し上げるものが多い。

エレベータの一種として揚程の大きいものもあるが、通常は、レベル合わせに使用されることが多い。

■コンテナリフト

車輪付き籠コンテナを上下階搬送に使用する。

ダムウェータ型とフォーク型があり、ダムウェータ型は床面で車輪を支え、フォーク型は籠コンテナの底面をフォークが支えて搬送する。

■パレットリフト

配送センター等で、パレット積みの物品を垂直搬送するために使用される。通常、フォーク型またはスラット型が使用される。

（a）構造

スラット型のものはコンベヤスラットを採用し、コンベヤスラットが昇降往復を繰り返すものである。

荷物の積み卸しは、前後に待機装置を設け、待機装置とスラットの位置が合ったとき積み込みタイミングを合わせ、荷物をスラットに送り込む。スラットは、巻き上げ装置によって上階に上昇する。コンベヤスラットが荷物を排出し、この動作を繰り返す。

これは、構造をシンプルにするとともに循環式の搬送限度を超えるための方策であろう。

■ボックス搬送装置

専用ボックスにメール、書籍等を収納し多層階を連結し、ランダムに積み込み・取り卸しが行える垂直搬送装置である。

ただし、専用ボックスを扱うので、あくまでもボックスに収容可能な荷物に限定される。

（a）構造

専用ボックスは、プラスチック製のもので、上縁はハンガーにセットするため強固な鍔になっている。また、送り先を指定するスライドペグを取り付けたものが多い。

この装置の構造上最も特徴のある点は、チェーンの配置にある。専用ボックスを積み込み搬送するハンガーを取り付け、運転するための主チェーンがエンドレスを形作り、ハンガーを挟んで前後に配置し、ハンガーの対角位置を支持し、ハンガーが常時水平を保つように設置される。

チェーンはガイド内を走行し、揺れを防止しながら、例えば、正面から見て左側が上昇、頂部では左から右に水平移動、右側を下降、底部では右から左への水平移動を行い、ループ軌道を描いて運転される（**図5**）。つまり、上昇側（左側）と下降側（右）をそれぞれ送り専用・取り卸し専用としている。

各階ステーションに積み込み装置、待機装置および受取装置を設置し、ボックスに付属するスライドペグで送り先を指定した後、積み込み装置に積み込む。後はすべて装置が自動的に積み込み、搬送、取り卸しを行う。

（b）特徴

多層階相互間のボックス搬送がほぼ連続して行える。つまり、待機装置の数だけボックスを積み込み、後は放置すれば自動的に積み込み、搬送、ステーションの選択、排出、受取を行うのである。

各階ステーションの、待機装置および受取装置と装置内部は、扉で仕切られている。扉は常時閉で、荷物が通過するときのみ開く。したがって、安全性に優れ、かつ防災効果も大きい。

この装置はすべて、正面操作であることを特徴とする。

（c）搬送能力

通常の搬送能力は、360ボックス/Hが標準的なものであろう。

積み込み装置が複雑なこと、積み込み・取り卸しに要する時間を短縮することが容易でないこと等で、余り搬送能力を高めることができないと思われる。

垂直搬送装置と建築物の取り合い

垂直搬送装置を設置する場合、必ず建築物との間に、床貫通、跡仕舞い、シャフトとの取り合いが発生する。

まず、床貫通部のコンクリート打設時の開口目安としては、垂直搬送装置のフレーム断面寸法＋50～100mmで考えればよい。シャフト内寸法は、保守・点検のためのスペースを確保する必要がある。通常、保守工具を携帯して作業する場合を想定すると、垂直搬送装置のフレーム断面寸法＋600mmと考えればよい。

これらの目安となる取り合い寸法を図示することとする（**図6、7**）。

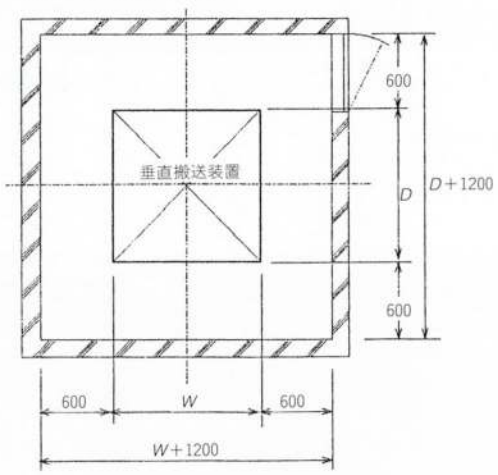


図6　シャフトの断面寸法

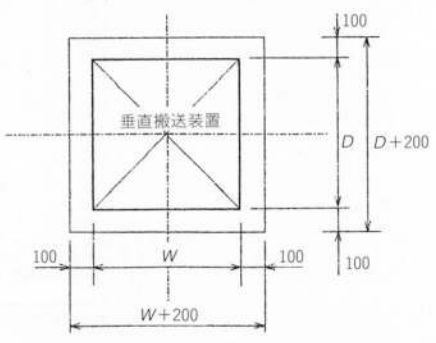


図7　床開口寸法

垂直搬送装置と環境

垂直搬送装置が建築物の室内で使用されることの増加に伴い、室内環境に及ぼす影響も見逃すことができない。

近年、搬送機器の外観は室内との調和を心掛けられるようになり、また、色彩についても建物の内装に気を配り、全体として周辺に融和するようなものが目立ってきている。

しかし、騒音の発生が問題となる。垂直搬送装置はチェーンをメインの可動部とするものが多く、チェーンとスプロケットホイールの噛み合い音、チェーンとガイドレール間の摩擦音、物品の搬送部が発する音等様々な機械音の発生源を抱えている。プラスチックを使用したり、ギャップを減らすことで、根本的に騒音を減少する方法が採られているものがあるが、完全に解消するには至っていない。垂直搬送装置全体をコンクリートシャフト内に収容することが、ベストであろう。

シャフト外壁の開口部（積み込み部、取り卸し部）には常時閉の扉を設け、吸音材、遮音材を外板内面に張り付け、外部に騒音が漏れることを極力防ぐことが現段階では精一杯ではないだろうか。今後、さらに研究を必要とする部分であると考える。

垂直搬送装置と安全

垂直搬送装置は可動部分が多く、しかも目の届かないところに荷物があることが多い。したがって、特に安全には注意を払うことが必要となる。

装置周辺に部外者が不用意に立ち入り、可動部による巻き込み事故、荷物の落下による人身事故等を引き起こすことがある。原因不明の非常停止もある。その他の不都合を防止するための安全柵、安全カバー、点検扉と垂直搬送装置のインターロック、警報装置の設置等を考慮する必要があるだろう。

垂直搬送装置と防災

室内に垂直搬送装置を設備する際、建築基準法により防災設備が伴う。

通常は、コンクリートシャフト内に垂直搬送装置を設備することが多い。この場合、物品の出入り口は、ダムウェータのように常時閉の扉を取り付け、物品が通過するとき扉を開き、通過後直ちに扉を閉じて外部とシャフトの縁切りをする場合と、防火シャッターを設け、シャフト内に取り付けた煙感知器または、外部の煙感知器と連動してシャッターを動作させる場合がある。

後者の場合には、火報信号によるシャッター閉鎖時期に注意する必要がある。火報信号が発せられたとき、物品が通過中であればその通過を待ってシャッターを閉鎖しなければならない。

まとめ

限られた紙数内で十分に垂直搬送装置について述べることができず、不満足なものになったことと思うが、室内に設備される垂直搬送装置の概念を捉えていただければ幸いである。

構造の頁　218

超高強度プレキャスト鋼管コンクリート柱(RUC柱)を使用した高層ビル

岡本　達雄　おかもと　たつお
株式会社竹中工務店設計部構造課長

筆者らは、圧縮強度1,000kg/cm²が完成状態で発現するように調合されたコンクリートを角形鋼管内に充填し、遠心力を利用して締め固めた後、遠心力によって鋼管の中央部に生ずる中空部に、やはり完成状態で圧縮強度1,000kg/cm²が発現するよう調合された高強度モルタルを充填して充実断面とした後、オートクレーブ養生を行って造られるプレキャスト鋼管コンクリート柱を提案し、今回その性状を確認し、建物の設計施工に適用した。**図1**にRUC柱の構成要素を示す。

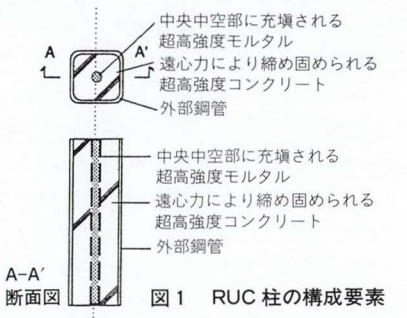


図1　RUC柱の構成要素

RUC柱の中心軸圧縮耐力の評価

RUC柱の中心軸圧縮耐力は、鋼管と充填コンクリートの耐力を単純累加することにより評価し得るとの結果が、実験により得られた。実験値と計算値の比較を**図2**に示す。

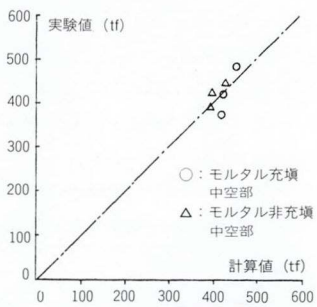


図2　中心軸圧縮耐力（実験値と計算値）

RUC柱の曲げ耐力および限界部材角の評価

RUC柱の曲げ耐力の実験値は、充填コンクリートに対する鋼管の拘束効果により、SRC規準に示されている一般化累加強度を大きく上まわっている。そこで筆者らは、鋼管の拘束効果を考慮したコンクリート強度$c\sigma_B'$を(1)式で評価することとした。

$$c\sigma_B' = c\sigma_B + K_R \cdot (t/B)^2 \cdot s\sigma y \qquad (1)$$

$c\sigma_B'$：鋼管の拘束効果を考慮したコンクリート強度
$c\sigma_B$：シリンダー強度
K_R：拘束係数＝119
B/t：鋼管幅厚比、$s\sigma y$：鋼管降伏強度

実験結果におけるコンクリート強度の見かけの倍率$c\sigma_B'/c\sigma_B$と$(t/B)^2 \cdot s\sigma y/c\sigma_B$との関係は、**図3**のようになり、$K_R$＝119はこれらの下限値を与えることになる。この$c\sigma_B'$を用いてSRC規準に基づいて曲げ耐力$M_u$を計算すれば、設計上安全側に$M_u$を評価できる。実験では、終局時の限界部材角$R_u$はせん断スパン比$M/QB$の影響がほとんどなく、軸力比$N/N_o$と$B/t$に依存している。そこで$N/N_o$と$B/t$を変数として$R_u$を回帰し、(2)式によってRUC柱の$R_u$を評価する。**図4**に実験値と計算値の比較を示す。

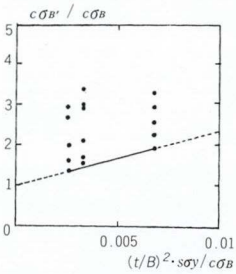


図3　コンクリート強度の見かけの倍率

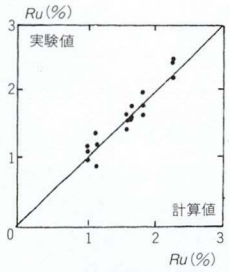


図4　限界部材角提案式の精度

$$R_u\ (\%) = 2.45 - 3.39 \times N/N_o + 467\ (t/B)^2 \times \sqrt{3.3/s\sigma y} \qquad (2)$$

RUC柱の現場継手

充填コンクリートへの鋼管溶接時熱影響の確認実験

RUC柱はプレキャスト部材であるため、現場継手は鋼管を現場溶接した後、コンクリートの隙間部分にモルタルを充填して行う。このとき、現場溶接時に溶接熱の影響で、充填コンクリートが損傷を受けないようにしなければならない。そこで、コンクリートへの熱影響を最小限にとどめる継手部を考案し、溶接熱の影響を施工実験を行って確認した。溶接部に最も近接したコンクリート部の最大温度は75°Cであり、充填コンクリートへの溶接熱の影響は無視できると判断される。

継手部モルタル充填

RUC柱の充填コンクリート部の継手は、上下部材のコンクリート端面間にモルタルを充填して行う。モルタルの充填は、鋼管を現場溶接した後、継手部空隙の空気を真空ポンプを用いて取り除いた後、モルタルポンプを用いてモルタルを圧入する方法によった。このモルタル充填のシステムを**図5**に示す。

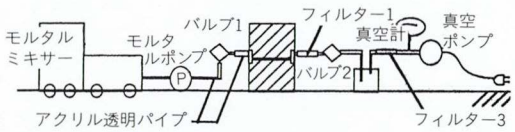


図5　継手モルタル充填システム

RUC柱の適用例

RUC柱が使用された構造物は、大阪市北区に位置する地下1階、地上22階、塔屋1階、延床面積35,770m²の高層事務所ビルである。この建物では、下階において抜かれる一部の柱を除いて、ほぼすべての柱にRUC柱を適用した。柱の断面は550□～850□までで、長期軸力として最大2,020 tonを支持している。

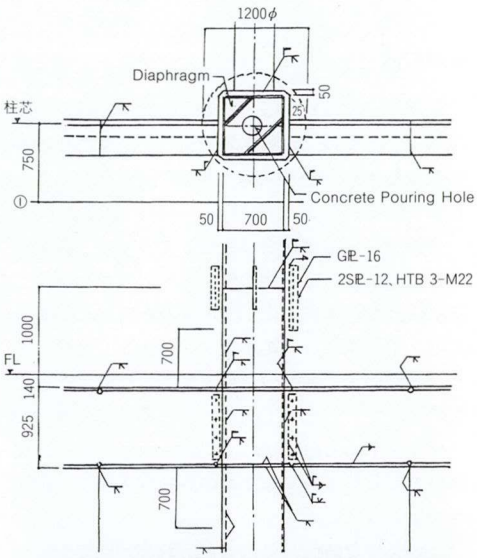


図6　RUC柱と鉄骨梁接合部

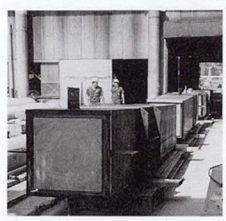


写真1　完成したRUC柱



写真2　現場で組み立てられたRUC柱

また、鉄骨梁は、ダイアフラムに現場溶接されるが、コンクリートへの熱影響を回避するため、先述の実験結果を参照して、溶接部を充填コンクリートから70mm以上離すよう配慮した。RUC柱と鉄骨梁接合部を**図6**に示す。

写真1、**2**に、RUC柱を示す。

おわりに

圧縮強度が1,000kg/cm²と、現在の建築界では極めて高強度とされ、つい最近までは未来の材料として語られていたコンクリートを使用した鋼管コンクリート柱が、現実の建物に適用されるに至った。さらに、平成4年度でその最終研究年度を終了した建設省総合技術開発プロジェクト「鉄筋コンクリート造建築物の超軽量・超高層化技術の開発」においても、圧縮強度が1,000kg/cm²のコンクリートの設計施工を目指して研究がなされており、高強度コンクリートの構造物への適用は、加速されると思われる。一方、鋼管コンクリート柱は、極めて優れた構造性能を持つ部材であるので、今後、コンクリートの高強度化を可能とする生産体制の整備が進めば、高強度コンクリートを充填した鋼管コンクリート柱の使用も増加していくであろうと思われる。

施工材料の頁　187

ネジスリーブ工法

小曽根茂雄　おぞね　しげお
東京鉄鋼㈱新製品開発本部 技術開発チーム 課長

はじめに

近年の建設業界では、若年労働者や熟練技能工の減少とともに、労働意識の変化、高年齢化の問題も加わり、労働力確保に多難な時代を迎えようとしている。

今後は、S造建築物に比較して多くの工数が投入されるRC造建築物の施工にも、プレハブ化工法に代表される省力化工法の普及が急速に高まるものと予想される。在来工法を主体としたRC造では、鉄筋を1本づつジョイントすればよかったものが、プレハブ化工法などでは鉄筋を1本づつジョイントするのではなく、鉄筋ユニットや柱梁部材どうしを接合するための鉄筋継手が多く利用されるようになってきた。

このような時代背景のもと、弊社が開発したネジスリーブ継手（**写真1**）は主筋にネジフシ鉄筋をもちいRC造をはじめとするプレキャスト部材どうしを接合する新しい鉄筋継手である。とくに、ネジフシ鉄筋を主筋に採用することで、プレキャスト部材の製作寸法精度の向上、施工性の向上、継手の小型軽量化が図られるため、単なる鉄筋継手というよりも、ネジフシ鉄筋をもちいた省力化工法「ネジスリーブ工法」として建設業界に提案している。

ネジスリーブ工法の概要

ネジスリーブ工法とは

プレキャスト部材どうしの接合(図1，2，3)を目的に、新しく開発されたネジフシ鉄筋のプレキャスト継手工法の名称である。

適用範囲

RC造、SRC造、PC造とこれらのプレキャスト造に適用する。

鋼種・サイズ

鋼種は、SD295A、SD295B、SD345、SD390、SD490の5鋼種、サイズは、D16～D41の9サイズ（**表1**）である。

継手の構成

①ネジ定着部とモルタル定着部を有するスリーブとロックナットで構成されている。

②ネジ定着部には、ネジフシ鉄筋が挿入され、トルク締付け方式あるいはグラウト充填方式のいずれかの方法で固定される。

③モルタル定着部には、ネジフシ鉄筋（または異形鉄筋）を挿入し、無収縮高強度モルタル材を注入し、硬化させることで固定される。

工法の特長

①鉄筋・継手・部品を一体化セット販売
- 鉄筋の切断、継手、部品の取り付けが不要である。
- PC工場の省力化が図れる。

②梁部材の接合が簡単
- 梁部材の接合時、継手の固定ができる。
- 継手は短かく、場所打ちコンクリート部も少なくなる。

③プレキャスト部材の特性向上
- ネジフシ鉄筋を使用しているため、型枠へのセット（**写真2**）が簡単である。
- 部材中の鉄筋の寸法及び位置精度が高くなる。
- 継手が小型であるため、部材の構造特性が向上する。

④プレキャスト工事の省力化、工期短縮
- 早強モルタル材を使用するため、支保工期間が短くてすむ。
- 継手が小型であるため、少ないモルタル量で済む。
- プレキャスト部材の精度も良好なため、建て込みがスピーディーとなる。

⑤安全性の高い継手工法
- 日本建築センターの「A級継手」の評定（BCJ-C1362）を取得している。
- スリーブの構造上、モルタル未充填部が発生しない。
- スリーブ内を目視検査でき、モルタル閉塞等のトラブルが発生しない。

おわりに

工業化工法の普及により部材のプレキャスト化は、建設業界にとってますます重要なテーマとなり、建築物への採用比率は年々高まってきている。弊社が開発した、プレキャスト部材どうしを接合するネジフシ鉄筋のプレキャスト継手工法も、このような状況下で多くの施工実績を残している。さらには、RC建築物の超高層化にも対応できるよう、SD490クラスの高強度鉄筋と継手を開発し工法の浸透拡大を図っている。

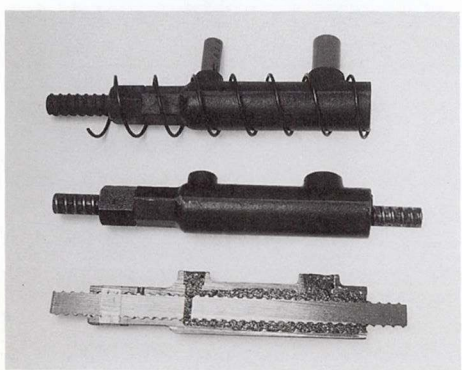


写真1　ネジスリーブ継手

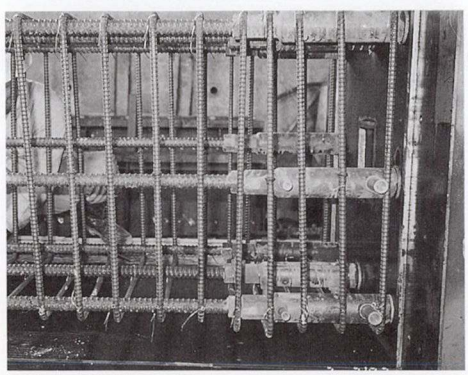
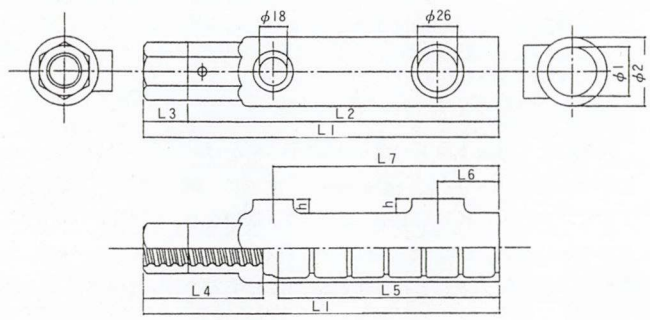


写真2　型枠へのセット

表1　ネジスリーブ継手の標準寸法　　単位：mm

継手呼び名	継手長さ 全長	スリーブ	ロックナイト	スリーブ側 内径	最大外径	鉄筋定着長さ ねじ定着部	モルタル定着部	注入口 排出口 端面からの距離		注排口 高さ
	L1	L2	L3	φ1	φ2	L4	L5	L6	L7	h
SP-16A	210	180	30	28.0	40.0	48	122±10	40	125	9
SP-19A	231	201	30	31.5	44.0	48	143±10	40	146	9
SP-22A	258	228	30	40.0	52.0	54	164±10	40	167	9
SP-25A	298	268	30	43.0	57.0	60	198±10	40	201	9
SP-29A	340	310	30	47.0	62.0	72	228±10	50	231	8
SP-32A	394	354	40	50.5	68.0	78	266±10	50	269	7
SP-35A	424	384	40	54.0	73.0	84	290±10	50	293	7
SP-38A	473	433	40	57.5	78.0	90	333±10	50	336	7
SP-41A	505	465	40	61.0	83.0	96	359±10	50	362	7

材質：SP-16A・SP-19Aは JIS G5502に定めるFCD450（FCD45）以上
SP-22A～SP-41Aは JIS5502に定めるFCD600（FCD60）以上



人と自然の博物館公開セミナー

兵庫県立人と自然の博物館と姫路工業大学自然・環境科学研究所が主催する公開セミナーは、下記日程で開かれる。参加費無料。

■第5回「リモートセンシングでとらえる緑地環境」
講師　宮崎ひろ志（姫路工業大学助手）
日時　1993年8月27日㈮　13:30〜17:00
場所　人と自然の博物館セミナー室
定員　30名

■第6回「戦前の阪神間住宅地開発にみる自然志向」
講師　澤木昌典（姫路工業大学助手）
日時　1993年10月22日㈮　14:00〜16:00
場所　人と自然の博物館セミナー室
定員　30名

実施日の1カ月前からFAXで申込受付開始。氏名・住所・電話番号と希望の講座を書いて、人と自然の博物館（兵庫県三田市弥生が丘6　FAX0795-59-2007）へ送信すること。

石川県能登島ガラス美術館特別展

ガラスの専門美術館、石川県能登島ガラス美術館（石川県鹿島郡能登島町　TEL 0767-34-1175）は毛綱毅曠氏の設計によるもので、平成3年7月に開館した。このたび、特別展「ガラス2000年物語―光彩とロマンへのいざない」では、古代から20世紀に至るまでの作品80点余が展示される。入館料大人700円。

会期　1993年7月9日〜9月30日㈭
9:00〜17:00

展示　アールヌーヴォー、アール・デコのガラス／清朝のガラス／日本のガラス／イギリスのガラス／スペインのガラス／ボヘミアングラス／ヴェネツィアングラス／オランダのガラス／ドイツのガラス／イスラムのガラス／ササン朝ペルシアのガラス／ローマングラス／ローマ時代以前のガラス／トンボ玉



エナメル彩水注
1870年頃
オーストリア
石川県立美術館蔵

「デザイン・名古屋'93」デザイン・コンペティション

名古屋で毎年開催されるデザインフォーラム「デザイン・名古屋'93」の、今年のコンペのテーマは“成熟社会のデザイン”。

安心して暮らし、生活を楽しむことのできる成熟社会の創出をめざして、環境や資源を保全できるデザイン、福祉や健康をアピールしたデザイン、暮らしやすさを追求したデザイン…などの提案を募集している。

□募集内容
・ポスター、ピクトグラム、サイン計画などのグラフィック系、照明器具、設備・装置などのプロダクト系、都市計画・地域開発、建築・インテリアなどすべてのデザイン分野を対象とする。出品は無料。

□応募と審査
2段階審査。一次で選出された作品のパネル・実物または模型により、二次審査をする。

●一次審査用作品―400字以内の企画意図はA2判パネル1枚で表現。さらにスケッチ、設計図など発想意図を表現するにふさわしい方法で、A2判パネル2枚以内に表現。完成ポスターによる応募も可。応募締切日は1993年9月10日㈮。

●二次審査用――次通過作品に対して、新たな試作費用の1/2以内30万円限度で実費が支給される。実物または模型は1994年1月20日㈭までに提出。

●審査員―松永真／仙田満／森山明子／木村一男／内藤こづえ／山村真一／万歳登茂子／長井隆弘

□賞
グランプリ1点150万円、一席1点50万円、二席3点各20万円、審査員賞5点各10万円、入選10点各5万円

□問い合わせ・応募用紙請求先
デザイン・名古屋開催委員会（TEL 052-202-1100）、デザインコンペティション事務局(同 052-524-3011)、名古屋市経済局商工部観光貿易課（同052-972-2427）

第5回タキロン・国際デザインコンペティション'93

今年のテーマは「都市の音回廊」。騒音、雑音、信号音、人声、人工音、自然音など多彩な音環境で構成されている都市の、さまざまな音環境を利用し、音によって都市を区分し間仕切る仕掛けを、広く海外にまで公募している。主催はタキロン株式会社。

審査　六角鬼丈氏（六角鬼丈計画工房代表）
賞金　1等1名100万円、2等1名50万円、3等5名各10万円、入選10名各5万円

□応募規定
●登録―官製ハガキで10月12日㈫までに申し込み。
●作品締切―1993年10月29日㈮
●提出用紙―A1ケント紙、あるいはそれに類するもの1枚。鉛筆、着色、写真、説明等の表現は自由。

□問い合わせ先
タキロン㈱広報部内タキロンデザインコンペティション事務局（TEL 06-267-2694）。

□登録申し込み・作品提出先
タキロン・国際デザインコンペティション'93係（新建築社内 〒113 東京都文京区湯島2-31-2 TEL 03-3811-7101）

アルド・ロッシ設計の大型店舗が岐阜にオープン

海外の建築家が手掛けた日本初のショッピング・センターが、6月17日、岐阜市内南部にオープンした。

この「アピタ岐阜」は、その建築外部をミラノの建築家アルド・ロッシが基本設計したもので、周囲の単調な建築群に変化をもたらすような建築を企図している。

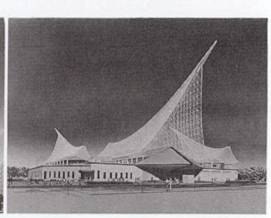
「必要なのは明確な存在を持った建築をつくることである。それが文化と建築の再生の中心となり、都市は変革を遂げることができる。われわれの建築によって動きが始まり、敷地周辺の価値が見直されることによって、周辺の建築も再生の方向へ向かうであろう」とアルド・ロッシ氏らは語る。



●アピタ岐阜建築概要
所在地／岐阜市加納神明町6―1
建物外部基本設計／アルド・ロッシ+モリス・アジミ+堀口豊太+SDA
設計施工／大日本土木
構造規模／RC造、3F
延床面積／22,503m²

アーキテクチュア・フェアKOBEで建築パース展





日本アーキテクチュラル・レンダラーズ協会は、今年は「輝け！宇宙船地球号」をテーマに、国内外から約100作品を集めて、アーキテクチュア・フェアKOBE「創造博物館」で建築パース展を開く。入場無料。

日時　1993年8月13日〜8月22日　10:00〜19:00
会場　神戸郵船ビル
（神戸市中央区海岸通1-1-1）

出版委員会 REPORT
建築技術選書〈特装版〉新刊紹介

〝Cost Controlの重要性〟

―生島道春著『入門・建築積算』から―

須賀好富

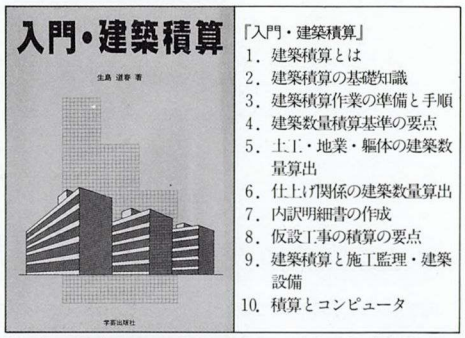
昔、あるベテランの建築家が話していた。「矩計図を書きながら、線一本引くと工事費はほぼいくら上がるかわかるのです。まだ予算が余っていると、全体のバランスを考えて、また別な所に線を引きます。すると、頭の中で予算の配分を試みながら、全体的にバランスのとれた設計ができるのです」。

私はこれを聞いたとき、さすがベテランは違う。私も何年かしたらそのようになれるかな、と感心したものである。

それから20余年。世の中は大きく様変わりし、建築家、構造技術者、設備技術者、積算技術者と、職能も多様化して、各専門の人が叡智を出し合って「協同」で設計するようになった。建物が昔ほどやさしくなくなったのである。インテリジェント化、高層化、複合化……建物は一言でいってむつかしくなったといえよう。ここに、積算技術者の設計者に対する「支援」が重要になってくる。

最悪の例を一つ。設計者は建築コストのことを無視して設計した。ゼネコンの見積もり合わせの結果、各社とも軒並み予算の3割増。設計者はあわてて仕様を落とした。(おかしなことに、設計者は、予算オーバーを一向に気にしていないことが多い。むしろ、逆に自慢にしていることもある)。これではよい設計図はできないだろう。川上の設計図に落度があると、建物完成時点では難問、不工合いは山積。これでは良い建物はできない。

建物コスト＝数量×単価において「数量」は拾い出すこと。本書は、拾い出しについて極めて丁寧に記している。積算技術者が誰であろうと「拾い出し」の方法、区分は共通であることが望ましい。



『入門・建築積算』生島道春著　定価3,502円（税込）　学芸出版社刊

さて、次に単価であるが、積算技術者は建設時点の単価（時価）を適切に評価しなければならない。情報の収集、新しい工法に関する勉強、設計者の個性等、正しい単価を求める工夫と努力が望まれる。

かくして、積算技術者は設計者に対して「コスト支援」が可能になる。Cost studyがなされる。できるだけ早い時点で（基本計画の段階から）Cost Controlがなされ、合理的な設計図書が生み出されよう。

本著書の究極の思い込みは、上記のようなものであろう。積算技術者はもとより、設計者も今一度「コスト」に目と耳を傾け、勉強する必要がある。

（近畿大学理工学部建築学科教授・工学博士）

information

国際デザイン・アオード受賞者

国際デザイン・アオードは、デザインを通じて人類社会と文化の発展に貢献した人や団体を表彰する制度で、㈶国際デザイン交流協会が1983年から始めたもの。

2年ごとに行われ、今年第6回の受賞者は、ニューヨーク近代美術館建築・デザイン部門と、グラフィックデザイナーの亀倉雄策氏に決定した。表彰式は、同協会主催の国際デザイン展'93（会場・花博記念公園内国際陳列館）の会期中の10月8日に行われる。

検定試験のための講習会

平成5年度1級・2級建築施工管理技術検定試験のための受験準備講習会が開かれる。

1級の学科試験は今年6月13日にすでに終わっているが、1級の実地試験が11月7日㈰―受験申込受付期間7月23日～8月6日―に残され、2級の検定試験は10月17日㈰―受験申込受付期間7月23日～8月6日―に予定されている。

■2級検定試験受験講習会　1993年8月下旬～10月
・3日間コース　受講料30,000円
・6日間コース　受講料55,000円
｝東京、大阪ほか10開催地14会場

■1級検定試験実地試験講習会　1993年10月下旬
・昼間コース　受講料12,000円　東京、大阪ほか開催
・夜間コース　受講料12,000円　東京のみ開催

いずれも講師陣には、大学教授、工業高校教諭、建設省出身者、自治体の現職、民間企業の技術担当部長らを予定している。詳細は、主催者の㈶地域開発研究所（TEL03-3268-8751）へ問い合わせられたい。

病院建築に関する研修会

医療・福祉施設の計画に際し、多くの場面で遭遇する今日的問題と近い将来の課題を取り上げて、㈳日本病院建築協会は研修会を開催する。詳細は、同協会へ。

会　場　明治大学会館8階大会議室
（東京都千代田区神田駿河台1-1）
定　員　150名（定員になり次第しめきり）
会　費　会員30,000円　一般50,000円
会費は申込時に金融機関へ振込のこと。
申込先　㈳日本病院建築協会（〒108　東京都港区芝5-26-20　TEL03-3453-9904）

■**9**月**6**日㈪　9:25～17:00　懇親会17:15～18:30
・講演〈MRSAとは〉小林寛伊（東京大学助教授）
・講演〈高齢者の生理機能〉折茂肇（東京大学教授）
・講演〈高齢者を取り巻く社会的環境〉一番ケ瀬康子（日本女子大学教授）
・シンポジウム〈病院設計コンペの現状と課題〉
司会―栗原嘉一郎、講師―丸谷武久／伊藤磐根／庄司和彦／大場則夫／西野範夫、報告―山下哲郎

■**9**月**7**日㈫　9:30～17:00
・解説〈医療廃棄物〉渡辺昇（医療廃棄物研究所所長）
・〃〈病院清掃〉富田信也（河北病院事務部長）
・講演〈ハイテク医療の現状と今後〉桜井靖久（東京女子医科大学医用工学研究施設教授）
・講演〈メタファーとしてのエイズ〉波平恵美子（九州芸術工科大学教授）
・シンポジウム〈高齢者の療養環境〉司会―小滝一正、外山義／上野淳／吉田隆幸／岡秀世、報告―筧淳夫

病院建築賞（第3回）募集

器と中身が調和し、そのいずれにおいても優れている病院等を顕彰する「病院建築賞」に作品を募っている。

■対象
平成2年4月1日～平成4年3月31日の2年間に新築または増改築し、開院または使用開始した病院、診療所、保健・福祉施設。

■応募資格・期日
病院等の開設者または管理者、設計者、施工者のいずれでもよい。応募期日は1993年8月1日～9月末日。

■提出資料
(1)応募申込書、建築概要書、(2)設計主旨、(3)A3判の配置・平面・断面図など、(4)写真は周辺環境がわかるものを含め15枚以内、室内は家具・機器等が設置されているもの。
以上(1)～(4)をA3判クリアファイル1冊におさめる。

■応募料と提出先
応募時に、1作品につき5万円を応募料として納入。
提出先は㈳日本病院建築協会（〒108　東京都港区芝5-26-20　TEL03-3453-9904）。

■選考委員会
筧　和夫（東北学院大学教授）―委員長―
今田寛睦（厚生省健康政策局指導課長）
上野　淳（東京都立大学教授）
川北祐幸（順天堂大学客員教授）
上林三郎（聖路加国際病院顧問）
西野範夫（田中・西野設計事務所所長）
丸谷武久（日建設計東京）

日本建築協会

月間の動き

【平成5年5月分】

理事会

第2回定例理事会
26日・4時～4時50分・於本会会議室
出席者　佐野会長ほか22名
議　事　(1)定時評議員会開催の件
(2)通常総会開催の件
(3)平成4年度事業報告（案）承認の件
(4)平成4年度決算報告（案）承認の件
(5)第3回日本建築協会賞決定並びに表彰式開催の件
(6)協賛の件
(7)事務局次長任命の件
(8)入退会者承認の件
(9)報告事項

編集委員会

第2回作品作風小委員会
6日・6時半～8時・於本会会議室
出席者　松田副委員長ほか5名
議　事　(1)作品の掲載状況並びに掲載予定の報告
(2)作品の選定
(3)「Gallery」掲載報告・予定
第2回編集委員会
10日・4時～6時半・於本会会議室
出席者　荒井委員長ほか5名
議　事　(1)5月号「環境―限りある自然と建築のかかわり」特集経過報告
(2)6月号「都市のスカイライン」特集経過報告
「大阪市都市整備局」（仮称）特集第3回編集会議
11日・2時～4時半・於本会会議室
出席者　熊野健司、佐々木晴子両氏大阪市都市整備局
議　事　「大阪市都市整備局」（仮称）特集の内容
第2回設備分科会
11日・6時～8時45分・於本会会議室
出席者　梶井幹事ほか5名
議　事　(1)単行本「設備知識」（仮称）の経過報告
(2)設備特集の企画
(3)「設備の頁」の企画
第2回会員企画小委員会
12日・6時半～9時・於本会会議室
出席者　高橋副委員長ほか4名
議　事　(1)シリーズものの報告と掲載予定
第2回計画分科会―建築系―
14日・7時～10時・於本会会議室
出席者　佐藤幹事代行ほか5名
議　事　平成5年9月号特集の検討
第2回法令分科会
17日・4時～6時45分・於本会会議室
出席者　生駒幹事ほか7名
議　事　(1)「法令コーナー」の企画の確認
(2)法令特集の企画
第2回広告企画小委員会
18日・4時～5時20分・於本会会議室
出席者　勝副委員長ほか5名
議　事　収支状況報告
第2回構造分科会
20日・6時～8時・於本会会議室
出席者　二宮幹事ほか5名
議　事　(1)8月号「建築の再生―構造技術とのかかわりにおいて―」特集の企画
(2)「構造の頁」の企画
第1回計画系分科会-計画系-
27日・6時～8時・於本会会議室
出席者　吉村幹事・河端旧委員ほか3名
議　事　(1)6月号「都市のスカイライン」特集の仕上げ
(2)もうひとつの特集テーマの検討
(3)合同企画特集の件
第3回設備分科会
28日・6時～9時・於本会会議室
出席者　島田清太郎氏・梶谷修司氏（関西電力）
梶井幹事ほか3名
議　事　「電気エネルギーの話」/島田清太郎氏
第4回設備分科会
31日・6時～9時・於本会会議室
出席者　大森文夫氏・矢野和久氏（大阪ガス）
梶井幹事ほか7名
議　事　(1)「ガスエネルギーの話」/大森文夫氏
(2)単行本原稿の件
第2回計画系―インテリア・住宅―分科会
31日・7時～9時半・於本会会議室
出席者　福田幹事ほか7名
議　事　「映画の中のインテリア」特集案検討

事業委員会

第2回若い会員の集い小委員会
11日・6時半～9時15分・於本会会議室
出席者　杉本副委員長ほか10名
議　事　(1)前回事業委員会の報告
(2)今後の企画について
第2回広報小委員会
12日・6時半～8時半・於本会会議室
出席者　原見副委員長ほか10名
議　事　(1)前回事業委員会の報告
(2)第1分科会からの報告と検討
(3)第2分科会からの報告と検討
第2回見学会小委員会
13日・6時～8時・於本会会議室
出席者　南副委員長ほか9名
議　事　(1)前回事業委員会の報告
(2)実施報告
(3)今後の予定及び候補について
第2回事業委員会
19日・4時～5時半・於本会会議室
出席者　多井委員長ほか6名
議　事　各小委員会からの報告と検討

教育委員会

第1回講習会小委員会
12日・6時～7時半・於大阪桐杏学園8号室
出席者　ゲスト　吉田　豊氏（竹中工務店）
講　師　橋目福司氏（竹中工務店）藤井孝晏氏（大林組）
金田副委員長ほか3名
議　事　(1)平成5年度・建築工事実務講習会テキスト改定の経過報告
(2)本年度の事業計画

建材委員会

第2回建材委員会
12日・3時半～5時半・於本会会議室
出席者　和田委員長ほか11名
材料説明　天然極薄石材（コスモストン）/元木委員長
議　事　今後の検討建材

出版委員会

第4回「水にまつわるトラブルの事例・解決策〈設備編〉」小委員会
20日・3時～5時・於本会会議室
出席者　川崎小委員長ほか16名
議　事　(1)内容整理後の検討
(2)チェックリストについて
(3)著作権・印税について
(4)作業スケジュール
第2回出版委員会
27日・5時～6時・於本会会議室
出席者　須賀委員長ほか9名
議　事　(1)〈プロのノウハウ〉と特装本の経過報告
(2)今後のテーマと執筆者選定
(3)「プロのノウハウ」講座シリーズ

講演会

竹山聖講演会「建築を学ぶことができるか？」
21日・6時半～8時45分・於イトーキ・クリスタルホール　参加者　133名

話題建築を聞く

アプローズタワー・鎌谷憲彦氏に聞く
26日・6時半～9時・於本会会議室　参加者　36名

建築クラブ

第253回朝食会
11日・8時～9時半・於大阪グランドホテル
演題　「たたかう男達のドラマ」
講師　植草貞夫氏（朝日放送キャスター）
参加者　54名

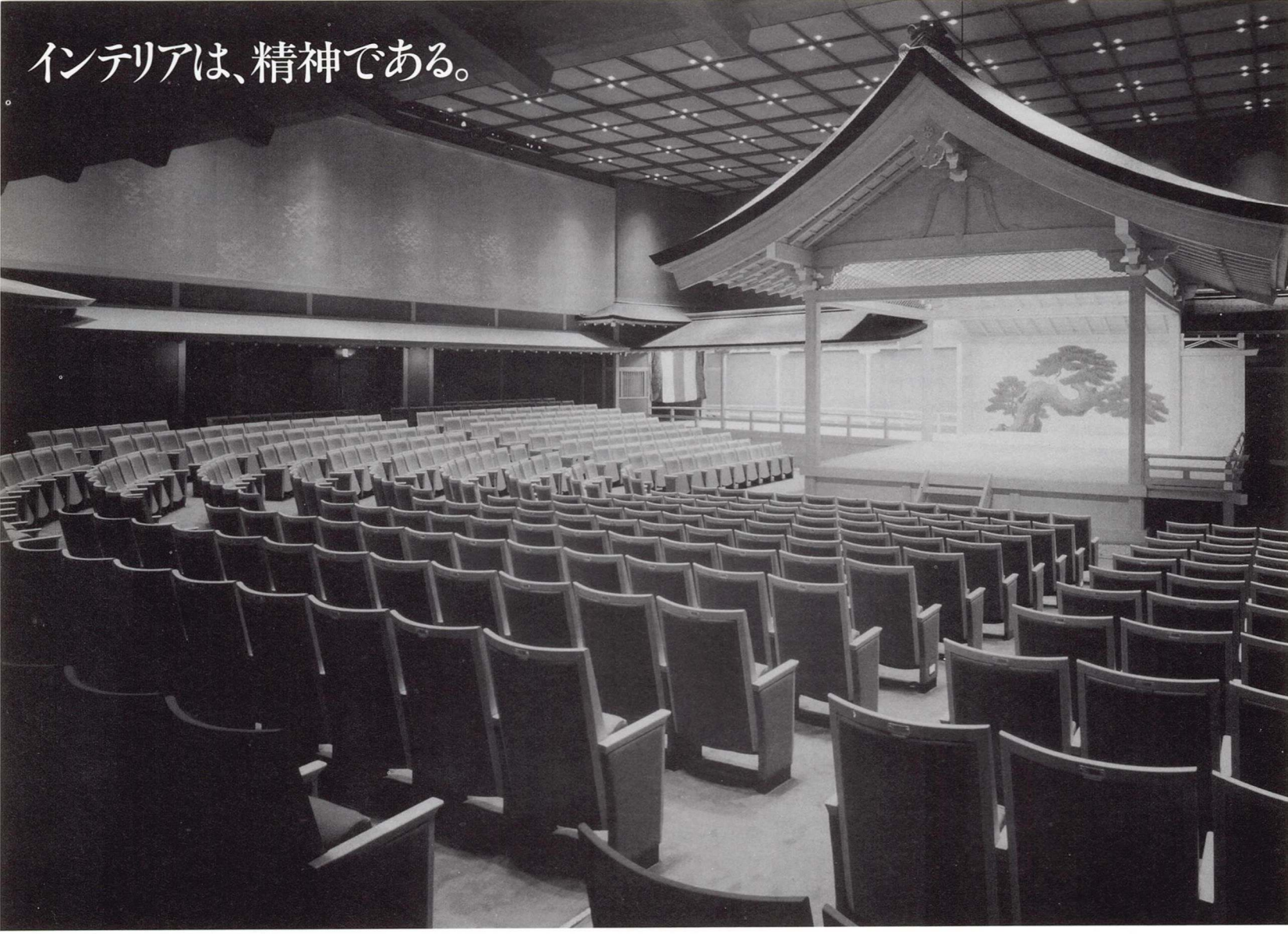
都市住宅学会

第2回　都市住宅学会関西支部常議員会
14日・7時～8時・於本会会議室
出席者　住田支部長ほか9名
議　事　(1)支部年間行事計画
(2)研究委員会の取り組みについて

5月の入会者（敬称略）

〔団体会員3社〕
㈱商業・空間・構成　　三晃金属工業㈱中国支店
日本住宅パネル工業協同組合中国支所

〔個人会員11名　準会員1名〕
阿部　恭子（SEM 環境計画室）
家長　幸成（汎設計）
岡田　幸三（川鉄建材工業）
川本　豊（川本建築設計室）
小山　二生（地域都市計画センター・コア）
西東　茂之（フジタ）
柴田　哲男（東海興業）
竹島　儀親（東急設計コンサルタント）
藤崎　成二（ライフスタイル総合研究所）
三角　照夫（池下設計）
村田　直人
大賀　亮治（中央実務専門学校）



奈良県新公会堂能楽ホール(1987)
設計：㈱建築研究所アーキヴィジョン
施工：㈱竹中工務店・㈱奥村組・大林組JV

COMFORTABLE SPACE DESIGN

Planning Design Trading Construction

奈良県新公会堂能楽ホール。置県100年を記念して造られたこの能楽ホールの中で、ひとつの大きな出会いがありました。装束、動作、舞台、すべてにおいて究極の象徴美を見せる「能楽」と客席に並ぶ「デンマークの椅子」。全く歴史のかけはなれたこの2つの要素は、象徴美と機能美との違いこそあれ、美を追求するという点において共通の精神をもっていたのです。わたしたちが「デンマークの椅子」にこだわったのは、ディテールだけではなくそのコンセプトにおいても完璧に「能」と調和させたかったから、インテリアは精神であると信じるからです。
ひとつの発見がエキサイティングな出会いとなって新しい価値を生み出してゆく。　—ACTUS CONTRACT WORKS—

ACTUS

株式会社アクタス・コントラクト営業本部
〒160　東京都新宿区新宿2-19-1
Tel.03(5269)3208㈹

六甲ヴァントワァ・アクタス
〒657　兵庫県神戸市灘区新在家南町1-2-3
Tel.078(821)0801㈹

心斎橋・アクタス
〒542　大阪市中央区西心斎橋1-4-5
Tel.06(241)1561㈹

福岡・天神アクタス
〒810　福岡市中央区天神4-2-20
Tel.092(771)7030㈹

APPALTI



MONTINA



CABAS



Consorzio Cabiate



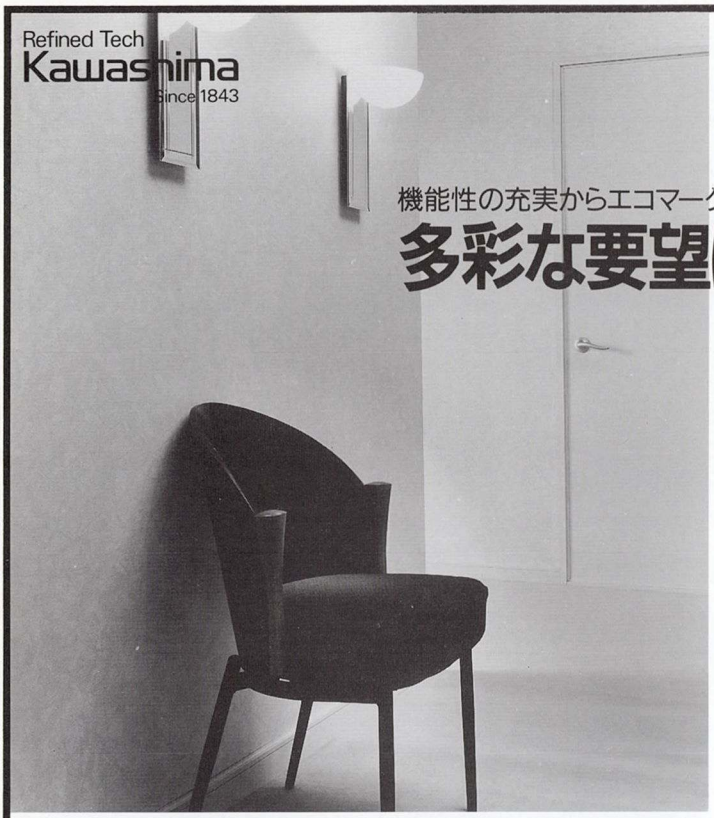
TONON

INTER MOBEL

株式会社 インターモーベル
〒541 大阪市中央区今橋4-5-20 TEL.(06)222-5031 FAX.(06)223-1710

Refined Tech
Kawashima
Since 1843

新発売



機能性の充実からエコマーク商品までの配慮

多彩な要望に応える機能性

カマラード1000
'93-'95
新

■値打ち・値頃品 ■心地よい快適性 ■実用的な質感

川島織物
kwm

■本社事務所 京都市上京区東堀川通一条上ル竪富田町432 TEL.075・414・9700代
■東日本営業本部 東京都千代田区永田町2-14-2山王グランドビル5階 TEL.03・3506・0800
■西日本営業本部 大阪市北区堂島1丁目1-5梅田新道ビル6階 TEL.06・347・0451
■ル・モンドショールーム東京 TEL.03-3498-8595 ■札幌ショールーム TEL.011-261-2131 ■千葉ショールーム TEL.043-245-2022 ■東京ショールーム TEL.03-3355-0875
■名古屋ショールーム TEL.052-932-8681 ■京都ショールーム TEL.075-621-0292 ■大阪ショールーム TEL.06 -347-0423 ■広島ショールーム TEL.082-292-1618
■インテリアサロン仙台ショールーム TEL.022-235-5811 ■インテリアサロン神戸ショールーム TEL.078-857-8108 ■インテリアサロン福岡ショールーム TEL.092-724-3000

ザ・インテリジェンス・オブ・ラインズ

SABEL

サーベル

洗練されたフォルムで空間を演出

「面」で支える新素材ダイメトロールを採用し理想の座り心地を実現。
9タイプのバリエーションと"フラノ"・"ジョーヌ"の
テーブルシリーズとの組み合わせで多彩に空間を演出します。





ホウトク販売株式会社

本社・ショールーム 〒163-05 東京都新宿区西新宿一丁目26番2号(新宿野村ビル) TEL03(3348)7481
本部 〒110 東京都台東区入谷一丁目14番2号 TEL03(3875)1711

東日本営業部 ☎022(223)3690 千葉支店 ☎043(227)6311 関西支社 ☎06(252)5771
本店営業本部 ☎03(5689)4311 北関東営業部 ☎048(667)3201 神戸支店 ☎078(391)3095
首都圏営業本部 ☎03(5689)4321 南関東営業部 ☎045(681)0133 中国支店 ☎082(293)1337
東京営業部 ☎03(5689)4321 中部支社 ☎052(201)3531 九州支店 ☎092(751)2271

株式会社ホウトク

本社・工場 〒485 愛知県小牧市上末東山3509番地190 TEL0568(79)3581

SUMINOE

快適なオフィス・クリエイション。

——汚れに強く、地球環境に優しい、世界初の新タイルカーペット。——



スミトロンECO-90 は、パイル糸にスミトロン糸（当社製造のポリエステル長繊維）を使用し、バッキング材には 従来のバッキングに替え、エコバック（特殊ポリオレフィン）を使用しております。それゆえ 使用時及び 焼却処理する場合にも 有害ガスである塩化水素ガスなどがパイル面からもバッキング面からも発生せず、従来品に比較して汚れに強く、色あせ・黄変しにくいパイル特性を含めて、地球環境に優しい世界初の製法による第三世代のタイルカーペットです。

スミトロンECO-90の優れた特性

- 燃焼時の低煙・低毒性
- 輸送・搬入が容易
- 優れた防汚性能
- 抜群の染色堅牢度
- ピリングをシャットアウト
- 特殊6色カラーミックスによる感性の高い色調

スミノエタイルカーペット

スミトロンECO-90

組成●ポリエステル（スミトロン）100%　パイル長●5/32（カット）
全厚●8/32　色数●18色　寸法●50cm×50cm
価格●￥9,800/m²（税抜き）　防炎・防汚・制電

SUMITRON

●スミトロンECO-90は、当社が世界で初めて開発した三次元捲縮ポリエステル長繊維 スミトロン を使用したカーペットです。

80 創立80周年

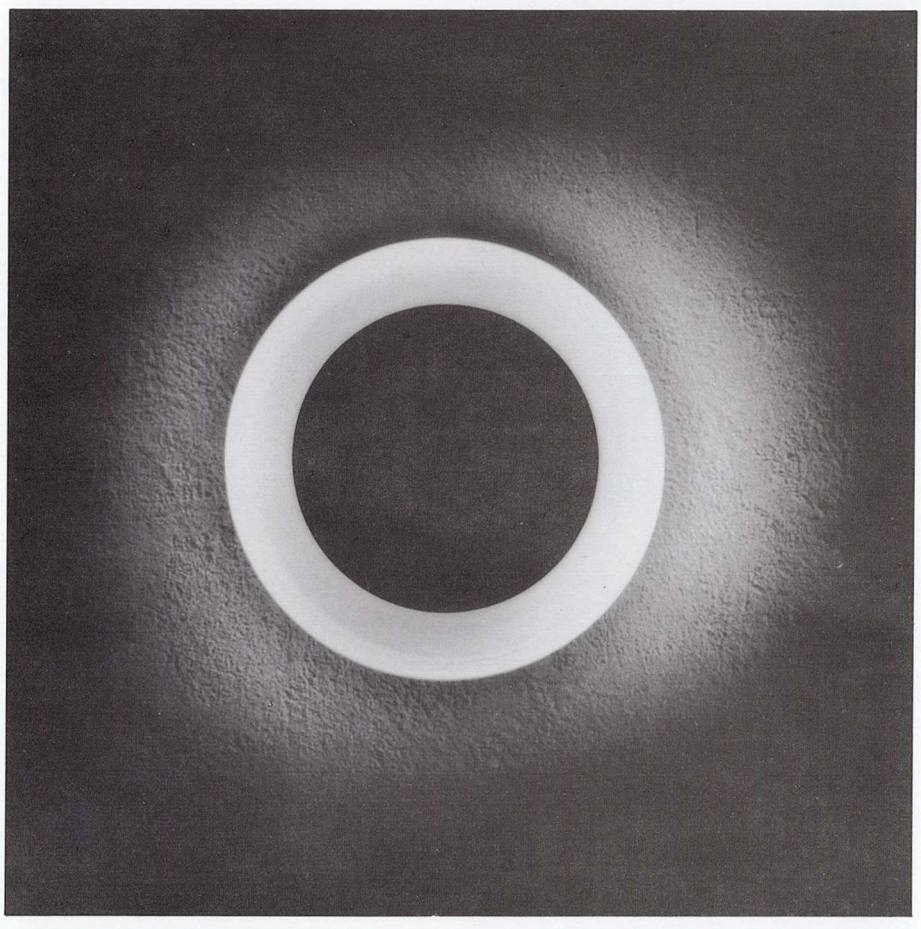
スミノエ 住江織物株式会社

ゆたかなインテリアライフをお届けする信頼のブランド

■大阪支店/大阪市中央区南船場3-11-20　TEL.06(251)8946

■本　社/大阪市中央区南船場3-11-20 TEL.06(251)6801 ■東京支店/東京都港区三田3-13-16第43森ビル8F TEL.03(3456)3011

■営業所/札幌/仙台/新潟/大宮/千葉/多摩/横浜/静岡/金沢/名古屋/京都/神戸/岡山/広島/福岡 ■連絡所/盛岡/茨城/長野/松山/鹿児島



BEGA

苛酷な日本の気象条件に耐えるBEGA。
ヤマギワが共同開発しました。

ドイツ・ベガ社とヤマギワの新しいノウハウの結合によって、BEGAはさらに磨きをかけられました。美しい都市環境デザインの見地から、日本でもグレードの高いアウトドアライトが求められてきています。BEGAは、建築素材と同等のグレード、耐久性をもったアウトドアライト。特に、高温多湿に象徴される気候風土など、日本の苛酷な条件に対応できる品質を、ヤマギワとベガ社は徹底的に追及しました。
BEGA社は、日本でもう、すっかりおなじみの顔。確かな実績で、不動の地位を築いてきた、建築分野におけるエクステリアのあかりなのです。

yamagiwa

ヤマギワ照明システム大阪営業部
〒556 大阪市浪速区日本橋3丁目4番9号　TEL.06(643)3211(代表)

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

(50音順)

青山幸夫

株式会社 青山建築積算事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区京町堀1-10-19江南ビル 電話06(443)0430
〒610-11 自宅・京都市西京区大原野上里勝山町14-6
電話075(331)8082

市川宏

株式会社 東畑建築事務所 取締役社長
〒541 大阪市中央区伏見町４－４－10 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手４丁目４－32
電話078(811)0216

岩橋重文

株式会社 岩橋設計 代表取締役
〒640 和歌山市中之島1672 電話0734(31)7859
〒640 自宅・和歌山市中之島1661 電話0734(28)2389

名誉正会員

浅井泰

〒659 自宅・芦屋市翠ヶ丘町13－５ 電話0797(22)5291

今井忠臣

イマヰ建設工業株式会社 代表取締役
〒547 大阪市平野区加美北5丁目11番12号
電話06(792)4425代
〒547 大阪市平野区平野北2丁目9番15号-1
電話06(796)1839

上西圭治

株式会社 大気社 代表取締役会長
〒530 大阪市北区中之島３－２－18 住友中之島ビル７階
電話06(448)3603
〒659 自宅・兵庫県芦屋市浜町12－14 電話0797(22)5949

浅海伸之

浅海電気株式会社 代表取締役社長
〒530 大阪市北区西天満３丁目７番４号 電話06(362)8701
〒665 自宅・宝塚市栄町２丁目10番26－712号
電話0797(81)1174

取締役会長 今西茂雄
取締役社長 今西荘一

株式会社 今西建築デザインルーム
〒550 大阪市西区北堀江１丁目13番21号 今西ビル５F
電話06(541)3051～3



奈良町・元興寺界隈

植野知雄

株式会社 寿建築積算事務所 所長
〒542 大阪市中央区東心斎橋１丁目16-29つるのすビル
電話06(244)1561代
〒588 自宅・堺市大美野５－９ 電話0722(37)1162

飯田精三

共同設計株式会社
〒530 大阪市北区西天満５丁目10番14号 電話06(364)5836
〒560 自宅・豊中市本町２丁目２番24号 電話06(848)0775

歌俊美

株式会社 歌建築設計事務所 代表取締役
〒649-64 和歌山県那賀郡打田町打田315 電話0736(77)2711
〒649-64 自宅・和歌山県那賀郡打田町打田315
電話0736(77)2711

石川芳夫

野村建設工業株式会社 取締役社長
〒541 大阪市中央区高麗橋２丁目１番２号 電話06(226)9502

尾亀清四郎

株式会社 三晃空調 取締役会長
〒540 大阪市中央区城見２丁目１番61号ツイン21MIDタワー11階
電話06(949)1371
〒573 自宅・枚方市岡山手町15－４ 電話0720(41)3427

泉沢哲史

株式会社 泉沢建築設計事務所 代表取締役
〒550 大阪市西区北堀江1丁目2番27号 電話06(543)2281

今西祥郎

財団法人 大阪住宅センター 理事長
〒542 大阪市中央区南船場4丁目4番3号
御堂筋アーバンライフビル4F
電話06(253)0071～3
〒591 自宅・堺市新金岡町3丁1－23－102 電話0722(51)1902

尾原重信

株式会社 コアプラン設計 代表取締役
〒550 大阪市西区新町２丁目３番８号米澤ビル８F
電話06(531)4488
〒532 自宅・大阪市淀川区十三東3-14-13 電話06(302)1051

市川繁雄

日本管工業株式会社 取締役社長
〒601 京都市南区西九条豊田町20 電話075(681)5101～5
〒606 自宅・京都市左京区下鴨芝本町37 電話075(781)0289

今村祐三郎

社団法人 大阪建設業協会 専務理事
〒540 大阪市中央区北浜東1番30号 電話 06(941)4821
〒630 自宅・奈良市南永井町344－8 電話0742(62)0784

多井(オオイ)幸男

多井建築研究所 所長
〒541 大阪市中央区今橋１丁目１番地 １番館ビル
電話06(226)0008
〒657 自宅・神戸市灘区曽和町３丁目１－11
電話078(821)6133

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

(50音順)

岡　澤　　勇

岡澤建築設計事務所　　所長

〒530 大阪事務所・大阪市北区西天満4丁目4番12号
近藤ビル６Ｆ　電話06(362)6082代表
FAX06(362)6084

〒567 茨木市藤の里２丁目16番６号
電話0726(43)5230・8953

岡　野　節　壽

日本電設工業株式会社　大阪支店　取締役支店長

〒531 大阪市北区豊崎３丁目17－15　電話06(372)3533
〒560 自宅・豊中市蛍池東町２－６－11　電話06(841)3832

岡　本　行　善

株式会社　昭和設計　代表取締役社長

〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号　四ツ橋ビル
電話06(532)3421代
〒659 自宅・芦屋市岩園町35－７　電話0797(31)3201

恩　庄　治　郎

大阪化工株式会社　代表取締役社長

〒565 吹田市山田東1－12－12　電話06(876)2334
〒565 自宅・吹田市山田東1－12－12　電話06(877)1406

数　井　利　美

株式会社　西村建築事務所　取締役社長

〒652 神戸市兵庫区荒田町2丁目1-8 楠六パレスビル
電話078(521)0205～0207
〒654-01　自宅・神戸市須磨区白川台２丁目39－13
電話078(792)5862

亀　井　晃　治

株式会社 A.R.I.(あり)建築事務所　代表取締役

〒542 本社事務所・大阪市中央区谷町7丁目3番4－203
新谷町第３ビル２Ｆ　電話06(768)1771代
〒577 アトリエ・東大阪市上石切町2－14－35
電話0743(73)6137
〒542 アリックスタイムスクエア・大阪市中央区谷町7-3-4-105
新谷町第３ビル・１Ｆ　電話06(764)1089
〒631 自宅・奈良市藤ノ木台3丁目33番5号 電話0742(43)1226

亀　田　六　夫

株式会社 増島製作所 大阪営業所　取締役所長

〒530 大阪市北区西天満３丁目13番18号 島根ビル
電話06(364)1951
〒560 自宅・豊中市刀根山元町８－12　電話06(855)5356

修成建設専門学校

理事長 鎌　谷　秀　男

〒555 大阪市西淀川区大和田5丁目19-30　電話06（474)1644
〒665 自宅・宝塚市千種３丁目８－23　電話0797(72)1380

河　合　芳　市

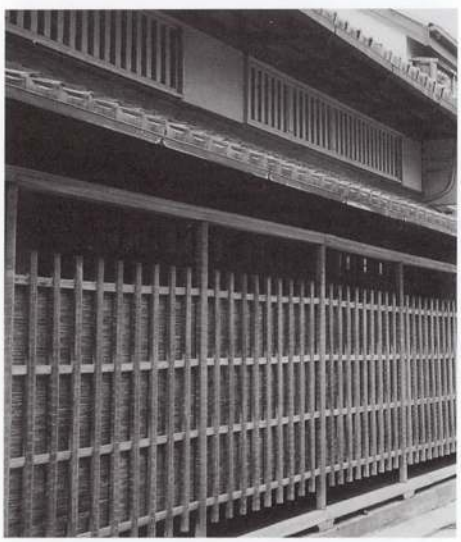
第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長

〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号　電話06(364)6661
〒560 自宅・豊中市北桜塚4－8－3－401　電話06(846)2172

河　裾　和　夫

螢光産業株式会社　代表取締役

〒531 大阪市北区本庄西３丁目９番20号
電話06(371)5146代
〒560 自宅・豊中市中桜塚4丁目6-4　電話06(852)4148



木　下　國　男

内外パーキング施設株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀２丁目６－25　電話06(441)0477代
〒665 自宅・宝塚市逆瀬台6丁目15番11号 電話0797(73)3228

小　西　弘　治

日本住宅パネル工業協同組合　　理事長

〒113 東京都文京区本駒込6丁目15番7号
六義園ビルディング 電話03(3945)2311代表

取締役会長　**小　西　　岬**

取締役副会長　**橋　本　正　章**

取締役社長　**小　西　照　男**

株式会社　小　西　設　計

〒550 大阪市西区立売堀１丁目12－16　電話06(532)4051

会　長

佐　野　正　一

株式会社 安井建築設計事務所 代表取締役会長

〒540 大阪市中央区島町２丁目4番7号 電話06(943)1371代
〒662 自宅・西宮市雲井町４の９　電話0798(72)1569

斉　藤　國　義

株式会社　斉藤工業所　代表取締役

〒557 大阪市西成区岸里2丁目6番5号　電話06(661)3325代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東１丁目21番３号
電話06(652)0208

城　口　庸　平

株式会社　大阪城口研究所　取締役社長

〒530 大阪市北区角田町２番15号　電話06(372)7151代

須　賀　好　富

社団法人　日本建築積算協会関西支部　支部長

〒542 大阪市中央区東心斎橋1-3-10長堀堂ビル3F
電話06(245)6645

近畿大学理工学部建築学科　教授

〒577 東大阪市小若江３－４－１　電話06(721)2332
内線4519
〒631 自宅・奈良市鶴舞西町２－10－E501
電話0742(41)0623

菅　谷　　節

ダイダン株式会社　代表取締役社長

〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話06(441)8231
〒158 自宅・東京都世田谷区等々力6丁目3番18号
電話03(3703)1027

関　口　典　良

一級建築士事務所
株式会社　関口建設　取締役専務

〒582 大阪府柏原市大県１－10－13　電話0729(71)2281
〒582 自宅・大阪府柏原市上市3-12-16　電話0729(72)1308

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

(50音順)

田中忠明

大阪エスピー紙工株式会社　代表取締役社長

〒540 大阪市中央区玉造２丁目25番20号 電話06(765)5650代
FAX06(765)5655
〒614 自宅・八幡市八幡福禄谷98-7 電話075(971)0395

田中優

株式会社 ユソニアン一級建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区天神橋2丁目5番25号 若杉グランドビル10F
電話06(354)2781
〒112 東京都文京区大塚3丁目1番6号
ラ・トゥール小石川 電話03(5976)2781
〒536 大阪市城東区成育４丁目20番２号 電話06(931)8857

田村真二

株式会社　竹中工務店　取締役副社長

〒541 大阪市中央区本町４丁目１－13 電話06(252)1201
〒663 自宅・西宮市浜甲子園2丁目5－19 電話0798(41)4300

高橋慶夫
上田宏二

取締役会長　高橋慶夫
取締役社長　上田宏二

株式会社　高橋上田設計事務所

〒550 本社・大阪市西区新町1－13－16 瀬戸松ビル
電話06(533)0972
〒550 大阪事務所・大阪市西区新町1－4－21 大幸ビル
電話06(533)0971
〒113 東京事務所・東京都文京区本郷3-5-4 朝日中山ビル
電話03(3818)5173
〒612 京都事務所・京都市伏見区深草西浦町6-65-1-619
電話075(647)1151代

橘俊夫

東邦レオ株式会社　代表取締役社長
(旧社名　東邦バーライト㈱)

〒540 大阪市中央区上町１－１－28 電話06(767)1130
〒559-10 自宅・堺市宮山台１－３－19 電話0722(93)9164

立野一郎

株式会社　ユニオン　会長

〒550 大阪市西区南堀江２丁目13番22号
電話06(532)3731代

谷進

浦安工業株式会社　常務取締役支店長

〒530 大阪市北区天満２丁目３－５ 電話06(351)7502
FAX06(353)2160
〒530 自宅・大阪市北区天神橋3丁目10-30-507
電話06(358)6900

名誉正会員

知見義夫

元・本会理事

〒601 自宅・京都市南区西九条春日町48 電話075(691)3860

辻本豊

株式会社　ツジモトユタカ設計事務所　代表取締役

〒640 和歌山市東長町中ノ丁20番地 電話0734(26)2030代
FAX0734(26)2032
〒640 自宅・和歌山市東長町中ノ丁20番地
電話0734(26)2030代

津村芳仁

オリエンタルメタル製造株式会社　代表取締役社長

〒660 尼崎市昭和南通り３丁目26番地 電話06(412)5131代
FAX 06(413)0300
〒335 埼玉県蕨市塚越５丁目６番32号 電話048(442)3115



寺嶋繁久

株式会社　sim建築事務所　代表取締役

〒604 京都市中京区東洞院通蛸薬師下ル
エステートビル402 電話075(256)3993
〒616 自宅・京都市右京区嵯峨鳥居本化野町12－45
電話075(871)3921

傳馬正明

ムツミ産業株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区靱本町１丁目17番15号
電話06(441)0378大代
〒557 自宅・大阪市西成区岸里東2丁目13番22－507
電話06(651)0566

名誉会長・名誉正会員

東畑謙三

株式会社　東畑建築事務所　取締役会長

〒541 大阪市中央区伏見町４－４－10 電話06(202)0391
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手4-4-35 電話078(851)5043

徳岡昌克

株式会社徳岡昌克建築設計事務所　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満6丁目3番11－205号 電話06(314)1688
〒661 尼崎市次屋３丁目６番60号 電話06(499)0701
〒810 福岡市中央区大名1丁目8番33-703号 電話092(716)5110
〒520-06 滋賀県滋賀郡志賀町北小松1157番地 電話0775(96)1149
〒532 自宅・大阪市淀川区新高6丁目6番18号 電話06(391)1438

内藤正克

株式会社　内藤建築設計事務所 代表取締役会長

〒675-13 兵庫県小野市上本町240 小野ビル 電話0794(62)4757代
〒675-13 自宅・兵庫県小野市久保木町1063 電話0794(62)4668

中原英雄

株式会社　創美設計　代表取締役

〒530 大阪市北区末広町３番21号 新星和扇町ビル
電話06(312)3587代

長澤孝行

日本住宅パネル工業協同組合　理事　大阪支所長

〒553 大阪市福島区大開２丁目３番１号 電話06(462)1600
〒598 自宅・大阪府泉佐野市佐野台20-52 電話0724(63)1260

蜷川守男

大阪装飾株式会社　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀1丁目13番24号 電話 06(444)1410
〒665 自宅・兵庫県宝塚市社町3番10号 電話0797(72)6045

林唯夫

株式会社　昭和設計　代表取締役副社長

〒550 大阪市西区新町１丁目５番７号 四ッ橋ビル
電話06(532)3421
〒565 自宅・吹田市青山台３丁目41－11 電話06(872)3608

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

(50音順)

伴　昭秀

株式会社 西原衛生工業所大阪店 代表取締役社長

〒531 大阪市北区中津６丁目８番４号　電話 06(458)3628
〒563 自宅・池田市石橋３－11－14　電話0727(61)8652

松本　弘

西日本建設業保証株式会社　取締役社長

〒550 大阪市西区立売堀２丁目１番２号　電話06(543)2553

森　淳

三和電気土木工事株式会社　取締役社長

〒530 大阪市北区南森町1丁目4番19号　電話06(361)6451代
〒596 自宅・大阪府岸和田市別所町2丁目3番5号
電話0724(22)7710

平田勝久

株式会社 平田タイル 取締役社長

〒550 大阪市西区阿波座１丁目１番10号 電話06(532)1231代
〒658 自宅・神戸市東灘区住吉山手５丁目17－21
電話078(841)4725

三谷忠義

株式会社 三谷設計 代表取締役

〒694 島根県大田市久手町波根西777の１
電話08548(2)8121代
〒694 自宅・島根県大田市久手町波根西65－１
電話08548(5)8320

八木重喜

YAGISO BRICKS
八木惣株式会社　常務取締役

〒593 堺市津久野町３丁28－10　電話0722(62)3838
〒593 自宅・堺市津久野町3丁28－10　電話0722(62)0722

福谷　剛

株式会社 ゼネラルプリンティング 代表取締役社長

〒542 大阪市中央区東平1丁目4－17　電話 06(763)2541
〒666-01 川西市緑台１丁目８－７　電話0727(93)0409

薬袋公明

日建設計　取締役会長

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06(203)2361



矢野卓生

中央電気工業株式会社 取締役社長

〒530 大阪市北区太融寺町３番24号 電話06(312)8881代表

牧　英二

日建設計　取締役社長

〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目6番2号　電話06(203)2361

山内恒男

株式会社 石本建築事務所　取締役 大阪支所長

〒542 大阪支所・大阪市中央区島之内1-20-19 白水ビル
電話06(251)7507
〒102 本社・東京都千代田区九段南4-6-12 電話03(3262)7161
札幌・名古屋・九州・東北・横浜

松田恒彦

株式会社 ART建築設計事務所　代表取締役所長

〒530 大阪市北区東天満２丁目３－10 トップス天満ビル
電話06(357)5351代
〒546 大阪市東住吉区西今川2丁目8－7　電話06(701)4571

山地英雄

株式会社　オオバ大阪支店　常任顧問

〒540 大阪市中央区釣鐘町２丁３番11号
電話06(943)5161(代表)
〒565 自宅・豊中市新千里北町3－16－1　電話06(872)3746

松原満佐子

有限会社 柳々堂　代表取締役

〒550 大阪市西区京町堀１－12－３　電話06(443)0167～8
FAX06(443)1826
営業所：鴻池ビル１階 電話・FAX 06(251)8233

村石　全

浪速合板株式会社
ミユキ建設株式会社　代表取締役社長

〒556 大阪市浪速区幸町2丁目5番3号　電話06(568)3671
〒659 自宅・芦屋市岩園町25番15号　電話0797(34)0835

山本　晃

財団法人 大阪市建築技術協会 理事長

〒541 大阪市中央区平野町2-3-7 アーバンエース北浜ビル9階
電話06(233)5060
〒603 京都市北区出雲路松ノ下町28　電話075(231)7401

松本重太郎

マツ六株式会社 取締役社長

〒543 大阪市天王寺区四天王寺１丁目５番47号
電話06 (774)2200

室谷山水

室谷商事株式会社 取締役会長

〒650 神戸市中央区三宮町3丁目7-6 神戸フクトクビル
電話078(331)0881
〒650 自宅・神戸市中央区山本通４丁目17－17
電話078(221)5050

山本貴士

朝陽電気株式会社 代表取締役

〒530 大阪市北区中之島3丁目2番4号　電話06(385)1361代
朝日ビルディング内
〒565 自宅・吹田市藤白台４丁目23番８号
電話06(871)0851

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

(50音順)

横　尾　義　貫

財団法人 日本建築総合試験所　理事長

〒565 本所・吹田市藤白台５－８－１
電話06(872) 0391
〒531 大淀分室・大阪市北区長柄西２－１－18
電話06(351)7217
〒592 堺分室・堺市浜寺石津町西２－１－34
電話0722(44)3912
〒612 京都分室・京都市伏見区中島前山町24－２
電話075(622)0713
〒675-01 加古川分室・加古川市別府町新野辺字畑下1311-3
電話0794(35)5811

和　田　眞　一

株式会社 東　和　組　代表取締役

〒530 大阪市北区西天満４丁目５番14号　電話06(363)4051
〒659 自宅・芦屋市公光町３番８号　電話0797(22)3282

渡　部　慶　一

株式会社 松田平田 大阪事務所取締役所長

〒530 大阪市北区曽根崎新地2-5-3堂島TSSビル
電話06(344)7821
〒659 自宅・兵庫県芦屋市大桝町1－10
電話0797(38)7938

常務取締役西日本支社長 **吉　竹　寛**

大阪事務所所長 **西田一好**

株式会社 教育施設研究所 大阪事務所

〒550 大阪市西区立売堀1丁目13番1号　電話 06(531)0913
大信ビル　FAX 06(541)7301
〒731-01 自宅・広島市安佐南区緑井2-14-19　電話082(877)2028
〒560 自宅・豊中市東寺内10－36
グリンパークハイツ　電話 06(339)3550

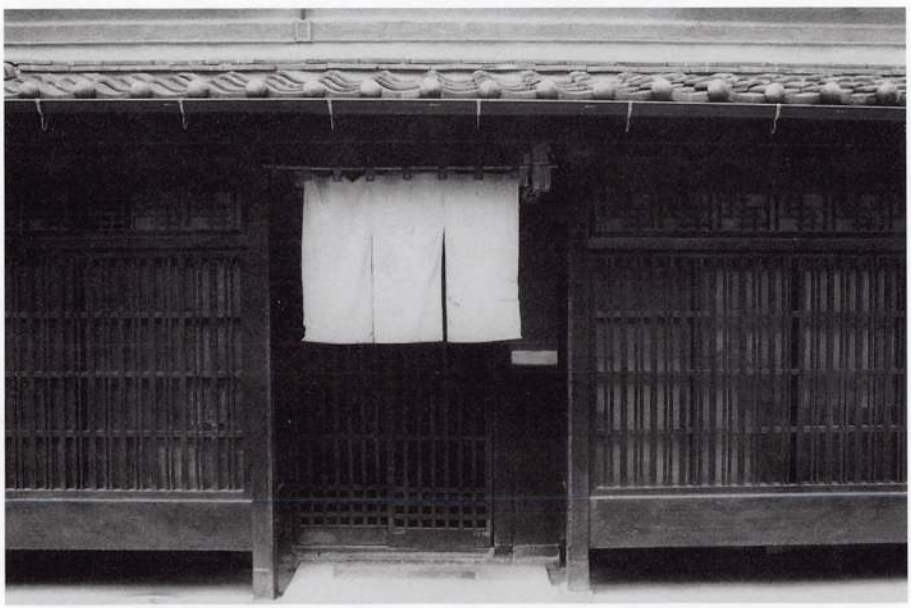
和　中　　勝

株式会社 和 中 商 店　取締役会長

〒531 大阪市北区豊崎５丁目８番11号　電話06(371)0731～5
〒150 東京都渋谷区桜丘町11－５電話03(3464)9723
〒453 名古屋市中村区黄金通３丁目34番地
電話052(481)7338
〒662 自宅・西宮市大畑町10-22　電話0798(67)0386

事　務　局　一　同

社団法人　日　本　建　築　協　会



暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

設計事務所有志



株式会社
A.R.I 建築事務所

代表取締役所長　亀　井　晃　治

本社事務所　大阪市中央区谷町7丁目3番4-203号 新谷町第3ビル2F　TEL(06)768-1771(代)
テレファックス(06)768-1406
アトリエ　東大阪市上石切町２丁目１４－３５　TEL(0743)73—６１３７
アリックスタイムスクェア　大阪市中央区谷町7-3-4-105　新谷町第３ビル・１F　TEL(06) 764—１０８９

株式会社 伊東建築設計事務所

代表取締役　岡　本　清　彦

〒556 大阪市浪速区元町2丁目12番30号 難波KIビル　電話 大阪(06)646-0161㈹

株式会社 伊藤建築設計事務所

代表取締役社長　鋤　納　忠　治

名古屋市中区錦二丁目２番13号(名古屋センタービル)　電話<052>222-8611
東京　東京都千代田区神田美土代町五番地二(第２日成ビル)　電話<03>3294-6061



株式会社石本建築事務所

代表取締役社長　古　畠　誠　一
取締役大阪支所長　山　内　恒　男

本　　社　〒102 東京都千代田区九段南４－６－12　電話03(3262) ７１６１
大阪支所　〒542 大阪市中央区島之内１-20-19(白水ビル)　電話06 (251) ７５０７代
支　　所　札幌・名古屋・九州　　事務所　東北・横浜



株式会社泉沢建築設計事務所

代表取締役　泉　沢　哲　史

〒550 大阪市西区北堀江１丁目２番２７号　TEL(06)543-2281㈹

URABESEKKEI 株式会社 浦辺設計
URBAN DESIGN & ARCHITECTURE FOR BEAUTIFUL ENVIRONMENT
代表取締役　松村慶三

大阪市北区梅田1丁目12番39号・新阪急ビル〒530　電話 06(341)1680
岡山事務所　岡山市東古松２丁目11番25号〒700　電話 086(233)6010

株式会社 建設技術センター

代表取締役　福永　薫

〒532 大阪市淀川区西中島５丁目７－17－602　ＴＥＬ（06）304－1148㈹

SHOWA SEKKEI
株式会社 昭和設計

代表取締役社長　岡本行善
代表取締役副社長　林　唯夫

本　社　〒550 大阪市西区新町１－５－７　四ッ橋ビル　Phone 06－532－3421

株式会社 瀬戸本淳建築研究室

代表取締役　瀬戸本　淳

〒650 神戸市中央区北野町２丁目7－1－120　TEL 078-222-1665(代)

株式会社 創美設計

代表取締役　中原英雄

〒530 大阪市北区末広町３番21号　新星和扇町ビル　ＴＥＬ（06)312－3587㈹

株式会社 大建設計

取締役社長　吉田　周

大阪市西区京町堀１丁目13番20号 大建設計大阪ビル　電話06－449－6800㈹
東京・横浜・名古屋・京都・福岡・長野・北九州・札幌・仙台・広島

アルパック
株式会社 地域計画建築研究所

代表取締役会長　三輪 泰司
代表取締役社長　金井 萬造

本社・京都事務所・〒600 京都市下京区四条通高倉 大和銀行京都ビル6F
PHONE.075-221-5132㈹　FAX.075-256-1764
東京事務所・〒160 東京都新宿区新宿2-5-16 霞ビル401号
PHONE.03-3226-9130㈹　FAX.03-3226-9560
大阪事務所・〒540 大阪市中央区城見1丁目4番70号 住友生命OBPプラザビル15F
PHONE.06-942-5732㈹　FAX.06-941-7478
名古屋事務所・〒460 名古屋市中区丸の内3-18-30 ツボウチビル2F
PHONE.052-962-1224　FAX.052-962-1225
九州事務所・〒810 福岡市中央区天神1丁目15番1号 日之出ビル6F
PHONE.092-731-7671　FAX.092-731-7673

株式会社 東海設計

代表取締役社長　小坂忠勝

本　社　名古屋市中区栄2丁目6番1号(白川ビル別館)　〒460 TEL052-202-1241(代表)
東京事務所　東京都中央区築地4丁目7番4号(築地ファーストビル)　〒104 TEL03-3248-0474(代表)

東西建築サービス株式会社

取締役社長　山口幸治

本　社　〒541 大阪市中央区高麗橋4丁目7番6号　電話 06-202-3626㈹
支　社　〒103 東京都中央区日本橋馬喰町2丁目1番1号　電話 03-3663-1765㈹
(住友銀行浅草橋ビル4階)

株式会社 東畑建築事務所

取締役会長　東畑謙三
取締役社長　市川宏

本社 大阪事務所　大阪市中央区伏見町4丁目4番10号 電話 (06)202-0391
東京事務所　東京都千代田区永田町2丁目4番3号 (永田町ビル) 電話(03)3581-1251
名古屋事務所　名古屋市中村区名駅3丁目25番9号(堀内ビル) 電話(052)571-8471
九州事務所　福岡市博多区博多駅前2-2-1 (福岡センタービル) 電話(092)472-8737

建築・土木の設計監理
日建設計

取締役会長　薬袋公明
取締役社長　牧英二

大阪　541　大阪市中央区高麗橋4丁目6－2　電話 (06) 203-2361
東京　112　東京都文京区後楽1丁目4－27　電話 (03) 3813-3361
名古屋　460　名古屋市中区栄4丁目15－32　電話 (052) 261-6131
支所・その他　東北・横浜・北陸・神戸・広島・九州・シンガポール・ニューヨーク・ロサンゼルス

株式会社 日積サーベイ

代表取締役　生島道春

本　社　〒540 大阪市中央区谷町3－1－9(MG大手前ビル) TEL(06) 944—2755代表
SSDセンター　〒554 大阪市此花区島屋4－2－7(島屋ビジネス・インキュベータ) TEL(06) 466—7736代表
東京支所　〒110 東京都台東区台東4－14－8(シモジン・パークビル) TEL(03)3836—1271代表
日積設計監理㈱　〒550 大阪市西区京町堀1－10－8(福岡ビル) TEL(06) 444—2706
㈱京都日積　〒602 京都市上京区今出川通室町東入今出川町333番地(第2高橋ビル) TEL(075)441—5690

株式会社 安井建築設計事務所
取締役会長　佐野正一
取締役社長　椚座正信
本　社　大阪市中央区島町2丁目4番7号　電話 06(943)1371(大代)



元興寺 極楽堂一曼荼羅堂(国宝)

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

建設業有志

株式会社 **あめりか屋**

取締役会長　前野慶太郎

〒530　大阪市北区中之島四丁目３番25号　電話（06）444－１５０１

人・都市・自然のシンフォニー

Asanuma

株式会社**淺沼組**

取締役社長　淺沼禎夫

本社・大阪本店　大阪市天王寺区東高津町12番６号　電話 06(768)5222
東京本店　東京都中央区築地六丁目19番20号　電話03(3248)1800
名古屋支店　名古屋市中村区名駅南三丁目3番44号　電話052(571)5571
支店　北海道・東北・横浜・広島・九州

空間に新しいエナジー

ANDO 安藤建設

取締役社長　長澤光一　取締役支店長　飛岡宏佳

本社　東京都港区芝浦３丁目12－８　電話(03)3457－0111㈹
大阪支店　大阪市福島区福島６丁目３－21　電話（06)453－2190㈹

IMANISHI

株式会社 **今西組**

取締役社長　今西壽雄

本社　大阪市天王寺区上本町６丁目６番23-309号　電話06（779）３３６１
支店　東京都新宿区内藤町１番地　電話03(3354)０５８１
営業所　京都・奈良・西宮・神戸・埼玉

大之木建設株式会社

取締役社長　大之木晴樹
支社長　大之木雄次郎

本社　呉市中央３丁目12番４号　電話　0823(26)1511番
支社　広島市中区本川町３丁目１番５号　電話　082(231)5244番
支店　東京都港区麻布台２丁目２番12号 三貴ビル４Ｆ　電話　03(3585)3655番
〃　福岡市城南区神松寺２丁目13番24号　電話　092(863)7171番



株式会社 大林組

取締役会長　大　林　芳　郎
取締役社長　津　室　隆　夫

東京本社　東京都千代田区神田司町2丁目3番地　電　話　03（3292）1111番
本　　店　大阪市中央区北浜東4番33号　電　話　06（946）4578番
支　　店　札幌・東北・横浜・北陸・名古屋・神戸・広島・四国・九州



株式会社 奥村組

取締役社長　奥　村　俊　夫

本　　社　大阪市阿倍野区松崎町2の2の2　電話 大阪(06) 621-1101(大代表)
東京本社　東京都港区元赤坂1の3の10　電話 東京(03)3404-8111(大代表)
支　　社　東京・関西
支　　店　札幌・仙台・北関東・横浜・東関東・新潟・名古屋・神戸・広島・四国・九州・福岡

鹿島
KAJIMA CORPORATION

代表取締役社長　宮　崎　　明
専務取締役大阪支店長　小　島　　雄

本　　社　東京都港区元赤坂1－2－7　電話 03(3404)3311(大代)
大阪支店　大阪市西区阿波座1－3－15　電話 06（536)3311(大代)



海原建設株式会社

代表取締役　海　原　壹　一

〒530 大阪市北区梅田1丁目2番2—300号(大阪駅前第2ビル3F)　電話06(346)1900番



株式會社柄谷工務店

取締役社長　柄　谷　順　一　郎

本　　社　尼崎市玄番南之町4番地　電話大阪 06(415) 2 8 0 0 (代)
支　　店　大阪　営業所　西宮・神戸・高砂・豊田・三田



共立建設株式会社 大阪支店

常務取締役支店長　加　藤　毅　夫

支　店　大阪市中央区内本町2－2－5　TEL 06－ 942－2491（代表）
本　社　東京都渋谷区道玄坂1－16－10　TEL 03－3461－6141（代表）

株式会社 熊谷組 大阪支店

取締役社長　熊谷　太一郎
常務取締役 大阪支店長　磯俣　敏行

本　社　東京都新宿区津久戸町2番1　電話03(3260)2111番(大代表)
大阪支店　大阪市都島区片町2丁目10番5号　電話06 (352)1151番(大代表)

コーナン建設株式会社

代表取締役　原　精一

大阪市淀川区十三本町2丁目4番28号　電話(06)308−1551大代表
東京都中央区京橋3丁目13番10号(中島ゴールドビル)　電話 (03)3564−5711代表
神戸市中央区磯上通6丁目1番9号(KOBE MKビル)　電話 (078)221−6293代表

公成建設

代表取締役社長　絹川　治

本　社　〒600 京都市下京区五条通西洞院西入　☎075-341-0501
大阪支店　〒531 大阪市北区豊崎2丁目4番3号　☎ 06-375-1121
東京営業所　〒141 東京都品川区上大崎3−3−9−215　☎03-3442-1100
名古屋営業所　〒453 名古屋市中村区若宮町3丁目48　☎052-471-1223

株式会社 金剛組

代表取締役　金剛利隆

本　社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺1丁目14番29号　TEL 大阪06 (779) 7731(代)
FAX 大阪06 (779) 7133
関東支店　〒350-02 埼玉県鶴ヶ島市脚折町1丁目40番12号　TEL 埼玉0492 (87) 0301
FAX 埼玉0492 (87) 0300

佐藤工業株式会社

取締役社長 佐藤嘉剛　大阪支店長 名村英紀

本　社　東京都中央区日本橋本町4-12-20　電話 東京(3661)1231(大代)
大阪支店　〒541 大阪市中央区北浜1丁目1番6号　電話 大阪 (203)7221(代表)

三和建設株式会社

取締役社長　森本晴夫

本　社　大阪市淀川区加島1丁目55番6号　電話 06(301)6636
支　店　東京都荒川区東日暮里4丁目10番10号　電話03(3891)8871
支　店　京都市右京区西院高田町31番地1　電話075(311)8897

おかげさまで関西100周年

SHMZ

清水建設株式会社

代表取締役副社長 関西総支配人　森井哲也
常務取締役 大阪支店長　田辺剛

大阪支店 近畿営業本部　大阪市中央区本町3－5－7　電話 06（263）2800

SEKISUI HOUSE

積水ハウス株式会社

代表取締役社長　奥井功

本　社　〒531 大阪市北区大淀中1丁目1番88号（梅田スカイビル）　☎06（440）3111
東京支社　〒160 東京都新宿区西新宿1丁目6番1号（新宿エルタワー）　☎03(3346)6500

大地への愛　人間への愛

錢高組

社長 錢高一善

本　社　大阪市西区西本町2丁目2番11号 大阪(06)531－6431
東京本社　東京都千代田区一番町31番地 東京(03)3265－4611
支社・支店　大阪・東京・北海道・東北・北関東・千葉 横浜・北陸・名古屋・広島・四国・九州

TAISEI

大成建設株式会社

取締役社長　山本兵藏
常務取締役 大阪支店長　市川正美

本　社　東京都新宿区西新宿1丁目25番1号 新宿センタービル　TEL03(3348)1111大代表
大阪支店　大阪市中央区南船場1丁目14番10号　TEL06(268)8500
支　店　東京・名古屋・九州・札幌・東北・広島・横浜・北信越・四国

限りない未来への挑戦

大日本土木株式会社

専務取締役 大阪支店長　牧野保

大阪支店　〒530 大阪市北区堂島二丁目2番2号 近鉄堂島ビル　電話 06（341）5211
東京本社　〒162 東京都新宿区市ヶ谷田町2丁目35番地　電話 03（3268）5511

株式会社 竹中工務店

取締役社長　竹中統一

〒541 大阪市中央区本町4丁目1－13　電話 大阪（252）1201番(大代表)

信用と技術の

鉄建

TEKKEN

常務取締役大阪支店長　東田敏男

大阪支店　〒541 大阪市中央区瓦町3－3－7　電話 06（201）1881(代表)
本　社　〒101 東京都千代田区三崎町2－5－3　電話 03(3262)3411(代表)

戸田建設株式会社

代表取締役社長　戸田守二
常務取締役　大阪支店長　西川秀信

本　社　東京都中央区京橋1丁目7番1号　TEL東京03(3562)6111
大阪支店　大阪市西区西本町1丁目13番47号　TEL大阪06（531）6095
支　店　東京・千葉・関東・横浜・北陸・名古屋・札幌・東北・広島・四国・九州

東海興業株式会社 大阪支店

TOKAI

専務取締役支店長　服部信哉

本　社　東京都中央区八重洲1-1-6　電話 東京(5200)5111
大阪支店　大阪市北区堂島浜2-2-8 東洋紡ビル　電話 大阪（348）5602
支　店　東京・名古屋・東北・札幌・九州・横浜・広島

南海建設株式会社

取締役社長　芝谷昭

本　社　大阪市浪速区難波中3丁目5番19号　電話 06（644)7823番
東京支店　東京都千代田区神田須田町1丁目5(新須田町ビル)　電話 03(3251)8431番
岸和田支店・和歌山支店　営業所　堺・泉佐野・橋本・神戸・枚方・京都南・西宮

西松建設

代表取締役社長　柴田平
取締役関西支店長　宗澤修郎

本　社　東京都港区虎ノ門1－20－10　電話03(3502)0232
関西支店　大阪市中央区釣鐘町2－4－7　電話06（942)1131

株式会社 日興

Nikko
CORPORATION NIKKO

取締役会長　平本俊秋
取締役社長　平本俊友

本　社　広島市中区国泰寺町1丁目8番4号　電話（082）244－2111番

NIHON KENSETSU

日本建設株式会社

取締役社長　積山吉興

大阪本社　大阪市中央区備後町1丁目6番15号　TEL (06) 226-0630(代表)
東京本社　東京都文京区小石川2丁目6番22号　TEL (03)3818-6081(代表)
支　店　東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

野村建設工業株式会社

取締役社長　石川芳夫

本　社　大阪市中央区高麗橋2丁目1番2号 電話 (226) 9502代表
東京本部　東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番3号 電話 (3249) 1413代表

HASEKO

長谷工コーポレーション

取締役副社長　中村俊雄

大阪市中央区平野町4丁目2番18号　電話　06(203)1500

FUJITA

株式会社フジタ大阪支店

常務取締役
支店長　西東茂之

大阪支店　大阪市北区堂島2丁目1番16号　電話06(348) 4510
本　社　東京都渋谷区千駄ヶ谷4丁目6番15号　電話03(3402)1911

不動建設株式会社

取締役社長　式村健

大阪本社　大阪市中央区平野町4丁目2番16号　電話 06(201)9203番
東京本社　東京都台東区台東1丁目2番1号　電話 03(3837)6009番
支　店　北海道・東北・千葉・横浜・名古屋・神戸・広島・四国・南四国・九州・北九州

FUJIKI

株式会社 藤木工務店

取締役社長　藤木鐵三

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1-3-9　☎ 06-944-1468代　本支店　大阪・東京・倉敷・京都・四国・福岡
東京本社　〒160 東京都新宿区三栄町23-4　☎03-3357-1600代　営業所　埼玉・大宮・多摩・横浜・静岡・名古屋・宇治・泉南・神戸・岡山・広島・徳島・新居浜・松山・長崎・南九州

MAEDA

前田建設工業株式会社 大阪支店

取締役支店長　吉　田　　鍾

支　店　大阪市西区江戸堀１丁目３番15号　電話 大阪（446）９５１１(代表)
本　社　東京都千代田区富士見２丁目10番26号　電話 東京（3265）５５５１(代表)

松　村　組

代表取締役　福　田　耕　作

本社・大阪本店　大阪市北区天満2丁目1番33号　電話 大代表 大阪(353) 1131
東京本店　東京都千代田区内幸町1丁目1番2号　電話 大代表 東京(3502)1211
支　　店　名古屋・札幌・東北・広島・福岡・神戸・京都

MICHIDA

株式会社 道田工務店

代表取締役　道　田　泰　平

本　　社・兵庫県川西市中央町18番21号　電話0727(57)9777番

海と陸の明日を拓く技術のムラズミ

村角建設株式会社

代表取締役社長　土山喜代士

本社　大阪市住之江区浜口西2丁目12-9　TEL 06－675－8101
支店　北海道・東京・横浜・大阪・京都・神戸・四国

心と技術で明日を築く

Muramoto

村本建設株式会社

代表取締役　村　本　豊　嗣

奈良本店　〒635 奈良県北葛城郡広陵町大字安部547　☎(0745)55－1151　FAX(0745)55－2871
大阪本社　〒543 大阪市天王寺区四天王寺１－５－43　☎(06) 774－2111　FAX(06) 772－2123
東京本社　〒102 東京都千代田区二番町３－４　☎(03)3238－2111　FAX(03)3238－2010

望月建設株式会社

代表取締役社長　望　月　小　太　郎

本　　社　大阪市北区中崎西２丁目３番12号　電話 大阪（375）2345(代表)

株式会社 森 組

取締役社長 森 幸 彦

本 社 大阪市中央区道修町4丁目5番17号 電 話201－2761㈹
支 店 東京・東北・横浜・北陸・名古屋・奈良・神戸・中国・四国・九州
営業所 甲府・滋賀・京都・和歌山・紀泉・西宮・松山・熊本

保存と
開発に
取り組む…

総合建設業
株式会社 安井杢工務店

代表取締役 安井洋太郎

本 社 〒617 京都府向日市上植野町御塔道42
TEL (075)933－0012㈹ FAX (075)933－4931
東京事務所 東京都練馬区東大泉3-22-11-401
TEL・FAX (03)3925－0798

株式會社 米田工務店

代表取締役会長 米田良男
代表取締役社長 米田高明

本 社 〒543 大阪市天王寺区逢阪1丁目1番7号 TEL 大阪(06)771-7771代表
FAX 大阪(06)779-2676代表

YSC

寄神建設株式会社

取締役社長 寄神美好

本 社	〒652 神戸市兵庫区七宮町2－1－1	☎078－681－3121
東京支店	〒103 東京都中央区日本橋茅場町1－6－12	☎03－3668－1871
横浜支店	〒231 横浜市中区翁町1－6－4（新翁ビル）	☎045－681－5085
名古屋支店	〒456 名古屋市熱田区森後町8－27	☎052－681－8661
大阪支店	〒553 大阪市福島区福島7－6－7(山陽ビル8F・9F)	☎ 06－451－9111
神戸支店	〒652 神戸市兵庫区七宮町2－1－1	☎078－681－3123
姫路支店	〒672 姫路市飾磨区須賀294(姫路ポートセンタービル)	☎0792－35－7748
九州支店	〒812 福岡市博多駅前1-15-20(日本団体生命ビル9F)	☎092－482－4300
営業所	岡山・四国・淡路・横須賀・北九州・広島・熊本	



元興寺 禅室一僧坊(国宝)

暑中お見舞申し上げます

平成５年盛夏

団体・報道・建材・設備工事有志



財団法人 **大阪建築防災センター**

理事長　小西　岬

〒540 大阪市中央区南新町１－１－２（タイムスビル５Ｆ）　電話 06(943)7253



社団法人 **日本建築協会京都支部**

支部長　井手正己

〒604 京都市中京区押小路通柳馬場東入 建設会館別館　電話075(211)2857・2877



社団法人 **日本建築協会中国支部**

支部長　平本俊秋

〒730 広島市中区国泰寺町1丁目8-4日興ビル内　TEL 082(244)2111



社団法人 **日本建築協会東海支部**

支部長　森口雅文

〒460 名古屋市中区栄４丁目３－26(昭和ビル５階)　電話052(261)1451



社団法人 **日本建築協会和歌山支部**

支部長　北山　俊

〒640 和歌山市ト半町38番地 建築士会館内　電話0734(23)2562

創業38年

―もっとも信頼され、読まれている情報紙―

株式会社 **建設日報社**

代表取締役社主 重村 登龍

本　社　〒550 大阪市西区江之子島1-7-3　TEL06(444)2405-9
別　館　〒550 大阪市西区江之子島1-6-2　TEL06(444)6431-4

株式会社 **日刊建設通信新聞社関西支社**

副社長関西支社長　向後定男

〒540 大阪市中央区内本町1－3－5　電話 06(944) 9191代表
内本町山森・住友生命ビル　FAX 06(944) 9197
本社・〒105 東京都港区西新橋2－11－4　電話 03(3502)8581代表

大阪府耳順会

(大阪府OB建設技術研究会)

会長 山地英雄(オオバ)　副会長 牧田顯治(安井建築設計事務所)　名手宏彦(ミサワホーム)
幹事 上野 勇(栗本建設)　恒吉正樹(西田工業)　豊田忠男(大末建設)　野村昌史(松村組)　林 貞夫(鉄建建設)
広畑 哲(不動建設)　兵本宣弘(東急建設)　八木常美(大都工業)　両国 寛(鴻池組)
会計幹事 辻田幸治(矢崎総業)　石橋輝雄(大鉄工業)　監事 辻 信(青木建設)　森岡 瀞(日本コムシス)
会合場所　㈳日本建築協会　☎06－348－0635

会員の親睦と講演――――――――入会歓迎!!

社団法人 日本建築協会

建築クラブ

代表 佐野正一
事務局　日本建築協会
〒530 大阪市北区梅田1-1-3-2100　大阪駅前第3ビル21階
電話 (06) 348－0635　FAX (06) 348－0634

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長 依藤孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351―5428㈹
FAX(06)351―5299

UMEHIKO

株式会社 梅彦

代表取締役社長　松永嘉一郎

本　社　大阪市北区中崎西3丁目1番2号　電話 06（377）3500大代
茨木工場　茨木市豊川3丁目1番6号　電話0726（43）5185代

建築用板硝子販売施工

キムラ硝子建材株式会社

代表取締役　木　村　雅　秀

〒540 大阪市中央区内平野町3丁目2番11号　電話 06(941) 4 1 8 1㈹

クリヤマ株式会社

代表取締役会長　栗　山　芳　雄
代表取締役社長　米　内　勁　隆

本　　社　大阪市淀川区西中島1丁目12番4号〒532　TEL. 06—305—2871大代表
東京支店　東京都渋谷区南平台町15番13号〒150　TEL. 03－3463－1841代表

特殊消火設備のパイオニア

株式会社コーアツ

取締役社長　野　副　泰　正

本社/大阪支社　伊丹市北本町1丁目310番地　電話0727(82)8562
東京支社　東京都千代田区九段南4丁目7番13号(大島ビル)　電話03(3265)7651
豊田営業所　豊田市大林町12丁目37番地　電話0565(26)1521

結露防止に卓効のある　湿度を調節する断熱建材

防火 防音 **モクセン板** 防腐 防虫

〝コンクリート建物の水準向上に〟

神戸不燃板工業株式会社

〒673-05 兵庫県三木市志染町三津田　TEL (07948) 7 —3121㈹

経験を基礎に新時代のニーズに応える

三精輸送機株式会社

代表取締役　太　田　昭比古

本　　社：大阪府吹田市江坂町1丁目13-18 〒564　☎ 06 (385) 5621 ㈹
東京支店：東京都渋谷区千駄ヶ谷5の29の11　☎ 03 (3356)5651
福知山工場：福知山市長田野町2丁目45番地　☎ 0773 (27) 1211
出 張 所：札幌・青森・秋田・仙台・名古屋・金沢・広島・福岡・沖縄

塩田工業株式会社

取締役社長　寳　来　駿　一

本　　社　〒734　広島市南区東雲2－14－6　TEL(082)281-9161代表
FAX(082)286-8722
工　　場　〒739-01　東広島市八本松町大字原字中横野沖郷4515番地　TEL(0824)29-0459
山口支店　〒744　下松市大字末武中146番地の28　TEL(0833)41-1125

よりよき環境へ技術で挑む

株式会社 精研

クリーンルーム
実験動物室空調
設計施工

代表取締役会長　和田　正八郎
代表取締役社長　大川　一善

本　　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル)　電話06－768－5031㈹
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号(日本生命小石川ビル7F)　電話03－5689－2351㈹
四国営業所　徳島県鳴門市撫養町小桑島前浜264(西谷ビル)　電話0886－85－0924㈹

TKG

タケチ工業ゴム株式會社

会長　武智義加
社長　大場幸夫

本　　部　〒567 大阪府茨木市学園南町15番17号　☎0726－33－1331(大代表)
東京支店　〒102 東京都千代田区五番町10番2号(五番町センタービル)　☎03－3230－3761(代表)
高岡営業所　〒933 富山県高岡市赤祖父415番地2　☎0766－22－8313(代表)

東西アスファルト事業協同組合
西日本床工事事業協同組合

株式会社 タテバヤシ商店

代表取締役　舘林彦四郎

〒601 京都市南区西九条大国町37　電話(075)681－7221㈹
FAX(075)681－7224

TAJIMA

株式会社 タジマ

東京営業本部　〒110 東京都台東区北上野1-6-11 ノルトビル　電話(03)3866-6101　FAX(03)3861-3615
大阪営業所　〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話(06)441-5951　FAX(06)444-2596

田島ルーフィング株式会社

東西アスファルト事業協同組合

東京：〒101 東京都千代田区岩本町3－11－14　電話(03)3862－8531
大阪：〒550 大阪市西区京町堀1－10－5　電話(06)443－0431

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

取締役社長　岡田　敏

本　　社　〒540 大阪市中央区常盤町1－3－8(日生谷町ビル)電話(06)943－6571㈹
東京本社　〒106 東京都港区六本木6-3(第一地所麻布ビル)電話(03)3497－2911㈹

コピーの綜合コンサルタント

naigai

株式会社 ナイガイ

代表取締役　木下二三子

本　　社　大阪市西区京町堀1-17-16(スミトービル)　TEL(06) 443-2800
インテス営業所　大阪市西区西本町2-3-10(インテスビル)　TEL(06) 538-0377
御堂営業所　大阪市中央区本町4-1-13(御堂ビル)　TEL(06) 252-3906
横堀営業所　大阪市中央区道修町4－5－5　TEL(06) 202-5260
泉南営業所　大阪府泉佐野市松原1丁目5－3　TEL(0724)64-8158
本町営業所　大阪市中央区本町3-5-7(御堂筋本町ビル)　TEL(06) 263-2734

造園土木　設計施工

株式会社 西川造園

〒573 大阪府枚方市北中振3丁目27番17号
TEL 0720—33—8998代

株式会社 西原衛生工業所大阪店

代表取締役社長　伴　昭秀

本　　社　大阪市北区中津6丁目8番4号　電話 大阪(06)458—3628
支店･営業所　福岡・京都・神戸・天理・川西

日本電植株式会社

代表取締役社長　松村信人

本社　〒530 大阪市北区天満1丁目11番8号(雄揮ビル5F)　TEL.06-352-7502
別館　〒530 大阪市北区天満1丁目7番21号(第3八光ビル2F)　TEL.06-357-1803

マルエス印▲ルーフィング▲シングル▲メルタン21(トーチ工法)

日新工業株式会社 大阪支店

大阪支店長　山本則行

本社営業所　東京都足立区千住東2－23－4　☎東京(3882)2424(代)
大阪支店　大阪市西区新町1丁目12番22号　☎大阪(533)3191大代表
出張所　名古屋・広島・福岡・札幌・山形・工場／東京・埼玉・山形

日本アスファルト防水工業 協同組合
関西支部

大阪市西区新町1丁目12番22号　日新工業株式会社大阪支店内
電話 (533) 3191 大代表

日新建工株式会社大阪

取締役社長　中　田　　勝

大阪市西区新町1丁目12番23号
電話（06)541-3785～6　FAX（06)541-2721



造園の設計と施工

富士造園土木株式会社

〒665 宝塚市山本東2－6－17
TEL（宝塚)0797－88－0501㈹
FAX0797－88－0507

松野電工株式会社

取締役社長　松　野　茂　男
取締役支店長　田　上　健　士

東京都渋谷区渋谷4丁目5番5号　(03)3409－5965
広島市南区皆実町4丁目17番27号　(082)254－2211

合理的な
三好式ガラス防煙垂壁『M式ツリコ』

製造発売元 **株式会社ミヨシ**

本社／〒730 広島市中区紙屋町2丁目2-38　☎082-248-0344　FAX082-247-3479
関西／〒646 奈良県磯城郡田原本町新町　☎07443-3-4431　FAX077476－4907

三協アルミニウム工業株式会社代理店　日立化成工業株式会社代理店
立山アルミニウム工業株式会社代理店　新明和工業株式会社代理店
豊和工業株式会社代理店　近畿車輌株式会社代理店
倉敷ユニット株式会社代理店　住友ゴム工業株式会社代理店

ムツミ産業

ムツミ産業株式会社

代表取締役　傳　馬　正　明

〒550 大阪市西区靭本町1丁目17番15号　電話（06）大代表 441－0378番
出張所：東京・広島・北九州　工　場：大津・竹原

建設環境金属製品の
UNION

株式会社ユニオン

代表取締役　立　野　純　三

本　　社　大阪市西区南堀江2-13-22　〒550 電話 06(532)3731(代)
東京支店　東京都江東区白河2－9－5　〒135 電話03(3630)2811(代)
名古屋営業所　名古屋市中川区舟戸町3-20　〒454 電話052(363)5221(代)
大阪ショールーム　大阪市西区京町堀1-17-16　〒550 電話 06(443)6620(代)

テトカッパー防水層

カッパー防水帯 ―――― コーパータイト / オクロン防水帯

資料をご請求下さい。

奥山化工業株式会社

本　社 東京都中央区銀座8-4-9 奥山ビル　TEL03(3571)2703㈹ FAX03(3571)0264
大阪事務所 TEL06(391)1081～2FAX 06(395)2109　名古屋出張所 TEL052(811)3660
横浜営業所 TEL045(320)4832　FAX045(320)4765　厚木出張所 TEL0462(21)1761 FAX0462(23)1341
埼玉営業所 TEL048(774)2845　茨城出張所 TEL0292(28)0878 FAX0292(28)2614

新しい時代の、新しい扉をひらきたい。

TOYO Shutter

東洋シヤッター株式会社

本　社　〒540 大阪市中央区常盤町1－3－8（日本生命谷町ビル）
TEL（06）943－6571（代）
■東京/横浜/盛岡/仙台/水戸/静岡/岡崎/名古屋/富山/大津/京都/神戸/広島/高松/福岡/他全国主要都市

特　許・耐酸被覆鋼板
耐久建築屋根・外壁材料

オリエンタルメタル

半世紀の実績が誇る技術とアフターケアー!

長尺物・色彩豊富・責任施工

品　種・オリエンタルエターノコアー(ETC-F)
・オリエンタルスチールライト(ＳＴＬ)
・オリエンタルカラースーパーメタル(CSPM)
・オリエンタルユニライト(ＵＮＬ)

波板規格　S小波・S大波・V波・ボックス波・Wジャンボ波・Vデッキ
SVジャンボ波・ボルトレスルーフBL・其の他

用　途　平板・波板・棟包・雨押類・谷樋・竪樋・軒樋
各種換気装置〔モニター・ベンチレーター・ムーバー・エキゾスター(強制)〕
ボーロイド(断熱材)D.G.K.　※カタログをご請求下さい。



大和郡山市九条スポーツセンター屋根　エターノコアーF

オリエンタルメタル製造株式会社

大　阪　本　社　〒660 尼崎市昭和南通り３―26　電話大阪(06)412―5131㈹
支店及工場　大阪・九州・名古屋・広島・東条・姫路
東京本社及工場　〒335 蕨市塚越５丁目６番32号　電話 蕨(0484)42―3115㈹
支店及工場　東北・東京・関東・熊谷

空調・衛生・クリーンルーム設備
（設計・施工）

朝日工業社

本社・本店　東京都港区浜松町1-25-7　電話03(3432)5711
大阪支社　大阪市淀川区加島1-58-59 電話 06(302)2270
支　　店　北海道/東北/北関東/横浜/名古屋/中国/九州

商品は空気です。



熱と空気のエンジニア
株式会社
大気社

●営業種目
空気調和設備　給排水衛生設備　塗装設備　公害防止関連設備の設計・製作・施工

本社・東京本店　東京都新宿区西新宿2-6-1　☎03－3344－1851(大代)　大阪本社☎06－448－3603(代)
大阪支社 ☎06－448－5851(代)　名古屋支店 ☎052－211－1535(代)　中国支店 ☎082－247－5541
九州支店 ☎092－431－2147(代)　営業所：北関東・横浜・神戸・京都・岡山・四国

電気・空調・衛生・防災・産業廃水設備
設　計　施　工

ダイダン株式会社

本店・大阪本社　〒550 大阪市西区江戸堀1丁目9番25号　電話(06)441 8231
東京本社　〒102 東京都千代田区富士見2丁目15番10号　電話(03)3261-8231
支　　社　名古屋・福岡
支　　店　札幌・仙台・新潟・大宮・千葉・横浜・金沢・京都・神戸・天理・岡山・広島・高松・熊本
営業所　帯広・函館・青森・秋田・盛岡・前橋・長野・静岡・豊田・津・富山・福井・徳山・松山・高知・北九州・鹿児島・那覇
出張所　旭川・福島・川崎・松江・徳島・下関・長崎・大分・宮崎
海外支店　シンガポール・ホンコン
技術研究所　〒354 埼玉県入間郡三芳町大字北永井390番地　電話(0492)58 1511

空気調和　搬送機設備
給排水衛生　設計施工

人に優しい環境づくり

第一工業株式会社

大阪支店　〒530 大阪市北区西天満3丁目6番14号
電話　06－364－6661(代表)
本　　社　〒100 東京都千代田区丸の内3丁目3番1号
電話　03－3211－8511(代表)

空気調和設備　産業設備
給排水設備　水処理施設
電気設備　環境施設

三機工業株式会社

取締役社長　白谷清二
大阪支店長　三田村嘉也

大阪支店　大阪市中央区北浜2－2－21　電話06(202)3071(代表)
本　　店　東京都千代田区有楽町1-4-1　電話03(3502)6111(大代)
支　　店　名古屋・九州・北海道・中国・東北・北陸・四国

ガス設備の設計・施工のご相談は
大阪ガス指定工事会社・大阪ガス住設機器特約店

大晃設備株式会社

本　　社
大阪営業所　大阪市此花区西九条2丁目13番28号　電 06－466－2268
枚方営業所　枚方市甲斐田東町9－3　電0720－49－2128

空気調和設備
衛生設備　設計施工

三建設備工業株式會社

大阪支店　大阪市北区紅梅町3番5号　電話（352）1131代
本　　社　東京都中央区日本橋蠣殻町2－22　電話(3667)3431(大代)
支　　社　名古屋・仙台・札幌・広島・福岡・金沢・新潟・横浜

給・排水・衛生・消火・空調設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

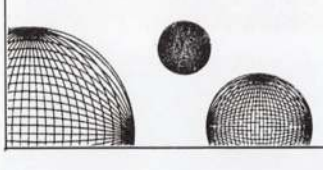
大阪市北区中津6丁目8番4号　電話大阪(458)3628番
支店・営業所　福岡・京都・天理・川西・神戸

空気調和・衛生設備・設計施工

株式会社　三晃空調

本　　社　大阪市中央区城見2丁目1番61号ツイン21MIDタワー　電話 06－949－1371
東京本店　東京都新宿区西新宿　新宿住友ビル　電話03－3344－1911
大阪本店　大阪市北区西天満3丁目13番20号　電話 06－363－1371
支　　店　仙台・横浜・名古屋・京都・神戸・広島・福岡
営業所　札幌・松江
出張所　青森・秋田・盛岡・大宮・千葉・川崎・富山・福井・和歌山・鳥取・岡山・高松・下関・熊本・鹿児島・沖縄

大規模空間（天井金属パネル）に
地球を入れることはできませんが
地球規模の夢を入れることはできます
内外装創作パネル・システム天井・間仕切



OKUJU
スペース クリエイター

本　社
大阪市北区西天満5丁目3番7号 〒530
TEL(06)312-4131 FAX(06)312-7998
東京・九州・横浜・名古屋・仙台・宮崎・京都

株式会社 オクジュー

空調衛生・冷凍冷蔵・地盤凍結
よりよき環境へ技術で挑む

株式会社精研

本　　社　大阪市中央区瓦屋町2丁目11番16号(オートセンタービル1・2階)
郵便番号542　電話 大阪（06）768－5031　代表
メンテナンス部　電　話　大阪（06）768－1651　代表
東京支店　東京都文京区小石川1丁目12番14号（日本生命小石川ビル7階）
郵便番号112　電話（03）5689－2351代表

技術と信頼で人と企業に貢献する

青葉印刷株式会社

代表取締役社長　依藤孝行

〒534 大阪市都島区中野町2丁目10番11号　TEL(06)351－5428(代)
FAX(06)351－5299

空調・衛生・防災設備　設計並施工

日本管工業株式会社

本社及京都支店　京都市南区西九条豊田町20番地の1
電話(681)5101～5・夜間専用(691)1045
大阪支店　大阪市北区天満1-5-20　電話 (06)352-3501㈹
三重支店　津市栄町2－111　電話(0592)26-3610㈹
四日市営業所　四日市市西末広町　電話(0593)53-7431㈹
滋賀営業所　大津市中央2丁目4-28　電話(0775)22-9738㈹

Carrier　冷暖房は CARRIER キャリア

東洋キヤリア工業㈱デストビューター関西地区

日本冷熱工産株式会社

本社及大阪営業所　吹田市豊津町40番38号
電話 大阪 (384) 1201～7

さわやかに心豊かな生活空間つくり。



— 電気・計装・空調・土木 —

K栗原工業株式会社

本社／〒530 大阪市北区角田町1番1号(東阪急ビル)
TEL.06(313)1101 FAX.06(315)0050
東京・東関東・横浜・名古屋・大阪南・神戸・広島・四国・九州・シンガポール

電気設備 ε 設計施工

朝陽電気株式会社

代表取締役 山本貴士

本　社　大阪市北区中之島3－2－4　朝日ビル　TEL大阪06 (385)1361(代)
大阪営業所　TEL大阪06(385)1361(代)　京都営業所　TEL京都075(311)1185(代)
東京営業所　TEL東京03(3574)0665　福岡出張所　TEL福岡092(771)6168

電気工事設計施工

株式会社 三興社

代表取締役 土井敏裕

本　社　大阪市北区西天満2丁目6－8(堂ビル5階)
電　話　06(361)3671(代)
支　店　東京都中央区日本橋茅場町2丁目17番3号
電　話　03(3666)1478(代)
営業所　堺・泉州・泉南・滋賀

電気設備工事設計施工

東光電気工事株式会社
関西支社

支社長 馬田栄

大阪市中央区高麗橋4丁目3番7号　電話大阪(202)0325～9番
本　社　東京都千代田区西神田1丁目4番5号
支　社　北海道・東北・丸ノ内・新宿・神奈川・東関東・中部・九州

人と都市の快適な環境をつくります

営業種目 設計・施工・監理

● 電気設備
受変電・幹線
動力・制御装置
電話、放送、インターホン
防犯、防災
中央監視制御
システム計装

● 空調・給排水・衛生設備
空気調和
工場配管
水処理
コージェネレーション
クリーンルーム

● プラント
プラント計装
システムエンジニアリング

● 情報通信設備
情報通信ネットワーク
情報処理
通信システム
放送システム

● 電力流通設備
受変電
架空送配電
地中送配電

さらに豊かにあふれるクリエイティブカンパニーをめざす

住友電設株式会社

大阪本社 〒550 大阪市西区阿波座2-1-4 ☎(06) 537-3400
東京本社 〒105 東京都港区芝2-2-17 ☎(03)3454-7311

電気設備・計装制御設備・空調設備・クリーンルーム設備・プラント設備
給排水衛生設備・エネルギー集中監視システム…設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納秀一

本　社　〒530 大阪市北区西天満2-6-8(堂ビル)　TEL 06(364)1471・FAX 06(364)5533
東京支社　〒105 東京都港区新橋2-16(ニュー新橋ビル)　TEL03(3504)0231・FAX 03(504)0268
名古屋支店　〒462 名古屋市北区金城3-12-14　TEL052(991)5131・FAX052(914)7535
神戸支店　〒657 神戸市灘区岩屋中町1-2-9(エビスビル)　TEL078(881)5571・FAX078(871)6261
堺研究所　〒590 大阪府堺市三宝町七丁369　TEL0722(27)8408・FAX0722(27)1424

＊ 奉仕感謝の店

タイル及び規格石一式施工

株式会社 川岸窯業商店

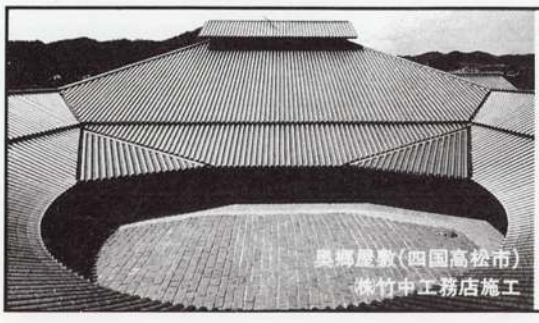
本　社　大阪市西区西本町1の13の33
TEL.06－532－0461(代表)
FAX.06－535－5181
天理営業所　天理市丹波市新町49

学校建築のトータルアドバイザー

二葉工業株式会社

黒板・掲示板・家具
電動黒板装置・サイン・スクリーン

〒547 大阪市平野区加美北3－4－5
TEL.06(792)5858　FAX06(792)2810



〒556 大阪市浪速区塩草一丁目二番三号
☎ 五六一～七四一六
ファックス 五六一～七四五四

ナニワ瓦株式会社

あらゆる屋根工事の相談は、

ND
JAPAN ELECTRIC TYPESETTING CO.,LTD.

■情報処理　■編集・企画　■印刷・製本

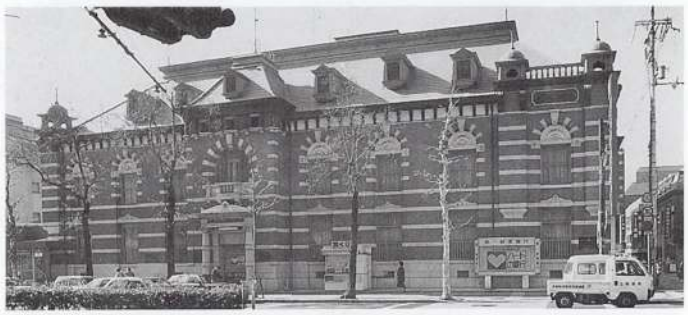
日本電植株式会社

〒530 大阪市北区天満1-7-23
TEL.06(357)1803㈹　FAX.06(357)4950

特殊壁装材製造販売　和室に最適
●聚楽壁紙●ホクシノン(無機質壁紙)
(株)ホクシンクロス
〒583 大阪府羽曳野市島泉8－173－1
TEL(0729)39－3610
工場　〒580　大阪府松原市三宅中8丁目1番9号
第一　〒639-11奈良県大和郡山市小泉町2744
第二　〒597　大阪府貝塚市王子501

Construction chemistry for the future.
コンクリート用混和剤／コンクリート用補修材
高性能無収縮材／コンクリート用高性能床材
Master Builders Technologies
株式会社エヌエムビー
株式会社ポゾリス物産
本　社：東京都港区六本木3－16－26
大阪支店：大阪市中央区北浜3-2-23(信愛ビル)
TEL06-202-3294

省エネルギー時代の断熱用シート防水材
日立バイナリーシートP
日立バイナリーシートPは，日立防水シートに発泡ポリエチレンを独自の貼り合わせ技術で積層した，二重構造の断熱兼用二重防水シートです。
日立電線株式會社 本社 東京都千代田区丸の内2丁目1番2号(千代田ビル)



デンカCSAファミリー製品

●デンカCSA（膨張性混和材）　コンクリートのひびわれ防止に
●デンカタスコン（グラウト用無収縮材）　鉄骨ベース、逆打部の充填モルタルに
●デンカキューテックス（止水・補修用急硬セメント）　コンクリート躯体の漏水補修に
●デンカES（土質安定用急硬材）　地盤補強用薬注入
●デンカΣ1000（製品用超高度混和材）　コンクリートパイルの早期出荷とハイモメント製造用に

電気化学工業株式会社
近畿地区販売店

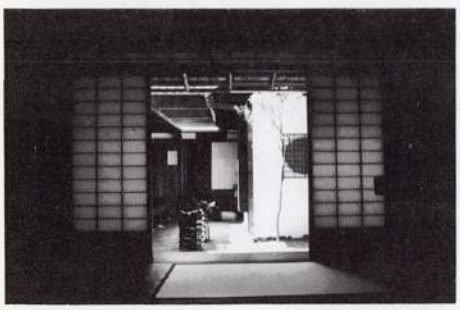
浜宗産業株式会社
TEL 本社・京都・綱野（07727）2－2220
舞鶴（0773）76－0133

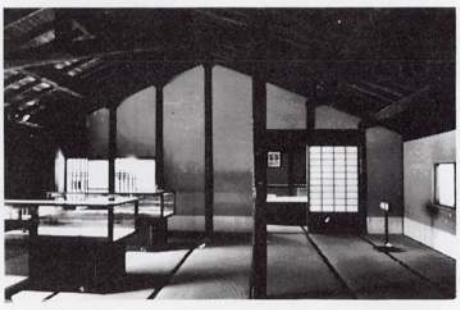
金森藤平商事株式会社
TEL 大阪（06）332－6861
TEL 東京（03）3272－8501

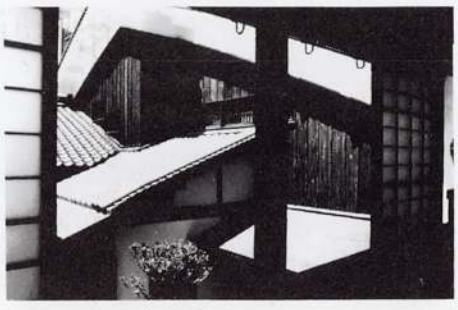
小浦産業株式会社
TEL 大阪（06）443－6181

光洋物産株式会社
TEL 大阪（06）252－6000

東郷化成株式会社
TEL 滋賀・守山（0775）83－2381
TEL 大阪（06）877－1581









空　間　無　限

太陽光の角度によって時と共に変化する壁面
タイルのわずかな凹凸が表情を際立たせる。
ある時は壁面の背後に別の空間を感じさせるほど微妙な
無限のリズムの中の陰影、
タイル一枚一枚がまるで意思をもっているかのように語りかけてくる。
TOTOエクステリアタイル。

TOTOエクステリアタイル

カタログをご希望の方は、〒530 大阪市北区曽根崎2-3-7 梅新第一生命ビル東館 東陶機器㈱ 大阪支社までご請求ください。☎06(364)1181

建築と社会
第74輯7号

Lee-con™

リーコン

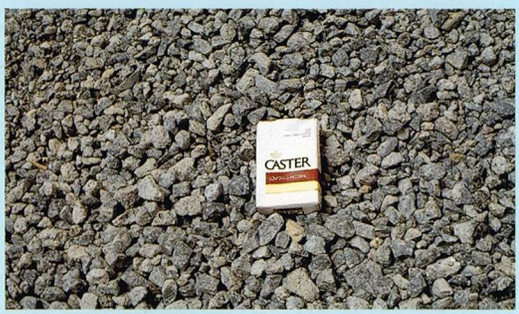
リサイクルコンクリート製品

Q：Lee-conてなあに？

A：Lee-conとは
コンクリートガラからの再生製品です
例えば
◎Lee-con
再生生コンクリート
◎Lee-con二次製品
再生コンクリート二次製品
◎Lee-conクラッシャーラン
再生クラッシャーラン
◎Lee-con埋め戻し材
再生コンクリート埋め戻し材
のことを総称したものがLee-conです



①コンクリートガラ



②再生骨材

Q：Lee-conはどうやってできるの？

A：Lee-conの製造工程

写真①のコンクリートガラを１、２次破砕をおこない水洗分級する

写真②のような再生骨材を取り出す

写真③再生骨材を利用したLee-con生コンクリート

写真④Lee-con生コンクリートから製造したLee-con二次製品



③Lee-con生コンクリート



④Lee-con二次製品

このように解体工事等から排出され不要になったコンクリートガラをリサイクルした新しいコンクリート製品をLee-conと言います。

KG Kyouei Group 共栄グループ
事業本部
〒520-31 滋賀県甲賀郡石部町石部2177
TEL 0748-77-3263 FAX 0748-77-4446

KG Kyouei Kougyou 共栄工業株式会社
生コン工場
〒520-31 滋賀県甲賀郡石部町石部2177
TEL 0748-77-3318 FAX 0748-77-2818

社団法人 日本建築協会 〒530 大阪市北区梅田1の1の3の2100 電話大阪06(348)0635 FAX06(348)0634
振替口座大阪一一三九九七五番
正会員の購読料は会費に含めて徴収
定価九八〇円（本体九五一円 消費税二九円 送料共）
雑誌03379－7